

全国調査報告書

外来語に関する意識調査Ⅱ
(全国調査)

[平成16年10～11月調査]

平成17年3月

国立国語研究所

目 次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	3
2 調査項目	3
3 調査対象	3
4 調査期間	3
5 調査方法	4
6 調査実施機関	4
7 回収結果	4
8 回答者の属性	4
9 この報告書を読む際の注意	9
10 研究組織	10
II 調査結果の概要	11
第1章 日常生活で使用する外来語・略語	13
1 普段使うことがある外来語・略語	13
(1) 普段使うことがある外来語・略語	13
(2) 普段使うことがある外来語・略語の量	16
第2章 話し相手による外来語・漢語・和語の使い分け, 使う理由	18
1 話し相手による外来語・漢語・和語の使い分け〔3場面比較〕	18
2 友達同士で話す場面 <サポート/支援/手助け>	18
(1) 友達同士で話すときに使う言葉	18
(2) その言葉を使う理由【A枠】	20
(3) その言葉を使う理由【B枠】	22
3 大勢の人の前で話す場面 <サポート/支援/手助け>	23
(1) 大勢の人の前で話すときに使う言葉	23
(2) その言葉を使う理由【A枠】	25
(3) その言葉を使う理由【B枠】	27
4 初対面のお年寄りと話す場面 <サポート/支援/手助け>	28
(1) 初対面のお年寄りと話すときに使う言葉	28
(2) その言葉を使う理由【A枠】	30
(3) その言葉を使う理由【B枠】	32
第3章 報道や行政で使ってほしい言葉, 使ってほしい理由	34
1 報道や行政で使ってほしい言葉〔媒体・場面比較〕	34
2 放送で使ってほしい言葉 <DV/ドメスティック・バイオレンス/配偶者暴力 /夫や恋人などからふるわれる暴力>	34
(1) テレビやラジオのニュースで使ってほしい言葉	34
(2) その言葉を使ってほしい理由	36
3 新聞で使ってほしい言葉 <DV/ドメスティック・バイオレンス/配偶者暴力 /夫や恋人などからふるわれる暴力>	37

(1) 新聞で使ってほしい言葉	37
(2) その言葉を使ってほしい理由	39
4 行政の窓口で使ってほしい言葉 <DV/ドメスティック・バイオレンス/配偶者暴力 /夫や恋人などからふるわれる暴力>	40
(1) 役所・役場の窓口で使ってほしい言葉	40
(2) その言葉を使ってほしい理由	42
5 広報紙で使ってほしい言葉 <ボトルネック/隘路/支障>	44
(1) 市区町村の広報紙で使ってほしい言葉	44
(2) その言葉を使ってほしい理由	46
6 広報紙で使ってほしい言葉 <ハザードマップ/災害予測地図 /災害にあう地域を予測した地図>	48
(1) 市区町村の広報紙で使ってほしい言葉	48
(2) その言葉を使ってほしい理由	50
7 新聞や広報紙で使った方がよいと思う表現	52
(1) 新聞や広報紙で使った方がよいと思う表記	52
(2) 新聞や広報紙で使った方がよいと思う表記, その理由 <グローバル/グローバル(地球規模)/地球規模>	52
(3) 新聞や広報紙で使った方がよいと思う表記, その理由 <インキュベーション/インキュベーション(起業支援)/起業支援>	56
(4) 新聞や広報紙で使った方がよいと思う表記, その理由 <NPO/NPO(非営利団体)/非営利団体>	59
第4章 医療の専門家に期待する言葉遣いの工夫	63
1 医師から, 症状や治療について, 分かりにくい言葉で説明された経験	63
2 分かりやすく言い換えたり, 説明を加えたりしてほしい医療用語	65
3 医師に使ってほしい言葉, 使ってほしい理由	67
(1) 医師から, 家族のことで説明を受けるとき, 使ってほしい言葉 <ターミナルケア/終末医療/痛みをやわらげ精神を楽にする医療>	67
(2) その言葉を使ってほしい理由【A枠】	69
(3) その言葉を使ってほしい理由【B枠】	71
(4) 医師から, 家族のことで説明を受けるとき, 使ってほしい言葉 <ホスピス/終末医療施設/末期患者医療施設>	73
(5) その言葉を使ってほしい理由【A枠】	75
(6) その言葉を使ってほしい理由【B枠】	77
第5章 国立国語研究所「外来語言い換え提案」の認知度・必要性	79
1 国立国語研究所「外来語言い換え提案」の認知度	79
2 「言い換え語」と「元の外来語」の分かりやすさ	81
(1) 「言い換え語」と「元の外来語」とでは, どちらが分かりやすいか	81
(2) <アウトソーシング/外部委託>, どちらが分かりやすいか	81
(3) <キャッチアップ/追い上げ>, どちらが分かりやすいか	82
(4) <バーチャル/仮想>, どちらが分かりやすいか	82

(5) <ポジティブ／積極的>，どちらが分かりやすいか……………	82
3 「外来語言い換え提案」の必要性……………	87
(1) 国立国語研究所の「外来語言い換え提案」は必要だと思うか……………	87
(2) 必要だと思う理由……………	89
(3) 必要ないと思う理由……………	91
第6章 カタカナ略語・アルファベット略語・アルファベットについての意識……………	92
1 カタカナ略語<ケータイ／リモコン／コンビニ>をどう思うか……………	92
(1) カタカナ略語を分かりやすいと思うか……………	92
(2) カタカナ略語を便利だと思うか……………	92
(3) カタカナ略語を覚えやすいと思うか……………	92
2 アルファベット略語<CM／CD／IT>をどう思うか……………	97
(1) アルファベット略語を分かりやすいと思うか……………	97
(2) アルファベット略語を便利だと思うか……………	97
(3) アルファベット略語を覚えやすいと思うか……………	98
3 アルファベットを日本語の正式な文字として認めてもよいか……………	102
第7章 苦手な分野の外来語・略語……………	104
1 外来語を使った文で何のことか分からないと感じるもの<14 分野>……………	104
(1) 外来語を使った文で分からないと感じるもの……………	104
(2) 外来語を使った文で分からないと感じるものの量……………	107
2 アルファベット略語を使った文で何のことか分からないと感じるもの<14 分野>……………	109
(1) アルファベット略語を使った文で分からないと感じるもの……………	109
(2) アルファベット略語を使った文で分からないと感じるものの量……………	112
第8章 外来語や略語についての学習意欲，教育への期待……………	114
1 新しい外来語や略語を学ぶ機会……………	114
(1) 新しい外来語や略語を学ぶ機会がほしいと思うか……………	114
(2) 新しい外来語や略語を学ぶ機会としてほしいと思うもの……………	116
(3) 学ぶ機会がほしいと思わない理由……………	118
2 新しい外来語や略語を学校教育で教えるべきか……………	120
III 調査票（付：単純集計結果）……………	123

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、社会的な情報の伝達に使用されている外来語・略語、および、それらを使う場面のコミュニケーションについて、国民の意識と言語生活の実態を明らかにすることを目的とする。あわせて、分かりにくい外来語・略語を分かりやすく伝えるための、受け手に配慮した言葉遣いの工夫など、問題解決策の検討に資する科学的データを蓄積・提供することを目的とする。

近年、片仮名やアルファベットで書かれる目新しい外来語・略語が、公的な役割を担う官公庁の白書や広報紙、また、日々の生活と切り離すことのできない新聞・雑誌・テレビなどで数多く使われるようになった。外来語・略語には、これまで日本語になかった物事や思考を表現する言葉として、日本語をより豊かにするという優れた面もある。その一方で、むやみに多用すると円滑なコミュニケーションの障害となる面も出てくる。

このような日本語の現状にあって、公共性の高い情報媒体、および、公的なコミュニケーションの場では、生活に必要な情報が国民各層に等しく共有されるよう、受け手に配慮した言葉遣いの工夫をすることが緊急の課題となっている。

国立国語研究所では、こうした問題意識から、行政情報の発信者、受信者双方の言語意識を探る大規模全国調査を企画した。平成15年度は、全国680自治体を対象とした「行政情報を分かりやすく伝える言葉遣いの工夫に関する意識調査（自治体調査）」と、受信者である国民を対象とした「外来語に関する意識調査（全国調査）」を実施した。

平成16年度「外来語に関する意識調査Ⅱ（全国調査）」は、平成15年度に続く2回目の調査である。調査内容は、語種選択の理由を尋ねるなど、使い分けの意識を深く掘り下げて調べている。また、新たに、医療の専門家に期待する言葉遣いの工夫、苦手な分野の外来語・略語、外来語や略語についての学習意欲・教育への期待などの項目を加えている。

2 調査項目

- (1) 普段使うことがある外来語や略語
- (2) 言葉の使い分けについて
- (3) 放送や新聞などで使ってほしい言葉
- (4) 専門家が使用する言葉
- (5) 外来語の言い換えについて
- (6) 外来語や略語の使用

3 調査対象

- (1) 母集団：満15歳以上の男女個人
- (2) 標本数：4,500人
- (3) 抽出方法：層化二段無作為抽出法

4 調査期間

平成16年10月6日（水）～11月4日（木）

5 調査方法

調査員による個別面接聴取法

6 調査実施機関

社団法人 新情報センター

7 回収結果

(1) 有効回収数 (率) 3,090人 (68.7%)

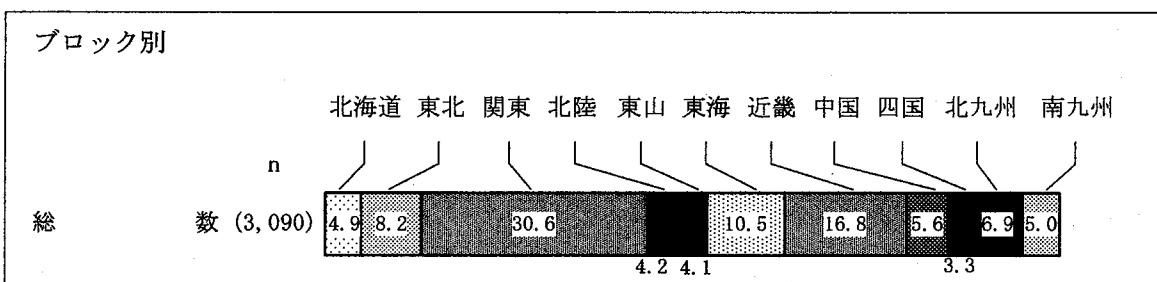
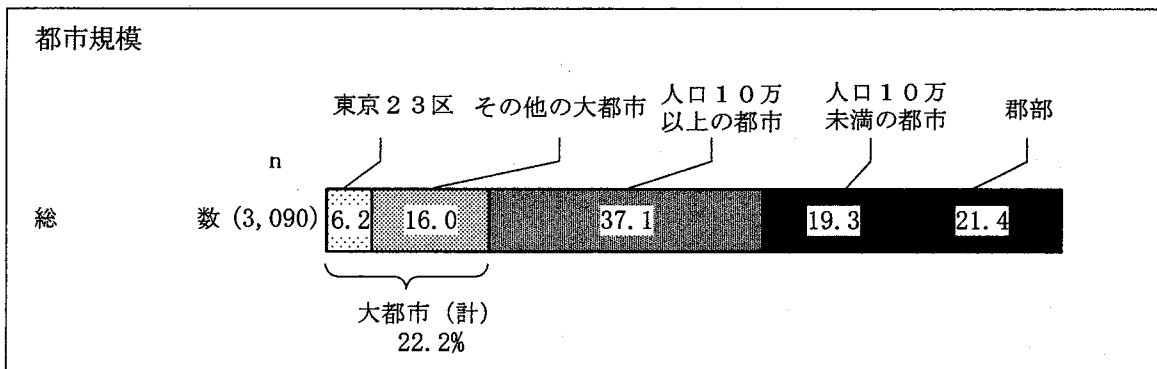
(2) 調査不能数 (率) 1,410人 (31.3%)

- 不能内訳 -

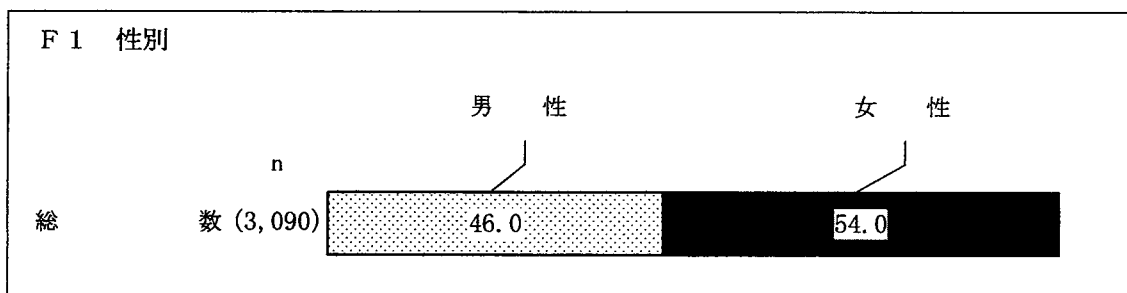
転居	89	(2.0%)
長期不在	73	(1.6%)
一時不在	478	(10.6%)
住居不明	23	(0.5%)
拒否	703	(15.7%)
その他	44	(1.0%)

8 回答者の属性

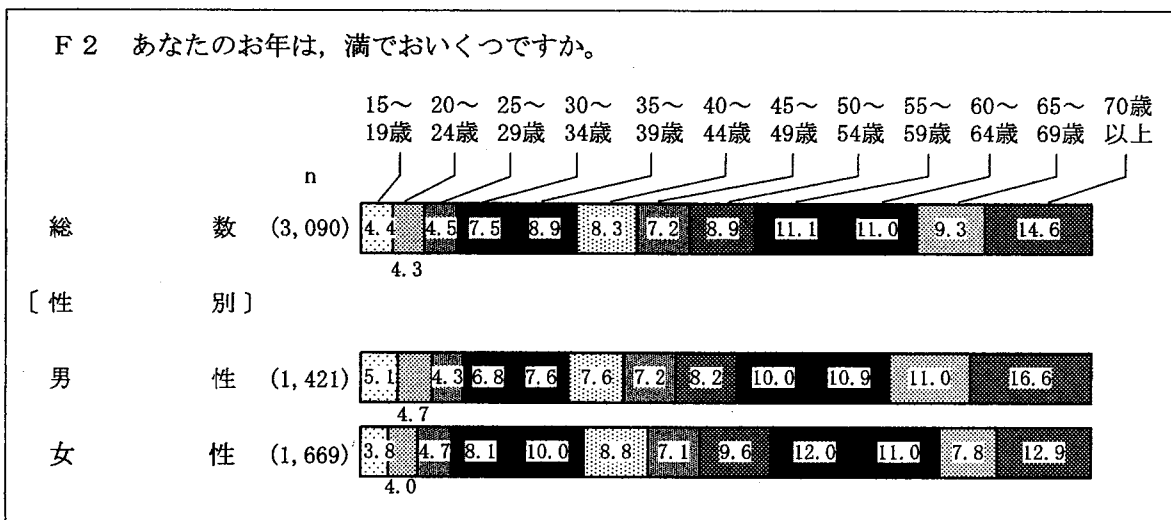
(1) 都市規模・ブロック



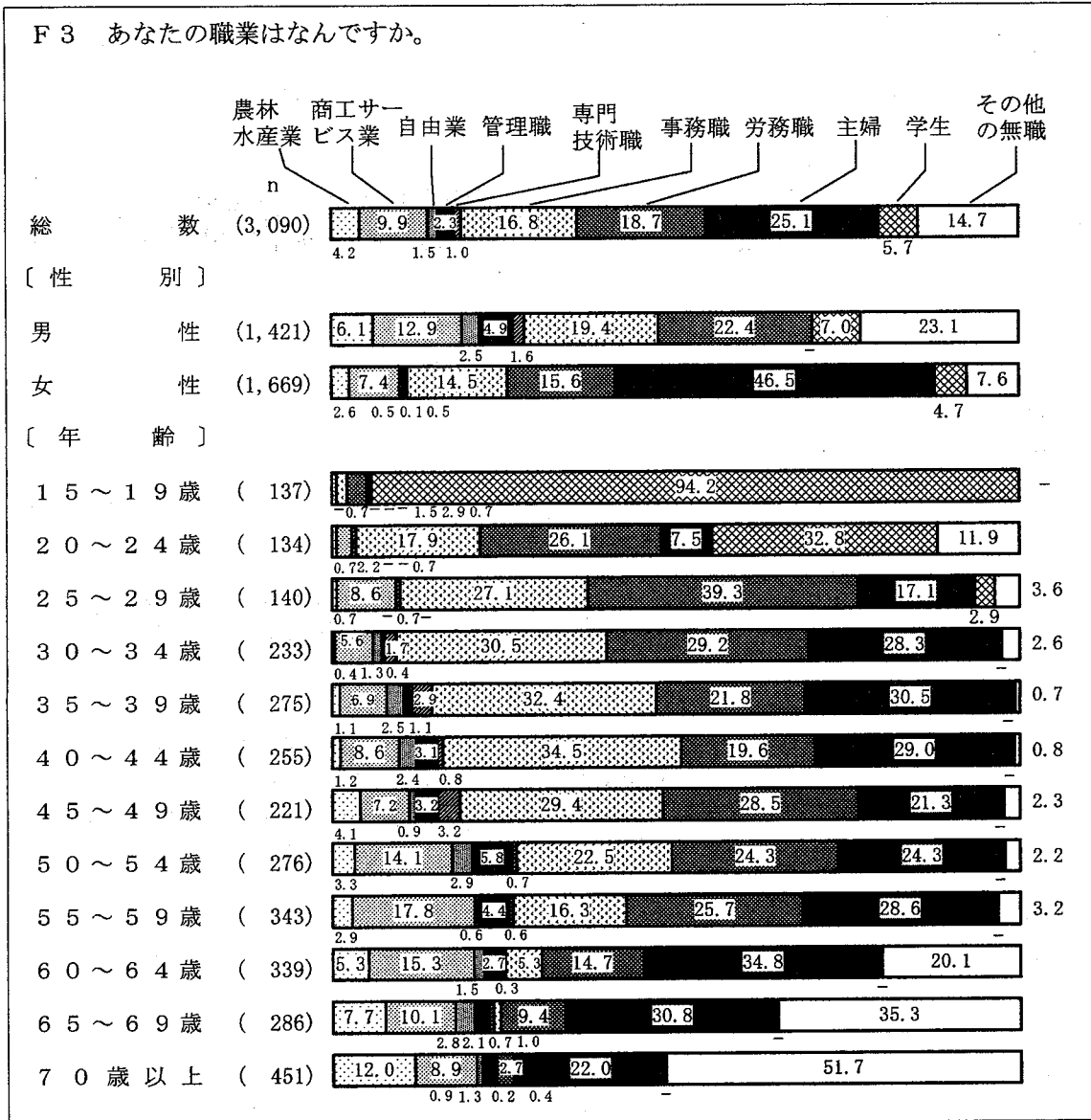
(2) 性別



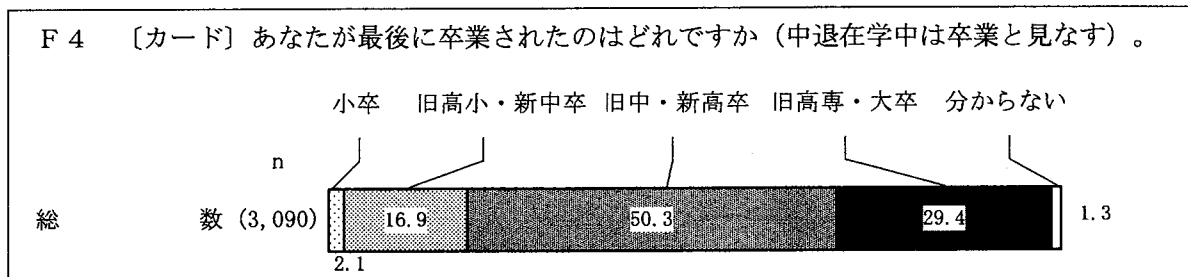
(3) 年齢



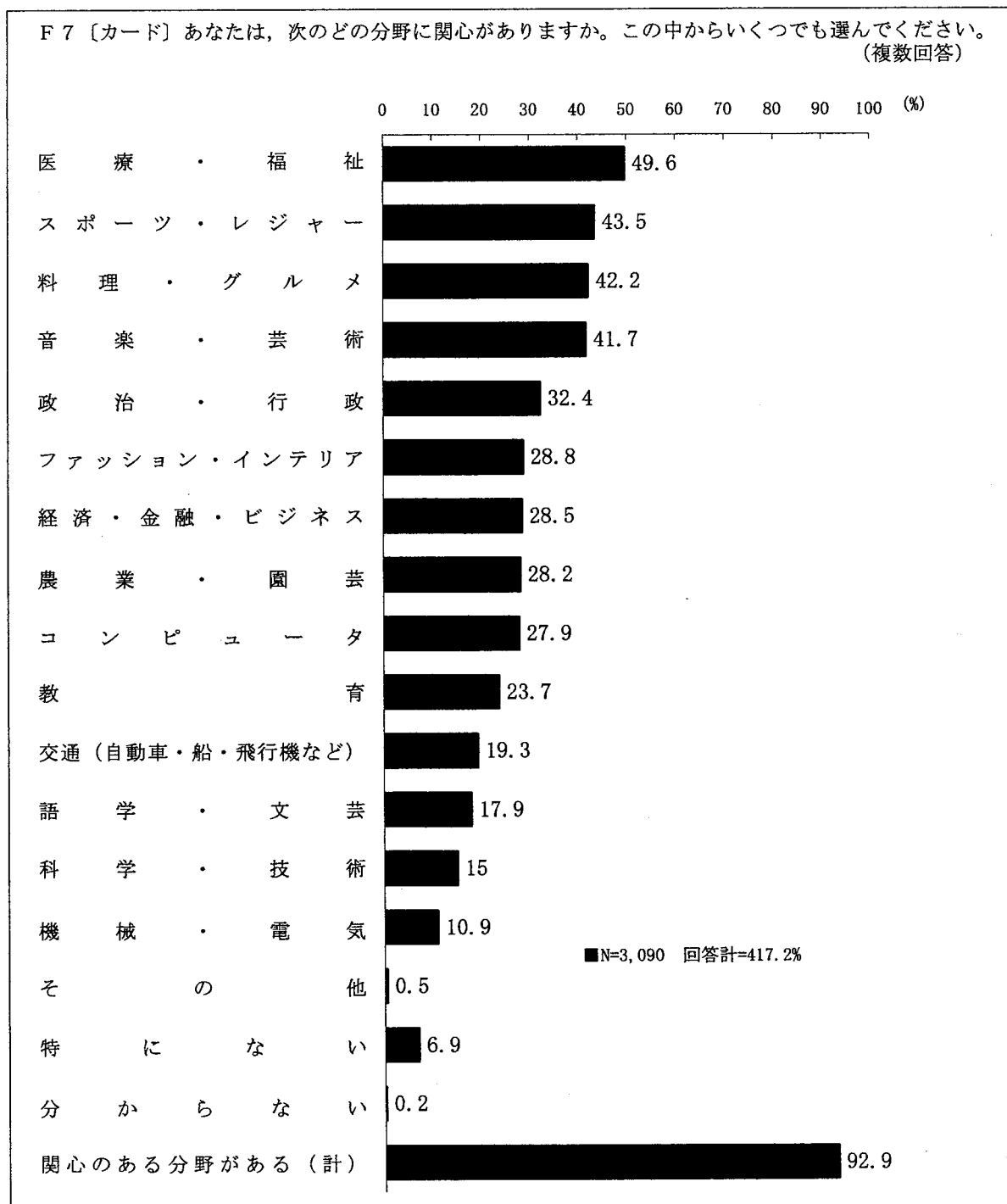
(4) 職業



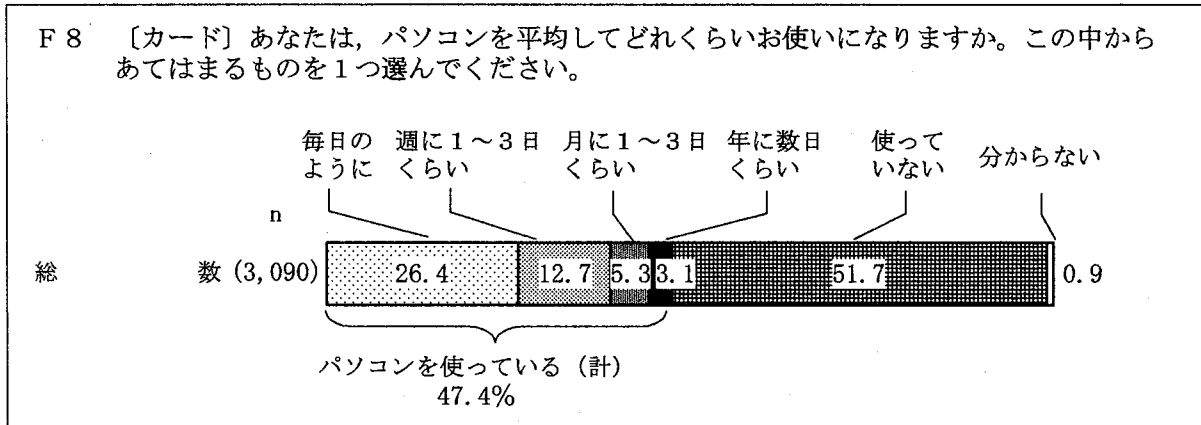
(5) 最終学歴



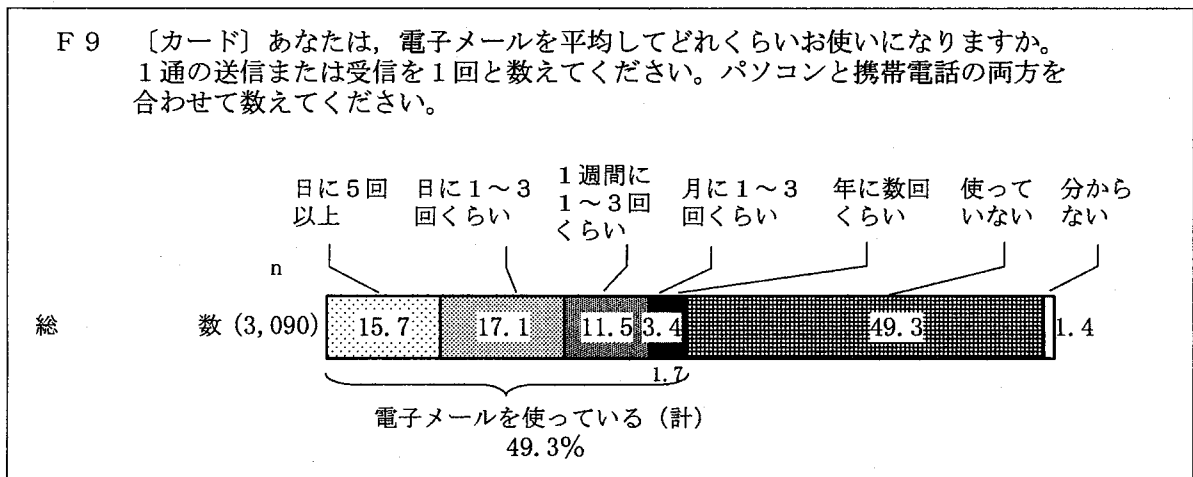
(6) 関心のある分野



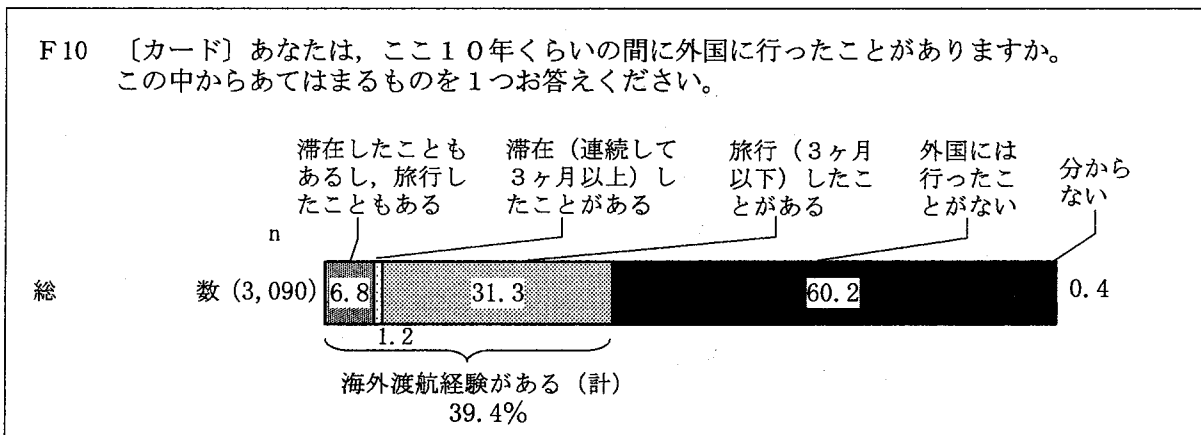
(7) パソコンの使用頻度



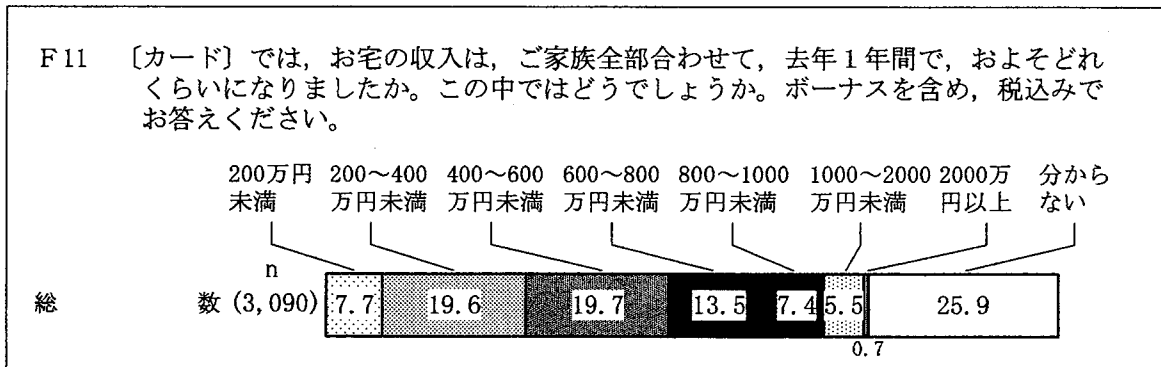
(8) 電子メールの使用頻度



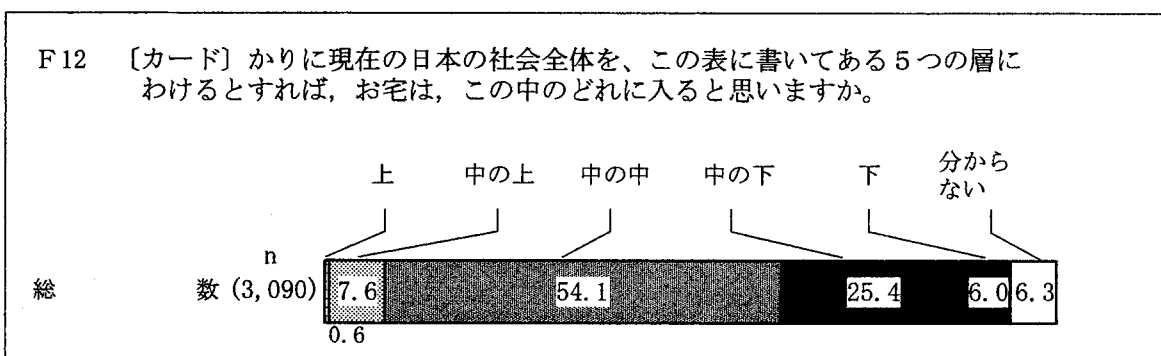
(9) 海外渡航経験



(10) 世帯年収



(11) 階層意識



9 この報告書を読む際の注意

- (1) 図表中のnとは、比率算出の基数を表すもので、原則として回答者総数(3,090人)または分類別の回答者数のことである。
- (2) 百分比は、小数点第2位で四捨五入して、小数点第1位までを表示した。四捨五入したため、合計値が100%を前後することがある。
- (3) 「(複数回答)」と表示のある質問は、2つ以上の回答を認めているため、回答計は100%を超える。
- (4) 図中の質問文は面接調査で用いた調査票のとおりである。先頭に「[カード]」と表示があるのは、回答の選択肢を列挙したカードを対象者に示して、その中から回答を選ばせる質問を示す。
- (5) 図表中の「-」は、回答者が皆無であることを、「0.0」は0.05未満の数値であったことを示す。
- (6) 「Ⅱ 調査結果の概要」では、分類別の回答者数が50人より少ない場合は傾向をみるにとどめ、分類別の分析の対象からは外している。

10 研究組織

- 相澤 正夫 (国立国語研究所研究開発部門・部門長)
朝日 祥之 (国立国語研究所情報資料部門・研究員)
陣内 正敬 (関西学院大学総合政策学部・教授)
杉戸 清樹 (国立国語研究所日本語教育部門・部門長)
田中 牧郎 (国立国語研究所研究開発部門・主任研究員)
田中 ゆかり (日本大学文理学部・助教授)
半沢 康 (福島大学人間発達文化学類・助教授)
吉岡 泰夫 (国立国語研究所研究開発部門・上席研究員) 編集責任者
吉野 諒三 (統計数理研究所領域統計研究系・助教授)
米田 正人 (国立国語研究所情報資料部門・上席研究員)

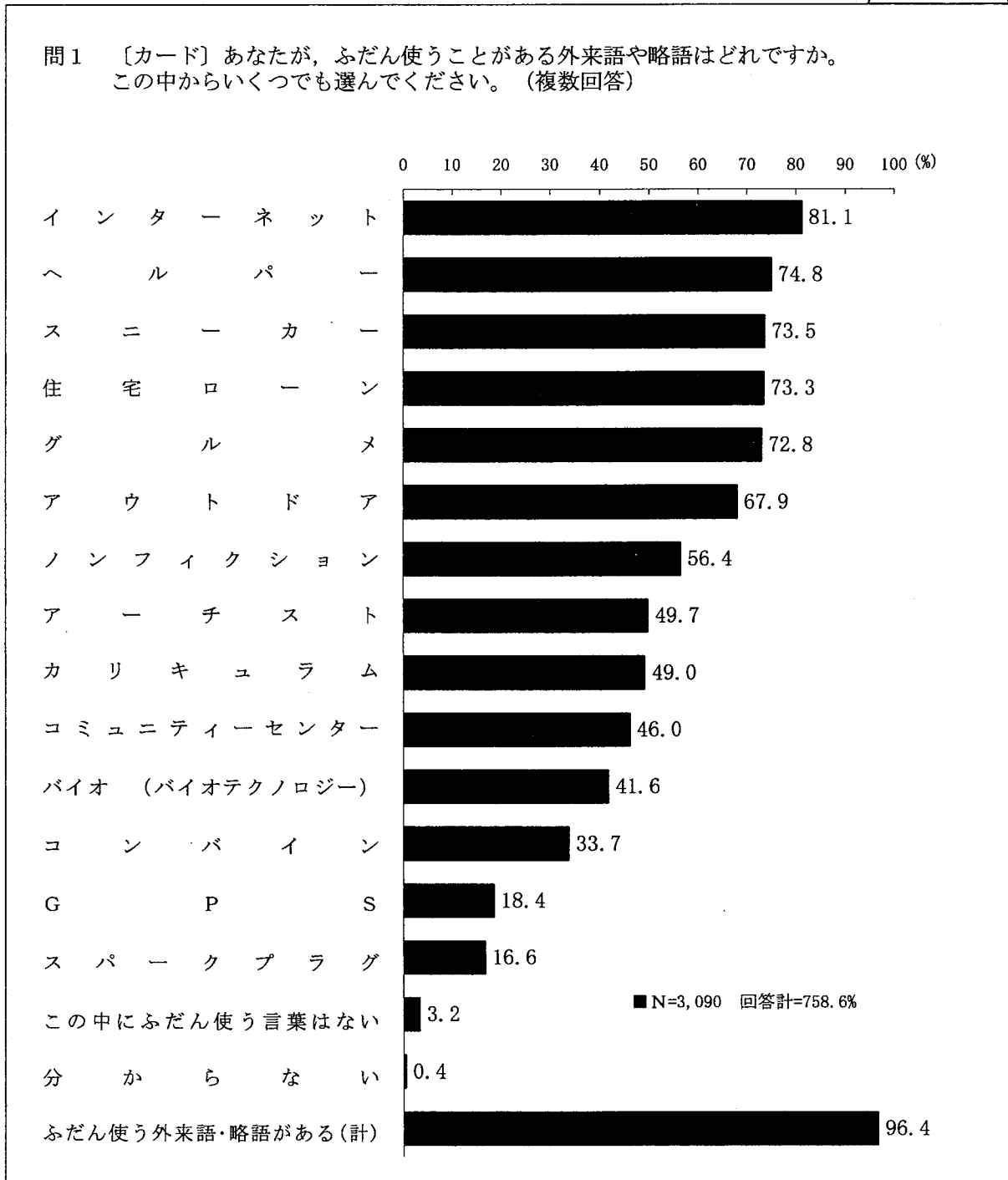
Ⅱ 調査結果の概要

第1章 日常生活で使用する外来語・略語

1 普段使うことがある外来語・略語

(1) 普段使うことがある外来語・略語

図 1-1-1



14分野の外来語・略語を提示して、普段使うことがある外来語や略語はどれか聞いた(図1-1-1)。

14分野は、《政治・行政》《経済・金融・ビジネス》《医療・福祉》《科学・技術》《コンピュータ》《料理・グルメ》《ファッション・インテリア》《スポーツ・レジャー》《農業・園芸》《機械・電気》《交通(自動車・船・飛行機など)》《音楽・芸術》《語学・文芸》《教育》である。

「インターネット」《コンピュータ》(81.1%)が8割強でもっとも多く、以下、「ヘルパー」《医

療・福祉》(74.8%)、「スニーカー」《ファッション・インテリア》(73.5%)、「住宅ローン」《経済・金融・ビジネス》(73.3%)、「グルメ」《料理・グルメ》(72.8%)が7割台、「アウトドア」《スポーツ・レジャー》(67.9%)が6割台で続いている。

「ふだん使う外来語・略語がある」という人、つまり、ここに提示した外来語・略語のどれかを普段使うことがある人は96.4%にのぼる。

次に、性別、年齢別、職業別にみていく(表1-1-1)。

性別にみると、女性が男性より多くあげているのは、「ヘルパー」《医療・福祉》(男性67.6%、女性80.9%)、「スニーカー」《ファッション・インテリア》(男性67.2%、女性78.8%)、「グルメ」《料理・グルメ》(男性66.8%、女性78.0%)である。男性が女性より多くあげているのは、「バイオ(バイオテクノロジー)」《科学・技術》(男性44.7%、女性39.0%)、「コンバイン」《農業・園芸》(男性39.0%、女性29.2%)、「GPS」《交通》(男性29.8%、女性8.8%)、「スパークプラグ」《機械・電気》(男性28.2%、女性6.7%)である。

年齢別にみると、「インターネット」《コンピュータ》は、15～24歳、30～49歳の年齢層で9割以上があげている。また、65～70歳以上を除く年齢層では、すべて8割を超えている。「ヘルパー」《医療・福祉》は40歳以上のすべての年齢層で8割前後を占めている。「スニーカー」《ファッション・インテリア》は20～24歳で、「住宅ローン」《経済・金融・ビジネス》は40～69歳で、「グルメ」《料理・グルメ》は30～64歳で、それぞれ他の年齢層に比べて多い。

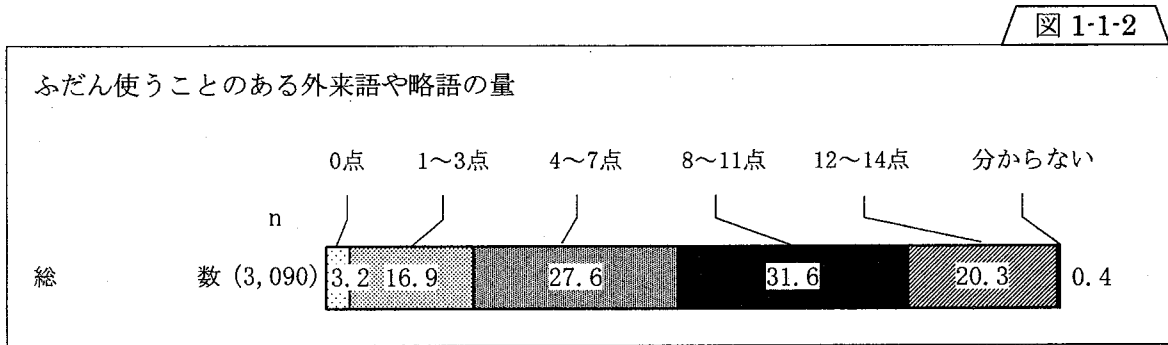
職業別にみると、管理職と事務職では、すべての外来語や略語について、普段使う言葉としてあげる人が、他の職業層に比べて多い。

表 1-1-1 普段使うことがある外来語・略語（性別，年齢別，職業別）

(複数回答)

	総 数	イ ン タ ー ネ ッ ト	ヘ ル パ ー キ ー ボ ー ド	ス ニ ー カ ー ド	住 宅 ロ ー ン	グ ル メ	ア ウ ト ド ア	ノ ン フ イ ク シ ョ ン	ア ー チ ス ト	カ リ キ ュ ラ ム	コ ミュ ニ テ ィ ー セ ン タ ー	ジ ー ク ノ ロ ン	コ ン パ イ ン	G P S	ス パ ー ク ブ ラ グ	こ の 中 に ふ だ ん 使 う 言 葉 は な い	分 か ら な い	普 段 使 う 外 来 語 ・ 略 語 が あ る (計)	回 答 計	
	n	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	
総数	3,090	81.1	74.8	73.5	73.3	72.8	67.9	56.4	49.7	49.0	46.0	41.6	33.7	18.4	16.6	3.2	0.4	96.4	758.6	
[性別]																				
男性	1,421	80.9	67.6	67.2	71.4	66.8	66.8	56.7	48.8	47.8	44.5	44.7	39.0	29.8	28.2	3.5	0.6	95.9	764.1	
女性	1,669	81.2	80.9	78.8	75.0	78.0	68.9	56.2	50.6	50.0	47.3	39.0	29.2	8.8	6.7	2.9	0.2	96.9	753.9	
[年齢]																				
15～19歳	137	92.0	40.1	82.5	36.5	59.1	65.7	54.7	54.0	43.1	23.4	32.1	16.8	21.9	6.6	2.2	-	97.8	630.7	
20～24歳	134	94.8	59.0	91.8	44.0	67.2	78.4	54.5	62.7	50.7	32.1	32.1	17.9	29.9	12.7	0.7	-	99.3	728.4	
25～29歳	140	85.0	57.9	85.0	57.1	71.4	78.6	54.3	57.1	47.1	28.6	32.9	21.4	22.9	13.6	0.7	-	99.3	713.6	
30～34歳	233	90.1	62.7	80.7	69.1	77.7	82.8	62.2	62.2	50.6	39.1	42.5	18.5	30.0	15.5	1.3	-	98.7	785.0	
35～39歳	275	92.4	70.9	84.7	73.5	82.2	83.6	66.2	67.6	57.5	49.5	45.8	25.1	25.5	16.4	0.7	-	99.3	841.5	
40～44歳	255	91.4	77.6	84.3	81.6	82.7	81.6	68.6	66.7	62.4	49.8	49.0	25.9	23.9	18.4	2.0	-	98.0	865.9	
45～49歳	221	91.9	81.0	80.1	78.3	80.1	76.0	66.1	52.9	57.9	53.4	48.9	37.6	23.1	19.9	0.9	-	99.1	848.0	
50～54歳	276	83.0	80.1	76.4	80.4	79.7	74.6	64.1	51.4	57.6	56.5	52.2	42.0	17.4	18.5	2.9	0.4	96.7	837.3	
55～59歳	343	84.5	84.5	79.6	81.9	80.5	72.6	62.7	52.8	58.3	54.8	47.8	42.0	19.0	23.3	1.5	0.6	98.0	846.4	
60～64歳	339	80.5	83.8	71.1	82.3	76.4	64.9	57.2	44.8	49.9	54.6	46.3	40.4	13.6	18.0	2.7	-	97.3	786.4	
65～69歳	286	69.6	80.4	62.9	78.7	67.8	56.6	50.7	41.6	40.2	51.4	38.8	46.2	13.6	20.3	5.9	0.7	93.4	725.5	
70歳以上	451	53.9	78.5	43.7	72.3	52.3	35.0	31.0	19.3	25.5	35.0	26.4	38.8	4.0	10.2	9.3	1.6	89.1	536.8	
[職業]																				
農林水産業	131	58.8	77.1	51.1	71.8	55.7	39.7	31.3	19.8	22.1	44.3	37.4	71.8	9.9	21.4	6.9	-	93.1	619.1	
商工サービス業	307	82.4	71.7	73.0	75.6	75.9	67.1	59.9	48.5	45.9	48.2	44.3	35.5	19.2	19.5	3.9	-	96.1	770.7	
管理職	71	94.4	81.7	84.5	84.5	88.7	88.7	78.9	64.8	73.2	59.2	62.0	45.1	35.2	36.6	-	-	100.0	977.5	
事務職	518	95.8	79.2	83.2	79.2	84.6	86.1	74.5	69.5	71.6	51.4	57.9	32.8	34.9	23.4	0.4	0.4	99.2	924.7	
労務職	579	81.5	67.2	75.3	69.6	69.9	68.7	51.3	48.4	43.4	43.9	34.4	33.7	18.3	20.6	3.1	0.2	96.7	729.4	
主婦	776	80.9	83.4	78.1	78.7	80.4	69.3	56.2	49.4	50.0	49.4	39.4	27.1	7.9	6.6	2.6	0.3	97.2	759.5	
学生	177	93.2	41.8	84.7	36.2	62.1	72.3	57.1	57.6	49.2	26.0	35.6	15.3	24.9	5.6	1.7	-	98.3	663.3	
その他の無職	455	62.0	78.7	53.4	73.6	55.2	47.0	42.2	32.1	33.0	41.3	32.5	39.3	12.7	18.0	7.0	1.5	91.4	629.7	
自由業	45	82.2	66.7	57.8	66.7	66.7	57.8	57.8	48.9	60.0	44.4	48.9	26.7	22.2	15.6	4.4	-	95.6	726.7	
専門技術職	31	93.5	80.6	87.1	87.1	77.4	90.3	77.4	74.2	58.1	51.6	61.3	45.2	41.9	29.0	-	-	100.0	954.8	

(2) 普段使うことがある外来語・略語の量



普段使うことのある外来語・略語の量を、回答数を積算して求めた(図 1-1-2)。14分野の外来語・略語を選択肢に示したので、すべてをあげた場合は14点になる。

「8~11点」(31.6%)が3割強でもっとも多く、以下、「4~7点」(27.6%)が3割弱、「12~14点」(20.3%)が2割、「1~3点」(16.9%)が2割弱という順である。

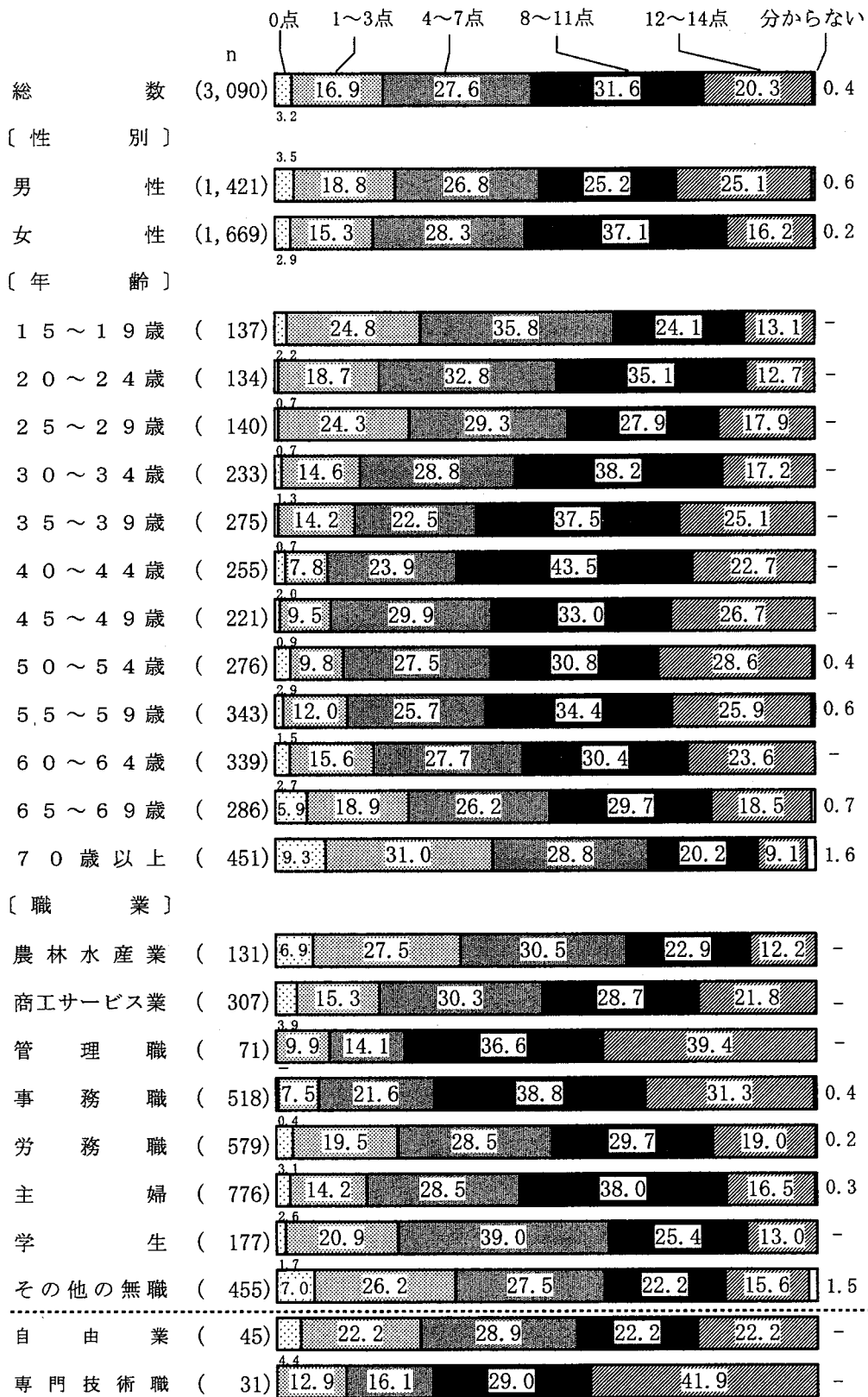
次に、性別、年齢別、職業別にみていく(図 1-1-3)。

性別にみると、男性が女性より多いのは「12~14点」(男性 25.1%, 女性 16.2%)であり、女性が男性より多いのは「8~11点」(男性 25.2%, 女性 37.1%)である。

年齢別にみると、「1~3点」は70歳以上(31.0%)で他の年齢層より多い。一方、「12~14点」は35~39歳, 45~59歳の年齢層で他の年齢層より多い。

職業別にみると、「1~3点」は農林水産業(27.5%)とその他の無職(26.2%)で他の職業層に比べて多い。一方、「12~14点」は管理職(39.4%)でもっとも多い。

図 1-1-3 普段使うことがある外来語・略語の量 (性別, 年齢別, 職業別)

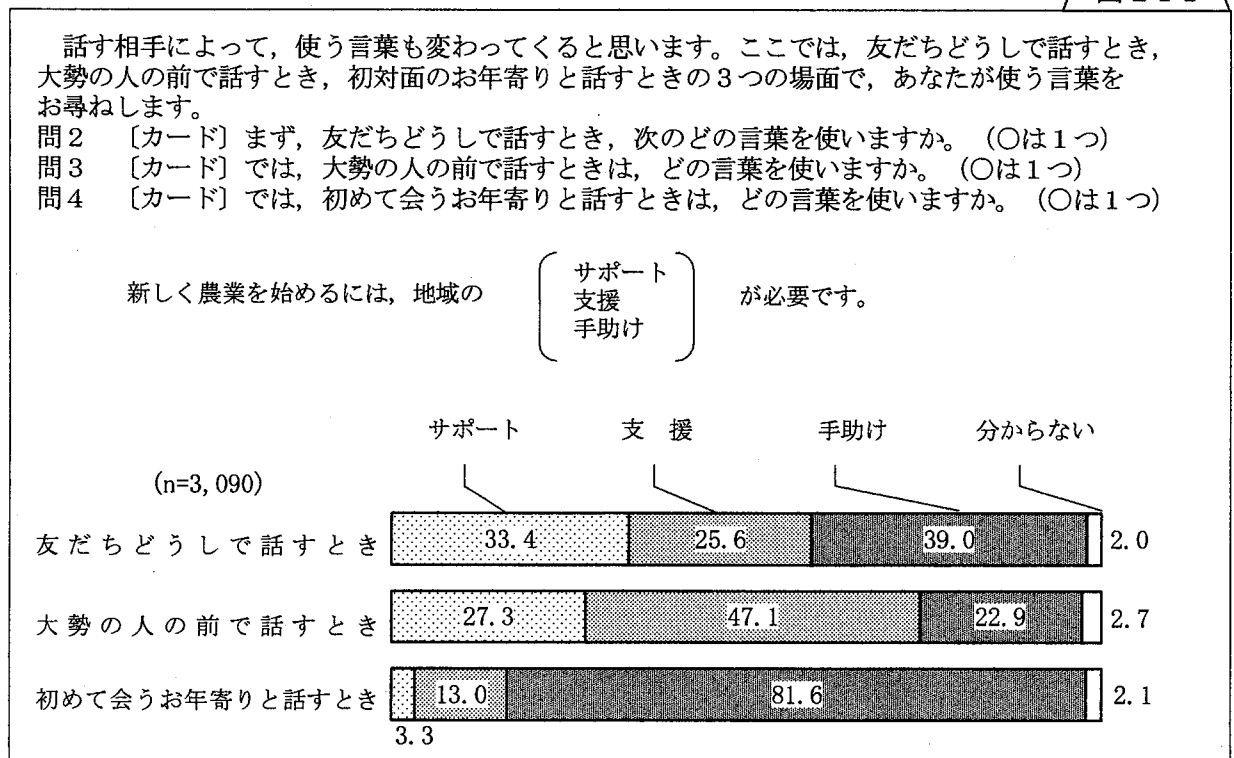


* 「自由業」と「専門技術職」は、回答者数が50人より小さいので参照するにとどめ、分析の対象からは外してある。

第2章 話し相手による外来語・漢語・和語の使い分け、使う理由

1 話し相手による外来語・漢語・和語の使い分け〔3場面比較〕

図 2-1-1



話し相手による外来語・漢語・和語の使い分けを、“友だちどうしで話すとき” “大勢の人の前で話すとき” “初めて会うお年寄りと話するとき” の3つの場面で聞いた (図 2-1-1)。

友達同士で話すときは、「手助け」《和語》(39.0%)が4割弱で、以下、「サポート」《外来語》(33.4%)、「支援」《漢語》(25.6%)の順である。

大勢の人の前で話すときは、「支援」《漢語》(47.1%)が5割弱で、以下、「サポート」《外来語》(27.3%)、「手助け」《和語》(22.9%)の順である。

初めて会うお年寄りと話ときは、「手助け」《和語》(81.6%)が8割強を占め、以下、「支援」《漢語》(13.0%)、「サポート」《外来語》(3.3%)の順である。

2 友達同士で話す場面 <サポート/支援/手助け>

(1) 友達同士で話すときに使う言葉

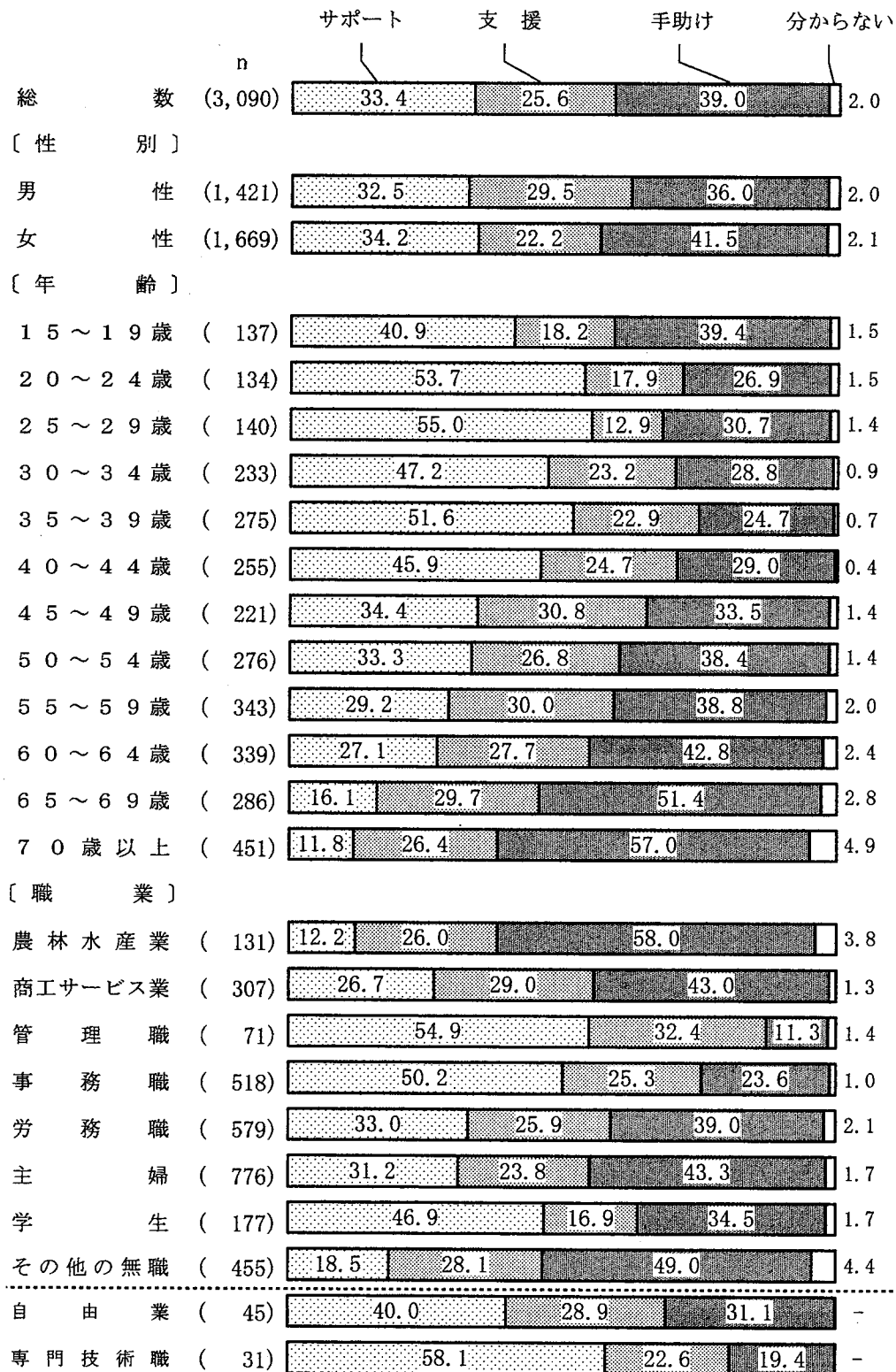
友達同士で話すときに使う言葉を、性別、年齢別、職業別にみていく (図 2-2-1)。

性別にみると、女性が男性より多いのは「手助け」《和語》(男性 36.0%, 女性 41.5%)で、男性が女性より多いのは「支援」《漢語》(男性 29.5%, 女性 22.2%)である。

年齢別にみると、「サポート」《外来語》は若年層ほど、「手助け」《和語》は高齢層ほど多く使われる傾向にある。

職業別にみると、「サポート」《外来語》は管理職 (54.9%)、事務職 (50.2%)で多い。一方、「手助け」《和語》は農林水産業 (58.0%)で6割弱と最多である。

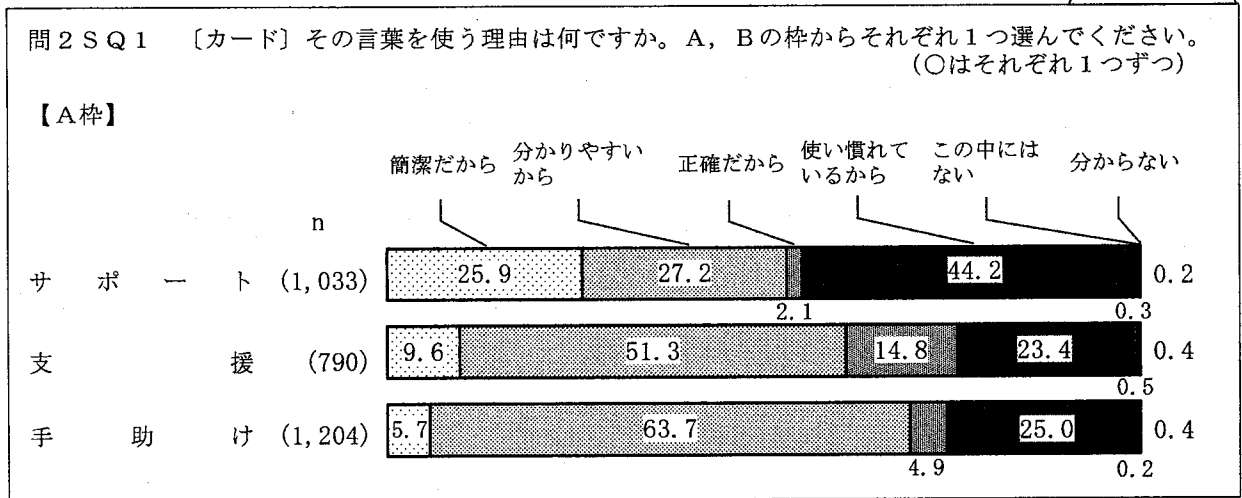
図 2-2-1 友達同士で話すときに使う言葉 (性別, 年齢別, 職業別)



*「自由業」と「専門技術職」は、回答者数が50人より小さいので参照するにとどめ、分析の対象からは外してある。

(2) その言葉を使う理由【A枠】

図 2-2-2



友達同士で話すときに、その言葉を使う理由【A枠】を聞いた (図 2-2-2)。

「サポート」《外来語》については、「使い慣れているから」(44.2%) がもっとも多く、以下、「分かりやすいから」(27.2%)、「簡潔だから」(25.9%) の順である。

「支援」《漢語》については、「分かりやすいから」(51.3%) がもっとも多く、以下、「使い慣れているから」(23.4%)、「正確だから」(14.8%)、「簡潔だから」(9.6%) の順である。

「手助け」《和語》については、「分かりやすいから」(63.7%) が 6 割強でもっとも多く、以下、「使い慣れているから」(25.0%)、「簡潔だから」(5.7%) の順である。

次に、性別、年齢別、職業別にみていく (表 2-2-1)。

性別にみると、「サポート」《外来語》と「手助け」《和語》については、差はみられない。「支援」《漢語》については、女性が男性より多いのは「分かりやすいから」(男性 46.5%、女性 56.6%)、男性が女性より多いのは「使い慣れているから」(男性 26.0%、女性 20.5%) である。

年齢別にみると、「サポート」《外来語》については、「使い慣れているから」が 20~24 歳 (50.0%)、25~29 歳 (49.4%)、35~39 歳 (50.0%)、45~49 歳 (48.7%) で 5 割前後と他の年齢層に比べて多い。また、「支援」《漢語》については、「分かりやすいから」が 50~54 歳 (60.8%)、60~64 歳 (64.9%) で 6 割台と他の年齢層に比べて多い。

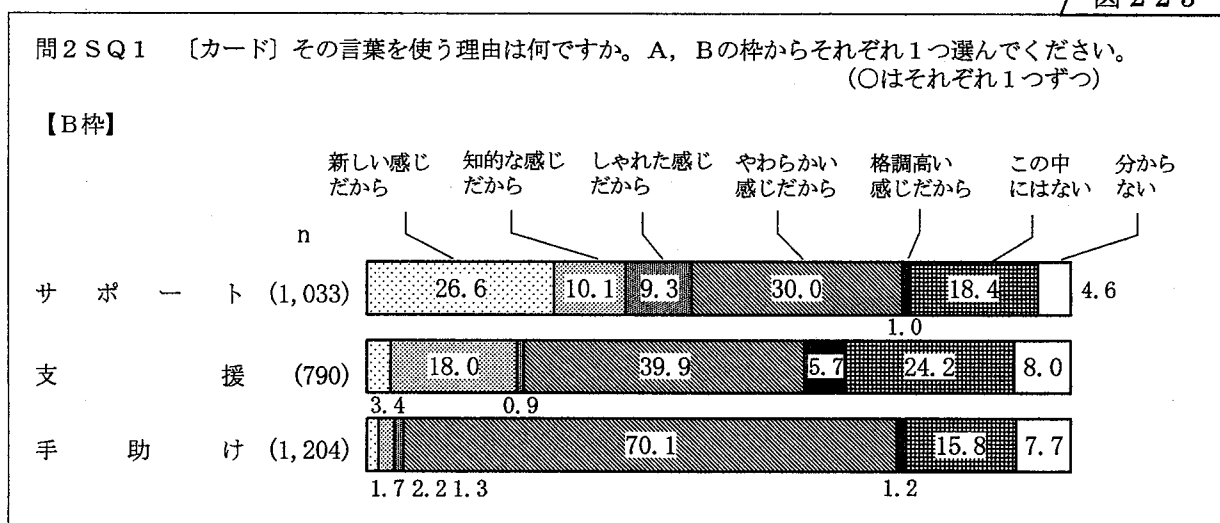
職業別にみると、「サポート」《外来語》については、「使い慣れているから」が学生 (53.0%) で 5 割強ともっとも多い。

表 2-2-1 その言葉を使う理由【A枠】 (性別, 年齢別, 職業別)

	サポート					支援					手助け				
	該	簡	分	正	使	該	簡	分	正	使	該	簡	分	正	使
	当	潔	かり	確	い	当	潔	かり	確	い	当	潔	かり	確	い
	数	だ	やす	だ	慣	数	だ	やす	だ	慣	数	だ	やす	だ	慣
		か	い	か	れ		か	い	か	れ		か	い	か	れ
		ら	か	ら	て		ら	か	ら	て		ら	か	ら	て
					い					い					い
					る					る					る
					か					か					か
					ら					ら					ら
	n	%	%	%	%	n	%	%	%	%	n	%	%	%	%
総数	1,033	25.9	27.2	2.1	44.2	790	9.6	51.3	14.8	23.4	1,204	5.7	63.7	4.9	25.0
[性別]															
男性	462	26.6	27.7	1.9	42.9	419	9.1	46.5	16.9	26.0	512	5.9	63.9	6.8	22.7
女性	571	25.4	26.8	2.3	45.4	371	10.2	56.6	12.4	20.5	692	5.6	63.6	3.5	26.7
[年齢]															
15～19歳	56	25.0	19.6	1.8	51.8	25	8.0	36.0	28.0	28.0	54	9.3	66.7	5.6	18.5
20～24歳	72	29.2	18.1	1.4	50.0	24	8.3	54.2	12.5	25.0	36	8.3	75.0	5.6	11.1
25～29歳	77	24.7	26.0	-	49.4	18	16.7	33.3	33.3	11.1	43	11.6	55.8	9.3	23.3
30～34歳	110	26.4	33.6	1.8	37.3	54	7.4	40.7	18.5	33.3	67	10.4	58.2	7.5	22.4
35～39歳	142	26.8	22.5	0.7	50.0	63	15.9	39.7	11.1	31.7	68	5.9	61.8	1.5	29.4
40～44歳	117	30.8	25.6	2.6	41.0	63	14.3	50.8	14.3	20.6	74	6.8	63.5	-	29.7
45～49歳	76	28.9	17.1	3.9	48.7	68	14.7	47.1	14.7	22.1	74	4.1	66.2	9.5	20.3
50～54歳	92	26.1	28.3	2.2	43.5	74	8.1	60.8	17.6	13.5	106	5.7	64.2	6.6	23.6
55～59歳	100	19.0	33.0	4.0	44.0	103	6.8	49.5	19.4	23.3	133	4.5	60.9	7.5	25.6
60～64歳	92	25.0	34.8	2.2	38.0	94	7.4	64.9	7.4	19.1	145	4.1	63.4	4.1	27.6
65～69歳	46	21.7	39.1	2.2	34.8	85	5.9	47.1	15.3	30.6	147	7.5	66.7	2.7	23.1
70歳以上	53	24.5	30.2	3.8	41.5	119	9.2	58.0	10.1	21.8	257	3.1	63.8	3.9	28.0
[職業]															
農林水産業	16	37.5	25.0	-	37.5	34	5.9	52.9	5.9	32.4	76	5.3	59.2	6.6	28.9
商工サービス業	82	20.7	30.5	4.9	43.9	89	7.9	53.9	15.7	19.1	132	6.8	66.7	4.5	22.0
管理職	39	20.5	25.6	5.1	46.2	23	8.7	47.8	21.7	21.7	8	12.5	87.5	-	-
事務職	260	25.8	24.2	2.3	47.7	131	13.7	40.5	16.8	28.2	122	4.9	64.8	8.2	22.1
労務職	191	31.9	26.7	2.1	39.3	150	10.0	56.7	12.7	20.0	226	7.1	55.8	7.5	28.8
主婦	242	22.3	31.4	2.1	44.2	185	8.1	53.5	13.5	24.9	336	4.5	66.4	1.8	26.5
学生	83	26.5	18.1	-	53.0	30	10.0	40.0	26.7	23.3	61	8.2	67.2	4.9	19.7
その他の無職	84	28.6	28.6	1.2	41.7	128	9.4	53.9	14.8	21.1	223	4.9	64.1	4.9	24.7
自由業	18	33.3	33.3	-	33.3	13	15.4	46.2	15.4	23.1	14	14.3	78.6	-	7.1
専門技術職	18	16.7	38.9	-	33.3	7	-	57.1	14.3	28.6	6	-	66.7	16.7	16.7

(3) その言葉を使う理由【B枠】

図 2-2-3



友達同士で話すときに、その言葉を使う理由【B枠】を聞いた（図 2-2-3）。

「サポート」《外来語》については、「やわらかい感じだから」（30.0%）が3割でもっとも多く、次いで、「新しい感じだから」（26.6%）である。

「支援」《漢語》については、「やわらかい感じだから」（39.9%）が4割でもっとも多く、次いで、「知的な感じだから」（18.0%）の2割弱である。

「手助け」《和語》については、「やわらかい感じだから」（70.1%）が7割を占める。

次に、性別、年齢別、職業別にみていく（表 2-2-2）。

性別にみると、「手助け」《和語》を使う理由で、女性が男性より多いのは「やわらかい感じだから」（男性 66.0%、女性 73.1%）である。

年齢別にみると、「サポート」《外来語》については、「新しい感じだから」が15～19歳（37.5%）、70歳以上（32.1%）の年齢層で3割以上である。「やわらかい感じだから」は30～34歳（38.2%）、45～49歳（38.2%）で4割弱である。「支援」《漢語》については、「やわらかい感じだから」が40～44歳（47.6%）、60～64歳（47.9%）で5割弱である。

職業別にみると、「サポート」《外来語》を使う理由に、「新しい感じだから」をあげる人は学生（36.1%）に多い。また、「支援」《漢語》を使う理由に、「やわらかい感じだから」をあげる人は商工サービス業（46.1%）で5割近い。

表 2-2-2 その言葉を使う理由【B枠】 (性別, 年齢別, 職業別)

	サポート						支援						手助け					
	該 当 数	新 しい 感 じ だ か ら	知 的 な 感 じ だ か ら	し や れ た 感 じ だ か ら	や わ ら か い 感 じ だ か ら	格 調 高 い 感 じ だ か ら	該 当 数	新 しい 感 じ だ か ら	知 的 な 感 じ だ か ら	し や れ た 感 じ だ か ら	や わ ら か い 感 じ だ か ら	格 調 高 い 感 じ だ か ら	該 当 数	新 しい 感 じ だ か ら	知 的 な 感 じ だ か ら	し や れ た 感 じ だ か ら	や わ ら か い 感 じ だ か ら	格 調 高 い 感 じ だ か ら
	n	%	%	%	%	%	n	%	%	%	%	%	n	%	%	%	%	%
総 数	1,033	26.6	10.1	9.3	30.0	1.0	790	3.4	18.0	0.9	39.9	5.7	1,204	1.7	2.2	1.3	70.1	1.2
[性 別]																		
男 性	462	26.0	10.2	9.7	28.8	0.6	419	3.8	19.3	0.7	37.9	7.2	512	2.5	2.5	1.6	66.0	1.2
女 性	571	27.1	10.0	8.9	31.0	1.2	371	3.0	16.4	1.1	42.0	4.0	692	1.2	1.9	1.2	73.1	1.2
[年 齢]																		
15～19歳	56	37.5	10.7	16.1	21.4	1.8	25	4.0	48.0	-	20.0	8.0	54	1.9	5.6	1.9	70.4	-
20～24歳	72	29.2	13.9	11.1	27.8	1.4	24	4.2	25.0	-	41.7	8.3	36	2.8	-	-	86.1	2.8
25～29歳	77	28.6	9.1	9.1	27.3	2.6	18	5.6	38.9	-	16.7	5.6	43	2.3	7.0	-	72.1	-
30～34歳	110	24.5	9.1	5.5	38.2	-	54	-	24.1	-	37.0	9.3	67	-	-	1.5	77.6	1.5
35～39歳	142	28.2	14.1	5.6	23.9	-	63	3.2	20.6	-	41.3	6.3	68	2.9	1.5	-	73.5	1.5
40～44歳	117	26.5	13.7	8.5	26.5	0.9	63	-	23.8	1.6	47.6	-	74	2.7	4.1	-	70.3	1.4
45～49歳	76	23.7	6.6	9.2	38.2	-	68	1.5	13.2	-	38.2	4.4	74	-	-	-	78.4	1.4
50～54歳	92	23.9	10.9	10.9	33.7	-	74	1.4	23.0	-	40.5	6.8	106	1.9	1.9	-	70.8	1.9
55～59歳	100	24.0	2.0	8.0	35.0	1.0	103	2.9	17.5	1.0	35.0	5.8	133	0.8	3.0	2.3	68.4	3.0
60～64歳	92	21.7	7.6	12.0	29.3	2.2	94	4.3	7.4	1.1	47.9	7.4	145	1.4	2.8	2.8	71.7	-
65～69歳	46	26.1	8.7	13.0	28.3	-	85	5.9	11.8	-	41.2	5.9	147	2.7	1.4	2.0	69.4	0.7
70歳以上	53	32.1	13.2	11.3	28.3	3.8	119	6.7	12.6	3.4	41.2	4.2	257	1.9	1.6	1.6	62.3	0.8
[職 業]																		
農 林 水 産 業	16	43.8	6.3	12.5	18.8	-	34	2.9	11.8	2.9	35.3	-	76	2.6	1.3	3.9	63.2	1.3
商 工 サ ー ビ ス 業	82	28.0	6.1	3.7	26.8	1.2	89	5.6	16.9	2.2	46.1	1.1	132	2.3	1.5	1.5	73.5	0.8
管 理 職	39	23.1	10.3	2.6	30.8	-	23	4.3	13.0	-	39.1	13.0	8	-	-	12.5	62.5	-
事 務 職	260	22.3	11.2	8.1	34.2	0.8	131	1.5	16.8	0.8	39.7	8.4	122	0.8	1.6	-	74.6	2.5
労 務 職	191	29.8	9.4	8.4	30.9	1.0	150	2.7	19.3	-	42.7	8.0	226	1.3	2.7	0.4	73.9	0.9
主 婦	242	23.6	9.9	10.7	30.2	1.2	185	3.2	16.8	0.5	40.0	2.7	336	1.5	2.1	0.9	74.4	0.9
学 生	83	36.1	9.6	15.7	25.3	1.2	30	3.3	53.3	-	13.3	6.7	61	1.6	4.9	1.6	73.8	-
そ の 他 の 無 職	84	28.6	15.5	14.3	28.6	1.2	128	3.9	14.8	1.6	38.3	6.3	223	2.2	2.2	1.8	57.4	1.3
自 由 業	18	27.8	11.1	5.6	16.7	-	13	15.4	15.4	-	46.2	15.4	14	-	-	7.1	71.4	7.1
専 門 技 術 職	18	27.8	-	5.6	22.2	-	7	-	14.3	-	57.1	14.3	6	16.7	-	-	50.0	-

3 大勢の人の前で話す場面 <サポート/支援/手助け>

(1) 大勢の人の前で話すときに使う言葉

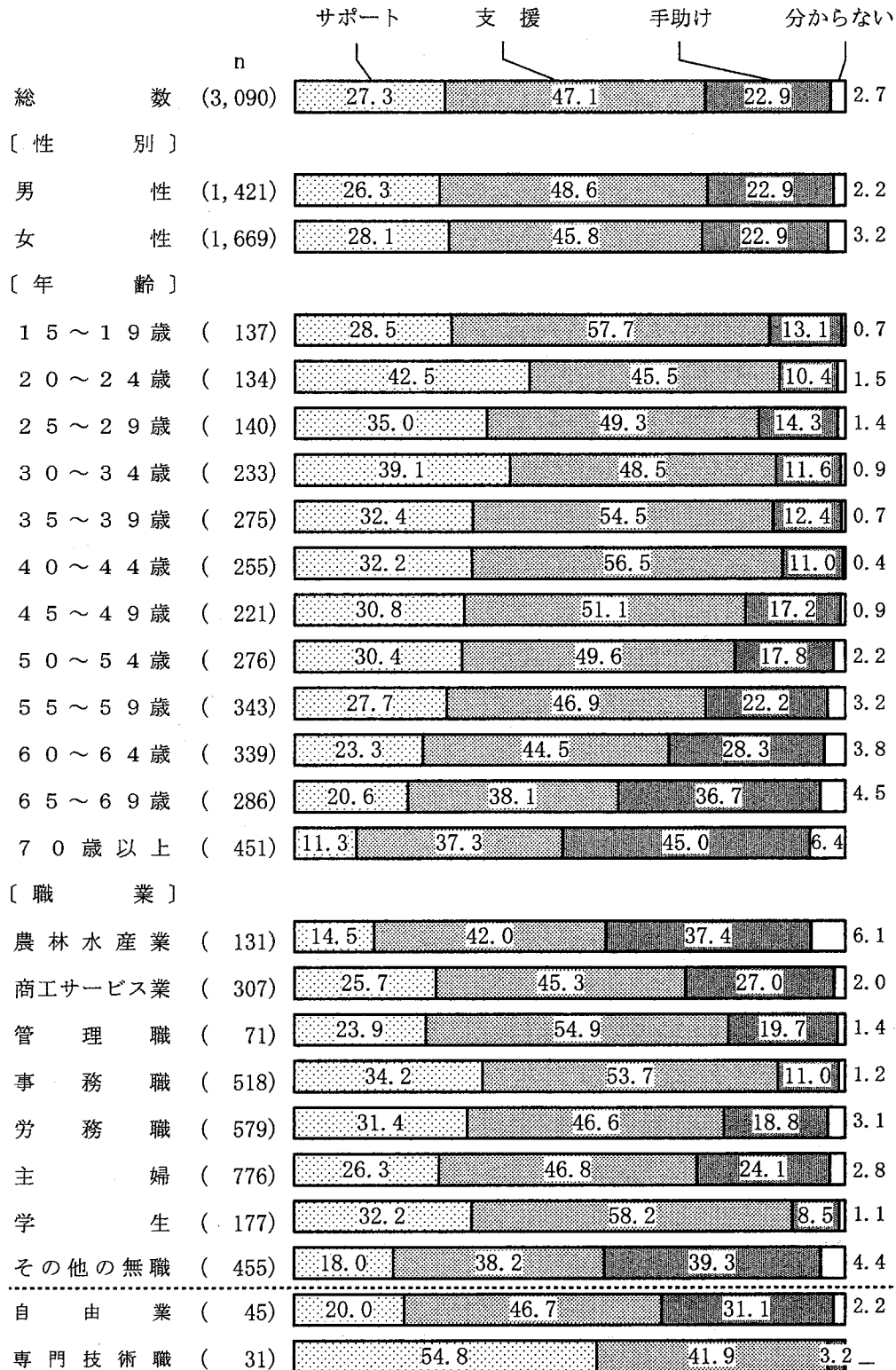
大勢の人の前で話すときに使う言葉を、性別、年齢別、職業別にみていく(図 2-3-1)。

性別にみると、差はみられない。

年齢別にみると、「サポート」《外来語》は若年層ほど、「手助け」《和語》は高齢層ほど多く使われる傾向にある。

職業別にみると、「サポート」《外来語》は事務職(34.2%)で、「支援」《漢語》は学生(58.2%)で、「手助け」《和語》はその他の無職(39.3%)、農林水産業(37.4%)で、それぞれ他の職業層に比べて多い。

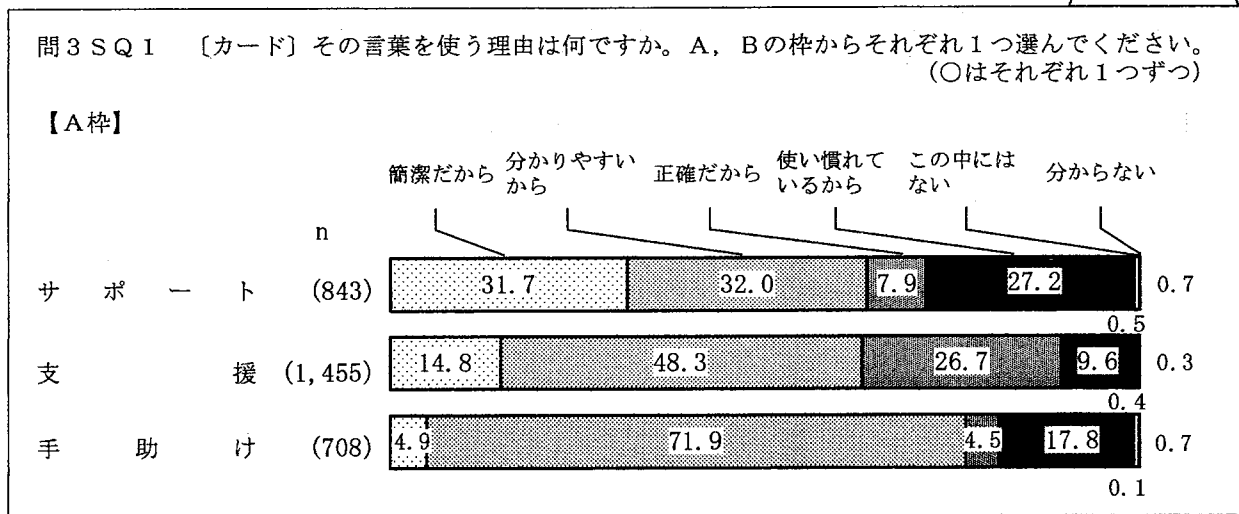
図 2-3-1 大勢の人の前で話すときに使う言葉 (性別, 年齢別, 職業別)



*「自由業」と「専門技術職」は、回答者数が50人より小さいので参照するにとどめ、分析の対象からは外してある。

(2) その言葉を使う理由【A枠】

図 2-3-2



大勢の人の前で話すときに、その言葉を使う理由【A枠】を聞いた(図 2-3-2)。

「サポート」《外来語》については、「分かりやすいから」(32.0%)、「簡潔だから」(31.7%)が3割強、「使い慣れているから」(27.2%)が3割弱である。

「支援」《漢語》については、「分かりやすいから」(48.3%)が5割弱、「正確だから」(26.7%)3割弱である。

「手助け」《和語》については、「分かりやすいから」(71.9%)が7割強を占める。

次に、性別、年齢別、職業別にみていく(表 2-3-1)。

性別にみると、「手助け」《和語》を使う理由で、女性が男性より多いのは「分かりやすいから」(男性 68.9%, 女性 74.4%)である。

年齢別にみると、「サポート」《外来語》については、「簡潔だから」は35~39歳(42.7%)で多く、「分かりやすいから」は55~69歳(55~59歳 42.1%, 60~64歳 41.8%, 65~69歳 44.1%)で多い。「支援」《漢語》については、「分かりやすいから」は50~54歳(56.2%), 60~64歳(57.0%)で多く、「正確だから」は15~24歳(15~19歳 45.6%, 20~24歳 44.3%)で多い。「手助け」《和語》については、「使い慣れているから」は70歳以上(23.6%)で多い。

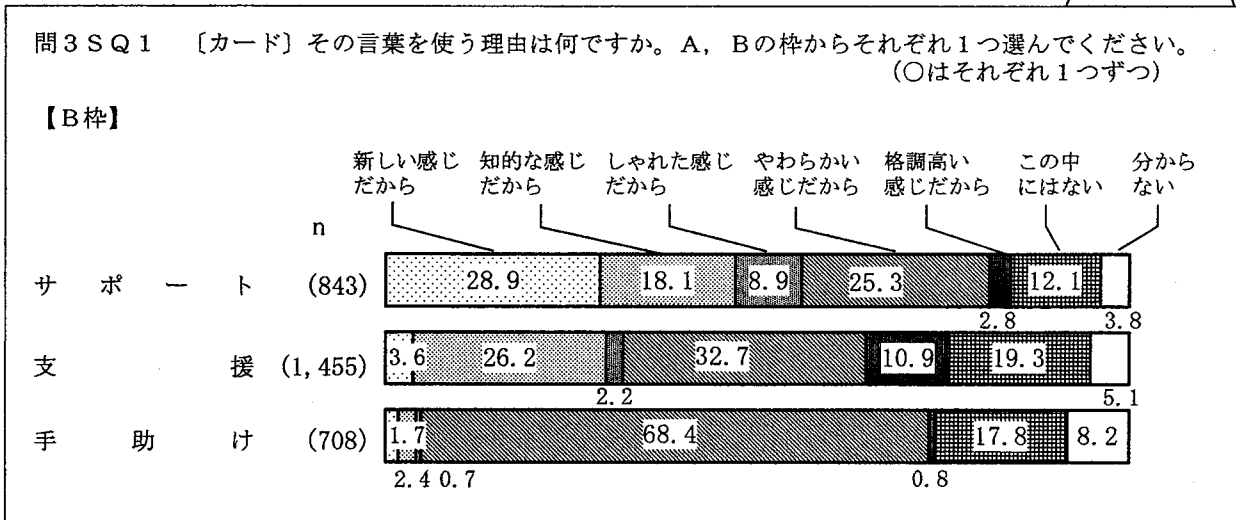
職業別にみると、「サポート」《外来語》を使う理由に、「分かりやすいから」をあげる人は管理職(58.8%)で多く、「正確だから」をあげる人は労務職(12.1%)で多い。「支援」《漢語》を使う理由に、「分かりやすいから」をあげる人はその他の無職(58.0%)で多く、「正確だから」をあげる人は学生(46.6%)で多い。「手助け」《和語》を使う理由に、「分かりやすいから」をあげる人は事務職(84.2%)で多い。

表 2-3-1 その言葉を使う理由【A枠】 (性別, 年齢別, 職業別)

	サポート					支援					手助け				
	該 当 数	簡 潔 だ か ら	分 か り や す い か ら	正 確 だ か ら	使 い 慣 れ て い る か ら	該 当 数	簡 潔 だ か ら	分 か り や す い か ら	正 確 だ か ら	使 い 慣 れ て い る か ら	該 当 数	簡 潔 だ か ら	分 か り や す い か ら	正 確 だ か ら	使 い 慣 れ て い る か ら
	n	%	%	%	%	n	%	%	%	%	n	%	%	%	%
総 数	843	31.7	32.0	7.9	27.2	1,455	14.8	48.3	26.7	9.6	708	4.9	71.9	4.5	17.8
〔 性 別 〕															
男 性	374	29.9	33.4	7.2	28.6	691	13.7	47.2	25.6	12.2	325	5.2	68.9	5.5	19.1
女 性	469	33.0	30.9	8.5	26.0	764	15.7	49.3	27.6	7.2	383	4.7	74.4	3.7	16.7
〔 年 齢 〕															
15～19歳	39	41.0	28.2	10.3	17.9	79	22.8	29.1	45.6	2.5	18	5.6	83.3	5.6	5.6
20～24歳	57	29.8	19.3	10.5	40.4	61	13.1	39.3	44.3	1.6	14	-	85.7	7.1	7.1
25～29歳	49	34.7	32.7	6.1	24.5	69	15.9	42.0	37.7	4.3	20	-	70.0	15.0	15.0
30～34歳	91	33.0	29.7	8.8	28.6	113	22.1	36.3	31.0	10.6	27	3.7	66.7	14.8	11.1
35～39歳	89	42.7	18.0	2.2	36.0	150	20.0	44.0	27.3	7.3	34	5.9	67.6	5.9	17.6
40～44歳	82	36.6	25.6	12.2	23.2	144	14.6	47.9	30.6	6.9	28	7.1	75.0	3.6	14.3
45～49歳	68	32.4	30.9	13.2	22.1	113	12.4	47.8	28.3	9.7	38	2.6	76.3	5.3	15.8
50～54歳	84	26.2	33.3	11.9	28.6	137	16.8	56.2	18.2	8.0	49	6.1	79.6	2.0	12.2
55～59歳	95	24.2	42.1	7.4	25.3	161	10.6	50.9	24.2	13.7	76	5.3	72.4	3.9	18.4
60～64歳	79	27.8	41.8	5.1	24.1	151	11.9	57.0	19.9	9.9	96	8.3	69.8	4.2	16.7
65～69歳	59	25.4	44.1	3.4	25.4	109	11.9	50.5	22.0	15.6	105	3.8	75.2	2.9	17.1
70歳以上	51	29.4	39.2	3.9	25.5	168	10.1	57.7	17.3	14.3	203	4.4	67.5	3.4	23.6
〔 職 業 〕															
農 林 水 産 業	19	47.4	36.8	10.5	5.3	55	16.4	50.9	16.4	12.7	49	4.1	69.4	-	26.5
商 工 サ ー ビ ス 業	79	32.9	24.1	7.6	34.2	139	10.8	51.1	25.2	12.2	83	8.4	67.5	8.4	15.7
管 理 職	17	17.6	58.8	-	23.5	39	5.1	61.5	17.9	15.4	14	7.1	78.6	-	-
事 務 職	177	29.4	29.4	8.5	32.2	278	16.2	46.0	27.3	9.4	57	7.0	84.2	3.5	5.3
労 務 職	182	30.2	31.3	12.1	26.4	270	17.4	45.6	27.8	8.9	109	2.8	66.1	8.3	22.0
主 婦	204	33.8	34.8	5.4	23.0	363	14.0	49.3	27.8	8.8	187	4.3	72.7	3.7	18.7
学 生	57	35.1	24.6	10.5	28.1	103	19.4	29.1	46.6	3.9	15	6.7	80.0	6.7	6.7
その他の無職	82	31.7	36.6	6.1	24.4	174	13.8	58.0	14.9	12.1	179	3.9	72.1	2.8	20.7
自 由 業	9	11.1	33.3	-	55.6	21	4.8	57.1	28.6	9.5	14	14.3	78.6	7.1	-
専 門 技 術 職	17	35.3	41.2	-	23.5	13	7.7	53.8	38.5	-	1	-	-	-	-

(3) その言葉を使う理由【B枠】

図 2-3-3



大勢の人の前で話すときに、その言葉を使う理由【B枠】を聞いた(図 2-3-3)。

「サポート」《外来語》については、「新しい感じだから」(28.9%)、「やわらかい感じだから」(25.3%)が3割弱、「知的な感じだから」(18.1%)が2割弱である。

「支援」《漢語》については、「やわらかい感じだから」(32.7%)が3割強、「知的な感じだから」(26.2%)が3割弱である。

「手助け」《和語》については、「やわらかい感じだから」(68.4%)が7割弱を占める。

次に、性別、年齢別、職業別にみていく(表 2-3-2)。

性別にみると、「手助け」《和語》を使う理由で、女性が男性より多いのは「やわらかい感じだから」(男性 64.3%、女性 71.8%)である。

年齢別にみると、「サポート」《外来語》については、「新しい感じだから」は70歳以上(43.1%)で、「やわらかい感じだから」は30~34歳(38.5%)で、「知的な感じだから」は20~24歳(35.1%)で、それぞれ他の年齢層に比べて多い。「支援」《漢語》を使う理由に、「知的な感じだから」をあげる人は若年層ほど多くなる傾向がみられる。

職業別にみると、「サポート」《外来語》を使う理由に、「新しい感じだから」をあげる人は労務職(34.6%)、商工サービス業(34.2%)、学生(33.3%)が多い。「支援」《漢語》を使う理由に「知的な感じだから」をあげる人は学生(58.3%)で多く、「手助け」《和語》を使う理由に「やわらかい感じだから」をあげる人は主婦(74.9%)が多い。

表 2-3-2 その言葉を使う理由【B 枠】 (性別, 年齢別, 職業別)

	サポート						支援						手助け					
	該 当 数	新 しい 感 じ だ か ら	知 的 な 感 じ だ か ら	し や れ た 感 じ だ か ら	や わ ら か い 感 じ だ か ら	格 調 高 い 感 じ だ か ら	該 当 数	新 しい 感 じ だ か ら	知 的 な 感 じ だ か ら	し や れ た 感 じ だ か ら	や わ ら か い 感 じ だ か ら	格 調 高 い 感 じ だ か ら	該 当 数	新 しい 感 じ だ か ら	知 的 な 感 じ だ か ら	し や れ た 感 じ だ か ら	や わ ら か い 感 じ だ か ら	格 調 高 い 感 じ だ か ら
	n	%	%	%	%	%	n	%	%	%	%	%	n	%	%	%	%	%
総 数	843	28.9	18.1	8.9	25.3	2.8	1,455	3.6	26.2	2.2	32.7	10.9	708	1.7	2.4	0.7	68.4	0.8
〔 性 別 〕																		
男 性	374	27.5	16.8	9.6	25.9	2.7	691	2.7	25.6	2.0	33.0	12.0	325	3.1	1.8	0.6	64.3	0.6
女 性	469	30.1	19.2	8.3	24.7	3.0	764	4.5	26.7	2.4	32.5	9.8	383	0.5	2.9	0.8	71.8	1.0
〔 年 齢 〕																		
15～19歳	39	35.9	15.4	7.7	23.1	7.7	79	5.1	57.0	-	12.7	16.5	18	-	5.6	-	72.2	-
20～24歳	57	21.1	35.1	5.3	17.5	5.3	61	1.6	44.3	-	21.3	19.7	14	7.1	7.1	-	64.3	7.1
25～29歳	49	30.6	26.5	10.2	14.3	2.0	69	2.9	46.4	2.9	17.4	11.6	20	5.0	10.0	-	65.0	-
30～34歳	91	22.0	20.9	2.2	38.5	1.1	113	0.9	32.7	3.5	31.0	15.0	27	7.4	-	-	74.1	-
35～39歳	89	30.3	16.9	9.0	20.2	1.1	150	3.3	29.3	1.3	32.7	10.0	34	2.9	5.9	-	61.8	2.9
40～44歳	82	25.6	19.5	7.3	28.0	4.9	144	1.4	20.8	2.8	37.5	11.8	28	-	7.1	-	64.3	3.6
45～49歳	68	32.4	16.2	5.9	22.1	5.9	113	2.7	27.4	1.8	26.5	12.4	38	-	-	-	76.3	-
50～54歳	84	27.4	21.4	13.1	26.2	-	137	3.6	26.3	-	31.4	8.0	49	2.0	4.1	-	69.4	-
55～59歳	95	32.6	10.5	12.6	28.4	3.2	161	5.0	19.9	4.3	31.7	9.9	76	1.3	2.6	-	75.0	-
60～64歳	79	25.3	8.9	12.7	27.8	2.5	151	3.3	16.6	2.0	44.4	9.3	96	-	4.2	-	77.1	-
65～69歳	59	28.8	20.3	8.5	25.4	-	109	6.4	15.6	2.8	35.8	10.1	105	1.0	-	-	70.5	-
70歳以上	51	43.1	11.8	11.8	19.6	3.9	168	6.0	14.9	3.0	43.5	6.0	203	2.0	0.5	2.5	60.1	1.5
〔 職 業 〕																		
農 林 水 産 業	19	36.8	10.5	15.8	21.1	-	55	5.5	25.5	1.8	32.7	7.3	49	2.0	-	4.1	67.3	-
商 工 サ ー ビ ス 業	79	34.2	10.1	3.8	27.8	2.5	139	3.6	22.3	2.2	38.8	11.5	83	4.8	2.4	-	71.1	-
管 理 職	17	17.6	17.6	-	35.3	-	39	-	15.4	-	35.9	7.7	14	-	-	-	71.4	-
事 務 職	177	20.9	20.9	9.6	28.2	3.4	278	1.8	26.3	2.2	33.8	12.9	57	-	1.8	-	71.9	-
労 務 職	182	34.6	20.3	6.0	22.5	3.8	270	5.6	28.9	2.6	29.3	12.2	109	2.8	4.6	-	71.6	-
主 婦	204	28.9	18.1	12.7	23.0	1.5	363	3.6	22.0	2.5	32.8	9.6	187	-	3.2	0.5	74.9	1.1
学 生	57	33.3	19.3	7.0	21.1	7.0	103	4.9	58.3	-	13.6	14.6	15	-	6.7	-	66.7	-
そ の 他 の 無 職	82	26.8	19.5	12.2	29.3	2.4	174	4.0	18.4	3.4	39.7	5.2	179	2.2	1.1	1.1	60.3	1.7
自 由 業	9	22.2	22.2	11.1	11.1	-	21	-	19.0	-	42.9	23.8	14	-	-	-	35.7	7.1
専 門 技 術 職	17	29.4	-	-	35.3	-	13	-	23.1	-	46.2	15.4	1	-	-	-	-	-

4 初対面のお年寄りと話す場面 <サポート/支援/手助け>

(1) 初対面のお年寄りと話すときに使う言葉

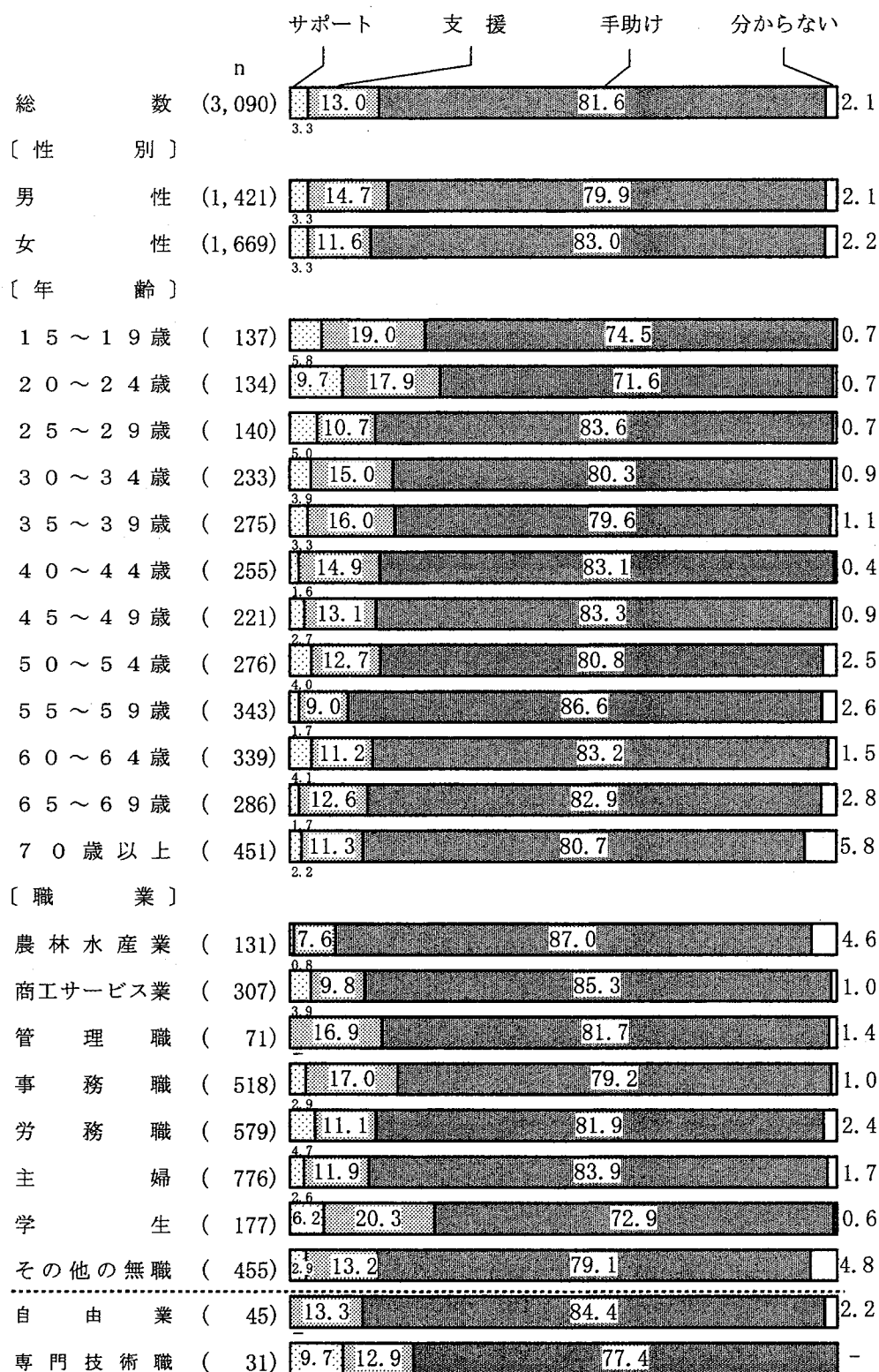
初めて会うお年寄りと話すときに使う言葉を、性別、年齢別、職業別にみていく(図 2-4-1)。

性別にみると、大きな差はみられない。

年齢別にみると、いずれの年齢層でも「手助け」《和語》が多数を占める。

職業別にみると、いずれの職業層でも「手助け」《和語》が多数を占めているが、学生では「支援」《漢語》(20.3%)もやや多い。

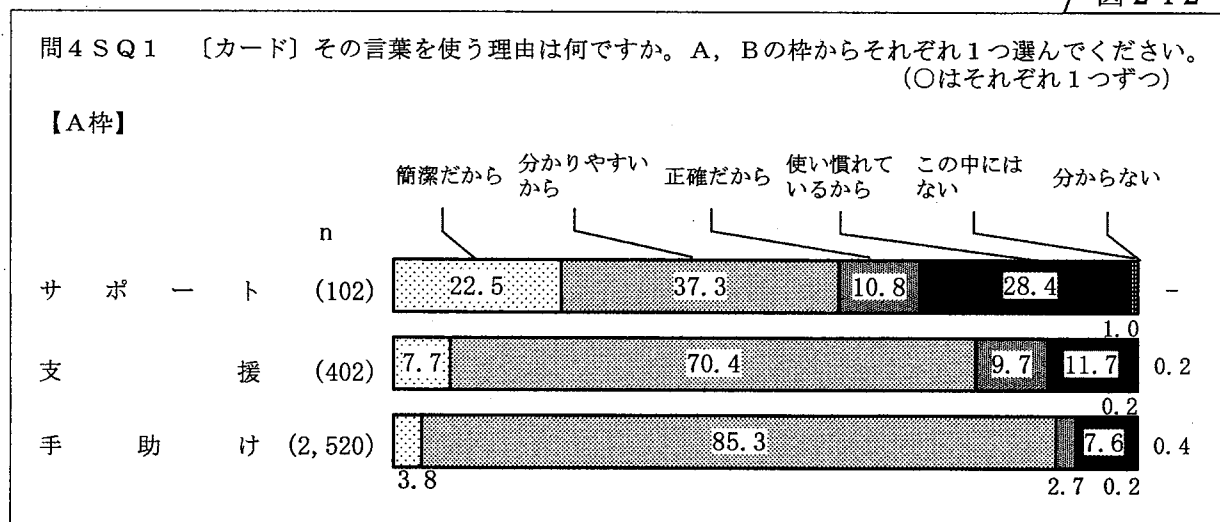
図 2-4-1 初対面のお年寄りと話すときに使う言葉 (性別, 年齢別, 職業別)



*「自由業」と「専門技術職」は、回答者数が50人より小さいので参照するにとどめ、分析の対象からは外してある。

(2) その言葉を使う理由【A枠】

図 2-4-2



初めて会うお年寄りと話すときに、その言葉を使う理由【A枠】を聞いた(図 2-4-2)。

「サポート」《外来語》を使う理由では、「分かりやすいから」(37.3%)が4割弱でもっとも多く、「使い慣れているから」(28.4%)が3割弱である。

「支援」《漢語》を使う理由では、「分かりやすいから」(70.4%)が7割を占める。

「手助け」《和語》を使う理由では、「分かりやすいから」(85.3%)が8割5分を占める。

次に、性別、年齢別、職業別にみていく(表 2-4-1)。

性別にみると、「サポート」《外来語》を使う理由で、男性が女性より多いのは「使い慣れているから」(男性 31.9%, 女性 25.5%)である。女性が男性より多いのは「正確だから」(男性 6.4%, 女性 14.5%)である。「支援」《漢語》を使う理由で、女性が男性より多いのは「分かりやすいから」(男性 65.6%, 女性 75.6%)である。

年齢別にみると、「手助け」《和語》を使う理由では、「分かりやすいから」が15~24歳(15~19歳 88.2%, 20~24歳 91.7%), 30~34歳(89.8%), 45~54歳(45~49歳 89.1%, 50~54歳 89.2%)の各年齢層で9割前後ときわめて多い。

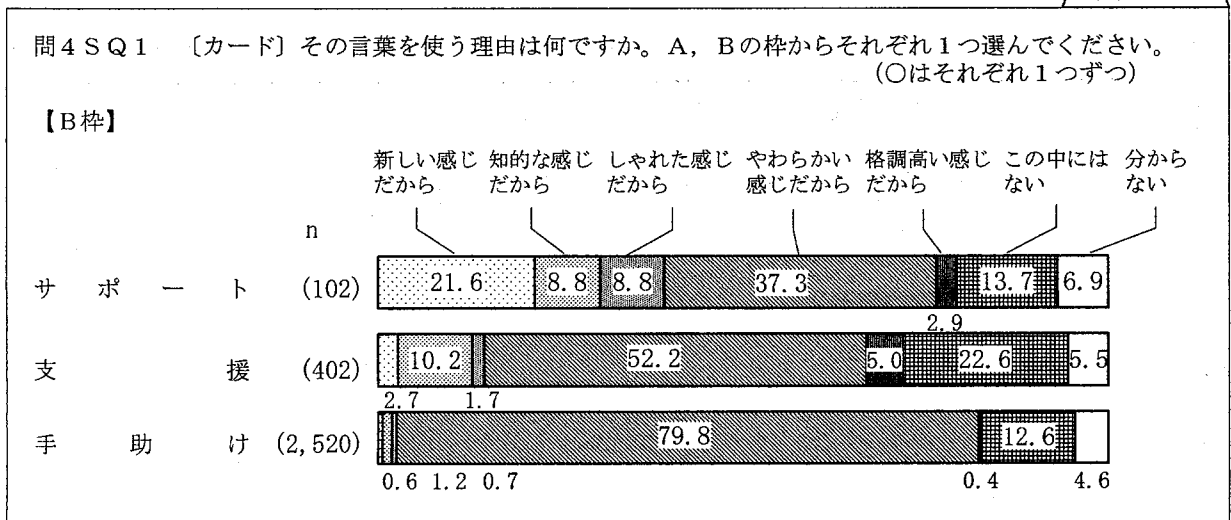
職業別にみると、「手助け」《和語》を使う理由では、「使い慣れているから」が農林水産業(14.0%), その他の無職(13.3%)で、他の職業層に比べてやや多い。

表 2-4-1 その言葉を使う理由【A枠】 (性別, 年齢別, 職業別)

	サポート					支援					手助け				
	該 当 数	簡 潔 だ か ら	分 か り や す い か ら	正 確 だ か ら	使 い 慣 れ て い る か ら	該 当 数	簡 潔 だ か ら	分 か り や す い か ら	正 確 だ か ら	使 い 慣 れ て い る か ら	該 当 数	簡 潔 だ か ら	分 か り や す い か ら	正 確 だ か ら	使 い 慣 れ て い る か ら
	n	%	%	%	%	n	%	%	%	%	n	%	%	%	%
総 数	102	22.5	37.3	10.8	28.4	402	7.7	70.4	9.7	11.7	2,520	3.8	85.3	2.7	7.6
[性 別]															
男 性	47	21.3	38.3	6.4	31.9	209	10.0	65.6	11.5	12.4	1,135	4.6	83.6	3.3	7.7
女 性	55	23.6	36.4	14.5	25.5	193	5.2	75.6	7.8	10.9	1,385	3.2	86.7	2.3	7.5
[年 齢]															
15～19歳	8	37.5	12.5	12.5	25.0	26	26.9	53.8	15.4	3.8	102	7.8	88.2	-	3.9
20～24歳	13	30.8	30.8	15.4	23.1	24	4.2	75.0	20.8	-	96	4.2	91.7	2.1	2.1
25～29歳	7	14.3	57.1	-	28.6	15	6.7	86.7	6.7	-	117	3.4	83.8	6.0	6.8
30～34歳	9	33.3	44.4	-	22.2	35	5.7	85.7	5.7	2.9	187	1.1	89.8	4.8	3.7
35～39歳	9	11.1	11.1	-	77.8	44	11.4	63.6	11.4	13.6	219	7.8	85.4	1.8	5.0
40～44歳	4	50.0	-	25.0	25.0	38	-	76.3	7.9	15.8	212	5.2	86.8	2.8	4.7
45～49歳	6	-	50.0	16.7	33.3	29	6.9	79.3	3.4	10.3	184	3.3	89.1	2.7	4.3
50～54歳	11	27.3	36.4	27.3	9.1	35	5.7	68.6	14.3	11.4	223	4.0	89.2	1.8	4.9
55～59歳	6	-	-	33.3	66.7	31	6.5	74.2	6.5	12.9	297	3.0	85.9	3.0	7.7
60～64歳	14	35.7	50.0	7.1	7.1	38	10.5	65.8	7.9	10.5	282	2.8	83.7	3.5	9.2
65～69歳	5	-	100.0	-	-	36	2.8	58.3	16.7	22.2	237	3.4	81.4	2.1	11.8
70歳以上	10	10.0	50.0	-	40.0	51	7.8	68.6	3.9	19.6	364	2.7	79.1	2.2	14.6
[職 業]															
農 林 水 産 業	1	100.0	-	-	-	10	-	80.0	-	20.0	114	2.6	80.7	1.8	14.0
商 工 サ ー ビ ス 業	12	8.3	16.7	25.0	50.0	30	3.3	66.7	10.0	16.7	262	3.4	85.5	3.1	7.3
管 理 職	-	-	-	-	-	12	-	83.3	-	16.7	58	6.9	82.8	1.7	3.4
事 務 職	15	13.3	33.3	13.3	40.0	88	8.0	68.2	11.4	12.5	410	4.9	90.2	2.0	2.9
労 務 職	27	37.0	40.7	11.1	11.1	64	9.4	73.4	9.4	7.8	474	3.2	84.8	4.2	7.8
主 婦	20	15.0	45.0	5.0	35.0	92	4.3	78.3	4.3	13.0	651	2.5	86.8	2.5	7.8
学 生	11	36.4	9.1	9.1	36.4	36	22.2	55.6	19.4	2.8	129	7.0	88.4	1.6	3.1
そ の 他 の 無 職	13	7.7	61.5	7.7	23.1	60	6.7	66.7	11.7	13.3	360	3.6	78.6	3.3	13.3
自 由 業	-	-	-	-	-	6	16.7	50.0	33.3	-	38	5.3	92.1	-	2.6
専 門 技 術 職	3	33.3	66.7	-	-	4	-	75.0	-	25.0	24	20.8	70.8	-	4.2

(3) その言葉を使う理由【B枠】

図 2-4-3



初めて会うお年寄りと話すときに、その言葉を使う理由【B枠】を聞いた(図 2-4-3)。

「サポート」《外来語》を使う理由では、「やわらかい感じだから」(37.3%)がもっとも多く、次いで、「新しい感じだから」(21.6%)である。

「支援」《漢語》を使う理由では、「やわらかい感じだから」(52.2%)が5割強でもっとも多い。

「手助け」《和語》を使う理由では、「やわらかい感じだから」(79.8%)が8割を占めてもっとも多い。

次に、性別、年齢別、職業別にみていく(表 2-4-2)。

性別にみると、「支援」《漢語》を使う理由で、女性が男性より多いのは、「やわらかい感じだから」(男性 49.3%, 女性 55.4%)である。

年齢別にみると、「手助け」《和語》を使う理由で、「やわらかい感じだから」は20~24歳(87.5%)で多い。

職業別にみると、「支援」《漢語》を使う理由に、「やわらかい感じだから」をあげる人は、労務職(59.4%),主婦(58.7%),事務職(55.7%)で多い。また、「手助け」《和語》を使う理由に、「やわらかい感じだから」をあげる人は、学生(85.3%),労務職(84.4%),商工サービス業(84.0%)で多い。

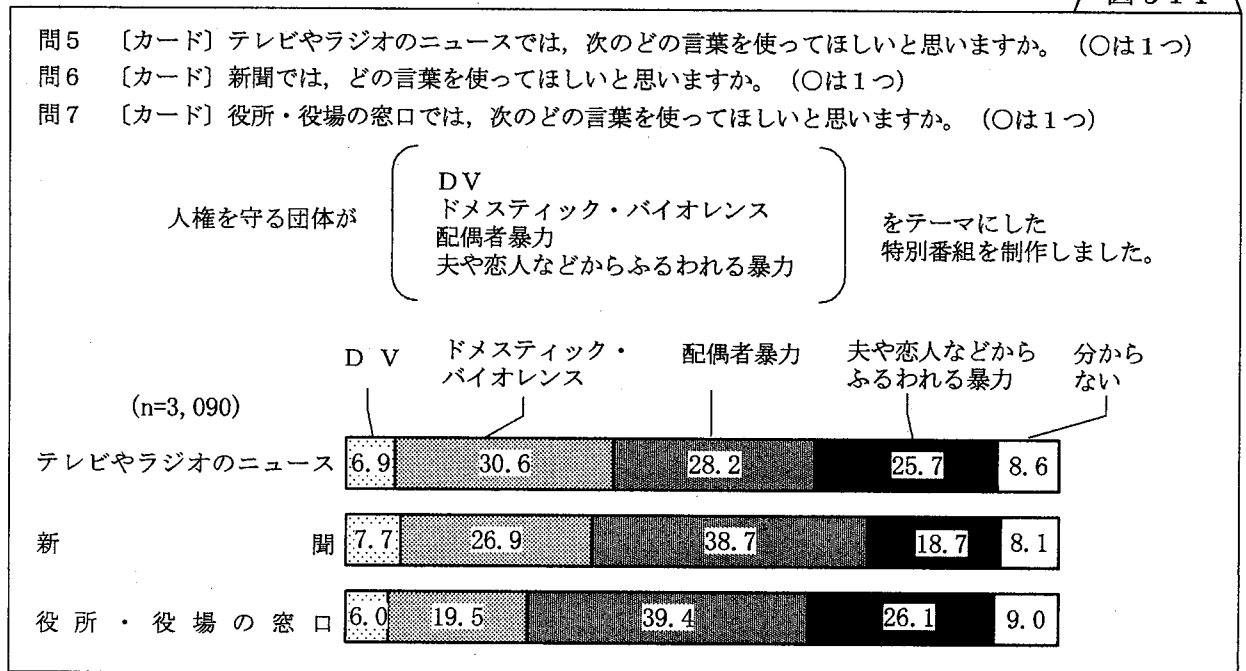
表 2-4-2 その言葉を使う理由【B枠】 (性別, 年齢別, 職業別)

	サポート						支援						手助け					
	該 当 数	新 し い 感 じ だ か ら	知 的 な 感 じ だ か ら	し や れ た 感 じ だ か ら	や わ ら か い 感 じ だ か ら	格 調 高 い 感 じ だ か ら	該 当 数	新 し い 感 じ だ か ら	知 的 な 感 じ だ か ら	し や れ た 感 じ だ か ら	や わ ら か い 感 じ だ か ら	格 調 高 い 感 じ だ か ら	該 当 数	新 し い 感 じ だ か ら	知 的 な 感 じ だ か ら	し や れ た 感 じ だ か ら	や わ ら か い 感 じ だ か ら	格 調 高 い 感 じ だ か ら
	n	%	%	%	%	%	n	%	%	%	%	%	n	%	%	%	%	%
総 数	102	21.6	8.8	8.8	37.3	2.9	402	2.7	10.2	1.7	52.2	5.0	2,520	0.6	1.2	0.7	79.8	0.4
[性 別]																		
男 性	47	23.4	6.4	4.3	40.4	-	209	3.3	10.0	2.4	49.3	5.7	1,135	1.0	1.5	0.7	78.9	0.4
女 性	55	20.0	10.9	12.7	34.5	5.5	193	2.1	10.4	1.0	55.4	4.1	1,385	0.4	0.9	0.7	80.6	0.4
[年 齢]																		
15～19歳	8	37.5	12.5	-	37.5	-	26	-	42.3	-	34.6	3.8	102	-	2.0	1.0	85.3	-
20～24歳	13	38.5	7.7	15.4	30.8	-	24	4.2	16.7	-	45.8	12.5	96	1.0	-	1.0	87.5	1.0
25～29歳	7	42.9	-	28.6	14.3	14.3	15	-	6.7	-	46.7	13.3	117	1.7	1.7	0.9	84.6	-
30～34歳	9	22.2	11.1	-	33.3	-	35	2.9	11.4	-	48.6	11.4	187	0.5	0.5	0.5	81.8	0.5
35～39歳	9	-	22.2	-	33.3	-	44	2.3	13.6	2.3	40.9	4.5	219	-	1.4	-	83.6	1.8
40～44歳	4	25.0	25.0	-	25.0	25.0	38	-	7.9	2.6	73.7	-	212	0.5	0.9	-	81.1	-
45～49歳	6	33.3	-	16.7	50.0	-	29	3.4	6.9	3.4	48.3	3.4	184	-	0.5	-	83.2	0.5
50～54歳	11	-	9.1	27.3	36.4	-	35	2.9	8.6	-	60.0	2.9	223	-	1.8	0.4	77.1	0.4
55～59歳	6	-	16.7	-	66.7	-	31	6.5	9.7	-	54.8	3.2	297	1.0	0.3	0.7	80.5	0.3
60～64歳	14	28.6	-	7.1	28.6	7.1	38	-	2.6	-	65.8	-	282	-	2.5	0.7	79.8	-
65～69歳	5	20.0	20.0	-	20.0	-	36	-	2.8	11.1	33.3	5.6	237	0.8	1.3	0.4	80.6	-
70歳以上	10	10.0	-	-	70.0	-	51	7.8	3.9	-	60.8	5.9	364	1.6	1.1	2.2	69.8	0.3
[職 業]																		
農 林 水 産 業	1	-	-	-	100.0	-	10	-	10.0	-	30.0	10.0	114	1.8	-	1.8	80.7	-
商 工 サ ー ビ ス 業	12	16.7	16.7	-	41.7	-	30	-	10.0	-	50.0	3.3	262	1.1	1.9	0.4	84.0	-
管 理 職	-	-	-	-	-	-	12	-	-	8.3	41.7	16.7	58	-	3.4	-	69.0	-
事 務 職	15	6.7	20.0	6.7	46.7	6.7	88	2.3	6.8	-	55.7	6.8	410	0.5	1.0	0.2	80.5	1.0
労 務 職	27	25.9	3.7	11.1	37.0	3.7	64	1.6	10.9	1.6	59.4	1.6	474	0.6	0.8	0.6	84.4	0.6
主 婦	20	10.0	10.0	15.0	25.0	5.0	92	3.3	6.5	2.2	58.7	4.3	651	0.2	1.1	0.5	80.3	0.2
学 生	11	45.5	9.1	-	27.3	-	36	2.8	36.1	-	36.1	2.8	129	-	1.6	0.8	85.3	-
そ の 他 の 無 職	13	30.8	-	15.4	38.5	-	60	6.7	3.3	3.3	51.7	5.0	360	1.4	1.1	1.9	71.4	0.3
自 由 業	-	-	-	-	-	-	6	-	33.3	16.7	16.7	16.7	38	-	2.6	-	65.8	-
専 門 技 術 職	3	33.3	-	-	66.7	-	4	-	25.0	-	25.0	-	24	-	4.2	-	62.5	4.2

第3章 報道や行政で使ってほしい言葉, 使ってほしい理由

1 報道や行政で使ってほしい言葉 [媒体・場面比較]

図 3-1-1



“テレビやラジオのニュース” “新聞” “役所・役場の窓口” と, 3つの公共性の高い媒体や場面をあげて, 同じ文脈の中で, 「DV」《略語》, 「ドメスティック・バイオレンス」《外来語》, 「配偶者暴力」《言い換え》, 「夫や恋人などからふるわれる暴力」《説明》のうち, どの言葉を使ってほしいと思うか聞いた (図 3-1-1)。

テレビやラジオのニュースでは, 「ドメスティック・バイオレンス」《外来語》 (30.6%), 「配偶者暴力」《言い換え》 (28.2%), 「夫や恋人などからふるわれる暴力」《説明》 (25.7%) がそれぞれ3割程度で並んでいる。

新聞では, 「配偶者暴力」《言い換え》 (38.7%) が4割弱, 次いで, 「ドメスティック・バイオレンス」《外来語》 (26.9%) が3割弱である。

役所・役場の窓口では, 「ドメスティック・バイオレンス」《外来語》 (39.4%) が4割弱, 次いで, 「夫や恋人などからふるわれる暴力」《説明》 (26.1%) が3割弱である。

2 放送で使ってほしい言葉

<DV/ドメスティック・バイオレンス/配偶者暴力/夫や恋人などからふるわれる暴力>

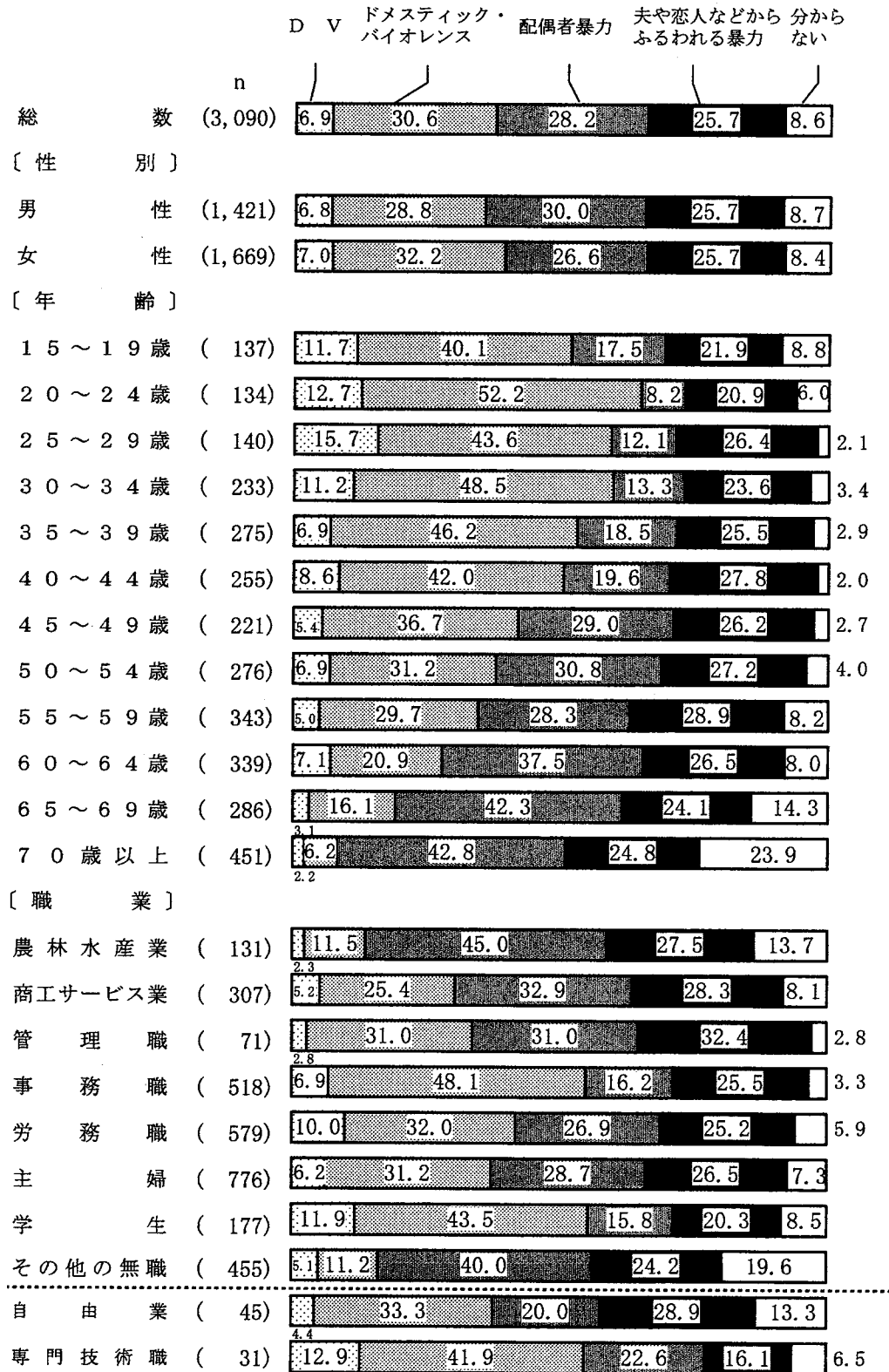
(1) テレビやラジオのニュースで使ってほしい言葉

テレビやラジオのニュースで使ってほしい言葉を, 性別, 年齢別, 職業別にみていく (図 3-2-1)。性別にみると, 大きな差はみられない。

年齢別にみると, 「ドメスティック・バイオレンス」《外来語》は若年層ほど, 「配偶者暴力」《言い換え》は高齢層ほど多くなる傾向がみられる。

職業別にみると, 「ドメスティック・バイオレンス」《外来語》は事務職 (48.1%), 学生 (43.5%) で多い。「配偶者暴力」《言い換え》は農林水産業 (45.0%), その他の無職 (40.0%) で多い。「夫や恋人などからふるわれる暴力」《説明》は管理職 (32.4%) で多い。

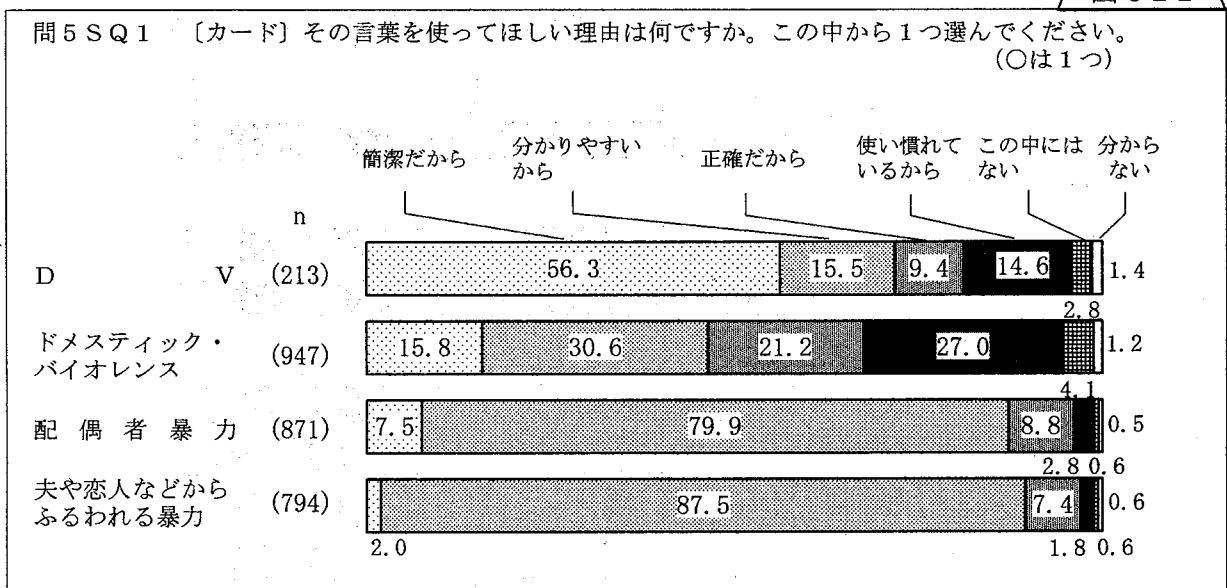
図 3-2-1 テレビやラジオのニュースで使ってほしい言葉 (性別, 年齢別, 職種別)



*「自由業」と「専門技術職」は、回答者数が50人より小さいので参照するにとどめ、分析の対象からは外してある。

(2) その言葉を使ってほしい理由

図 3-2-2



テレビやラジオのニュースで、その言葉を使ってほしい理由を聞いた(図 3-2-2)。

「DV」《略語》を使ってほしい理由では、「簡潔だから」(56.3%)が6割弱でもっとも多い。

「ドメスティック・バイオレンス」《外来語》を使ってほしい理由では、「分かりやすいから」(30.6%)、「使い慣れているから」(27.0%)が3割程度で並んでいる。

「配偶者暴力」《言い換え》を使ってほしい理由では、「分かりやすいから」(79.9%)が8割を占めている。

「夫や恋人などからふるわれる暴力」《説明》を使ってほしい理由では、「分かりやすいから」(87.5%)が9割弱を占めている。

次に、性別、年齢別、職業別にみていく(表 3-2-1)。

性別にみると、「DV」《略語》を使ってほしい理由で、男性が女性より多いのは、「簡潔だから」(男性 60.4%、女性 53.0%)である。「ドメスティック・バイオレンス」《外来語》を使ってほしい理由で、男性が女性より多いのは「使い慣れているから」(男性 30.1%、女性 24.7%)である。「配偶者暴力」《言い換え》を使ってほしい理由で、女性が男性より多いのは「分かりやすいから」(男性 76.6%、女性 83.1%)である。

年齢別にみると、「ドメスティック・バイオレンス」《外来語》を使ってほしい理由に、「分かりやすいから」をあげる人は、30～34歳(43.4%)で多い。「簡潔だから」をあげる人は15～19歳(27.3%)、25～29歳(24.6%)で、他の年齢層より多い。

職業別にみると、「ドメスティック・バイオレンス」《外来語》を使ってほしい理由に「分かりやすいから」をあげる人は、商工サービス業(42.3%)で、他の職業層より多い。

表 3-2-1 その言葉を使ってほしい理由（性別、年齢別、職業別）

	D V					ドメスティック・バイオレンス					配偶者暴力					夫や恋人などからふるわれる暴力				
	該 当 数	簡 潔 だ か ら	分 かり やす い か ら	正 確 だ か ら	使 い 慣 れ て い る か ら	該 当 数	簡 潔 だ か ら	分 かり やす い か ら	正 確 だ か ら	使 い 慣 れ て い る か ら	該 当 数	簡 潔 だ か ら	分 かり やす い か ら	正 確 だ か ら	使 い 慣 れ て い る か ら	該 当 数	簡 潔 だ か ら	分 かり やす い か ら	正 確 だ か ら	使 い 慣 れ て い る か ら
	n	%	%	%	%	n	%	%	%	%	n	%	%	%	%	n	%	%	%	%
総 数	213	56.3	15.5	9.4	14.6	947	15.8	30.6	21.2	27.0	871	7.5	79.9	8.8	2.8	794	2.0	87.5	7.4	1.8
[性 別]																				
男 性	96	60.4	14.6	8.3	14.6	409	15.4	29.8	18.6	30.1	427	8.7	76.6	10.1	3.7	365	2.2	87.9	6.6	2.2
女 性	117	53.0	16.2	10.3	14.5	538	16.2	31.2	23.2	24.7	444	6.3	83.1	7.7	1.8	429	1.9	87.2	8.2	1.4
[年 齢]																				
15～19歳	16	56.3	12.5	18.8	12.5	55	27.3	16.4	23.6	27.3	24	16.7	54.2	29.2	-	30	6.7	83.3	6.7	3.3
20～24歳	17	64.7	17.6	11.8	5.9	70	7.1	32.9	21.4	34.3	11	18.2	63.6	9.1	9.1	28	-	85.7	14.3	-
25～29歳	22	27.3	18.2	27.3	18.2	61	24.6	27.9	27.9	18.0	17	5.9	76.5	11.8	-	37	5.4	86.5	8.1	-
30～34歳	26	65.4	11.5	3.8	11.5	113	8.8	43.4	16.8	26.5	31	12.9	83.9	3.2	-	55	3.6	83.6	7.3	1.8
35～39歳	19	63.2	15.8	5.3	10.5	127	12.6	28.3	24.4	29.1	51	7.8	84.3	5.9	-	70	1.4	82.9	14.3	-
40～44歳	22	59.1	22.7	4.5	4.5	107	19.6	24.3	22.4	28.0	50	10.0	74.0	12.0	2.0	71	1.4	91.5	4.2	-
45～49歳	12	58.3	16.7	-	25.0	81	12.3	23.5	25.9	34.6	64	12.5	73.4	12.5	-	58	1.7	89.7	5.2	1.7
50～54歳	19	63.2	-	10.5	26.3	86	17.4	32.6	19.8	25.6	85	4.7	87.1	7.1	-	75	-	88.0	6.7	4.0
55～59歳	17	52.9	5.9	17.6	17.6	102	17.6	31.4	15.7	28.4	97	6.2	80.4	10.3	3.1	99	1.0	86.9	9.1	2.0
60～64歳	24	54.2	20.8	4.2	20.8	71	15.5	35.2	23.9	16.9	127	7.1	85.0	3.9	3.1	90	-	88.9	10.0	-
65～69歳	9	33.3	44.4	-	22.2	46	23.9	28.3	13.0	30.4	121	5.0	78.5	9.9	6.6	69	7.2	88.4	1.4	1.4
70歳以上	10	80.0	10.0	-	-	28	10.7	46.4	17.9	14.3	193	6.2	80.3	8.3	3.6	112	0.9	89.3	5.4	4.5
[職 業]																				
農 林 水 産 業	3	66.7	33.3	-	-	15	13.3	40.0	20.0	20.0	59	5.1	83.1	8.5	3.4	36	5.6	94.4	-	-
商 工 サ ー ビ ス 業	16	62.5	18.8	6.3	12.5	78	14.1	42.3	7.7	26.9	101	5.9	81.2	8.9	4.0	87	4.6	82.8	5.7	3.4
管 理 職	2	-	-	-	100.0	22	4.5	40.9	13.6	40.9	22	13.6	77.3	-	-	23	-	91.3	8.7	-
事 務 職	36	66.7	8.3	5.6	13.9	249	14.5	29.3	23.3	26.5	84	8.3	83.3	6.0	-	132	1.5	84.1	9.8	1.5
労 務 職	58	51.7	17.2	13.8	15.5	185	13.0	27.0	27.6	27.6	156	9.0	80.8	8.3	1.9	146	0.7	90.4	7.5	1.4
主 婦	48	47.9	22.9	8.3	14.6	242	17.8	31.4	21.1	24.4	223	6.7	81.6	7.6	2.7	206	1.5	87.9	8.7	1.0
学 生	21	66.7	9.5	14.3	9.5	77	23.4	20.8	23.4	28.6	28	14.3	57.1	28.6	-	36	5.6	83.3	8.3	2.8
そ の 他 の 無 職	23	60.9	13.0	8.7	13.0	51	17.6	37.3	13.7	29.4	182	6.6	76.9	10.4	4.9	110	1.8	88.2	6.4	3.6
自 由 業	2	50.0	-	-	50.0	15	26.7	33.3	-	40.0	9	-	88.9	11.1	-	13	-	92.3	-	-
専 門 技 術 職	4	50.0	-	-	-	13	15.4	23.1	30.8	30.8	7	14.3	85.7	-	-	5	-	100.0	-	-

3 新聞で使ってほしい言葉

<DV/ドメスティック・バイオレンス/配偶者暴力/夫や恋人などからふるわれる暴力>

(1) 新聞で使ってほしい言葉

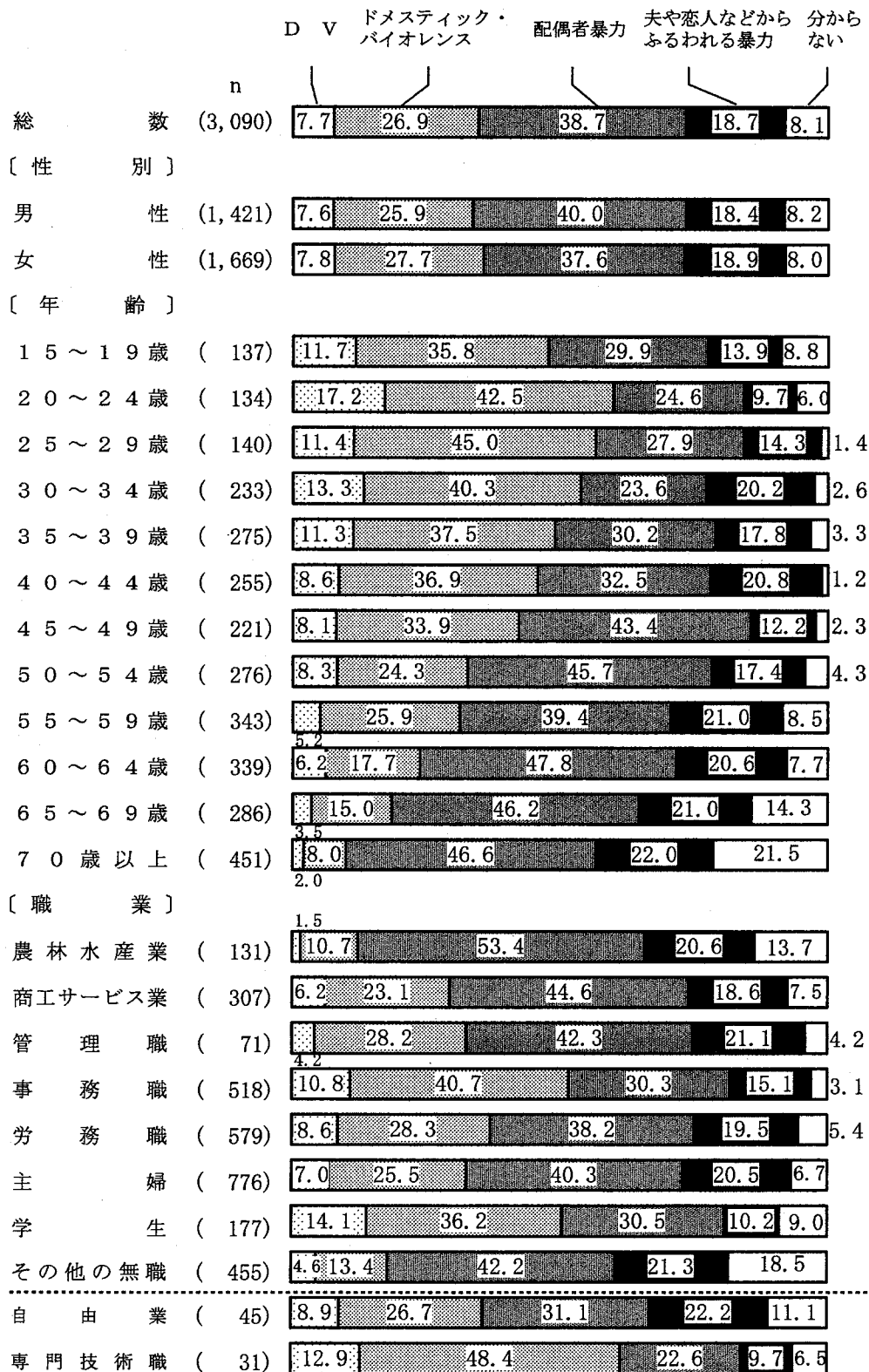
新聞で使ってほしい言葉を、性別、年齢別、職業別にみていく（図 3-3-1）。

性別にみると、大きな差はみられない。

年齢別にみると、「ドメスティック・バイオレンス」《外来語》は若年層ほど、「配偶者暴力」《言い換え》は高齢層ほど多くなる傾向がみられる。

職業別にみると、「ドメスティック・バイオレンス」《外来語》は事務職（40.7%）、学生（36.2%）が多い。「配偶者暴力」《言い換え》は農林水産業（53.4%）、その他の無職（42.2%）が多い。

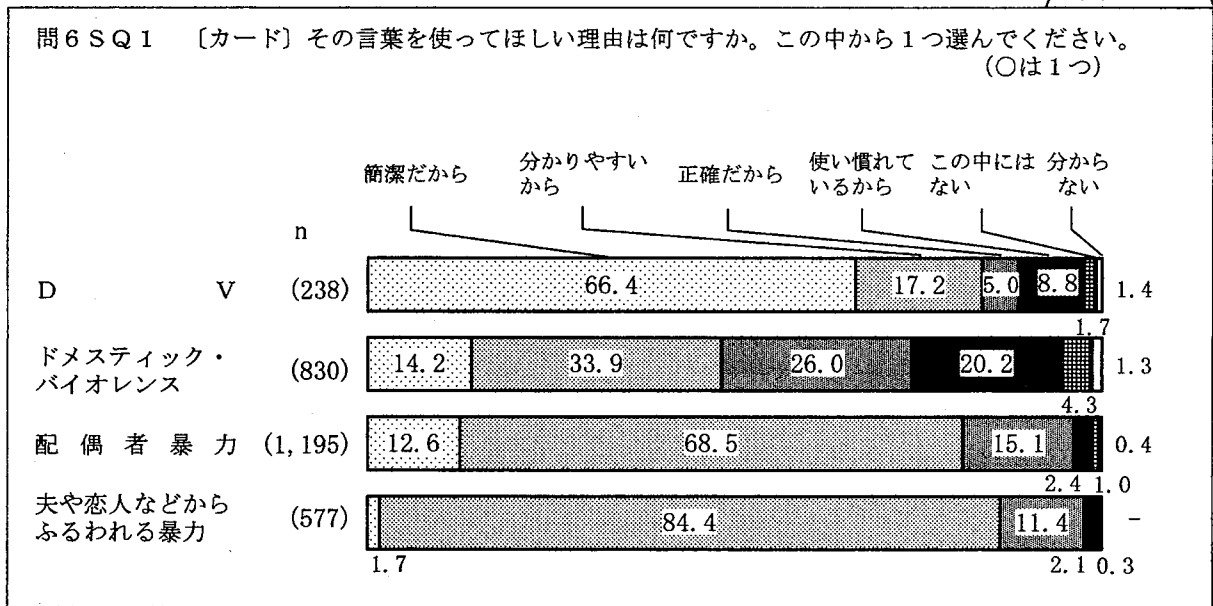
図 3-3-1 新聞で使ってほしい言葉 (性別, 年齢別, 職業別)



*「自由業」と「専門技術職」は、回答者数が50人より小さいので参照するにとどめ、分析の対象からは外してある。

(2) その言葉を使ってほしい理由

図 3-3-2



新聞で、その言葉を使ってほしい理由を聞いた(図 3-3-2)。

「DV」《略語》を使ってほしい理由では、「簡潔だから」(66.4%)が7割弱を占めている。

「ドメスティック・バイオレンス」《外来語》を使ってほしい理由では、「分かりやすいから」(33.9%)が3割強、「正確だから」(26.0%)が3割弱である。

「配偶者暴力」《言い換え》を使ってほしい理由では、「分かりやすいから」(68.5%)が7割弱を占めている。

「夫や恋人などからふるわれる暴力」《説明》を使ってほしい理由では、「分かりやすいから」(84.4%)が8割強を占めている。

次に、性別、年齢別、職業別にみていく(表 3-3-1)。

性別にみると、「配偶者暴力」《言い換え》を使ってほしい理由で、女性が男性より多いのは、「分かりやすいから」(男性 65.7%, 女性 71.0%)である。「夫や恋人などからふるわれる暴力」《説明》を使ってほしい理由で、女性が男性より多いのは、「分かりやすいから」(男性 80.5%, 女性 87.7%)である。

年齢別にみると、「ドメスティック・バイオレンス」《外来語》を使ってほしい理由に、「分かりやすいから」をあげる人は60~64歳(46.7%)が多い。「配偶者暴力」《言い換え》を使ってほしい理由に、「分かりやすいから」をあげる人は高齢層ほど多くなる傾向がみられる。

職業別にみると、「DV」《略語》を使ってほしい理由に、「簡潔だから」をあげる人は事務職(76.8%)が多い。「配偶者暴力」《言い換え》を使ってほしい理由に、「分かりやすいから」をあげる人は農林水産業(81.4%), その他の無職(77.1%)で他の職業層に比べて多い。

表 3-3-1 その言葉を使ってほしい理由（性別，年齢別，職業別）

	D V					ドメスティック・バイオレンス					配偶者暴力					夫や恋人などからふるわれる暴力				
	該 当 数	簡 潔 か ら	分 か り や す い か ら	正 確 だ か ら	使 い 慣 れ て い る か ら	該 当 数	簡 潔 か ら	分 か り や す い か ら	正 確 だ か ら	使 い 慣 れ て い る か ら	該 当 数	簡 潔 か ら	分 か り や す い か ら	正 確 だ か ら	使 い 慣 れ て い る か ら	該 当 数	簡 潔 か ら	分 か り や す い か ら	正 確 だ か ら	使 い 慣 れ て い る か ら
	n	%	%	%	%	n	%	%	%	%	n	%	%	%	%	n	%	%	%	%
総 数	238	66.4	17.2	5.0	8.8	830	14.2	33.9	26.0	20.2	1,195	12.6	68.5	15.1	2.4	577	1.7	84.4	11.4	2.1
〔 性 別 〕																				
男 性	108	64.8	18.5	5.6	10.2	368	13.3	33.4	25.0	22.3	568	13.9	65.7	16.5	2.1	261	3.1	80.5	13.0	2.7
女 性	130	67.7	16.2	4.6	7.7	462	14.9	34.2	26.8	18.6	627	11.5	71.0	13.7	2.7	316	0.6	87.7	10.1	1.6
〔 年 齢 〕																				
15～19歳	16	68.8	18.8	6.3	6.3	49	16.3	26.5	36.7	14.3	41	17.1	53.7	22.0	-	19	5.3	78.9	15.8	-
20～24歳	23	78.3	13.0	-	8.7	57	10.5	35.1	22.8	26.3	33	18.2	51.5	24.2	6.1	13	-	100.0	-	-
25～29歳	16	56.3	18.8	6.3	18.8	63	25.4	33.3	25.4	12.7	39	20.5	56.4	20.5	-	20	-	95.0	5.0	-
30～34歳	31	83.9	12.9	-	3.2	94	7.4	39.4	26.6	21.3	55	20.0	61.8	14.5	3.6	47	6.4	74.5	17.0	2.1
35～39歳	31	58.1	12.9	6.5	9.7	103	12.6	31.1	30.1	19.4	83	19.3	63.9	12.0	1.2	49	2.0	83.7	14.3	-
40～44歳	22	68.2	18.2	4.5	-	94	19.1	35.1	25.5	14.9	83	15.7	56.6	21.7	3.6	53	1.9	75.5	20.8	1.9
45～49歳	18	83.3	11.1	-	5.6	75	16.0	28.0	22.7	29.3	96	16.7	64.6	16.7	1.0	27	-	81.5	14.8	3.7
50～54歳	23	60.9	17.4	8.7	13.0	67	11.9	31.3	34.3	22.4	126	13.5	67.5	17.5	0.8	48	-	79.2	12.5	4.2
55～59歳	18	66.7	11.1	-	22.2	89	16.9	30.3	16.9	28.1	135	10.4	68.9	16.3	3.0	72	2.8	83.3	12.5	1.4
60～64歳	21	57.1	28.6	9.5	4.8	60	3.3	46.7	23.3	16.7	162	9.9	75.3	10.5	3.1	70	1.4	88.6	8.6	1.4
65～69歳	10	20.0	50.0	10.0	20.0	43	14.0	39.5	20.9	20.9	132	6.8	74.2	13.6	4.5	60	1.7	90.0	8.3	-
70歳以上	9	66.7	11.1	22.2	-	36	19.4	30.6	30.6	8.3	210	8.6	77.6	11.4	1.9	99	-	88.9	6.1	5.1
〔 職 業 〕																				
農 林 水 産 業	2	50.0	50.0	-	-	14	14.3	28.6	21.4	28.6	70	5.7	81.4	10.0	2.9	27	-	96.3	3.7	-
商 工 サ ー ビ ス 業	19	57.9	15.8	10.5	15.8	71	16.9	33.8	18.3	22.5	137	13.1	65.7	18.2	2.9	57	3.5	84.2	7.0	5.3
管 理 職	3	-	-	-	100.0	20	15.0	35.0	25.0	25.0	30	16.7	43.3	30.0	3.3	15	-	80.0	20.0	-
事 務 職	56	76.8	7.1	5.4	5.4	211	14.2	34.1	28.9	18.0	157	19.7	60.5	15.9	1.9	78	3.8	67.9	24.4	1.3
労 務 職	50	68.0	18.0	4.0	8.0	164	12.2	31.7	26.2	24.4	221	12.7	67.4	17.2	1.8	113	2.7	85.0	9.7	2.7
主 婦	54	61.1	25.9	3.7	7.4	198	13.6	33.8	25.8	18.7	313	12.5	70.9	12.1	3.2	159	-	89.3	9.4	1.3
学 生	25	76.0	16.0	4.0	4.0	64	15.6	26.6	32.8	20.3	54	18.5	51.9	24.1	-	18	5.6	83.3	11.1	-
その 他 の 無 職	21	61.9	23.8	9.5	4.8	61	19.7	39.3	21.3	16.4	192	7.3	77.1	12.0	2.6	97	1.0	84.5	11.3	3.1
自 由 業	4	75.0	-	-	25.0	12	-	66.7	8.3	25.0	14	14.3	64.3	14.3	-	10	-	100.0	-	-
専 門 技 術 職	4	25.0	25.0	-	25.0	15	13.3	40.0	33.3	13.3	7	-	100.0	-	-	3	-	100.0	-	-

4 行政の窓口で使ってほしい言葉

<DV/ドメスティック・バイオレンス/配偶者暴力/夫や恋人などからふるわれる暴力>

(1) 役所・役場の窓口で使ってほしい言葉

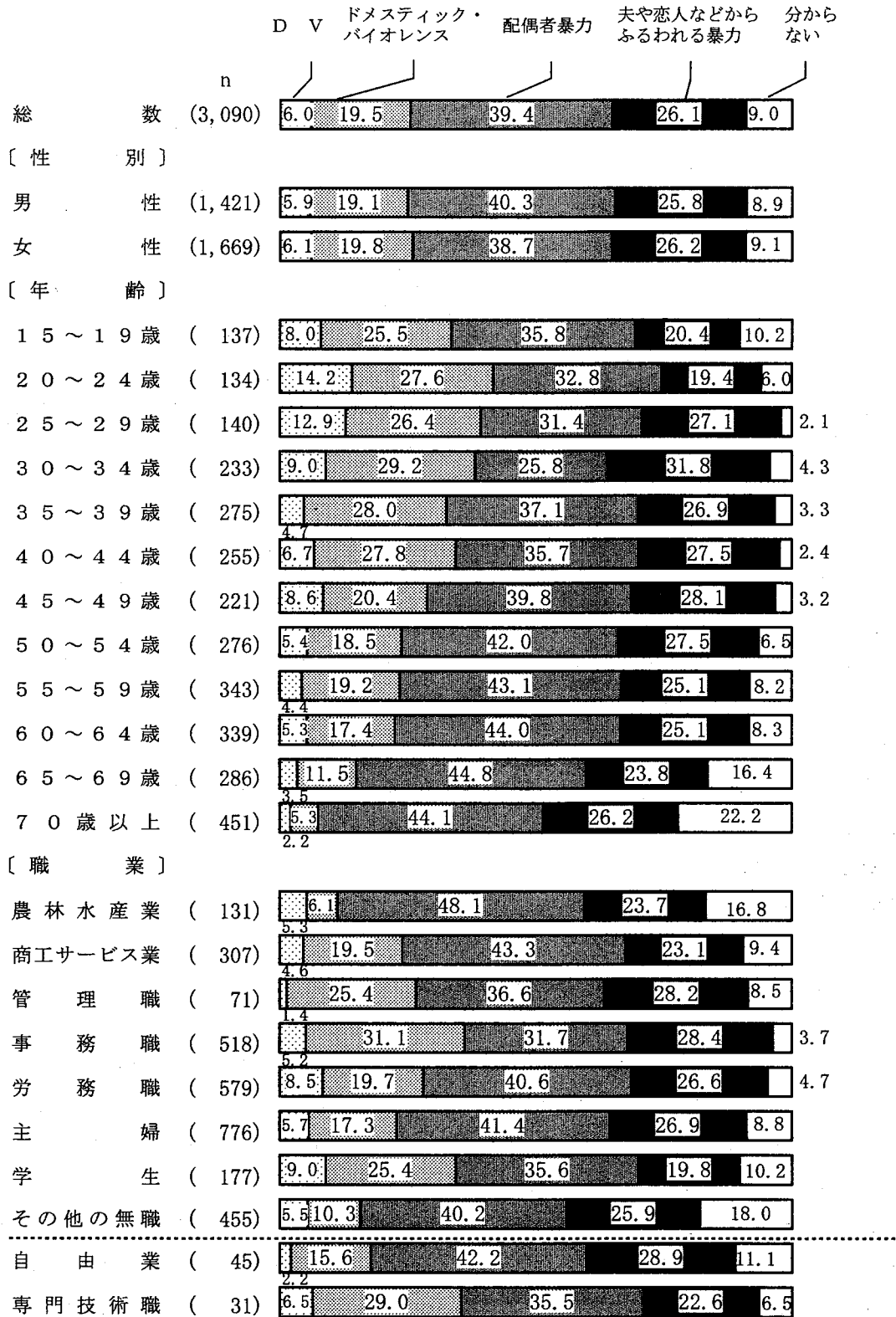
役所・役場の窓口で使ってほしい言葉を，性別，年齢別，職業別にみていく（図 3-4-1）。

性別にみると，差はみられない。

年齢別にみると，「ドメスティック・バイオレンス」《外来語》は若年層ほど，「配偶者暴力」《言い換え》は高齢層ほど多くなる傾向がみられる。

職業別にみると，「ドメスティック・バイオレンス」《外来語》は事務職（31.1%）で，「配偶者暴力」《言い換え》は農林水産業（48.1%）で，それぞれ他の職業層に比べて多い。

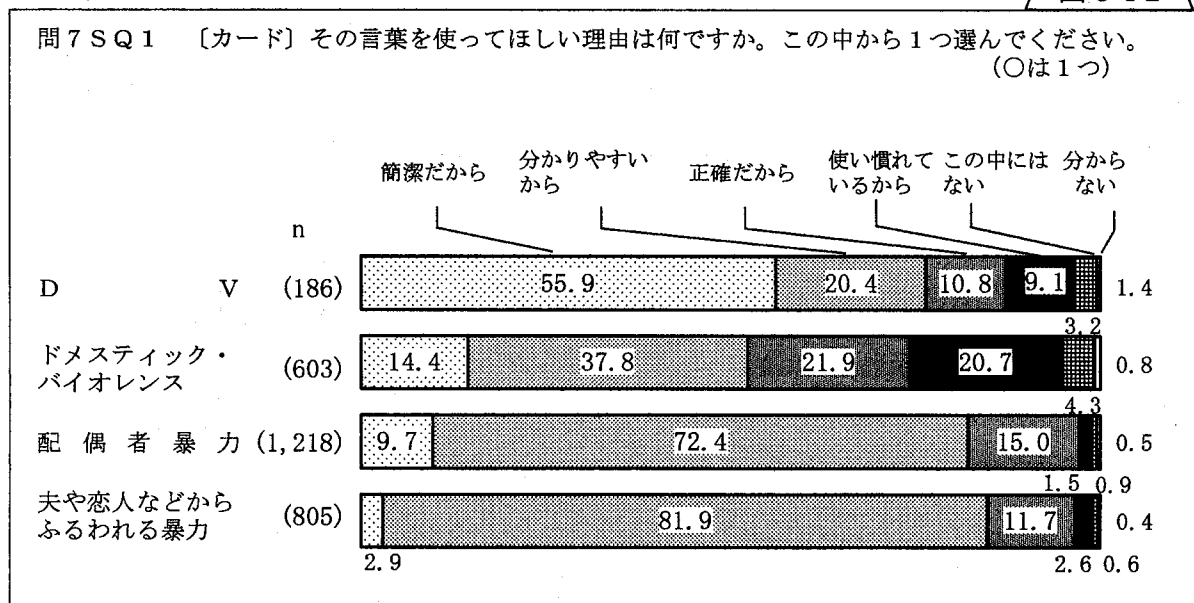
図 3-4-1 役所・役場の窓口で使ってほしい言葉（性別，年齢別，職業別）



* 「自由業」と「専門技術職」は、回答者数が50人より小さいので参照するにとどめ、分析の対象からは外してある。

(2) その言葉を使ってほしい理由

図 3-4-2



役所・役場の窓口で、その言葉を使ってほしい理由を聞いた(図 3-4-2)。

「DV」《略語》を使ってほしい理由では、「簡潔だから」(55.9%)が6割弱、次いで、「分かりやすいから」(20.4%)が2割である。

「ドメスティック・バイオレンス」《外来語》を使ってほしい理由では、「分かりやすいから」(37.8%)が4割弱、次いで、「正確だから」(21.9%)と「使い慣れているから」(20.7%)がともに2割強である。

「配偶者暴力」《言い換え》を使ってほしい理由では、「分かりやすいから」(72.4%)が7割強を占めている。

「夫や恋人などからふるわれる暴力」《説明》を使ってほしい理由では、「分かりやすいから」(81.9%)が8割強を占めている。

次に、性別、年齢別、職業別にみていく(表 3-4-1)。

性別にみると、「ドメスティック・バイオレンス」《外来語》を使ってほしい理由で、男性が女性より多いのは、「分かりやすいから」(男性 40.4%, 女性 35.6%)である。女性が男性より多いのは、「正確だから」(男性 18.8%, 女性 24.5%)である。「配偶者暴力」《言い換え》を使ってほしい理由で、女性が男性より多いのは、「分かりやすいから」(男性 69.6%, 女性 74.9%)である。

年齢別にみると、「配偶者暴力」《言い換え》を使ってほしい理由に、「分かりやすいから」をあげる人は70歳以上(87.4%)で9割弱を占める。また、「夫や恋人などからふるわれる暴力」《説明》を使ってほしい理由でも、「分かりやすいから」をあげる人は70歳以上(88.1%)で9割弱を占める。

職業別にみると、「配偶者暴力」《言い換え》を使ってほしい理由に、「分かりやすいから」をあげる人は農林水産業(87.3%)でもっとも多く9割弱である。

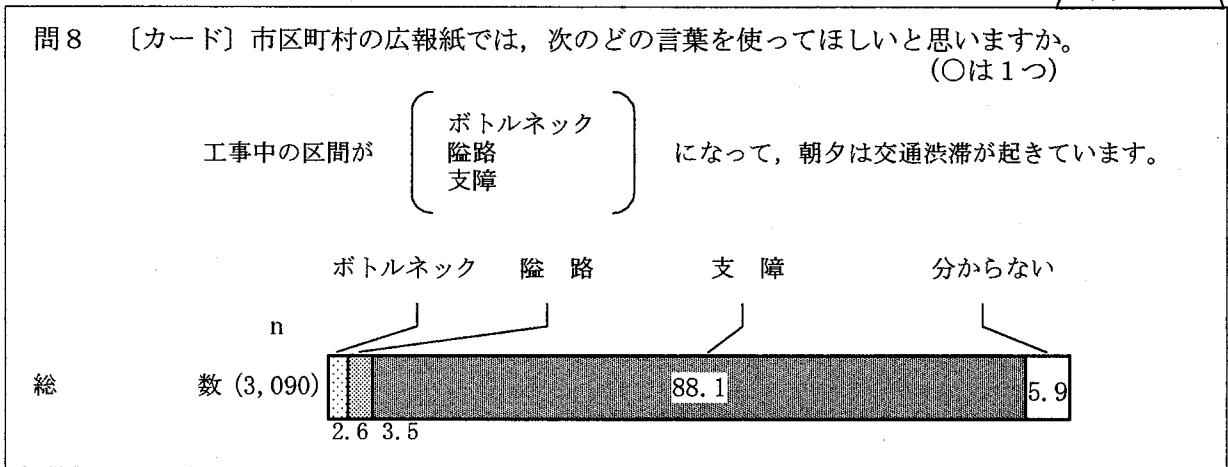
表 3-4-1 その言葉を使ってほしい理由 (性別, 年齢別, 職業別)

	D V					ドメスティック・バイオレンス					配偶者暴力					夫や恋人などからふるわれる暴力				
	該 当 数	簡 潔 だ か ら	分 か り や す い か ら	正 確 だ か ら	使 い 慣 れ て い る か ら	該 当 数	簡 潔 だ か ら	分 か り や す い か ら	正 確 だ か ら	使 い 慣 れ て い る か ら	該 当 数	簡 潔 だ か ら	分 か り や す い か ら	正 確 だ か ら	使 い 慣 れ て い る か ら	該 当 数	簡 潔 だ か ら	分 か り や す い か ら	正 確 だ か ら	使 い 慣 れ て い る か ら
	n	%	%	%	%	n	%	%	%	%	n	%	%	%	%	n	%	%	%	%
総 数	186	55.9	20.4	10.8	9.1	603	14.4	37.8	21.9	20.7	1,218	9.7	72.4	15.0	1.5	805	2.9	81.9	11.7	2.6
[性 別]																				
男 性	84	54.8	21.4	10.7	8.3	272	14.3	40.4	18.8	21.7	572	10.0	69.6	16.8	1.7	367	3.8	80.7	10.6	3.8
女 性	102	56.9	19.6	10.8	9.8	331	14.5	35.6	24.5	19.9	646	9.4	74.9	13.5	1.2	438	2.1	82.9	12.6	1.6
[年 齢]																				
1 5 ~ 1 9 歳	11	63.6	18.2	9.1	9.1	35	22.9	37.1	25.7	11.4	49	14.3	51.0	30.6	-	28	7.1	64.3	28.6	-
2 0 ~ 2 4 歳	19	57.9	15.8	21.1	5.3	37	10.8	37.8	24.3	21.6	44	18.2	52.3	25.0	2.3	26	-	96.2	-	3.8
2 5 ~ 2 9 歳	18	50.0	16.7	16.7	16.7	37	18.9	48.6	16.2	13.5	44	13.6	63.6	15.9	4.5	38	5.3	71.1	15.8	7.9
3 0 ~ 3 4 歳	21	76.2	9.5	4.8	9.5	68	11.8	36.8	20.6	25.0	60	11.7	66.7	21.7	-	74	2.7	83.8	12.2	1.4
3 5 ~ 3 9 歳	13	76.9	7.7	-	7.7	77	9.1	33.8	23.4	28.6	102	11.8	68.6	16.7	1.0	74	-	78.4	20.3	1.4
4 0 ~ 4 4 歳	17	52.9	29.4	5.9	-	71	18.3	38.0	23.9	14.1	91	12.1	62.6	19.8	3.3	70	2.9	84.3	10.0	1.4
4 5 ~ 4 9 歳	19	52.6	21.1	10.5	5.3	45	15.6	24.4	28.9	28.9	88	14.8	70.5	13.6	-	62	3.2	77.4	12.9	3.2
5 0 ~ 5 4 歳	15	73.3	20.0	-	6.7	51	11.8	39.2	29.4	19.6	116	7.8	75.9	14.7	0.9	76	1.3	81.6	10.5	2.6
5 5 ~ 5 9 歳	15	53.3	13.3	6.7	26.7	66	13.6	33.3	18.2	25.8	148	7.4	69.6	19.6	2.0	86	3.5	81.4	12.8	1.2
6 0 ~ 6 4 歳	18	33.3	44.4	16.7	5.6	59	13.6	47.5	20.3	11.9	149	10.1	79.2	7.4	2.7	85	5.9	78.8	11.8	3.5
6 5 ~ 6 9 歳	10	30.0	30.0	10.0	10.0	33	21.2	45.5	12.1	21.2	128	7.8	73.4	16.4	1.6	68	2.9	86.8	4.4	4.4
7 0 歳 以上	10	40.0	20.0	30.0	10.0	24	12.5	37.5	12.5	20.8	199	4.5	87.4	6.0	0.5	118	1.7	88.1	7.6	2.5
[職 業]																				
農 林 水 産 業	7	57.1	14.3	14.3	-	8	12.5	37.5	-	25.0	63	3.2	87.3	7.9	-	31	-	93.5	3.2	3.2
商 工 サ ー ビ ス 業	14	42.9	14.3	14.3	21.4	60	8.3	31.7	25.0	26.7	133	6.8	76.7	13.5	3.0	71	4.2	81.7	9.9	4.2
管 理 職	1	-	-	100.0	-	18	11.1	38.9	27.8	22.2	26	15.4	57.7	23.1	-	20	-	95.0	-	-
事 務 職	27	63.0	14.8	3.7	11.1	161	14.9	36.0	22.4	20.5	164	12.8	65.9	18.9	-	147	3.4	77.6	15.6	1.4
労 務 職	49	63.3	18.4	10.2	6.1	114	12.3	36.0	26.3	21.1	235	10.6	69.4	17.9	1.7	154	3.9	81.2	10.4	4.5
主 婦	44	50.0	29.5	11.4	9.1	134	15.7	38.1	22.4	17.9	321	9.0	74.8	13.7	1.6	209	0.5	83.3	12.4	2.4
学 生	16	62.5	18.8	12.5	6.3	45	24.4	37.8	20.0	15.6	63	12.7	54.0	30.2	-	35	5.7	77.1	17.1	-
そ の 他 の 無 職	25	52.0	24.0	12.0	8.0	47	14.9	51.1	8.5	25.5	183	9.8	78.1	8.7	2.2	118	5.1	81.4	11.0	1.7
自 由 業	1	100.0	-	-	-	7	-	57.1	14.3	28.6	19	5.3	73.7	10.5	-	13	-	92.3	7.7	-
専 門 技 術 職	2	-	-	-	50.0	9	22.2	44.4	22.2	11.1	11	9.1	72.7	-	9.1	7	-	71.4	14.3	14.3

5 広報紙で使ってほしい言葉 <ボトルネック/隘路/支障>

(1) 市区町村の広報紙で使ってほしい言葉

図 3-5-1



市区町村の広報紙では、同じ文脈の中で、「ボトルネック」《外来語》、「隘路」《正確な言い換え》、「支障」《分かりやすい言い換え》のうち、どの言葉を使ってほしいと思うか聞いた (図 3-5-1)。

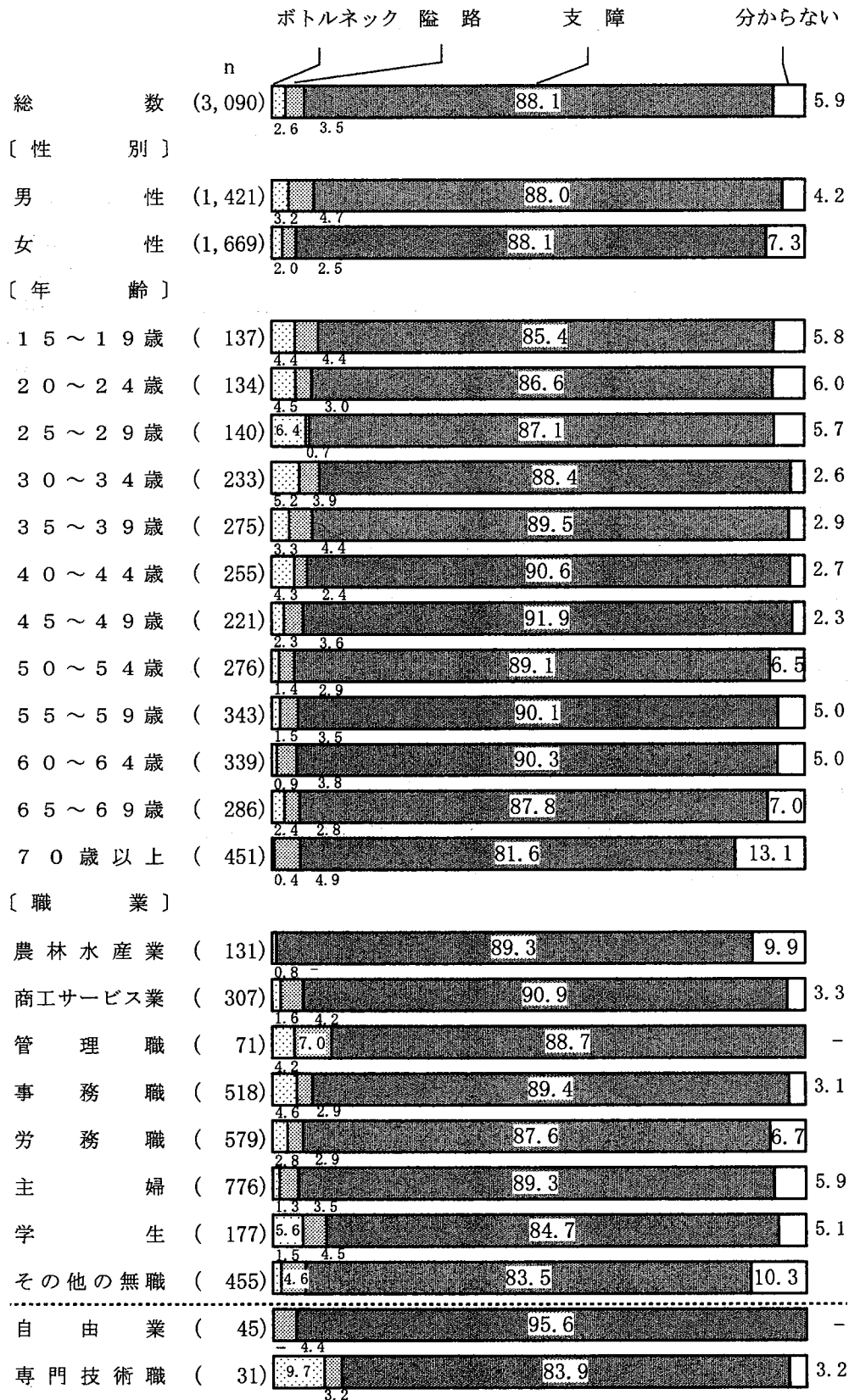
「支障」《分かりやすい言い換え》 (88.1%) が9割弱を占めている。

次に、性別、年齢別、職業別にみていく (図 3-5-2)。

性別にみると、差はみられない。

年齢別、職業別にみても、大きな差はみられない。

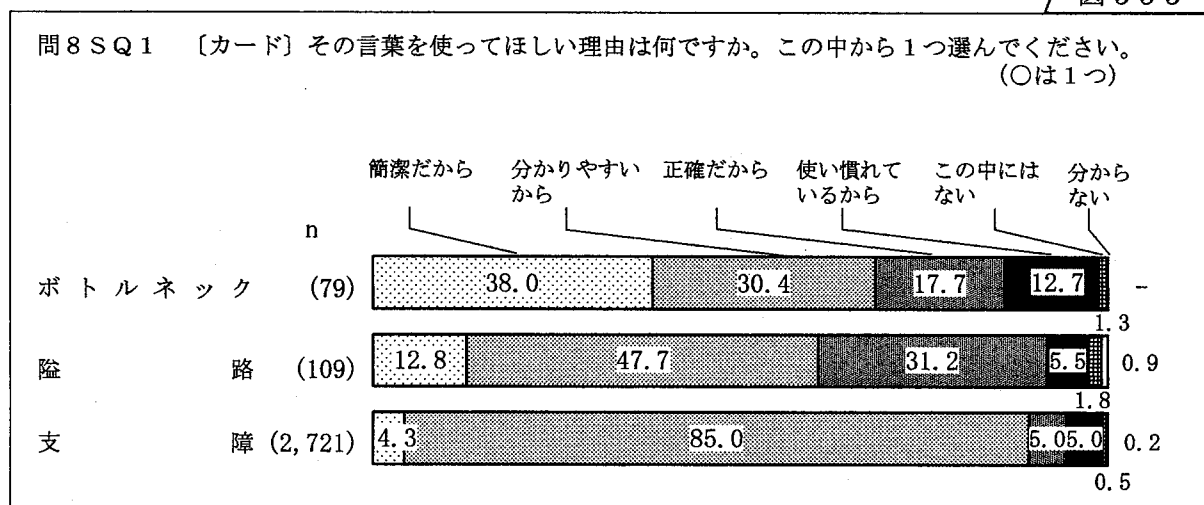
図 3-5-2 市区町村の広報紙で使ってほしい言葉（性別，年齢別，職業別）



*「自由業」と「専門技術職」は、回答者数が50人より小さいので参照するにとどめ、分析の対象からは外してある。

(2) その言葉を使ってほしい理由

図 3-5-3



市区町村の広報紙で、その言葉を使ってほしい理由を聞いた (図 3-5-3)。

「ボトルネック」《外来語》を使ってほしい理由では、「簡潔だから」(38.0%)が4割弱でもっとも多く、次いで、「分かりやすいから」(30.4%)の3割である。

「隘路」《正確な言い換え》を使ってほしい理由では、「分かりやすいから」(47.7%)が5割弱でもっとも多く、次いで、「正確だから」(31.2%)の3割強である。

「支障」《分かりやすい言い換え》を使ってほしい理由では、「分かりやすいから」(85.0%)が8割5分を占めている。

次に、性別、年齢別、職業別にみていく (表 3-5-1)。

9割弱を占めた「支障」《分かりやすい言い換え》を使ってほしい理由について、性別、年齢別、職業別にみると、差はみられない。

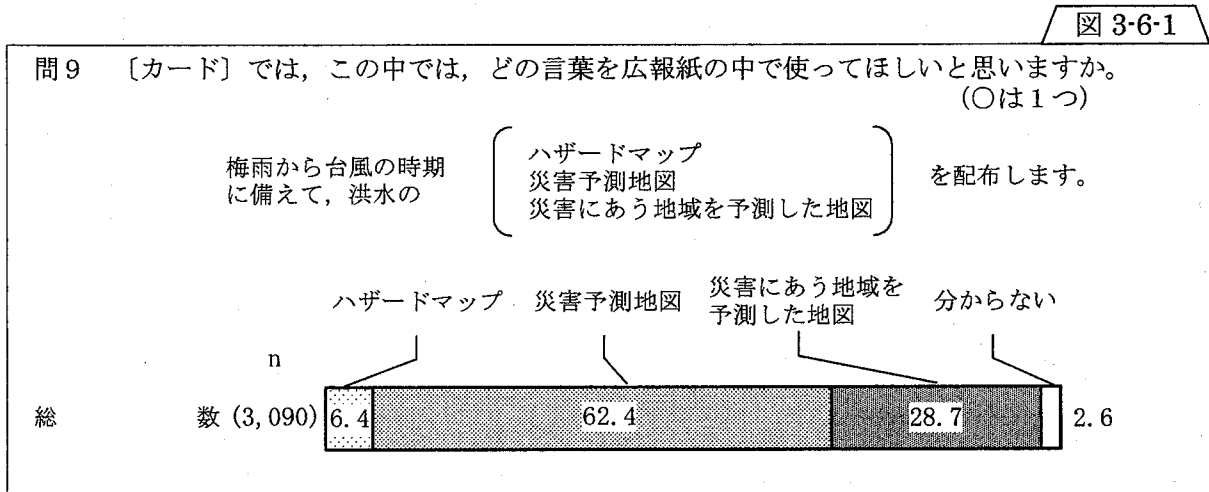
表 3-5-1 その言葉を使ってほしい理由（性別、年齢別、職業別）

	ボトルネック					隘路					支障				
	該	簡	分	正	使	該	簡	分	正	使	該	簡	分	正	使
	当	潔	かり	確	い	当	潔	かり	確	い	当	潔	かり	確	い
	数	か	やす	だ	慣	か	やす	だ	慣	か	か	か	やす	だ	慣
		ら	い	か	れ	ら	い	か	れ	ら	ら	ら	い	か	れ
		から	から	から	て	から	て	から	て	から	から	から	て	から	て
		から	から	から	いる	から	いる	から	いる	から	から	から	いる	から	いる
	n	%	%	%	%	n	%	%	%	%	n	%	%	%	%
総数	79	38.0	30.4	17.7	12.7	109	12.8	47.7	31.2	5.5	2,721	4.3	85.0	5.0	5.0
[性別]															
男性	45	33.3	35.6	15.6	13.3	67	10.4	41.8	35.8	9.0	1,250	4.7	83.7	5.0	5.7
女性	34	44.1	23.5	20.6	11.8	42	16.7	57.1	23.8	-	1,471	3.9	86.2	4.9	4.4
[年齢]															
15～19歳	6	66.7	33.3	-	-	6	50.0	33.3	16.7	-	117	7.7	82.1	6.0	4.3
20～24歳	6	33.3	50.0	16.7	-	4	25.0	25.0	25.0	-	116	4.3	87.9	4.3	3.4
25～29歳	9	33.3	33.3	11.1	22.2	1	-	-	100.0	-	122	5.7	86.1	1.6	5.7
30～34歳	12	25.0	50.0	8.3	16.7	9	11.1	22.2	66.7	-	206	5.3	87.9	3.4	2.9
35～39歳	9	44.4	11.1	22.2	11.1	12	8.3	58.3	33.3	-	246	5.3	87.0	3.7	2.8
40～44歳	11	18.2	18.2	27.3	36.4	6	-	66.7	33.3	-	231	3.9	83.1	6.9	5.6
45～49歳	5	40.0	-	40.0	20.0	8	12.5	50.0	25.0	12.5	203	3.0	85.7	5.4	5.9
50～54歳	4	50.0	25.0	25.0	-	8	37.5	37.5	12.5	-	246	4.9	82.1	5.7	5.3
55～59歳	5	60.0	20.0	20.0	-	12	8.3	41.7	33.3	8.3	309	4.2	81.9	6.5	6.5
60～64歳	3	100.0	-	-	-	13	7.7	46.2	30.8	15.4	306	3.3	89.2	3.9	2.9
65～69歳	7	14.3	57.1	28.6	-	8	12.5	62.5	12.5	12.5	251	3.6	85.7	4.4	5.2
70歳以上	2	50.0	50.0	-	-	22	4.5	59.1	31.8	4.5	368	3.5	83.4	5.7	7.3
[職業]															
農林水産業	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	117	4.3	76.9	5.1	12.0
商工サービス業	5	20.0	40.0	-	40.0	13	7.7	53.8	38.5	-	279	3.2	82.1	7.5	6.1
管理職	3	66.7	33.3	-	-	5	-	40.0	40.0	20.0	63	7.9	88.9	1.6	1.6
事務職	24	37.5	25.0	25.0	8.3	15	6.7	33.3	46.7	6.7	463	4.5	85.3	5.8	3.5
労務職	16	43.8	18.8	18.8	18.8	17	-	58.8	17.6	17.6	507	3.6	86.8	4.3	4.9
主婦	10	10.0	50.0	30.0	10.0	27	14.8	55.6	25.9	-	693	3.9	87.0	4.6	3.8
学生	10	60.0	40.0	-	-	8	50.0	25.0	25.0	-	150	8.0	84.0	4.7	3.3
その他の無職	7	42.9	42.9	14.3	-	21	14.3	42.9	38.1	4.8	380	3.7	83.2	4.7	7.6
自由業	-	-	-	-	-	2	-	100.0	-	-	43	7.0	86.0	-	7.0
専門技術職	3	-	-	33.3	66.7	1	100.0	-	-	-	26	11.5	84.6	3.8	-

6 広報紙で使ってほしい言葉

<ハザードマップ／災害予測地図／災害にあう地域を予測した地図>

(1) 市区町村の広報紙で使ってほしい言葉



市区町村の広報紙では、同じ文脈の中で、「ハザードマップ」《外来語》、「災害予測地図」《言い換え》、「災害にあう地域を予測した地図」《説明》のうち、どの言葉を使ってほしいと思うか聞いた（図 3-6-1）。

「災害予測地図」《言い換え》（62.4%）が6割強でもっとも多く、次いで、「災害にあう地域を予測した地図」《説明》（28.7%）が3割弱である。「ハザードマップ」《外来語》（6.4%）は1割に満たない。

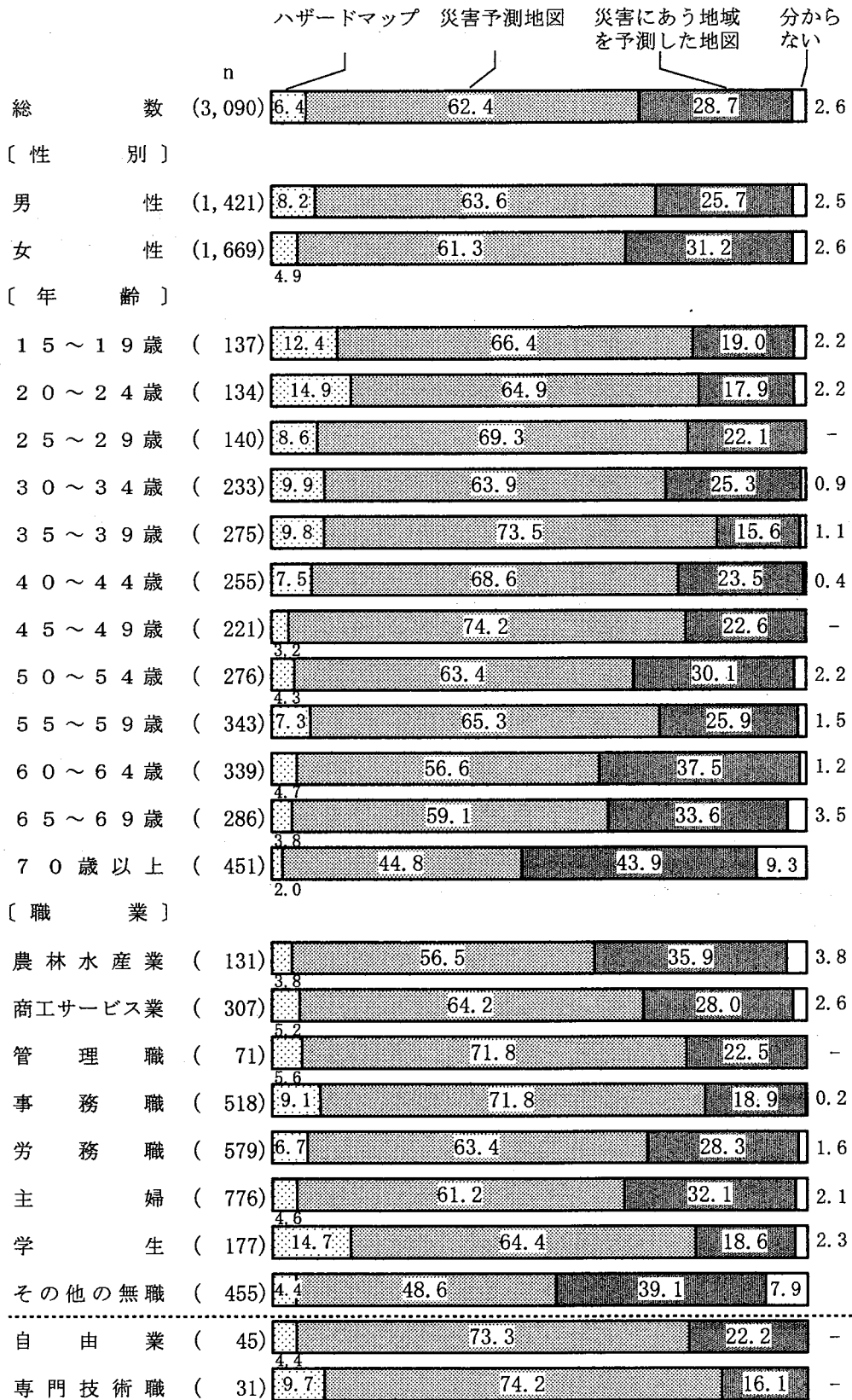
次に、性別、年齢別、職業別にみていく（図 3-6-2）。

性別にみると、女性が男性より多いのは、「災害にあう地域を予測した地図」《説明》（男性 25.7%、女性 31.2%）である。

年齢別にみると、「災害予測地図」《言い換え》は若年層で、「災害にあう地域を予測した地図」《説明》は高齢層で多くなる傾向がみられる。

職業別にみると、「災害予測地図」《言い換え》は、管理職（71.8%）、事務職（71.8%）で他の職業層に比べて多い。「災害にあう地域を予測した地図」《説明》は、その他の無職（39.1%）、農林水産業（35.9%）で他の職業層に比べて多い。

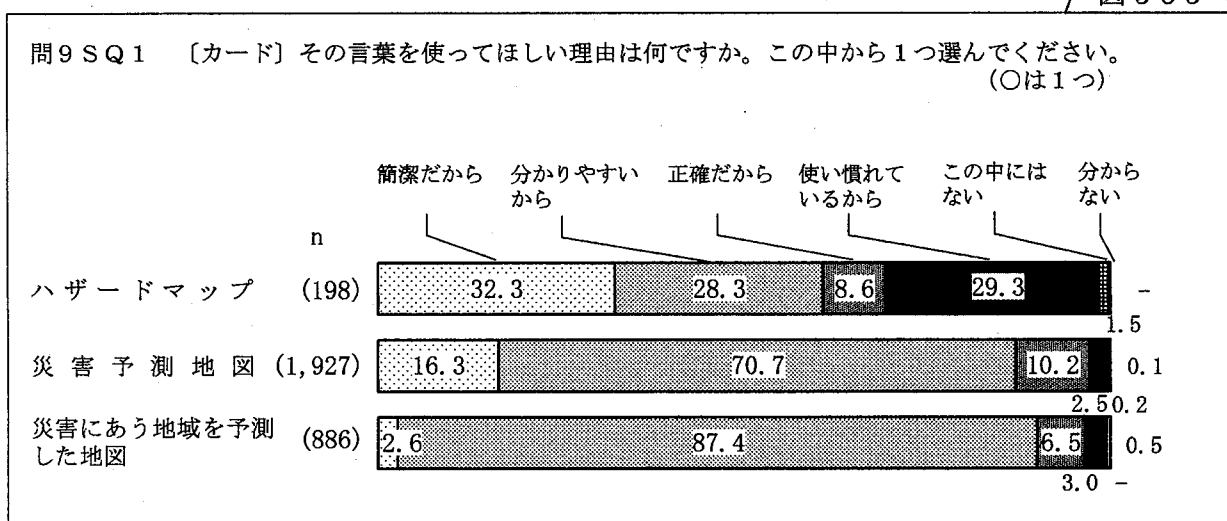
図 3-6-2 市区町村の広報紙で使ってほしい言葉（性別，年齢別，職業別）



*「自由業」と「専門技術職」は、回答者数が50人より小さいので参照するにとどめ、分析の対象からは外してある。

(2) その言葉を使ってほしい理由

図 3-6-3



市区町村の広報紙で、その言葉を使ってほしい理由を聞いた(図 3-6-3)。

「ハザードマップ」《外来語》を使ってほしい理由では、「簡潔だから」(32.3%)が3割強、「分かりやすいから」(28.3%)が3割弱である。

「災害予測地図」《言い換え》を使ってほしい理由では、「分かりやすいから」(70.7%)が7割を占めている。

「災害にあう地域を予測した地図」《説明》を使ってほしい理由では、「分かりやすいから」(87.4%)が9割弱を占めている。

次に、性別、年齢別、職業別にみていく(表 3-6-1)。

性別にみると、「ハザードマップ」《外来語》を使ってほしい理由で、女性が男性より多いのは「簡潔だから」(男性 25.0%, 女性 42.7%)であり、男性が女性より多いのは「使い慣れているから」(男性 33.6%, 女性 23.2%)である。

年齢別にみると、大きな差はみられない。

職業別にみると、「災害予測地図」《言い換え》を使ってほしい理由に、「分かりやすいから」をあげる人は管理職(78.4%),農林水産業(75.7%)で他の職業層に比べて多い。また、「簡潔だから」をあげる人は学生(21.9%)で他の職業層に比べて多い。

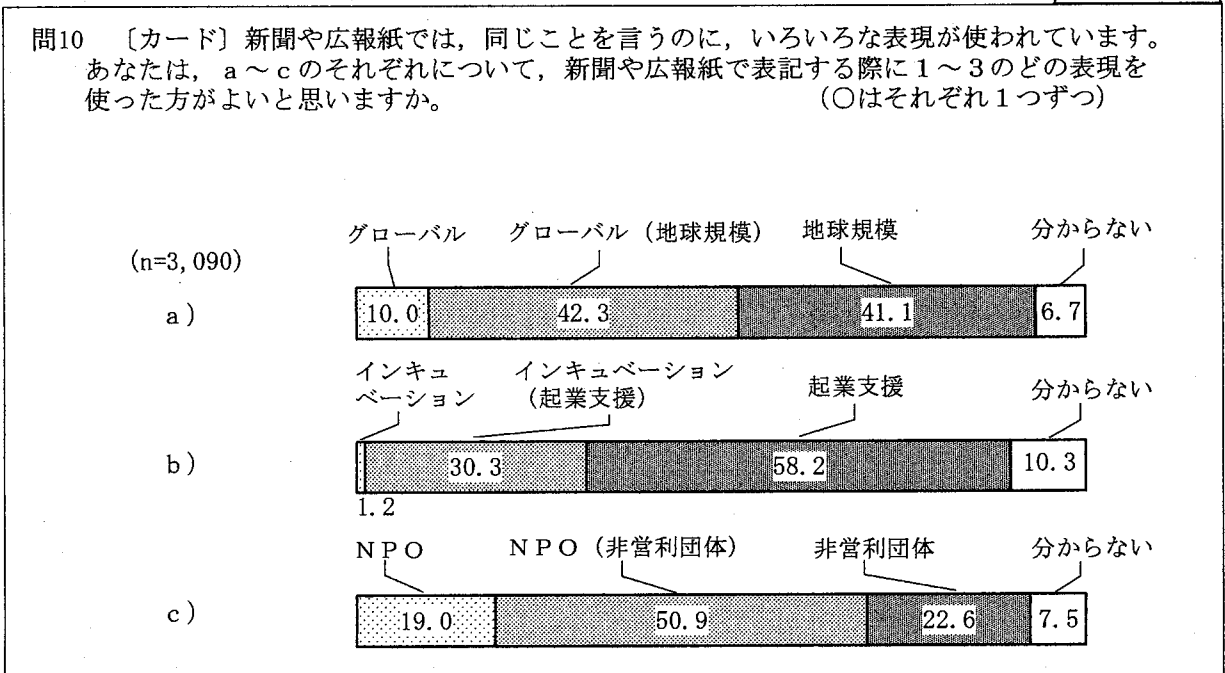
表 3-6-1 その言葉を使ってほしい理由（性別，年齢別，職業別）

	ハザードマップ					災害予測地図					災害にあふ地域を予測した地図					
	該	簡	分	正	使	該	簡	分	正	使	該	簡	分	正	使	
	当	潔	かり	確	い	当	潔	かり	確	い	当	潔	かり	確	い	
数	だ	やす	だ	慣	数	だ	やす	だ	慣	数	だ	やす	だ	慣		
	か	い	か	れ		か	い	か	れ		か	い	か	れ		
	ら	か	ら	て		ら	か	ら	て		ら	か	ら	て		
	ら	ら	い	い		ら	ら	い	い		ら	ら	い	い		
	ら	ら	る	る		ら	ら	る	る		ら	ら	る	る		
	数	数	から	から		数	数	から	から		数	数	から	から		
	n	%	%	%	%	n	%	%	%	%	n	%	%	%	%	
総 数	198	32.3	28.3	8.6	29.3	1,927	16.3	70.7	10.2	2.5	886	2.6	87.4	6.5	3.0	
[性 別]																
男 性	116	25.0	30.2	10.3	33.6	904	15.3	71.6	10.1	2.9	365	2.5	85.5	7.4	4.1	
女 性	82	42.7	25.6	6.1	23.2	1,023	17.3	69.9	10.4	2.2	521	2.7	88.7	6.0	2.3	
[年 齢]																
15～19歳	17	29.4	35.3	11.8	23.5	91	22.0	68.1	9.9	-	26	7.7	76.9	11.5	3.8	
20～24歳	20	35.0	25.0	15.0	25.0	87	21.8	66.7	9.2	2.3	24	8.3	83.3	8.3	-	
25～29歳	12	41.7	25.0	-	33.3	97	16.5	71.1	5.2	7.2	31	3.2	83.9	6.5	6.5	
30～34歳	23	26.1	34.8	13.0	21.7	149	14.1	71.1	12.1	2.0	59	-	91.5	8.5	-	
35～39歳	27	40.7	25.9	7.4	22.2	202	19.3	72.3	7.9	0.5	43	2.3	90.7	7.0	-	
40～44歳	19	31.6	26.3	10.5	26.3	175	19.4	60.0	15.4	4.6	60	5.0	85.0	10.0	-	
45～49歳	7	14.3	42.9	-	42.9	164	20.1	67.1	11.0	1.8	50	4.0	90.0	4.0	2.0	
50～54歳	12	25.0	41.7	8.3	25.0	175	12.0	77.1	9.7	1.1	83	1.2	86.7	7.2	4.8	
55～59歳	25	40.0	20.0	-	40.0	224	14.7	70.1	12.5	2.2	89	4.5	87.6	7.9	-	
60～64歳	16	18.8	31.3	6.3	43.8	192	14.1	77.1	5.7	2.6	127	3.1	89.8	5.5	1.6	
65～69歳	11	36.4	27.3	-	36.4	169	13.6	73.4	8.9	4.1	96	1.0	86.5	5.2	5.2	
70歳以上	9	33.3	11.1	33.3	22.2	202	14.4	70.3	12.4	3.0	198	1.0	86.9	5.1	6.1	
[職 業]																
農林水産業	5	60.0	20.0	20.0	-	74	8.1	75.7	13.5	2.7	47	2.1	89.4	4.3	4.3	
商工サービス業	16	37.5	25.0	6.3	31.3	197	15.7	72.6	8.1	3.6	86	3.5	88.4	4.7	3.5	
管 理 職	4	25.0	50.0	-	25.0	51	11.8	78.4	3.9	5.9	16	-	93.8	6.3	-	
事 務 職	47	36.2	19.1	8.5	34.0	372	17.5	69.1	11.3	1.9	98	7.1	85.7	6.1	1.0	
労 務 職	39	25.6	33.3	12.8	28.2	367	16.3	70.0	10.1	3.3	164	1.8	86.0	8.5	3.7	
主 婦	36	38.9	33.3	-	22.2	475	16.0	70.9	10.5	2.3	249	2.0	89.2	5.2	2.8	
学 生	26	26.9	30.8	11.5	30.8	114	21.9	67.5	10.5	-	33	6.1	78.8	12.1	3.0	
その他の無職	20	25.0	25.0	15.0	35.0	221	14.5	71.0	11.3	2.7	178	1.1	87.1	7.3	3.4	
自 由 業	2	-	50.0	-	50.0	33	21.2	69.7	6.1	3.0	10	-	90.0	-	10.0	
専 門 技 術 職	3	33.3	33.3	-	33.3	23	30.4	65.2	4.3	-	5	-	80.0	20.0	-	

7 新聞や広報紙で使った方がよいと思う表現

(1) 新聞や広報紙で使った方がよいと思う表記

図 3-7-1



外来語や略語を3つあげて、それぞれについて《外来語や略語の単独表記》《言い換え語を()内に併記》《言い換え語の単独表記》のうち、新聞や広報紙では、どの表記を使った方がよいと思うか聞いた(図3-7-1)。

<グローバル/グローバル(地球規模)/地球規模>では、「グローバル(地球規模)《言い換え語を()内に併記》(42.3%)と、「地球規模《言い換え語の単独表記》(41.1%)がともに4割強で並んでいる。

<インキュベーション/インキュベーション(起業支援)/起業支援>では、「起業支援《言い換え語の単独表記》(58.2%)が6割弱でもっとも多く、次いで、「インキュベーション(起業支援)《言い換え語を()内に併記》(30.3%)の3割である。

<NPO/NPO(非営利団体)/非営利団体>では、「NPO(非営利団体)《言い換え語を()内に併記》(50.9%)が5割、「非営利団体《言い換え語の単独表記》(22.6%)が2割強である。

(2) 新聞や広報紙で使った方がよいと思う表記, その理由

<グローバル/グローバル(地球規模)/地球規模>

新聞や広報紙では、「グローバル《外来語や略語の単独表記》, 「グローバル(地球規模)《言い換え語を()内に併記》, 「地球規模《言い換え語の単独表記》のうち、どの表記を使った方がよいと思うかを、性別・年齢別・職業別にみていく(図3-7-2)。

性別にみると、女性が男性より多いのは「グローバル(地球規模)《言い換え語を()内に併記》(男性40.1%, 女性44.2%)である。男性が女性より多いのは「グローバル《外来語や略語の単独表記》(男性12.7%, 女性7.7%)である。

年齢別にみると、「グローバル(地球規模)《言い換え語を()内に併記》と「グローバル《外来語や略語の単独表記》は若年層ほど、「地球規模《言い換え語の単独表記》は高齢層ほど、多くな

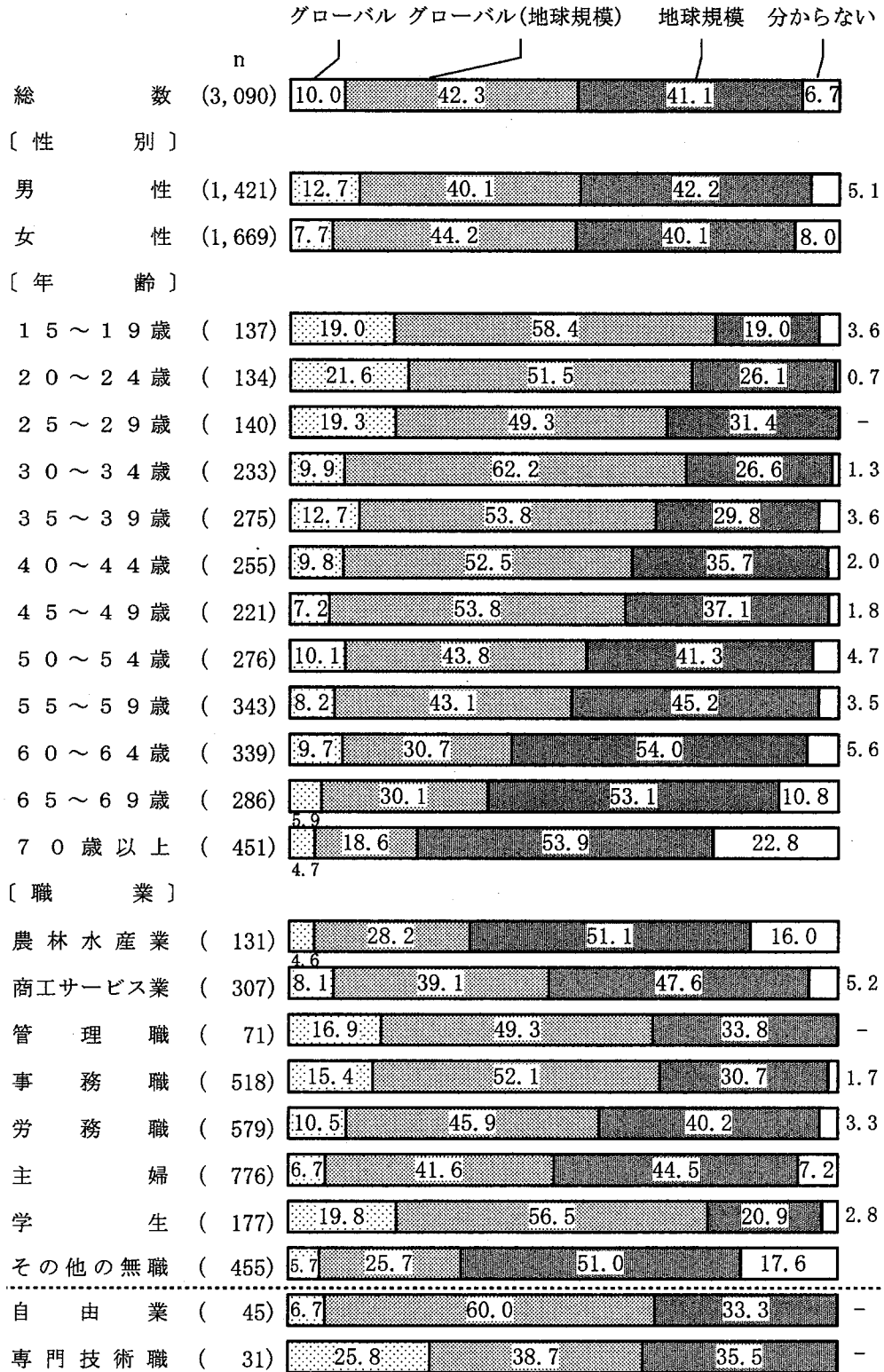
る傾向がみられる。

職業別にみると、「グローバル(地球規模)《言い換え語を()内に併記》は学生(56.5%)、事務職(52.1%)、管理職(49.3%)で5～6割である。「地球規模」《言い換え語の単独表記》は農林水産業(51.1%)、その他の無職(51.0%)、商工サービス業(47.6%)で5割前後である。「グローバル」《外来語や略語の単独表記》は学生(19.8%)で他の職業層に比べて多い。

図 3-7-2 新聞や広報紙で使った方がよいと思う表記

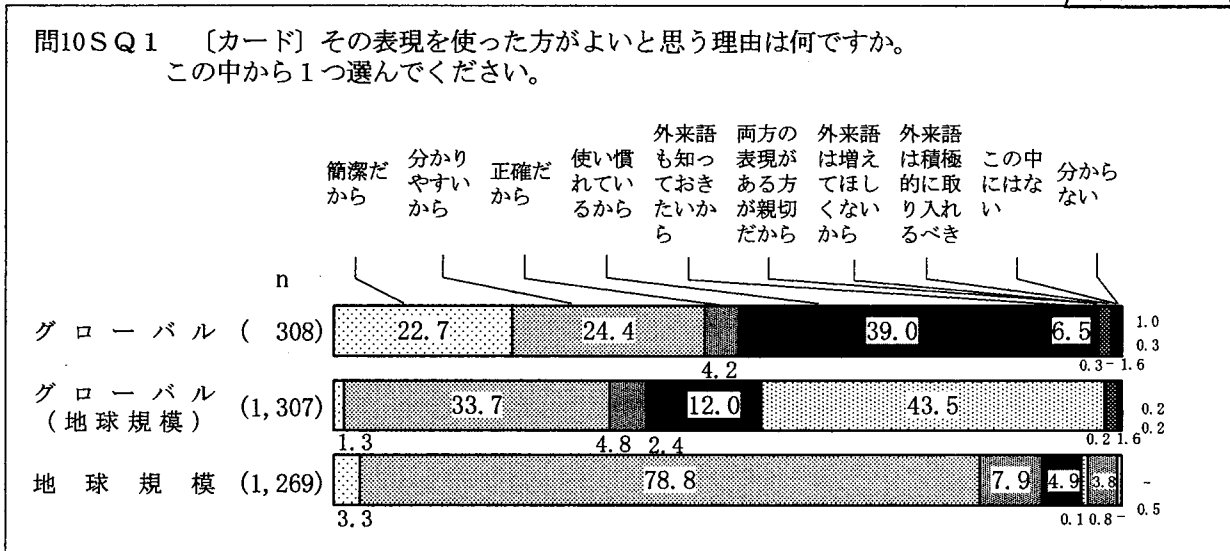
<グローバル/グローバル(地球規模)/地球規模>

(性別, 年齢別, 職業別)



* 「自由業」と「専門技術職」は、回答者数が50人より小さいので参照することとどめ、分析の対象からは外してある。

図 3-7-3



新聞や広報紙で、その表現を使った方がよいと思う理由を聞いた（図 3-7-3）。

「グローバル」《外来語や略語の単独表記》を使った方がよいと思う理由では「使い慣れているから」（39.0%）が4割弱でもっとも多く、次いで、「分かりやすいから」（24.4%）と、「簡潔だから」（22.7%）がそれぞれ2割強である。

「グローバル(地球規模)」《言い換え語を（ ）内に併記》を使った方がよいと思う理由では、「両方の表現がある方が親切だから」（43.5%）が4割強でもっとも多く、次いで、「分かりやすいから」（33.7%）の3割強である。

「地球規模」《言い換え語の単独表記》を使った方がよいと思う理由では、「分かりやすいから」（78.8%）が8割弱を占めている。

次に、性別、年齢別、職業別にみていく（表 3-7-1）。

性別にみると、「グローバル」《外来語や略語の単独表記》を使った方がよいと思う理由で、男性が女性より多いのは、「使い慣れているから」（男性 44.4%、女性 31.3%）である。女性が男性より多いのは、「分かりやすいから」（男性 22.2%、女性 27.3%）と「簡潔だから」（男性 20.0%、女性 26.6%）である。また、「グローバル(地球規模)」《言い換え語を（ ）内に併記》を使った方がよいと思う理由で、女性が男性より多いのは「両方の表現がある方が親切だから」（男性 40.5%、女性 45.7%）である。

年齢別にみると、「グローバル(地球規模)」《言い換え語を（ ）内に併記》を使った方がよいと思う理由に「両方の表現がある方が親切だから」をあげる人は35～39歳（47.3%）、45～49歳（47.1%）、50～54歳（50.4%）で、他の年齢層に比べてやや多い。

職業別にみると、「グローバル」《外来語や略語の単独表記》を使った方がよいと思う理由に「使い慣れているから」をあげる人は事務職（48.8%）で多い。「分かりやすいから」をあげる人は主婦（32.7%）で多い。また、「グローバル(地球規模)」《言い換え語を（ ）内に併記》を使った方がよいと思う理由に「両方の表現がある方が親切だから」をあげる人は、主婦（49.2%）、学生（48.0%）で5割弱である。

表 3-7-1 その表現を使った方がよいと思う理由<グローバル/グローバル(地球規模)/地球規模>
(性別, 年齢別, 職業別)

	グローバル										グローバル(地球規模)										地球規模									
	該 当 数	簡 深 だ か ら	分 か り や す い か ら	正 確 だ か ら	使 い 慣 れ て い る か ら	外 来 語 も 知 っ て お き たい か ら	両 方 の 表 現 が あ る 方 が 親 切 だ か ら	外 来 語 は 増 え て は し く な い か ら	外 来 語 は 種 々 の 表 現 に 取 り 入 れ る べ き	該 当 数	簡 深 だ か ら	分 か り や す い か ら	正 確 だ か ら	使 い 慣 れ て い る か ら	外 来 語 も 知 っ て お き たい か ら	両 方 の 表 現 が あ る 方 が 親 切 だ か ら	外 来 語 は 増 え て は し く な い か ら	外 来 語 は 種 々 の 表 現 に 取 り 入 れ る べ き	該 当 数	簡 深 だ か ら	分 か り や す い か ら	正 確 だ か ら	使 い 慣 れ て い る か ら	外 来 語 も 知 っ て お き たい か ら	両 方 の 表 現 が あ る 方 が 親 切 だ か ら	外 来 語 は 増 え て は し く な い か ら	外 来 語 は 種 々 の 表 現 に 取 り 入 れ る べ き			
総 数	308	22.7	24.4	4.2	39.0	6.5	0.3	-	1.6	1,307	1.3	33.7	4.8	2.4	12.0	43.5	0.2	1.6	1,269	3.3	78.8	7.9	4.9	0.1	0.8	3.8	-			
[性 別]																														
男 性	180	20.0	22.2	3.3	44.4	6.1	-	-	1.7	570	1.1	35.8	6.5	3.0	10.9	40.5	0.5	1.4	599	2.5	76.8	9.2	6.0	0.2	1.2	3.8	-			
女 性	128	26.6	27.3	5.5	31.3	7.0	0.8	-	1.6	737	1.5	32.2	3.5	1.9	12.9	45.7	-	1.8	670	4.0	80.6	6.7	3.9	-	0.4	3.7	-			
[年 齢]																														
15~19歳	26	30.8	23.1	3.8	30.8	7.7	-	-	-	80	1.3	30.0	6.3	1.3	12.5	45.0	-	2.5	26	7.7	73.1	19.2	-	-	-	-	-			
20~24歳	29	13.8	17.2	-	51.7	3.4	-	-	10.3	69	2.9	37.7	4.3	-	8.7	44.9	-	1.4	35	8.6	71.4	5.7	8.6	-	-	5.7	-			
25~29歳	27	29.6	29.6	-	29.6	11.1	-	-	-	69	1.4	34.8	4.3	2.9	11.6	40.6	-	-	44	4.5	84.1	2.3	9.1	-	-	-	-			
30~34歳	23	34.8	8.7	4.3	47.8	-	-	-	4.3	145	1.4	36.6	6.9	0.7	9.7	43.4	0.7	0.7	62	6.5	80.6	3.2	8.1	-	1.6	-	-			
35~39歳	35	28.6	11.4	2.9	42.9	11.4	-	-	2.9	148	2.0	30.4	3.4	2.0	13.5	47.3	-	1.4	82	2.4	82.9	8.5	1.2	1.2	2.4	1.2	-			
40~44歳	25	32.0	24.0	4.0	36.0	4.0	-	-	-	134	-	32.8	3.7	2.2	14.2	41.8	0.7	3.0	91	1.1	78.0	11.0	4.4	-	-	4.4	-			
45~49歳	16	37.5	18.8	6.3	25.0	6.3	-	-	-	119	1.7	29.4	3.4	1.7	14.3	47.1	-	2.5	82	3.7	70.7	11.0	4.9	-	1.2	8.5	-			
50~54歳	28	10.7	35.7	3.6	42.9	7.1	-	-	-	121	-	35.5	3.3	1.7	7.4	50.4	-	1.7	114	1.8	83.3	4.4	2.6	-	1.8	5.3	-			
55~59歳	28	14.3	35.7	7.1	32.1	10.7	-	-	-	148	2.0	33.1	4.1	3.4	13.5	42.6	-	1.4	155	3.9	75.5	9.0	5.2	-	1.9	3.9	-			
60~64歳	33	18.2	27.3	3.0	42.4	6.1	3.0	-	-	104	1.0	35.6	3.8	4.8	7.7	44.2	1.0	1.9	183	2.2	80.3	7.1	6.0	-	0.5	3.8	-			
65~69歳	17	11.8	17.6	5.9	58.8	5.9	-	-	-	86	1.2	34.9	8.1	3.5	15.1	36.0	-	1.2	152	3.9	77.6	7.2	5.3	-	-	5.3	-			
70歳以上	21	14.3	42.9	14.3	23.8	-	-	-	-	84	1.2	36.9	8.3	4.8	15.5	32.1	-	1.2	243	2.9	80.2	8.6	4.5	-	-	2.9	-			
[職 業]																														
農 林 水 産 業	6	16.7	33.3	-	16.7	33.3	-	-	-	37	-	37.8	2.7	2.7	16.2	37.8	-	2.7	67	1.5	76.1	6.0	9.0	-	-	6.0	-			
商 工 サ ー ビ ス 業	25	40.0	28.0	4.0	28.0	-	-	-	-	120	1.7	33.3	4.2	2.5	15.8	40.8	-	0.8	146	4.1	76.7	7.5	7.5	-	-	2.7	-			
管 理 職	12	8.3	16.7	-	75.0	-	-	-	-	35	2.9	37.1	2.9	5.7	11.4	37.1	2.9	-	24	-	75.0	12.5	-	-	-	12.5	-			
事 務 職	80	18.8	18.8	5.0	48.8	5.0	-	-	3.8	270	0.4	33.0	4.8	2.6	11.9	44.8	0.4	1.5	159	3.1	82.4	5.7	3.8	0.6	1.3	3.1	-			
労 務 職	61	29.5	24.6	1.6	26.2	14.8	-	-	-	266	1.5	36.8	5.6	1.9	13.9	38.0	-	1.9	233	3.0	76.8	9.4	5.2	-	1.3	4.3	-			
主 婦	52	21.2	32.7	3.8	40.4	-	1.9	-	-	323	0.9	31.6	3.7	2.8	10.2	49.2	-	1.2	345	3.2	80.3	7.8	3.5	-	0.9	4.1	-			
学 生	35	25.7	17.1	2.9	40.0	5.7	-	-	5.7	100	2.0	31.0	4.0	1.0	10.0	48.0	-	3.0	37	8.1	70.3	16.2	2.7	-	-	2.7	-			
そ の 他 の 無 職	26	11.5	34.6	11.5	38.5	-	-	-	-	117	3.4	35.9	9.4	2.6	10.3	35.0	0.9	2.6	232	3.4	78.9	7.8	6.0	-	0.9	2.6	-			
自 由 業	3	-	33.3	-	33.3	33.3	-	-	-	27	-	25.9	3.7	-	7.4	63.0	-	-	15	6.7	86.7	-	-	-	-	-	-			
専 門 技 術 職	8	25.0	12.5	12.5	25.0	25.0	-	-	-	12	-	41.7	-	-	16.7	41.7	-	-	11	-	90.9	-	-	-	-	9.1	-			

(3) 新聞や広報紙で使った方がよいと思う表記, その理由

<インキュベーション/インキュベーション(起業支援)/起業支援>

新聞や広報紙では、「インキュベーション」《外来語や略語の単独表記》, 「インキュベーション(起業支援)」《言い換え語を()内に併記》, 「起業支援」《言い換え語の単独表記》のうち, どの表記を使った方がよいと思うかを, 性別・年齢別・職業別にみていく(図3-7-4)。

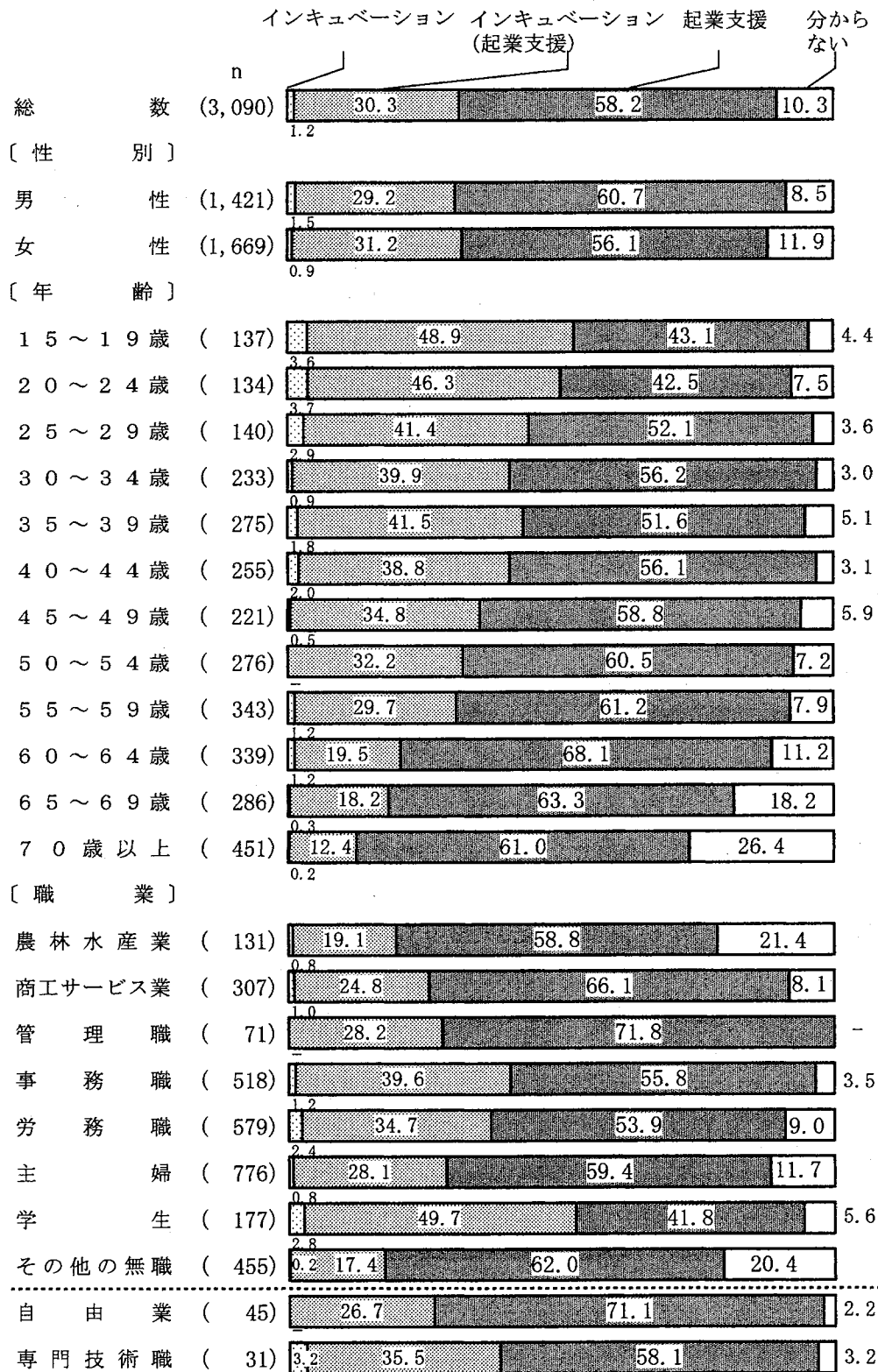
性別にみると, 男性が女性よりやや多いのは「起業支援」《言い換え語の単独表記》(男性 60.7%, 女性 56.1%)である。

年齢別にみると, 「インキュベーション(起業支援)」《言い換え語を()内に併記》は若年層ほど, 「起業支援」《言い換え語の単独表記》は高齢層ほど多くなる傾向がみられる。

職業別にみると, 「起業支援」《言い換え語の単独表記》をあげる人は管理職(71.8%)で7割強である。また, 「インキュベーション(起業支援)」《言い換え語を()内に併記》は学生(49.7%), 事務職(39.6%)で, 他の職業層に比べて多い。

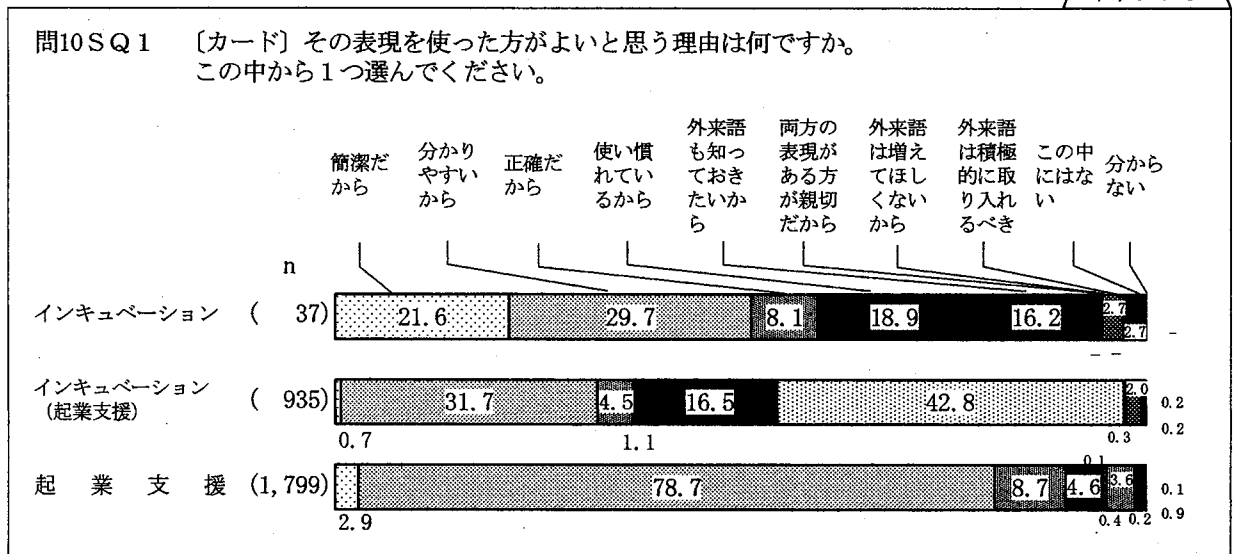
図 3-7-4 新聞や広報紙で使った方がよいと思う表現

<インキュベーション/インキュベーション(起業支援)/起業支援> (性別, 年齢別, 職業別)



*「自由業」と「専門技術職」は、回答者数が50人より小さいので参照するにとどめ、分析の対象からは外してある。

図 3-7-5



新聞や広報紙で、その表現を使った方がよいと思う理由を聞いた (図 3-7-5)。

「インキュベーション(起業支援)《言い換え語を () 内に併記》を使った方がよいと思う理由では、「両方の表現がある方が親切だから」(42.8%)が4割強、「分かりやすいから」(31.7%)が3割強である。

「起業支援」《言い換え語の単独表記》を使った方がよいと思う理由では、「分かりやすいから」(78.7%)が8割弱を占める。

次に、性別、年齢別、職業別にみていく (表 3-7-2)。

性別にみると、「インキュベーション(起業支援)《言い換え語を () 内に併記》を使った方がよいと思う理由で、女性が男性より多いのは、「両方の表現がある方が親切だから」(男性 40.0%、女性 45.0%)である。「起業支援」《言い換え語の単独表記》を使った方がよいと思う理由で、女性が男性より多いのは、「分かりやすいから」(男性 75.9%、女性 81.2%)である。

年齢別にみると、「インキュベーション(起業支援)《言い換え語を () 内に併記》を使った方がよいと思う理由に「両方の表現がある方が親切だから」をあげる人は45~54歳(45~49歳 48.1%、50~54歳 52.8%)で5割前後である。

職業別にみると、「インキュベーション(起業支援)《言い換え語を () 内に併記》を使った方がよいと思う理由に「分かりやすいから」をあげる人は、その他の無職(40.5%)で他の職業層に比べて多い。

表 3-7-2 その表現を使った方がよいと思う理由

<インキュベーション/インキュベーション(起業支援)/起業支援> (性別, 年齢別, 職業別)

	インキュベーション										インキュベーション(起業支援)										起業支援									
	該 当 数	簡 潔 だ か ら	分 か り や す い か ら	正 確 だ か ら	使 い 慣 れ て い る か ら	外 来 語 も 知 っ て お き た い か ら	両 方 の 表 現 が あ る 方 が 親 切 だ か ら	外 来 語 は 増 え て ほ し く な い か ら	外 来 語 は 積 極 的 に 取 り 入 れ る べ き	%	該 当 数	簡 潔 だ か ら	分 か り や す い か ら	正 確 だ か ら	使 い 慣 れ て い る か ら	外 来 語 も 知 っ て お き た い か ら	両 方 の 表 現 が あ る 方 が 親 切 だ か ら	外 来 語 は 増 え て ほ し く な い か ら	外 来 語 は 積 極 的 に 取 り 入 れ る べ き	%	該 当 数	簡 潔 だ か ら	分 か り や す い か ら	正 確 だ か ら	使 い 慣 れ て い る か ら	外 来 語 も 知 っ て お き た い か ら	両 方 の 表 現 が あ る 方 が 親 切 だ か ら	外 来 語 は 増 え て ほ し く な い か ら	外 来 語 は 積 極 的 に 取 り 入 れ る べ き	%
総 数	37	21.6	29.7	8.1	18.9	16.2	-	-	2.7	935	0.7	31.7	4.5	1.1	16.5	42.8	0.3	2.0	1,799	2.9	78.7	8.7	4.6	0.1	0.4	3.6	0.2			
[性 別]																														
男 性	22	22.7	27.3	4.5	22.7	18.2	-	-	-	415	1.0	32.0	5.8	1.7	16.6	40.0	0.7	1.7	863	3.2	75.9	9.2	5.8	0.1	0.5	4.4	-			
女 性	15	20.0	33.3	13.3	13.3	13.3	-	-	6.7	520	0.6	31.3	3.5	0.6	16.3	45.0	-	2.3	936	2.6	81.2	8.2	3.4	-	0.3	2.9	0.3			
[年 齢]																														
15~19歳	5	20.0	60.0	-	-	-	-	-	-	67	1.5	34.3	1.5	-	17.9	40.3	-	3.0	59	6.8	78.0	13.6	-	-	-	1.7	-			
20~24歳	5	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-	-	-	62	1.6	27.4	3.2	3.2	11.3	45.2	-	8.1	57	8.8	63.2	17.5	7.0	-	-	3.5	-			
25~29歳	4	25.0	-	-	50.0	25.0	-	-	-	58	1.7	37.9	3.4	-	15.5	36.2	-	1.7	73	6.8	78.1	5.5	5.5	-	1.4	-	-			
30~34歳	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	93	1.1	31.2	7.5	1.1	15.1	39.8	1.1	3.2	131	2.3	82.4	5.3	7.6	-	-	1.5	0.8			
35~39歳	5	40.0	20.0	-	40.0	-	-	-	-	114	0.9	25.4	7.9	0.9	20.2	43.9	-	0.9	142	3.5	81.7	7.0	2.8	0.7	1.4	1.4	0.7			
40~44歳	5	20.0	40.0	20.0	20.0	-	-	-	-	99	1.0	25.3	2.0	-	23.2	41.4	1.0	5.1	143	2.1	81.1	9.1	2.8	-	-	3.5	-			
45~49歳	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	77	-	27.3	3.9	-	20.8	48.1	-	-	130	2.3	72.3	12.3	7.7	-	-	3.8	-			
50~54歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	89	-	29.2	4.5	-	12.4	52.8	-	1.1	167	1.2	85.0	4.2	1.8	-	1.2	4.8	-			
55~59歳	4	-	25.0	25.0	25.0	25.0	-	-	-	102	-	38.2	3.9	1.0	15.7	41.2	-	-	210	3.8	74.3	9.5	7.1	-	0.5	4.3	-			
60~64歳	4	-	25.0	-	-	75.0	-	-	-	66	-	33.3	3.0	4.5	10.6	45.5	1.5	1.5	231	1.3	77.9	6.5	6.9	-	0.4	5.6	-			
65~69歳	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	52	1.9	32.7	3.8	3.8	19.2	38.5	-	-	181	2.2	81.2	8.8	1.7	-	-	5.0	0.6			
70歳以上	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	56	-	46.4	7.1	-	10.7	35.7	-	-	275	2.5	78.9	10.9	3.3	-	-	3.3	-			
[職 業]																														
農 林 水 産 業	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	25	-	36.0	-	-	20.0	44.0	-	-	77	-	76.6	9.1	6.5	-	-	6.5	-			
商 工 サ ー ビ ス 業	3	-	66.7	-	33.3	-	-	-	-	76	2.6	27.6	3.9	-	19.7	44.7	-	-	203	3.4	75.9	10.3	5.4	-	0.5	2.5	0.5			
管 理 職	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	5.0	20.0	10.0	5.0	15.0	40.0	5.0	-	51	2.0	74.5	7.8	5.9	-	-	5.9	-			
事 務 職	6	-	33.3	16.7	50.0	-	-	-	-	205	0.5	27.3	6.8	1.0	17.6	44.4	0.5	2.0	289	4.2	80.6	5.9	4.2	0.3	0.7	3.1	0.3			
労 務 職	14	28.6	14.3	7.1	14.3	35.7	-	-	-	201	0.5	33.3	4.5	-	18.4	39.8	-	3.0	312	2.2	80.1	8.7	4.2	-	0.3	3.2	-			
主 婦	6	33.3	16.7	16.7	16.7	-	-	-	16.7	218	0.5	33.5	2.3	1.4	13.3	47.7	-	0.9	461	2.4	81.1	8.2	3.3	-	0.4	3.5	0.2			
学 生	5	20.0	60.0	-	-	-	-	-	-	88	1.1	31.8	1.1	1.1	17.0	39.8	-	6.8	74	8.1	73.0	14.9	1.4	-	-	2.7	-			
そ の 他 の 無 職	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	79	-	40.5	8.9	2.5	11.4	34.2	1.3	1.3	282	2.5	75.2	9.6	7.4	-	0.4	4.6	-			
自 由 業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	25.0	8.3	8.3	16.7	41.7	-	-	32	3.1	81.3	9.4	3.1	-	-	-	-			
専 門 技 術 職	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	11	-	27.3	-	-	27.3	45.5	-	-	18	-	83.3	5.6	-	-	-	11.1	-			

(4) 新聞や広報紙で使った方がよいと思う表記, その理由

<NPO/NPO(非営利団体)/非営利団体>

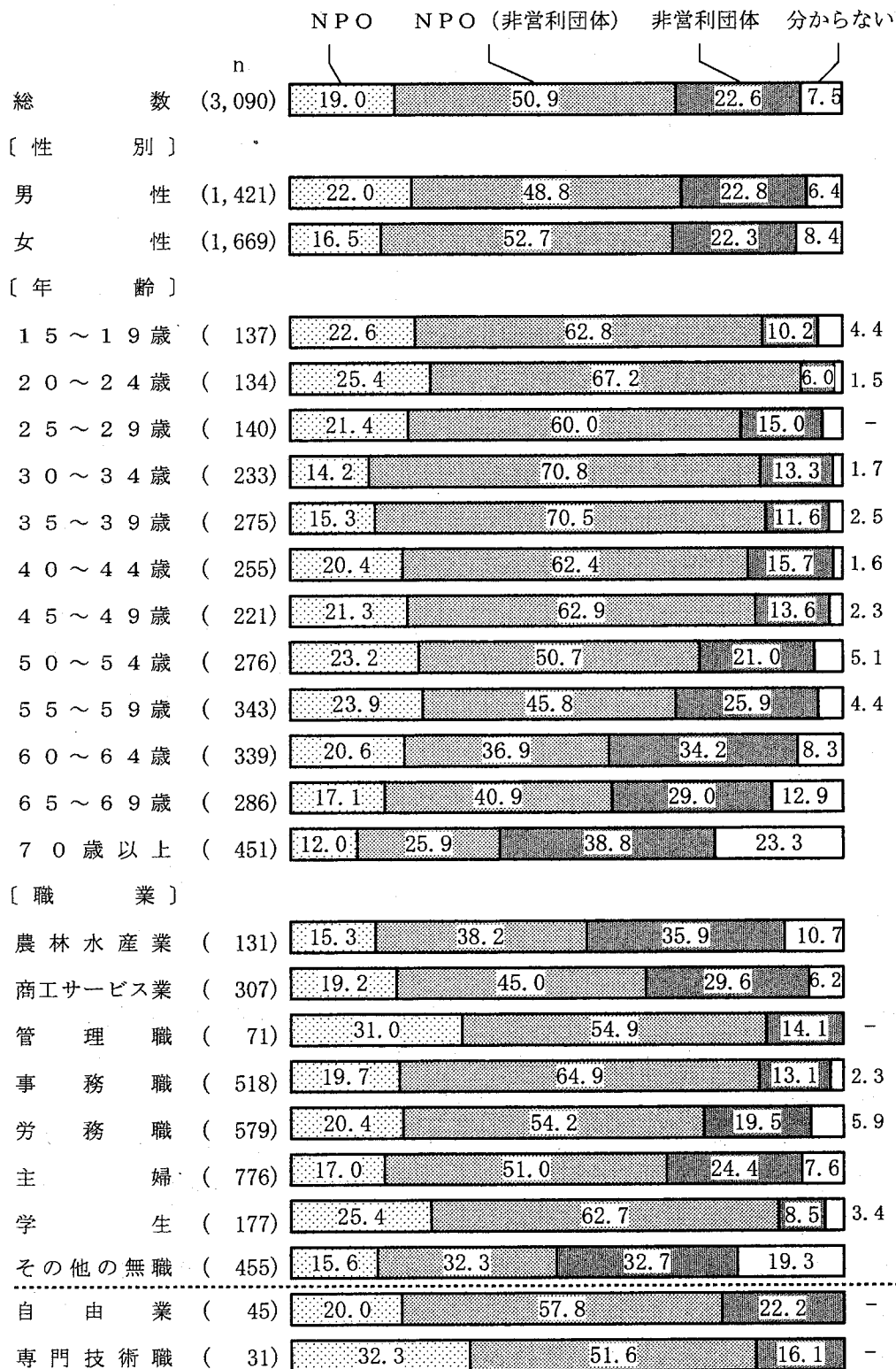
新聞や広報紙では、「NPO」《外来語や略語の単独表記》, 「NPO(非営利団体)」《言い換え語を()内に併記》, 「非営利団体」《言い換え語の単独表記》のうち, どの表記を使った方がよいと思うかを, 性別・年齢別・職業別にみていく(図 3-7-6)。

性別にみると, 女性が男性より多いのは「NPO(非営利団体)」《言い換え語を()内に併記》(男性 48.8%, 女性 52.7%)である。男性が女性より多いのは「NPO」《外来語や略語の単独表記》(男性 22.0%, 女性 16.5%)である。

年齢別にみると, 「NPO(非営利団体)」《言い換え語を()内に併記》を使った方がよいと思う人は 30~34歳(70.8%), 35~39歳(70.5%)で7割を占め, 若年層ほど多くなる傾向がみられる。「非営利団体」《言い換え語の単独表記》は高齢層で多い。

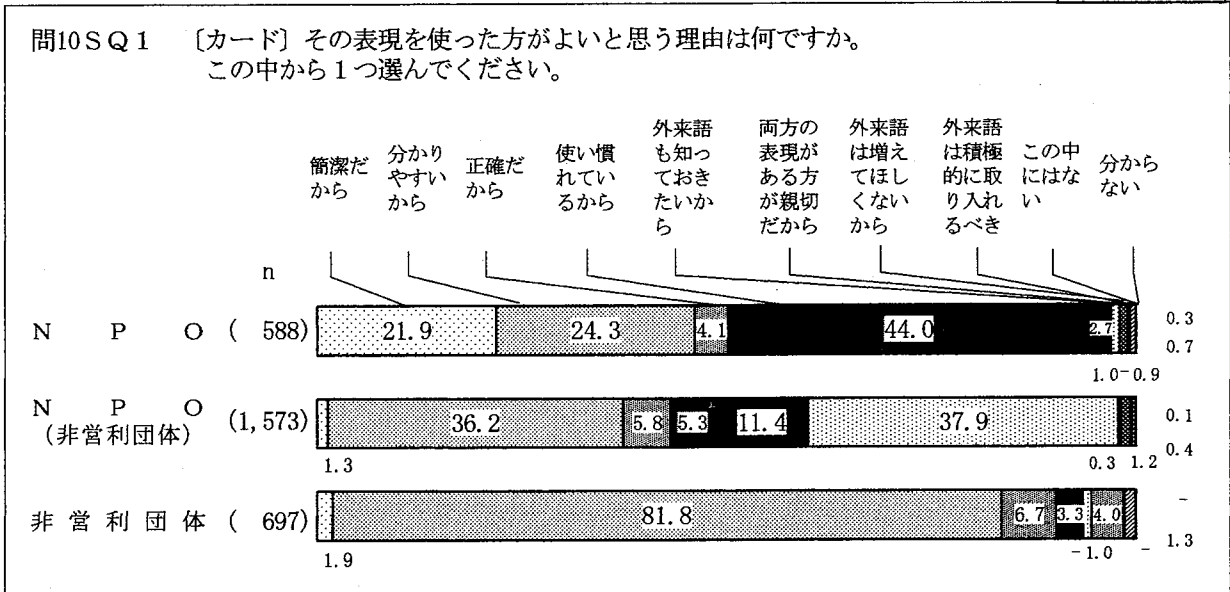
職業別にみると, 「NPO(非営利団体)」《言い換え語を()内に併記》は事務職(64.9%), 学生(62.7%)で多い。「非営利団体」《言い換え語の単独表記》は農林水産業(35.9%), その他の無職(32.7%)で多い。「NPO」《外来語や略語の単独表記》は管理職(31.0%)で他の職業層に比べて多い。

図 3-7-6 新聞や広報紙で使った方がよいと思う表現<NPO/NPO(非営利団体)/非営利団体>
(性別, 年齢別, 職業別)



*「自由業」と「専門技術職」は、回答者数が50人より小さいので参照するにとどめ、分析の対象からは外してある。

図 3-7-7



新聞や広報紙で、その表現を使った方がよいと思う理由を聞いた（図 3-7-7）。

「NPO」《外来語や略語の単独表記》を使った方がよいと思う理由では、「使い慣れているから」（44.0%）が4割強でもっとも多く、次いで、「分かりやすいから」（24.3%）と、「簡潔だから」（21.9%）がともに2割強である。

「NPO(非営利団体)《言い換え語を（ ）内に併記》を使った方がよいと思う理由では、「両方の表現がある方が親切だから」（37.9%）と、「分かりやすいから」（36.2%）がともに4割弱で並んでいる。

「非営利団体」《言い換え語の単独表記》を使った方がよいと思う理由では、「分かりやすいから」（81.8%）が8割強を占めている。

次に、性別、年齢別、職業別にみていく（表 3-7-3）。

性別にみると、「NPO」《外来語や略語の単独表記》を使った方がよいと思う理由で男性が女性より多いのは「使い慣れているから」（男性 47.9%、女性 39.6%）である。女性が男性より多いのは「分かりやすいから」（男性 19.2%、女性 30.2%）である。また、「NPO(非営利団体)《言い換え語を（ ）内に併記》を使った方がよいと思う理由で、女性が男性より多いのは「両方の表現がある方が親切だから」（男性 35.1%、女性 40.1%）である。

年齢別にみると、「NPO(非営利団体)《言い換え語を（ ）内に併記》を使った方がよいと思う理由に「両方の表現がある方が親切だから」をあげる人は、20～24歳（44.4%）、50～54歳（43.6%）が多い。「分かりやすいから」をあげる人は70歳以上（43.6%）が多い。「外来語も知っておきたいから」をあげる人は45～49歳（16.5%）で他の年齢層に比べて多い。

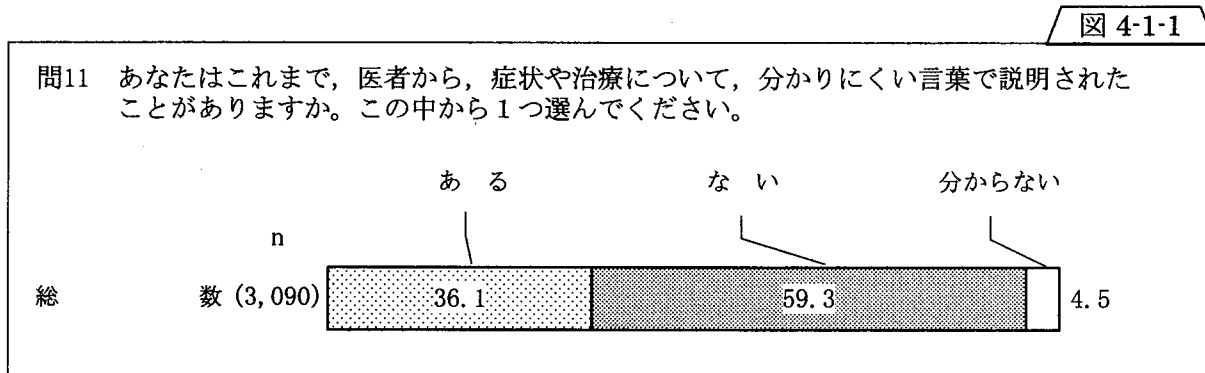
職業別にみると、「NPO」《外来語や略語の単独表記》を使った方がよいと思う理由に「使い慣れているから」をあげる人は事務職（56.9%）が多い。また、「NPO(非営利団体)《言い換え語を（ ）内に併記》を使った方がよいと思う理由に「両方の表現がある方が親切だから」をあげる人は、事務職（43.5%）が多い。

表 3-7-3 その表現を使った方がよいと思う理由<NPO/NPO(非営利団体)/非営利団体>
(性別, 年齢別, 職業別)

	N P O									NPO(非営利団体)									非営利団体									
	該 当 数	簡 潔 だ か ら	分 かり や す い か ら	正 確 だ か ら	使 い 慣 れ て い る か ら	外 来 語 も 知 っ て お き た い か ら	両 方 の 表 現 が あ る 方 が 親 切 だ か ら	外 来 語 は 増 え て ほ し く な い か ら	外 来 語 は 積 極 的 に 取 り 入 れ る べ き	該 当 数	簡 潔 だ か ら	分 かり や す い か ら	正 確 だ か ら	使 い 慣 れ て い る か ら	外 来 語 も 知 っ て お き た い か ら	両 方 の 表 現 が あ る 方 が 親 切 だ か ら	外 来 語 は 増 え て ほ し く な い か ら	外 来 語 は 積 極 的 に 取 り 入 れ る べ き	該 当 数	簡 潔 だ か ら	分 かり や す い か ら	正 確 だ か ら	使 い 慣 れ て い る か ら	外 来 語 も 知 っ て お き た い か ら	両 方 の 表 現 が あ る 方 が 親 切 だ か ら	外 来 語 は 増 え て ほ し く な い か ら	外 来 語 は 積 極 的 に 取 り 入 れ る べ き	
	n	%	%	%	%	%	%	%	n	%	%	%	%	%	%	%	%	n	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総 数	588	21.9	24.3	4.1	44.0	2.7	1.0	-	0.9	1,573	1.3	36.2	5.8	5.3	11.4	37.9	0.3	1.2	697	1.9	81.8	6.7	3.3	-	1.0	4.0	-	
[性 別]																												
男 性	313	20.1	19.2	5.1	47.9	3.8	1.3	-	1.0	693	1.6	37.2	6.8	6.1	11.3	35.1	0.4	0.9	324	2.5	79.3	7.4	3.7	-	0.9	5.6	-	
女 性	275	24.0	30.2	2.9	39.6	1.5	0.7	-	0.7	880	1.1	35.5	5.1	4.7	11.5	40.1	0.1	1.5	373	1.3	83.9	6.2	2.9	-	1.1	2.7	-	
[年 齢]																												
15~19歳	31	32.3	22.6	-	35.5	3.2	-	-	3.2	86	1.2	33.7	5.8	3.5	11.6	39.5	-	3.5	14	14.3	64.3	14.3	-	-	-	7.1	-	
20~24歳	34	17.6	26.5	8.8	44.1	-	-	-	2.9	90	3.3	28.9	3.3	4.4	12.2	44.4	-	3.3	8	-	50.0	25.0	-	-	-	12.5	-	
25~29歳	30	36.7	23.3	3.3	36.7	-	-	-	-	84	1.2	35.7	4.8	6.0	11.9	36.9	-	1.2	21	4.8	85.7	4.8	4.8	-	-	-	-	
30~34歳	33	39.4	12.1	9.1	30.3	6.1	-	-	3.0	165	1.8	38.8	4.2	3.0	8.5	41.2	0.6	1.2	31	-	90.3	9.7	-	-	-	-	-	
35~39歳	42	31.0	19.0	-	50.0	-	-	-	-	194	1.0	34.5	7.2	3.1	14.4	39.7	-	-	32	3.1	90.6	-	-	-	6.3	-	-	
40~44歳	52	21.2	21.2	5.8	51.9	-	-	-	-	159	0.6	29.6	6.9	6.9	11.9	39.0	0.6	3.8	40	-	87.5	7.5	-	-	-	5.0	-	
45~49歳	47	17.0	25.5	2.1	46.8	4.3	-	-	-	139	-	33.1	5.0	5.8	16.5	37.4	-	0.7	30	-	73.3	13.3	3.3	-	-	10.0	-	
50~54歳	64	17.2	31.3	-	43.8	6.3	1.6	-	-	140	-	37.9	3.6	7.9	6.4	43.6	-	0.7	58	1.7	82.8	5.2	-	-	3.4	5.2	-	
55~59歳	82	19.5	18.3	6.1	47.6	2.4	3.7	-	1.2	157	2.5	38.9	7.0	4.5	10.8	35.7	-	-	89	1.1	79.8	7.9	5.6	-	-	1.1	3.4	-
60~64歳	70	12.9	22.9	8.6	47.1	4.3	2.9	-	1.4	125	0.8	40.8	4.0	8.8	8.0	36.8	-	0.8	116	-	85.3	4.3	6.0	-	-	3.4	-	
65~69歳	49	18.4	30.6	-	51.0	-	-	-	-	117	1.7	38.5	6.0	5.1	13.7	34.2	-	0.9	83	1.2	83.1	4.8	2.4	-	1.2	6.0	-	
70歳以上	54	22.2	35.2	3.7	31.5	3.7	-	-	-	117	2.6	43.6	11.1	5.1	10.3	24.8	1.7	-	175	3.4	78.9	7.4	4.0	-	0.6	3.4	-	
[職 業]																												
農林水産業	20	15.0	30.0	5.0	40.0	5.0	5.0	-	-	50	-	38.0	8.0	6.0	14.0	32.0	-	-	47	2.1	74.5	8.5	6.4	-	-	6.4	-	
商工サービス業	59	27.1	28.8	1.7	40.7	1.7	-	-	-	138	1.4	38.4	5.1	7.2	13.0	33.3	-	-	91	1.1	79.1	7.7	3.3	-	1.1	5.5	-	
管 理 職	22	4.5	4.5	18.2	68.2	-	-	-	4.5	39	2.6	38.5	5.1	7.7	12.8	28.2	2.6	2.6	10	-	70.0	20.0	-	-	-	10.0	-	
事 務 職	102	15.7	19.6	3.9	56.9	2.9	-	-	1.0	336	0.9	31.8	8.0	4.2	9.8	43.5	0.3	1.2	68	1.5	85.3	4.4	1.5	-	-	4.4	2.9	-
労 務 職	118	21.2	25.4	5.1	38.1	5.9	1.7	-	0.8	314	1.0	41.4	4.1	3.8	12.4	35.0	-	1.9	113	0.9	85.0	6.2	2.7	-	-	4.4	-	
主 婦	132	26.5	28.0	3.0	40.2	-	1.5	-	-	396	1.8	34.1	5.8	5.8	10.9	40.7	0.3	0.3	189	1.6	85.7	5.8	2.1	-	1.1	2.1	-	
学 生	45	26.7	20.0	4.4	40.0	2.2	-	-	4.4	111	1.8	32.4	5.4	5.4	10.8	38.7	-	4.5	15	13.3	60.0	13.3	-	-	-	13.3	-	
その他の無職	71	22.5	23.9	1.4	45.1	2.8	1.4	-	-	147	1.4	42.9	6.1	6.1	11.6	29.3	0.7	1.4	149	2.0	80.5	7.4	5.4	-	0.7	3.4	-	
自 由 業	9	33.3	33.3	11.1	22.2	-	-	-	-	26	-	26.9	3.8	7.7	7.7	53.8	-	-	10	10.0	70.0	-	10.0	-	-	-	-	
専 門 技 術 職	10	20.0	30.0	-	40.0	10.0	-	-	-	16	6.3	31.3	-	6.3	18.8	37.5	-	-	5	-	80.0	-	-	-	-	20.0	-	

第4章 医療の専門家に期待する言葉遣いの工夫

1 医師から、症状や治療について、分かりにくい言葉で説明された経験



医師から、症状や治療について分かりにくい言葉で説明された経験があるかどうか聞いた(図 4-1-1)。「ある」(36.1%)という人は4割弱、「ない」(59.3%)という人は6割である。

次に、性別、年齢別、職業別にみていく(図 4-1-2)。

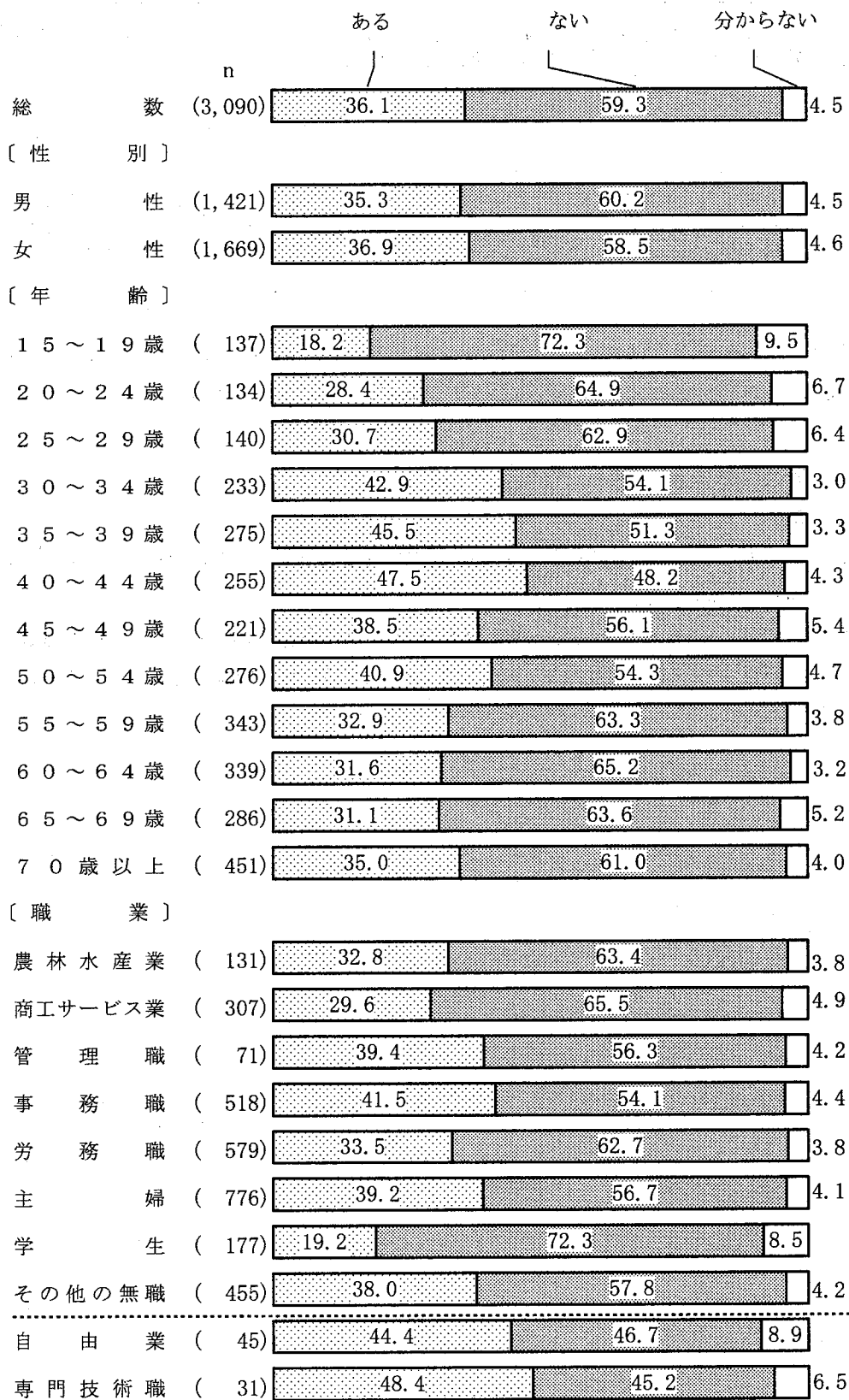
性別にみると、差はみられない。

年齢別にみると、「ある」という人は30~44歳の年齢層(30~34歳 42.9%, 35~39歳 45.5%, 40~44歳 47.5%)で他の年齢層に比べて多い。

職業別にみると、「ある」という人は事務職(41.5%), 管理職(39.4%), 主婦(39.2%), その他の無職(38.0%)で多い。「ない」という人は学生(72.3%)で他の職業層に比べて多い。

図 4-1-2 医師から、症状や治療について、分かりにくい言葉で説明された経験

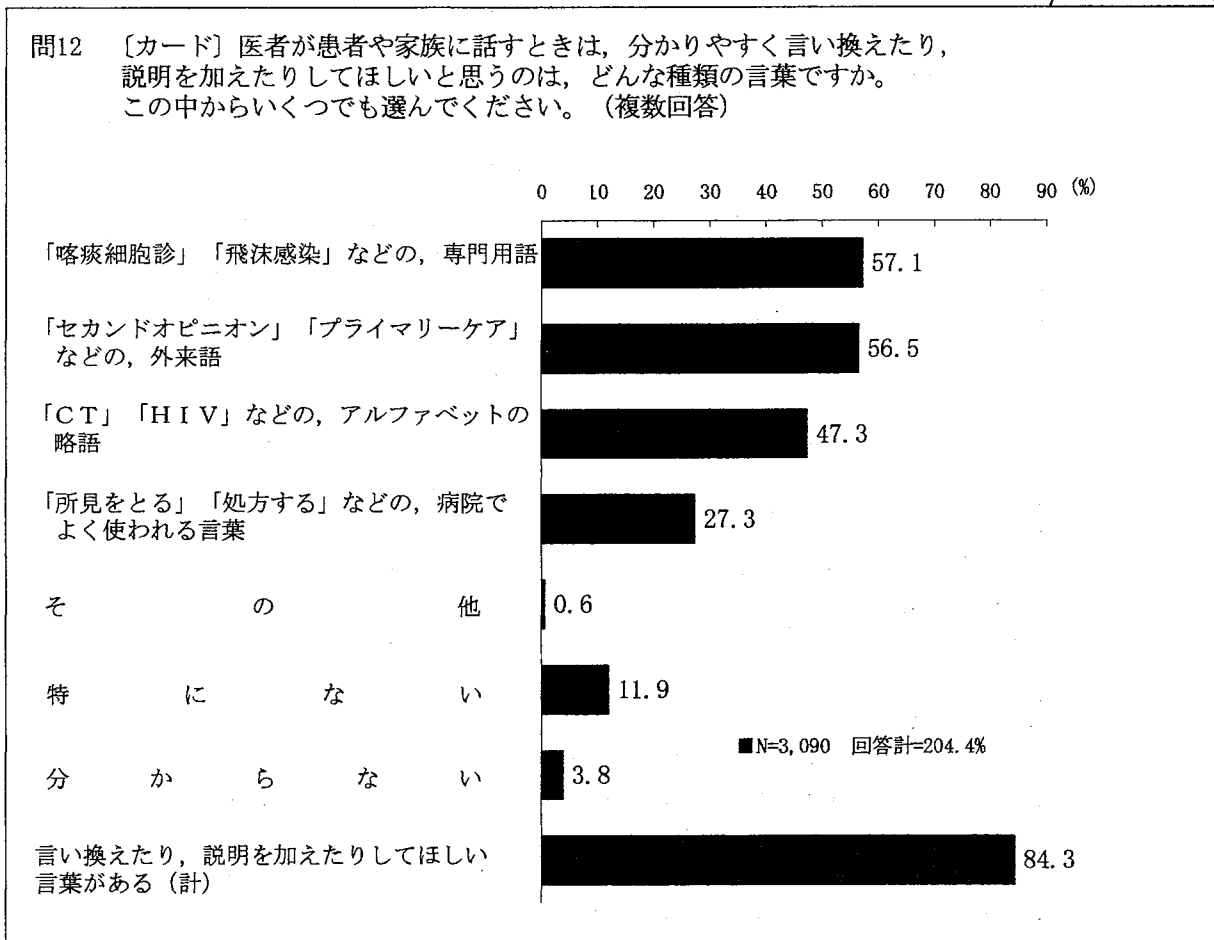
(性別、年齢別、職業別)



*「自由業」と「専門技術職」は、回答者数が50人より小さいので参照するにとどめ、分析の対象からは外してある。

2 分かりやすく言い換えたり、説明を加えたりしてほしい医療用語

図 4-2-1



医師が患者や家族に話すとき、分かりやすく言い換えたり、説明を加えたりしてほしい言葉の種類を聞いた(図 4-2-1)。

「咳痰細胞診」「飛沫感染」などの専門用語(57.1%)と、「セカンドオピニオン」「プライマリーケア」などの外来語(56.5%)が、ともに6割弱で上位にある。以下、「CT」「HIV」などのアルファベットの略語(47.3%)が5割弱、「所見をとる」「処方する」などの病院でよく使われる言葉(27.3%)が3割弱の順である。

分かりやすく言い換えたり、説明を加えたりしてほしい言葉として、何らかの言葉をあげる人の合計(84.3%)は8割以上である。「特にない」(11.9%)という人は1割強である。

次に、性別、年齢別、職業別にみていく(表 4-2-1)。

性別にみると、差はみられない。

年齢別にみると、「専門用語」をあげる人が20~49歳の年齢層で6割を超えている。また、「病院でよく使われる言葉」をあげる人は60~64歳(34.8%)で他の年齢層に比べて多い。

職業別にみると、大きな差はみられない。

表 4-2-1 分かりやすく言い換えたり，説明を加えたりしてほしい医療用語（性別，年齢別，職業別）

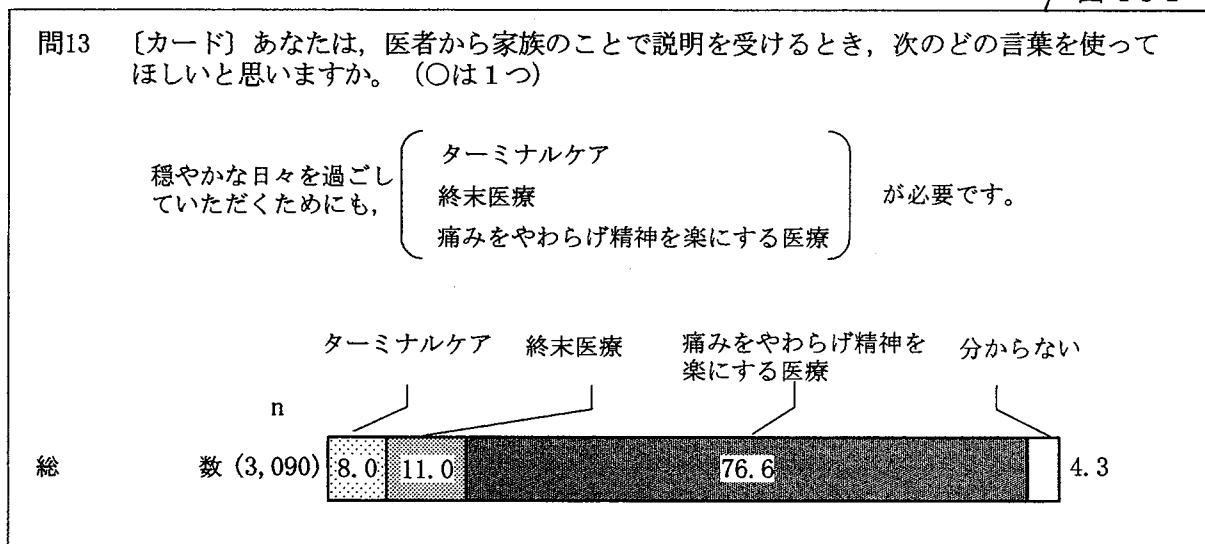
		(複数回答)									
		総 数	の「 所見をとる 病院でよく 処方する 言葉」など	「 セカンド オピニオン 」などの 外来語	「 C T アベットの 略語」 などの、 アル	「 喀痰細胞診 」 「 飛沫感染 」など	そ の 他	特 に な い	分 か ら な い	ほ い 言 い 換 え た り 、 説 明 を 加 え た り し て ほ し い 言 葉 が あ る (計)	計 (M.T.)
		n	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総	数	3,090	27.3	56.5	47.3	57.1	0.6	11.9	3.8	84.3	204.4
[性 別]											
男	性	1,421	27.9	55.2	45.5	55.0	0.4	12.3	4.1	83.6	200.4
女	性	1,669	26.8	57.5	48.8	58.8	0.7	11.5	3.6	84.9	207.8
[年 齢]											
1 5 ~ 1 9 歳		137	31.4	58.4	46.0	56.2	-	9.5	5.1	85.4	206.6
2 0 ~ 2 4 歳		134	26.1	58.2	48.5	61.2	-	13.4	2.2	84.3	209.7
2 5 ~ 2 9 歳		140	27.1	58.6	47.1	63.6	-	4.3	3.6	92.1	204.3
3 0 ~ 3 4 歳		233	20.6	61.8	51.1	67.4	-	8.2	3.0	88.8	212.0
3 5 ~ 3 9 歳		275	22.5	59.6	49.5	65.8	-	9.1	1.5	89.5	208.0
4 0 ~ 4 4 歳		255	22.7	61.6	48.2	65.5	-	9.8	2.0	88.2	209.8
4 5 ~ 4 9 歳		221	23.1	54.8	47.5	61.1	0.9	10.9	2.3	86.9	200.5
5 0 ~ 5 4 歳		276	30.4	56.2	47.8	55.1	0.4	12.3	1.1	86.6	203.3
5 5 ~ 5 9 歳		343	27.1	56.9	48.1	54.2	0.6	11.7	2.9	85.4	201.5
6 0 ~ 6 4 歳		339	34.8	51.9	45.4	53.4	0.3	12.4	4.1	83.5	202.4
6 5 ~ 6 9 歳		286	28.0	53.1	41.3	47.2	0.7	15.7	5.9	78.3	192.0
7 0 歳 以上		451	29.7	53.4	47.7	49.0	2.0	16.9	8.4	74.7	207.1
[職 業]											
農 林 水 産 業		131	22.9	54.2	40.5	50.4	0.8	18.3	8.4	73.3	195.4
商 工 サ ー ビ ス 業		307	30.9	53.4	48.2	51.1	0.7	14.7	4.6	80.8	203.6
管 理 職		71	25.4	53.5	42.3	54.9	-	11.3	-	88.7	187.3
事 務 職		518	20.7	58.5	47.5	62.0	-	10.2	1.5	88.2	200.4
労 務 職		579	29.7	58.7	50.4	60.6	0.3	9.8	3.6	86.5	213.3
主 婦		776	26.8	56.3	46.8	58.4	0.4	11.2	2.8	86.0	202.7
学 生		177	27.7	60.5	46.3	59.3	-	10.2	4.0	85.9	207.9
そ の 他 の 無 職		455	31.0	52.5	45.9	49.5	2.0	14.5	7.7	77.8	203.1
自 由 業		45	28.9	71.1	48.9	64.4	-	11.1	-	88.9	224.4
専 門 技 術 職		31	35.5	45.2	51.6	54.8	-	12.9	-	87.1	200.0

3 医師に使ってほしい言葉、使ってほしい理由

(1) 医師から家族のことで説明を受けるとき、使ってほしい言葉

<ターミナルケア／終末医療／痛みをやわらげ精神を楽にする医療>

図 4-3-1



医師から家族のことで説明を受けるとき、「ターミナルケア」《外来語》、「終末医療」《言い換え》、「痛みをやわらげ精神を楽にする医療」《説明》のうち、どの言葉を使ってほしいか聞いた(図 4-3-1)。

「痛みをやわらげ精神を楽にする医療」《説明》(76.6%)が8割弱でもっとも多く、「終末医療」《言い換え》(11.0%)と「ターミナルケア」《外来語》(8.0%)はともに1割前後である。

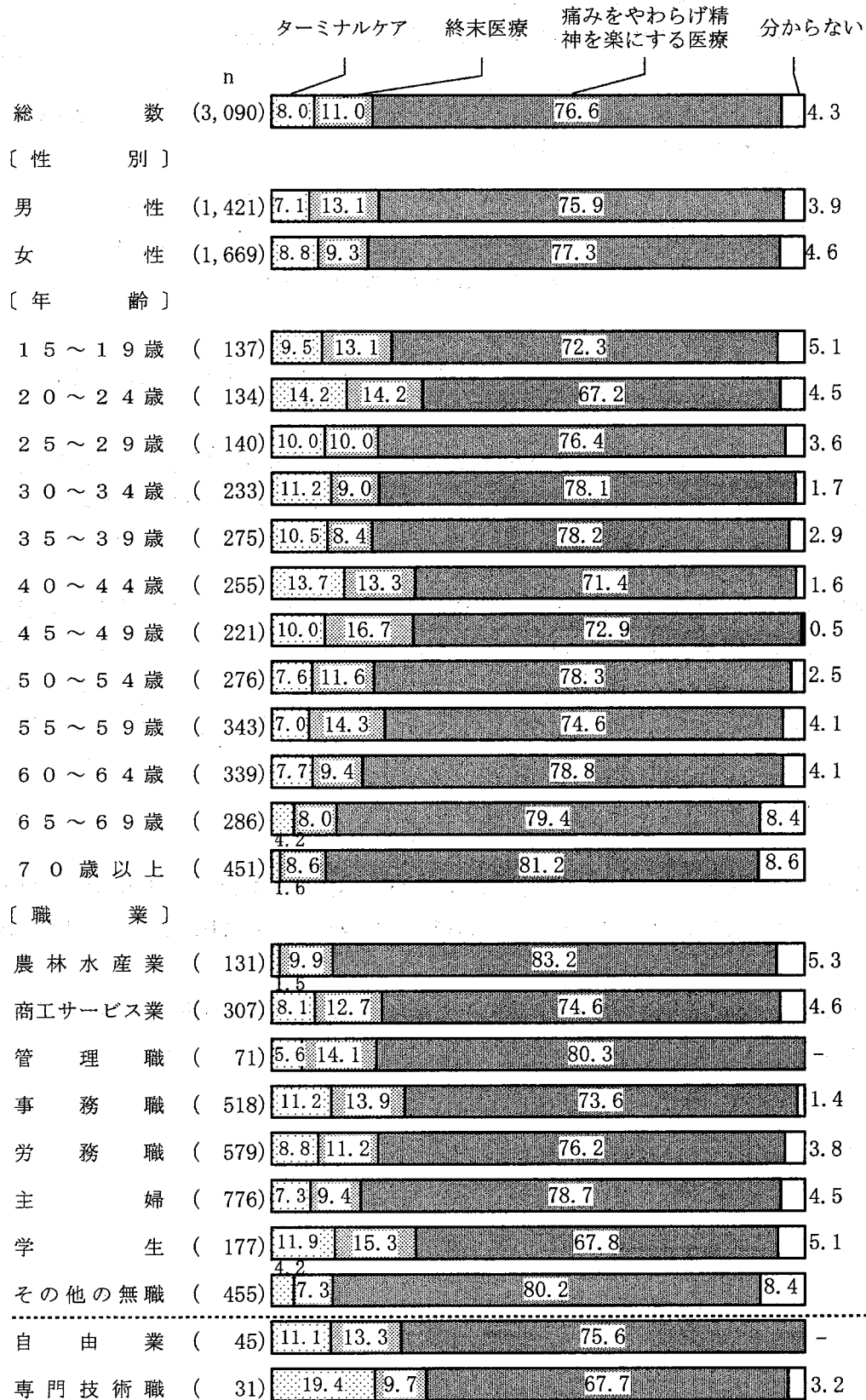
次に、性別、年齢別、職業別にみていく(図 4-3-2)。

性別にみると、差はみられない。

年齢別にみると、「ターミナルケア」《外来語》は、20～24歳(14.2%)、40～44歳(13.7%)で他の年齢層に比べてやや多い。「終末医療」《言い換え》は45～49歳(16.7%)で他の年齢層に比べてやや多い。

職業別にみると、「痛みをやわらげ精神を楽にする医療」《説明》は、農林水産業(83.2%)で他の職業層に比べてやや多い。

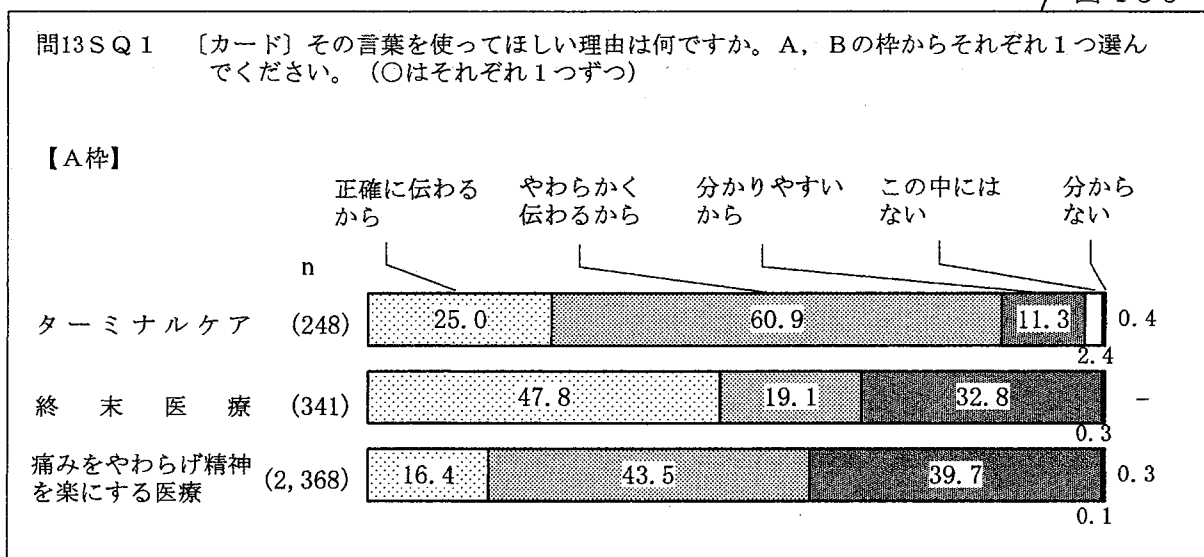
図 4-3-2 医師から家族のことで説明を受けるとき、使ってほしい言葉（性別、年齢別、職業別）



*「自由業」と「専門技術職」は、回答者数が50人より小さいので参照するにとどめ、分析の対象からは外してある。

(2) その言葉を使ってほしい理由【A枠】

図 4-3-3



その言葉を使ってほしい理由【A枠】を聞いた(図 4-3-3)。

「ターミナルケア」《外来語》を使ってほしい理由では、「やわらかく伝わるから」(60.9%)が6割でもっとも多く、次いで、「正確に伝わるから」(25.0%)の2割5分、「分かりやすいから」(11.3%)の1割強である。

「終末医療」《言い換え》を使ってほしい理由では、「正確に伝わるから」(47.8%)が5割弱でもっとも多く、次いで、「分かりやすいから」(32.8%)の3割強、「やわらかく伝わるから」(19.1%)の2割弱である。

「痛みをやわらげ精神を楽にする医療」《説明》を使ってほしい理由では、「やわらかく伝わるから」(43.5%)が4割強でもっとも多く、次いで、「分かりやすいから」(39.7%)が4割である。

次に、性別、年齢別、職業別にみていく(表 4-3-1)。

性別にみると、「ターミナルケア」《外来語》を使ってほしい理由の第1位であった「やわらかく伝わるから」は、女性(63.9%)が男性(56.4%)より多く、第2位の「正確に伝わるから」は、男性(28.7%)が女性(22.4%)より多い。

年齢別にみると、大きな差はみられない。

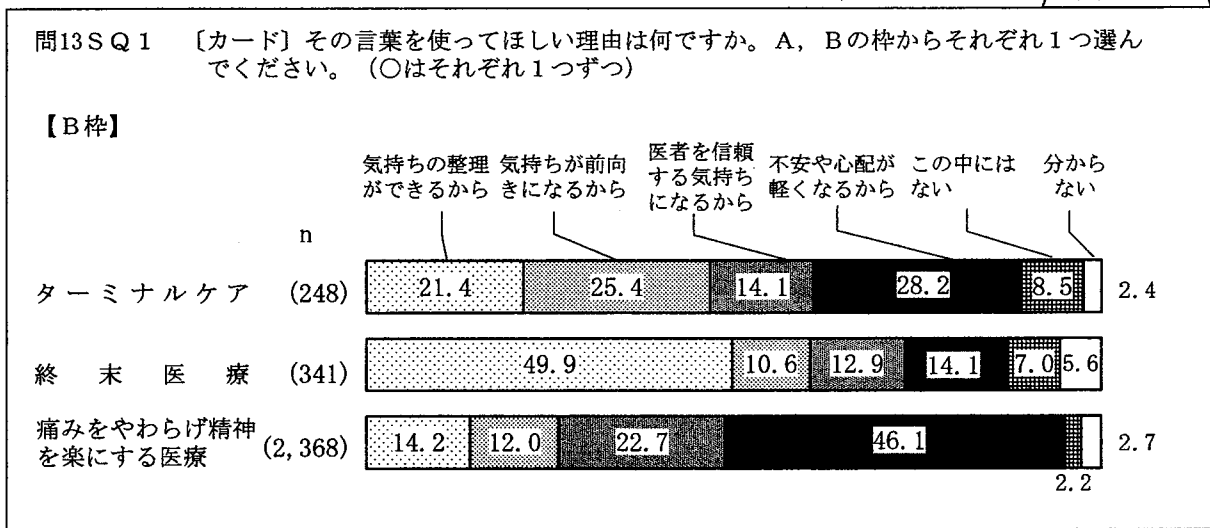
職業別にみると、「痛みをやわらげ精神を楽にする医療」《説明》を使ってほしい理由に「分かりやすいから」をあげる人は、農林水産業(48.6%)、その他の無職(45.8%)、学生(42.5%)で他の職業層に比べて多い。

表 4-3-1 その言葉を使ってほしい理由【A枠】（性別，年齢別，職業別）

	ターミナルケア				終末医療				痛みをやわらげ精神を楽にする医療			
	該 当 数	正 確 に 伝 わ る か ら	や わ ら か く 伝 わ る か ら	分 か り や す い か ら	該 当 数	正 確 に 伝 わ る か ら	や わ ら か く 伝 わ る か ら	分 か り や す い か ら	該 当 数	正 確 に 伝 わ る か ら	や わ ら か く 伝 わ る か ら	分 か り や す い か ら
	n	%	%	%	n	%	%	%	n	%	%	%
総 数	248	25.0	60.9	11.3	341	47.8	19.1	32.8	2,368	16.4	43.5	39.7
[性 別]												
男 性	101	28.7	56.4	11.9	186	47.3	20.4	31.7	1,078	16.5	42.6	40.6
女 性	147	22.4	63.9	10.9	155	48.4	17.4	34.2	1,290	16.4	44.3	38.8
[年 齢]												
15～19歳	13	38.5	46.2	15.4	18	55.6	22.2	22.2	99	21.2	31.3	47.5
20～24歳	19	21.1	68.4	10.5	19	26.3	21.1	52.6	90	24.4	41.1	34.4
25～29歳	14	28.6	42.9	14.3	14	71.4	-	28.6	107	21.5	41.1	36.4
30～34歳	26	42.3	46.2	7.7	21	52.4	28.6	19.0	182	18.7	43.4	37.9
35～39歳	29	31.0	48.3	17.2	23	69.6	8.7	21.7	215	17.2	52.1	30.2
40～44歳	35	20.0	65.7	8.6	34	41.2	20.6	38.2	182	18.7	47.3	33.5
45～49歳	22	27.3	63.6	4.5	37	48.6	29.7	21.6	161	15.5	38.5	44.1
50～54歳	21	23.8	57.1	19.0	32	34.4	15.6	50.0	216	12.5	49.1	38.4
55～59歳	24	16.7	75.0	8.3	49	40.8	18.4	40.8	256	17.6	47.3	34.4
60～64歳	26	19.2	73.1	7.7	32	43.8	15.6	37.5	267	16.1	45.7	38.2
65～69歳	12	16.7	58.3	25.0	23	52.2	17.4	30.4	227	13.7	42.7	43.6
70歳以上	7	-	100.0	-	39	56.4	20.5	23.1	366	12.8	36.3	50.3
[職 業]												
農林水産業	2	-	50.0	50.0	13	46.2	23.1	30.8	109	12.8	38.5	48.6
商工サービス業	25	24.0	68.0	8.0	39	53.8	12.8	33.3	229	14.4	45.4	39.7
管 理 職	4	75.0	25.0	-	10	50.0	30.0	20.0	57	15.8	45.6	38.6
事 務 職	58	29.3	48.3	10.3	72	47.2	16.7	34.7	381	17.3	43.0	39.4
労 務 職	51	27.5	60.8	11.8	65	40.0	24.6	35.4	441	16.3	47.2	35.8
主 婦	57	15.8	70.2	14.0	73	49.3	19.2	31.5	611	16.5	45.8	37.2
学 生	21	33.3	52.4	14.3	27	44.4	25.9	29.6	120	23.3	34.2	42.5
その他の無職	19	10.5	84.2	5.3	33	48.5	15.2	36.4	365	15.9	38.1	45.8
自 由 業	5	40.0	60.0	-	6	66.7	-	33.3	34	11.8	50.0	38.2
専 門 技 術 職	6	33.3	50.0	16.7	3	100.0	-	-	21	19.0	42.9	33.3

(3) その言葉を使ってほしい理由【B枠】

図 4-3-4



その言葉を使ってほしい理由【B枠】を聞いた(図 4-3-4)。

「ターミナルケア」《外来語》を使ってほしい理由では、「不安や心配が軽くなるから」(28.2%)が3割弱でもっとも多く、次いで、「気持ちが前向きになるから」(25.4%)が2割5分、「気持ちの整理ができるから」(21.4%)が2割強である。

「終末医療」《言い換え》を使ってほしい理由では、「気持ちの整理ができるから」(49.9%)が5割でもっとも多い。

「痛みをやわらげ精神を楽にする医療」《説明》を使ってほしい理由では、「不安や心配が軽くなるから」(46.1%)が5割弱でもっとも多く、次いで、「医師を信頼する気持ちになるから」(22.7%)が2割強である。

次に、性別、年齢別、職業別にみていく(表 4-3-2)。

性別にみると、「終末医療」《言い換え》を使ってほしい理由に、「気持ちの整理ができるから」をあげる人は、女性(53.5%)が男性(46.8%)より多い。

年齢別にみると、「痛みをやわらげ精神を楽にする医療」《説明》を使ってほしい理由に、「医師を信頼する気持ちになるから」をあげる人は70歳以上(31.7%)で他の年齢層に比べて多い。

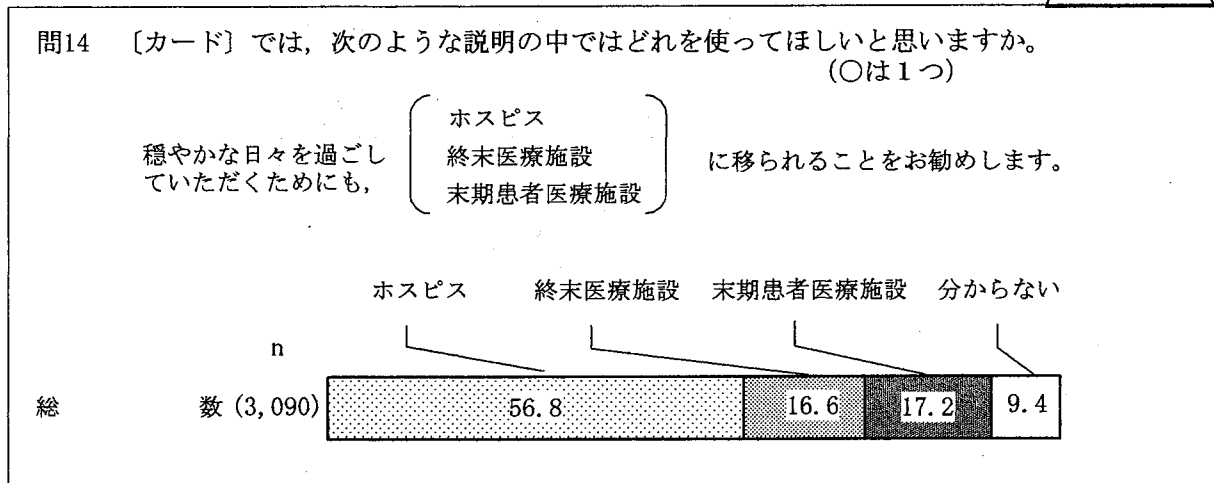
職業別にみると、「ターミナルケア」《外来語》を使ってほしい理由に、「気持ちが前向きになるから」をあげる人は、主婦(36.8%)で他の職業層に比べて多い。

表 4-3-2 その言葉を使ってほしい理由【B 枠】（性別、年齢別、職業別）

	ターミナルケア					終末医療					痛みをやわらげ精神を楽にする医療				
	該 当 数	気 持 ち の 整 理 が で き る か ら	気 持 ち が 前 向 き に な る か ら	か ら 医 者 を 信 頼 す る 気 持 ち に な る	不 安 や 心 配 が 軽 く な る か ら	該 当 数	気 持 ち の 整 理 が で き る か ら	気 持 ち が 前 向 き に な る か ら	か ら 医 者 を 信 頼 す る 気 持 ち に な る	不 安 や 心 配 が 軽 く な る か ら	該 当 数	気 持 ち の 整 理 が で き る か ら	気 持 ち が 前 向 き に な る か ら	か ら 医 者 を 信 頼 す る 気 持 ち に な る	不 安 や 心 配 が 軽 く な る か ら
	n	%	%	%	%	n	%	%	%	%	n	%	%	%	%
総 数	248	21.4	25.4	14.1	28.2	341	49.9	10.6	12.9	14.1	2,368	14.2	12.0	22.7	46.1
〔 性 別 〕															
男 性	101	21.8	18.8	16.8	28.7	186	46.8	9.1	13.4	17.2	1,078	16.5	10.8	22.3	45.2
女 性	147	21.1	29.9	12.2	27.9	155	53.5	12.3	12.3	10.3	1,290	12.3	13.1	23.1	46.9
〔 年 齢 〕															
15～19歳	13	23.1	30.8	15.4	23.1	18	66.7	16.7	5.6	5.6	99	16.2	19.2	17.2	46.5
20～24歳	19	21.1	26.3	21.1	26.3	19	47.4	15.8	15.8	10.5	90	15.6	16.7	26.7	38.9
25～29歳	14	21.4	14.3	21.4	14.3	14	71.4	-	21.4	-	107	15.9	14.0	18.7	47.7
30～34歳	26	23.1	30.8	3.8	19.2	21	42.9	9.5	9.5	9.5	182	15.9	13.7	19.8	47.3
35～39歳	29	27.6	34.5	6.9	17.2	23	39.1	13.0	13.0	17.4	215	15.8	13.5	22.8	41.9
40～44歳	35	22.9	31.4	5.7	34.3	34	38.2	11.8	14.7	11.8	182	14.8	11.5	22.0	46.2
45～49歳	22	13.6	27.3	22.7	27.3	37	62.2	10.8	13.5	10.8	161	16.1	14.3	19.3	42.9
50～54歳	21	14.3	14.3	19.0	42.9	32	59.4	-	9.4	21.9	216	13.9	13.9	18.1	47.2
55～59歳	24	25.0	12.5	20.8	33.3	49	67.3	2.0	8.2	14.3	256	13.3	13.7	21.9	47.3
60～64歳	26	26.9	26.9	15.4	23.1	32	40.6	12.5	12.5	18.8	267	15.4	9.7	20.6	50.9
65～69歳	12	8.3	25.0	16.7	41.7	23	30.4	17.4	21.7	17.4	227	13.2	9.7	24.2	48.0
70歳以上	7	14.3	14.3	14.3	57.1	39	33.3	20.5	15.4	17.9	366	10.7	6.8	31.7	44.5
〔 職 業 〕															
農 林 水 産 業	2	50.0	-	-	50.0	13	38.5	7.7	15.4	30.8	109	13.8	5.5	27.5	50.5
商 工 サ ー ビ ス 業	25	20.0	20.0	20.0	36.0	39	46.2	12.8	12.8	17.9	229	17.5	10.5	21.0	46.7
管 理 職	4	-	-	25.0	50.0	10	40.0	-	20.0	30.0	57	15.8	12.3	24.6	40.4
事 務 職	58	32.8	17.2	13.8	20.7	72	50.0	5.6	16.7	8.3	381	15.7	13.1	21.0	45.1
労 務 職	51	19.6	29.4	17.6	23.5	65	53.8	15.4	7.7	13.8	441	14.1	14.5	18.8	48.8
主 婦	57	21.1	36.8	8.8	28.1	73	53.4	11.0	15.1	11.0	611	12.6	13.1	23.4	46.2
学 生	21	23.8	28.6	9.5	23.8	27	66.7	11.1	7.4	7.4	120	17.5	15.8	20.0	45.0
そ の 他 の 無 職	19	5.3	15.8	21.1	52.6	33	33.3	9.1	12.1	21.2	365	12.6	7.4	28.2	44.7
自 由 業	5	-	20.0	-	60.0	6	50.0	16.7	16.7	16.7	34	11.8	17.6	23.5	41.2
専 門 技 術 職	6	-	33.3	16.7	-	3	33.3	33.3	-	33.3	21	14.3	9.5	23.8	33.3

(4) 医師から家族のことで説明を受けるとき、使ってほしい言葉
 <ホスピス/終末医療施設/末期患者医療施設>

図 4-3-5



医師から家族のことで説明を受けるとき、「ホスピス」《外来語》、「終末医療施設」《言い換え》、「末期患者医療施設」《言い換え》のうち、どの言葉を使ってほしいか聞いた (図 4-3-5)。

「ホスピス」《外来語》(56.8%) が 6 割弱でもっとも多く、「末期患者医療施設」《言い換え》(17.2%) と、「終末医療施設」《言い換え》(16.6%) はともに 2 割弱である。

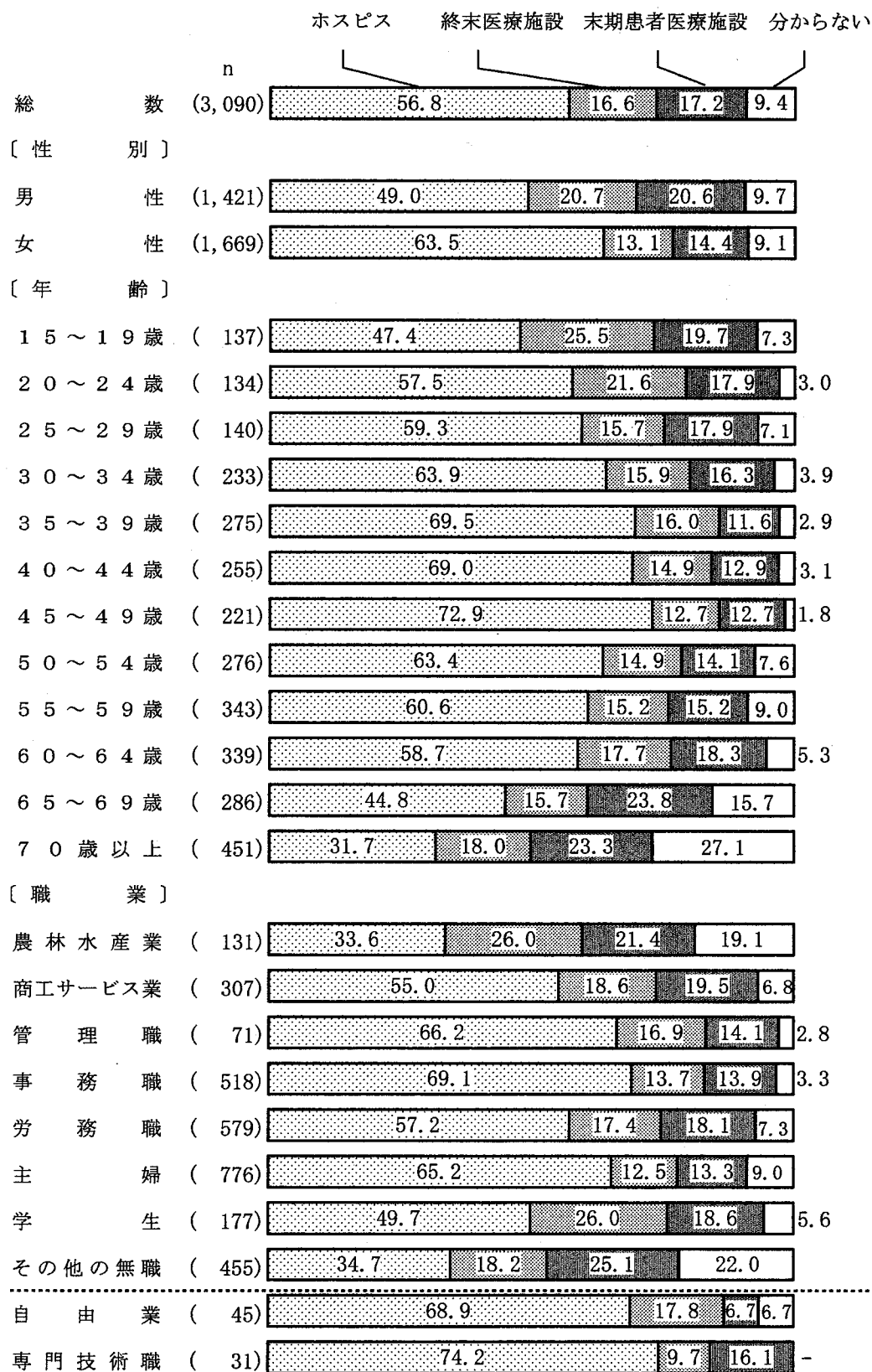
次に、性別、年齢別、職業別にみていく (図 4-3-6)。

性別にみると、「ホスピス」《外来語》を使ってほしいという人は女性 (63.5%) が男性 (49.0%) より多く、「終末医療施設」《言い換え》(男性 20.7%, 女性 13.1%), 「末期患者医療施設」《言い換え》(男性 20.6%, 女性 14.4%) を使ってほしいという人はともに、男性が女性より多い。

年齢別にみると、「ホスピス」《外来語》を使ってほしいという人は、35~49 歳 (35~39 歳 69.5%, 40~44 歳 69.0%, 45~49 歳 72.9%) で 7 割前後と多い。また、「終末医療施設」《言い換え》は 15~19 歳 (25.5%) で他の年齢層に比べて多い。

職業別にみると、「ホスピス」《外来語》を使ってほしいという人は事務職 (69.1%), 管理職 (66.2%), 主婦 (65.2%) で多い。「終末医療施設」《言い換え》を使ってほしいという人は、農林水産業 (26.0%), 学生 (26.0%) で多い。「末期患者医療施設」《言い換え》を使ってほしいという人は、その他の無職 (25.1%) で他の職業層に比べて多い。

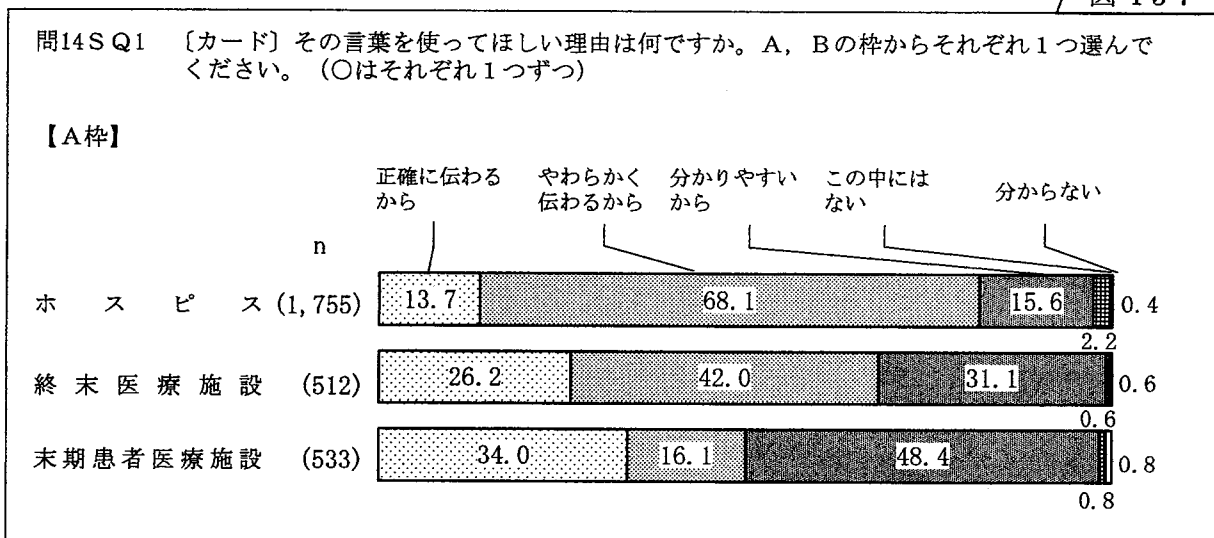
図 4-3-6 医師から家族のことで説明を受けるとき、使ってほしい言葉（性別、年齢別、職業別）



*「自由業」と「専門技術職」は、回答者数が50人より小さいので参照するにとどめ、分析の対象からは外してある。

(5) その言葉を使ってほしい理由【A枠】

図 4-3-7



その言葉を使ってほしい理由【A枠】を聞いた(図 4-3-7)。

「ホスピス」《外来語》を使ってほしい理由では、「やわらかく伝わるから」(68.1%)が7割弱を占めている。

「終末医療施設」《言い換え》を使ってほしい理由では、「やわらかく伝わるから」(42.0%)が4割強でもっとも多く、「分かりやすいから」(31.1%)と「正確に伝わるから」(26.2%)がともに3割前後である。

「末期患者医療施設」《言い換え》を使ってほしい理由では、「分かりやすいから」(48.4%)が5割強でもっとも多く、次いで、「正確に伝わるから」(34.0%)の3割強、「やわらかく伝わるから」(16.1%)の2割弱である。

次に、性別、年齢別、職業別にみていく(表 4-3-3)。

性別にみると、「終末医療施設」《言い換え》を使ってほしい理由で、男性が女性より多いのは、「分かりやすいから」(男性 34.7%, 女性 26.1%)である。

年齢別にみると、「ホスピス」《外来語》を使ってほしい理由に「分かりやすいから」をあげる人は25~29歳(22.9%)でやや多い。「終末医療施設」《言い換え》を使ってほしい理由に「分かりやすいから」をあげる人は70歳以上(48.1%)で多い。

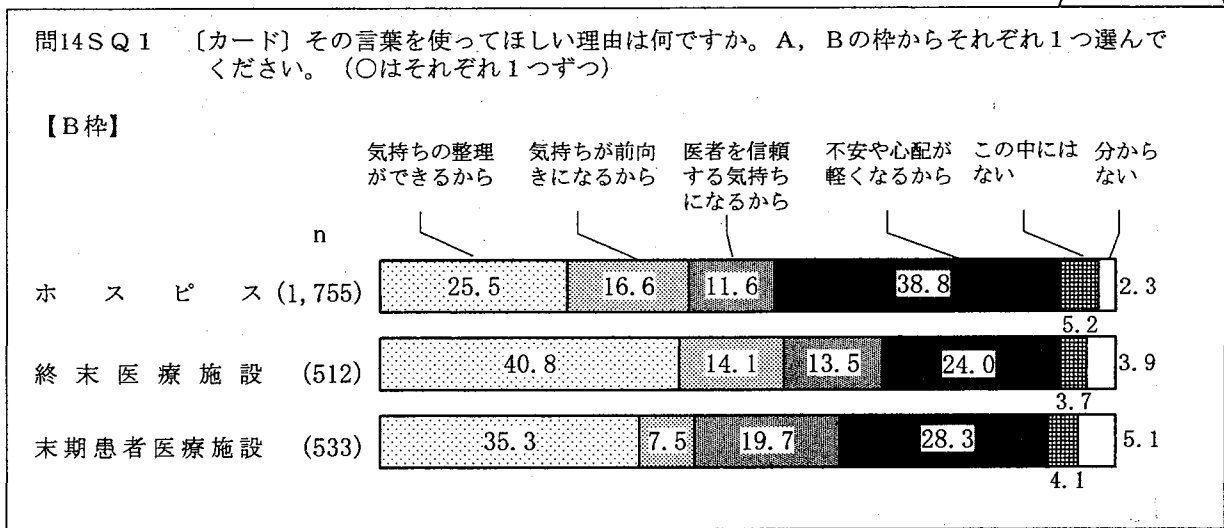
職業別にみると、「終末医療施設」《言い換え》を使ってほしい理由に「やわらかく伝わるから」をあげる人は労務職(50.5%),主婦(47.4%),事務職(45.1%)で多い。

表 4-3-3 その言葉を使ってほしい理由【A枠】（性別、年齢別、職業別）

	ホスピス				終末医療施設				末期患者医療施設			
	該 当 数	正 確 に 伝 わ る か ら	や わ ら か く 伝 わ る か ら	分 か り や す い か ら	該 当 数	正 確 に 伝 わ る か ら	や わ ら か く 伝 わ る か ら	分 か り や す い か ら	該 当 数	正 確 に 伝 わ る か ら	や わ ら か く 伝 わ る か ら	分 か り や す い か ら
	n	%	%	%	n	%	%	%	n	%	%	%
総 数	1,755	13.7	68.1	15.6	512	26.2	42.0	31.1	533	34.0	16.1	48.4
[性 別]												
男 性	696	12.2	69.3	15.5	294	23.5	41.2	34.7	293	34.1	16.4	48.1
女 性	1,059	14.7	67.3	15.6	218	29.8	43.1	26.1	240	33.8	15.8	48.8
[年 齢]												
15～19歳	65	16.9	67.7	15.4	35	48.6	20.0	31.4	27	51.9	14.8	33.3
20～24歳	77	13.0	68.8	14.3	29	37.9	34.5	27.6	24	58.3	4.2	37.5
25～29歳	83	15.7	57.8	22.9	22	40.9	31.8	27.3	25	36.0	16.0	48.0
30～34歳	149	14.1	71.1	12.8	37	16.2	62.2	21.6	38	36.8	21.1	39.5
35～39歳	191	12.6	66.5	14.7	44	13.6	65.9	18.2	32	34.4	18.8	46.9
40～44歳	176	13.6	64.2	18.2	38	18.4	47.4	34.2	33	36.4	18.2	45.5
45～49歳	161	8.7	71.4	17.4	28	28.6	39.3	25.0	28	35.7	7.1	57.1
50～54歳	175	11.4	66.9	20.6	41	29.3	46.3	24.4	39	28.2	20.5	48.7
55～59歳	208	13.5	71.2	13.5	52	25.0	44.2	28.8	52	38.5	11.5	48.1
60～64歳	199	17.6	67.8	12.6	60	21.7	45.0	33.3	62	27.4	24.2	48.4
65～69歳	128	17.2	66.4	14.8	45	31.1	37.8	31.1	68	30.9	16.2	50.0
70歳以上	143	13.3	72.7	12.6	81	22.2	29.6	48.1	105	26.7	14.3	56.2
[職 業]												
農 林 水 産 業	44	13.6	68.2	18.2	34	20.6	29.4	47.1	28	32.1	10.7	53.6
商工サービス業	169	11.2	71.6	13.6	57	22.8	43.9	31.6	60	26.7	20.0	50.0
管 理 職	47	14.9	66.0	14.9	12	25.0	50.0	25.0	10	50.0	10.0	40.0
事 務 職	358	14.8	65.4	15.4	71	19.7	45.1	33.8	72	33.3	13.9	51.4
労 務 職	331	12.1	70.1	15.7	101	22.8	50.5	25.7	105	34.3	14.3	50.5
主 婦	506	15.8	66.2	16.0	97	27.8	47.4	24.7	103	33.0	21.4	43.7
学 生	88	14.8	69.3	15.9	46	45.7	28.3	26.1	33	57.6	12.1	30.3
その他の無職	158	11.4	69.6	17.7	83	28.9	32.5	38.6	114	32.5	14.0	52.6
自 由 業	31	12.9	83.9	3.2	8	12.5	50.0	37.5	3	33.3	-	66.7
専 門 技 術 職	23	4.3	65.2	17.4	3	33.3	33.3	33.3	5	-	60.0	40.0

(6) その言葉を使ってほしい理由【B枠】

図 4-3-8



その言葉を使ってほしい理由【B枠】を聞いた(図4-3-8)。

「ホスピス」《外来語》を使ってほしい理由では、「不安や心配が軽くなるから」(38.8%)が4割弱でもっとも多く、次いで、「気持ちの整理ができるから」(25.5%)の3割弱である。

「終末医療施設」《言い換え》を使ってほしい理由では、「気持ちの整理ができるから」(40.8%)が4割でもっとも多く、次いで、「不安や心配が軽くなるから」(24.0%)の2割強である。

「末期患者医療施設」《言い換え》を使ってほしい理由では、「気持ちの整理ができるから」(35.3%)が4割弱でもっとも多く、次いで、「不安や心配が軽くなるから」(28.3%)の3割弱である。

次に、性別、年齢別、職業別にみていく(表4-3-4)。

性別にみると、「ホスピス」《外来語》を使ってほしい理由に「不安や心配が軽くなるから」をあげる人は男性(41.5%)が女性(37.0%)より多い。また、「末期患者医療施設」《言い換え》を使ってほしい理由に「気持ちの整理ができるから」をあげる人は男性(40.6%)が女性(28.8%)より多く、「不安や心配が軽くなるから」をあげる人は女性(31.3%)が男性(25.9%)より多い。

年齢別にみると、「ホスピス」《外来語》を使ってほしい理由に「不安や心配が軽くなるから」をあげる人は50~54歳(43.3%)で多い。「気持ちの整理ができるから」をあげる人は55~64歳(55~59歳31.7%, 60~64歳30.2%)の年齢層で多い。「気持ちが前向きになるから」をあげる人は15~19歳(27.7%)で多い。

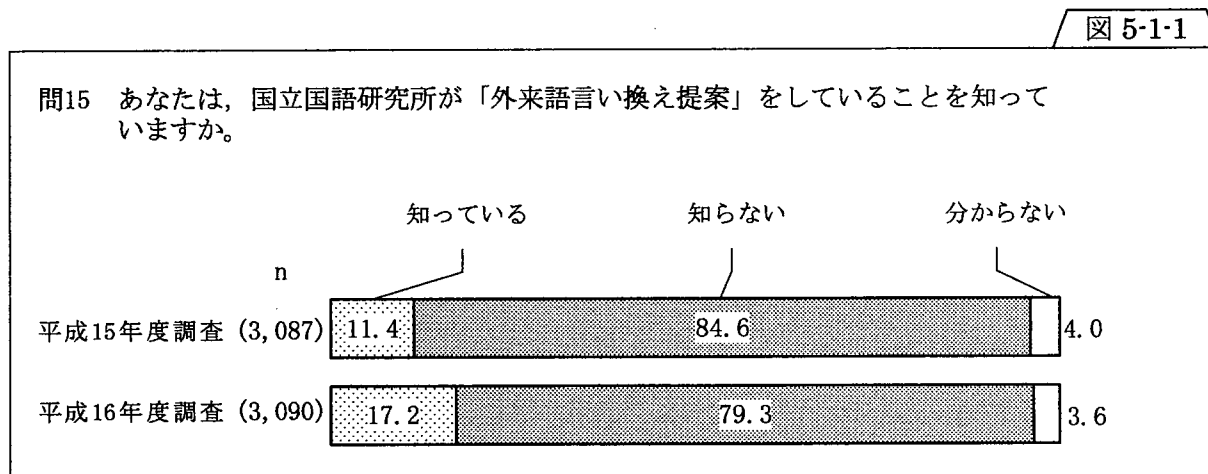
職業別にみると、「ホスピス」《外来語》を使ってほしい理由に「気持ちが前向きになるから」をあげる人は学生(30.7%)で多い。「終末医療施設」《言い換え》を使ってほしい理由に「気持ちの整理ができるから」をあげる人は、事務職(49.3%),主婦(47.4%)で多く、「不安や心配が軽くなるから」をあげる人は、その他の無職(30.1%)で多い。また、「末期患者医療施設」《言い換え》を使ってほしい理由に「不安や心配が軽くなるから」をあげる人は、労務職(35.2%),主婦(35.0%)で他の職業層に比べて多い。

表 4-3-4 その言葉を使ってほしい理由【B枠】（性別，年齢別，職業別）

	ホスピス					終末医療施設					末期患者医療施設				
	該 当 数	気 持 ち の 整 理 が で き る か ら	気 持 ち が 前 向 き に な る か ら	医 者 を 信 頼 す る 気 持 ち に な る か ら	不 安 や 心 配 が 軽 く な る か ら	該 当 数	気 持 ち の 整 理 が で き る か ら	気 持 ち が 前 向 き に な る か ら	医 者 を 信 頼 す る 気 持 ち に な る か ら	不 安 や 心 配 が 軽 く な る か ら	該 当 数	気 持 ち の 整 理 が で き る か ら	気 持 ち が 前 向 き に な る か ら	医 者 を 信 頼 す る 気 持 ち に な る か ら	不 安 や 心 配 が 軽 く な る か ら
	n	%	%	%	%	n	%	%	%	%	n	%	%	%	%
総 数	1,755	25.5	16.6	11.6	38.8	512	40.8	14.1	13.5	24.0	533	35.3	7.5	19.7	28.3
[性 別]															
男 性	696	24.4	14.8	11.4	41.5	294	39.1	14.3	15.0	24.5	293	40.6	6.1	18.4	25.9
女 性	1,059	26.3	17.8	11.7	37.0	218	43.1	13.8	11.5	23.4	240	28.8	9.2	21.3	31.3
[年 齢]															
15～19歳	65	20.0	27.7	10.8	41.5	35	45.7	11.4	22.9	20.0	27	59.3	3.7	18.5	14.8
20～24歳	77	26.0	19.5	9.1	36.4	29	44.8	13.8	17.2	17.2	24	29.2	8.3	25.0	20.8
25～29歳	83	22.9	20.5	6.0	37.3	22	63.6	13.6	9.1	13.6	25	36.0	8.0	12.0	44.0
30～34歳	149	23.5	19.5	13.4	37.6	37	37.8	18.9	8.1	21.6	38	44.7	7.9	10.5	26.3
35～39歳	191	24.1	16.2	7.9	41.4	44	34.1	20.5	11.4	31.8	32	34.4	9.4	12.5	31.3
40～44歳	176	26.1	17.0	9.7	38.6	38	50.0	7.9	10.5	15.8	33	39.4	12.1	9.1	27.3
45～49歳	161	23.0	19.3	10.6	39.8	28	42.9	7.1	7.1	21.4	28	39.3	10.7	10.7	28.6
50～54歳	175	24.6	11.4	11.4	43.4	41	41.5	12.2	17.1	24.4	39	35.9	5.1	20.5	30.8
55～59歳	208	31.7	17.8	13.0	31.7	52	38.5	15.4	7.7	30.8	52	42.3	7.7	17.3	25.0
60～64歳	199	30.2	15.1	10.1	39.7	60	53.3	15.0	5.0	20.0	62	22.6	8.1	25.8	30.6
65～69歳	128	25.0	10.9	18.0	38.3	45	28.9	17.8	20.0	26.7	68	30.9	5.9	26.5	27.9
70歳以上	143	21.7	14.0	17.5	40.6	81	29.6	12.3	21.0	29.6	105	31.4	6.7	24.8	29.5
[職 業]															
農林水産業	44	43.2	13.6	20.5	22.7	34	41.2	11.8	14.7	29.4	28	35.7	3.6	25.0	25.0
商工サービス業	169	28.4	16.6	10.7	37.9	57	40.4	15.8	14.0	28.1	60	33.3	11.7	16.7	25.0
管 理 職	47	34.0	4.3	8.5	42.6	12	58.3	8.3	-	33.3	10	40.0	10.0	30.0	20.0
事 務 職	358	27.7	14.2	9.5	39.9	71	49.3	14.1	9.9	14.1	72	36.1	9.7	16.7	27.8
労 務 職	331	21.8	20.5	10.6	40.2	101	33.7	17.8	12.9	25.7	105	37.1	6.7	15.2	35.2
主 婦	506	26.7	15.8	13.4	36.4	97	47.4	12.4	9.3	20.6	103	25.2	10.7	19.4	35.0
学 生	88	18.2	30.7	8.0	38.6	46	45.7	10.9	26.1	17.4	33	54.5	3.0	15.2	15.2
その他の無職	158	19.6	14.6	15.2	43.0	83	32.5	13.3	15.7	30.1	114	37.7	3.5	26.3	24.6
自 由 業	31	22.6	19.4	6.5	45.2	8	25.0	12.5	25.0	37.5	3	-	33.3	66.7	-
専 門 技 術 職	23	21.7	4.3	8.7	47.8	3	-	33.3	-	33.3	5	40.0	-	-	20.0

第5章 国立国語研究所「外来語言い換え提案」の認知度・必要性

1 国立国語研究所「外来語言い換え提案」の認知度



国立国語研究所が「外来語言い換え提案」をしていることを知っているかどうか聞いた(図 5-1-1)。「知っている」という人は 17.2%で、平成 15 年度調査より 6 ポイント上回っている。

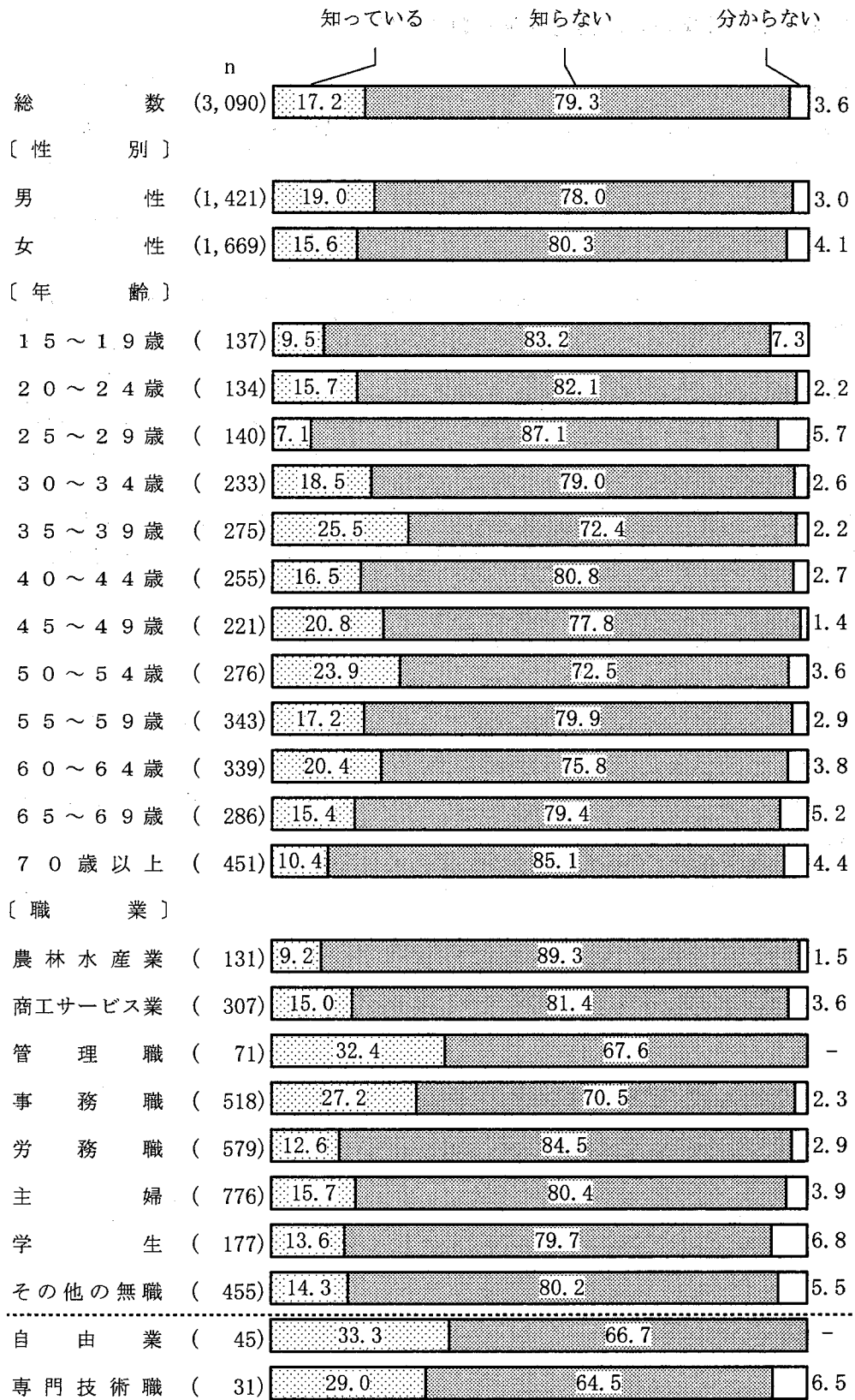
次に、性別、年齢別、職業別にみていく(図 5-1-2)。

性別にみても、大きな差はみられない。

年齢別にみると、「知っている」という人は、35～39 歳 (25.5%)、50～54 歳 (23.9%) で他の年齢層に比べて多い。

職業別にみると、「知っている」という人は、管理職 (32.4%)、事務職 (27.2%) で 3 割前後と他の職業層に比べて多い。

図 5-1-2 国立国語研究所「外来語言い換え提案」の認知度（性別，年齢別，職業別）

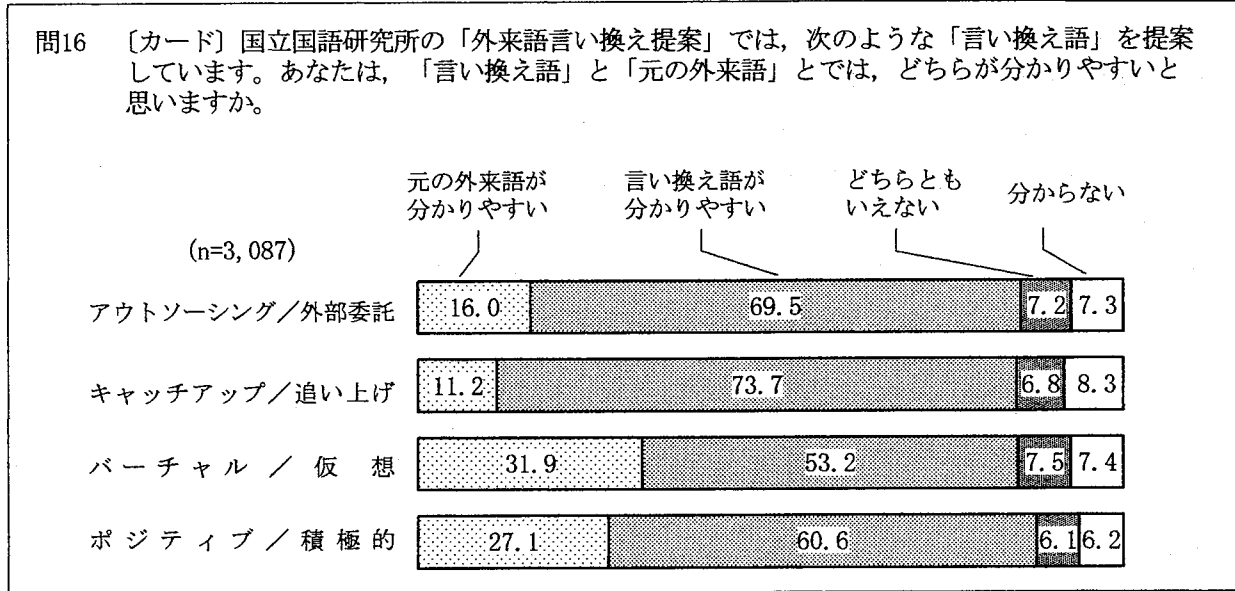


*「自由業」と「専門技術職」は、回答者数が50人より小さいので参照するにとどめ、分析の対象からは外してある。

2 「言い換え語」と「元の外来語」の分かりやすさ

(1) 「言い換え語」と「元の外来語」とでは、どちらが分かりやすいか

図 5-2-1



国立国語研究所の「外来語言い換え提案」で提案している「言い換え語」と「元の外来語」，〈アウトソーシング/外部委託〉，〈キャッチアップ/追い上げ〉，〈バーチャル/仮想〉，〈ポジティブ/積極的〉の4つを提示して、それぞれ、「言い換え語」と「元の外来語」とでは、どちらが分かりやすいか聞いた（図 5-2-1）。

〈アウトソーシング/外部委託〉では、「言い換え語が分かりやすい」（69.5%）が7割である。

〈キャッチアップ/追い上げ〉では、「言い換え語が分かりやすい」（73.7%）が7割強と提示した4つの中でもっとも多い。

〈バーチャル/仮想〉では、「言い換え語が分かりやすい」（53.2%）が5割強である。「元の外来語が分かりやすい」（31.9%）は3割強で、提示した4つの中でもっとも多い。

〈ポジティブ/積極的〉では、「言い換え語が分かりやすい」（60.6%）が6割である。「元の外来語が分かりやすい」（27.1%）は3割弱である。

(2) 〈アウトソーシング/外部委託〉、どちらが分かりやすいか

〈アウトソーシング/外部委託〉について、どちらが分かりやすいか、性別、年齢別、職業別にみていく（図 5-2-2）。

性別にみると、女性が男性より多いのは「言い換え語が分かりやすい」（男性 67.3%、女性 71.5%）で、男性が女性より多いのは「元の外来語が分かりやすい」（男性 20.0%、女性 12.6%）である。

年齢別にみると、「言い換え語が分かりやすい」という人は高齢層ほど多くなる傾向がみられる。20～29歳では、「元の外来語が分かりやすい」（20～24歳 29.1%、25～29歳 28.6%）という人が3割弱と他の年齢層に比べて多い。

職業別にみると、「言い換え語が分かりやすい」という人は、商工サービス業（77.5%）、農林水産業（76.3%）で8割弱と多い。一方、「元の外来語が分かりやすい」という人は、管理職（33.8%）、事務職（29.7%）、学生（27.7%）で3割前後と他の職業層に比べて多い。

(3) <キャッチアップ/追い上げ>, どちらが分かりやすいか

<キャッチアップ/追い上げ>について, どちらが分かりやすいか, 性別, 年齢別, 職業別にみていく (図 5-2-3)。

性別にみると, 大きな差はみられない。

年齢別にみると, 「言い換え語が分かりやすい」という人は高齢層ほど, 「元の外来語が分かりやすい」という人は若年層ほど多くなる傾向がみられる。「元の外来語が分かりやすい」という人は, 15~24歳 (15~19歳 23.4%, 20~24歳 25.4%) で2割強と他の年齢層に比べて多い。

職業別にみると, 「言い換え語が分かりやすい」という人は商工サービス業 (80.8%) で多く, 「元の外来語が分かりやすい」という人は学生 (26.6%) で他の職業層に比べて多い。

(4) <バーチャル/仮想>, どちらが分かりやすいか

<バーチャル/仮想>では, どちらが分かりやすいか, 性別, 年齢別, 職業別にみていく (図 5-2-4)。

性別にみると, 男性が女性より多いのは「元の外来語が分かりやすい」 (男性 35.6%, 女性 28.8%) である。

年齢別にみると, 「言い換え語が分かりやすい」という人は高齢層ほど, 「元の外来語が分かりやすい」という人は若年層ほど多くなる傾向がみられる。39歳以下の年齢層では「元の外来語が分かりやすい」という人が5割以上である。

職業別にみると, 「元の外来語が分かりやすい」という人は学生 (67.8%) で多い。一方, 「言い換え語が分かりやすい」という人は農林水産業 (67.9%), その他の無職 (64.0%) で多い。

(5) <ポジティブ/積極的>, どちらが分かりやすいか

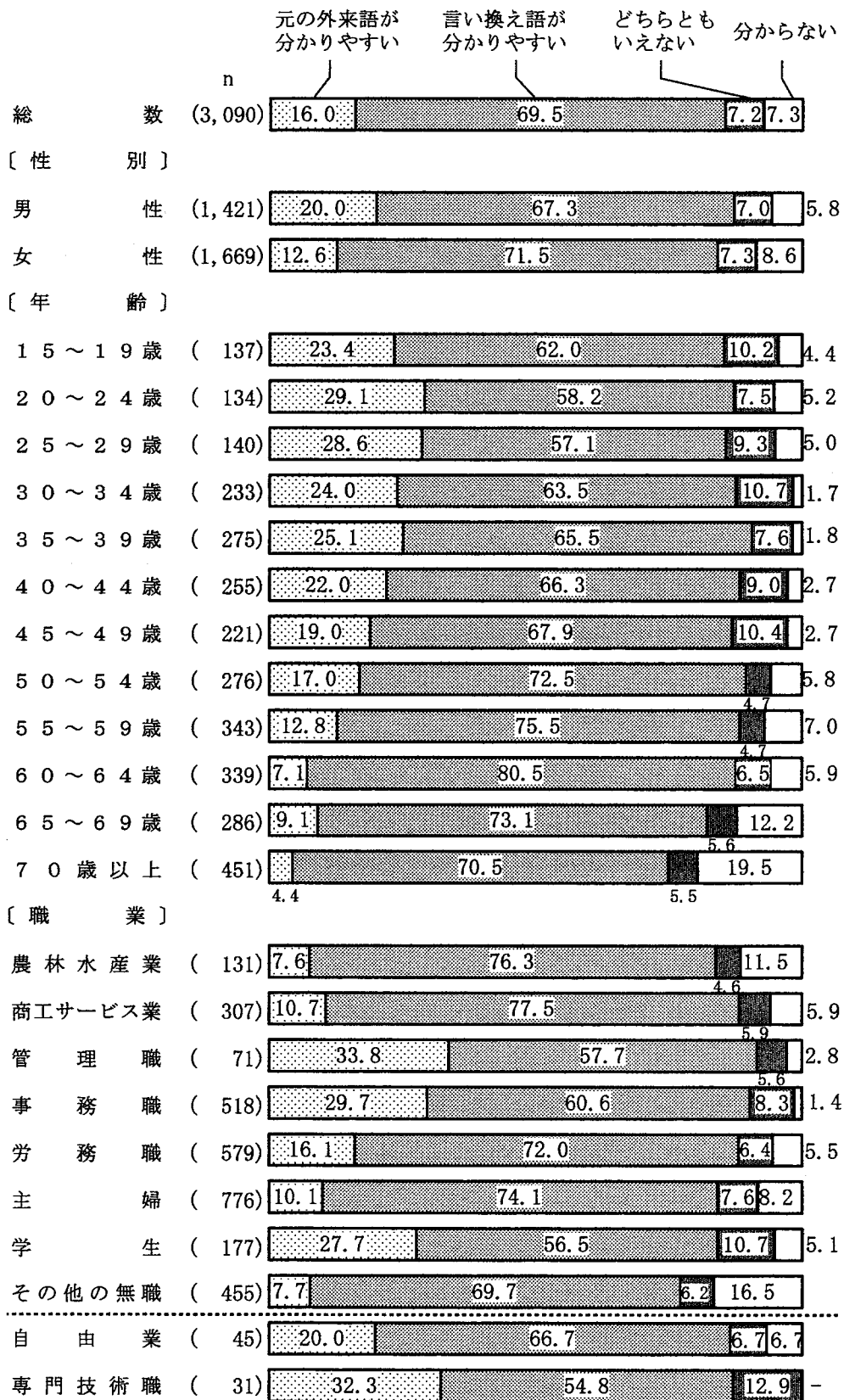
<ポジティブ/積極的>では, どちらが分かりやすいか, 性別, 年齢別, 職業別にみていく (図 5-2-5)。

性別にみると, 差はみられない。

年齢別にみると, 「言い換え語が分かりやすい」という人は高齢層ほど, 「元の外来語が分かりやすい」という人は若年層ほど多くなる傾向がみられる。15~24歳の年齢層では「元の外来語が分かりやすい」 (15~19歳 58.4%, 20~24歳 61.9%) という人が6割前後である。

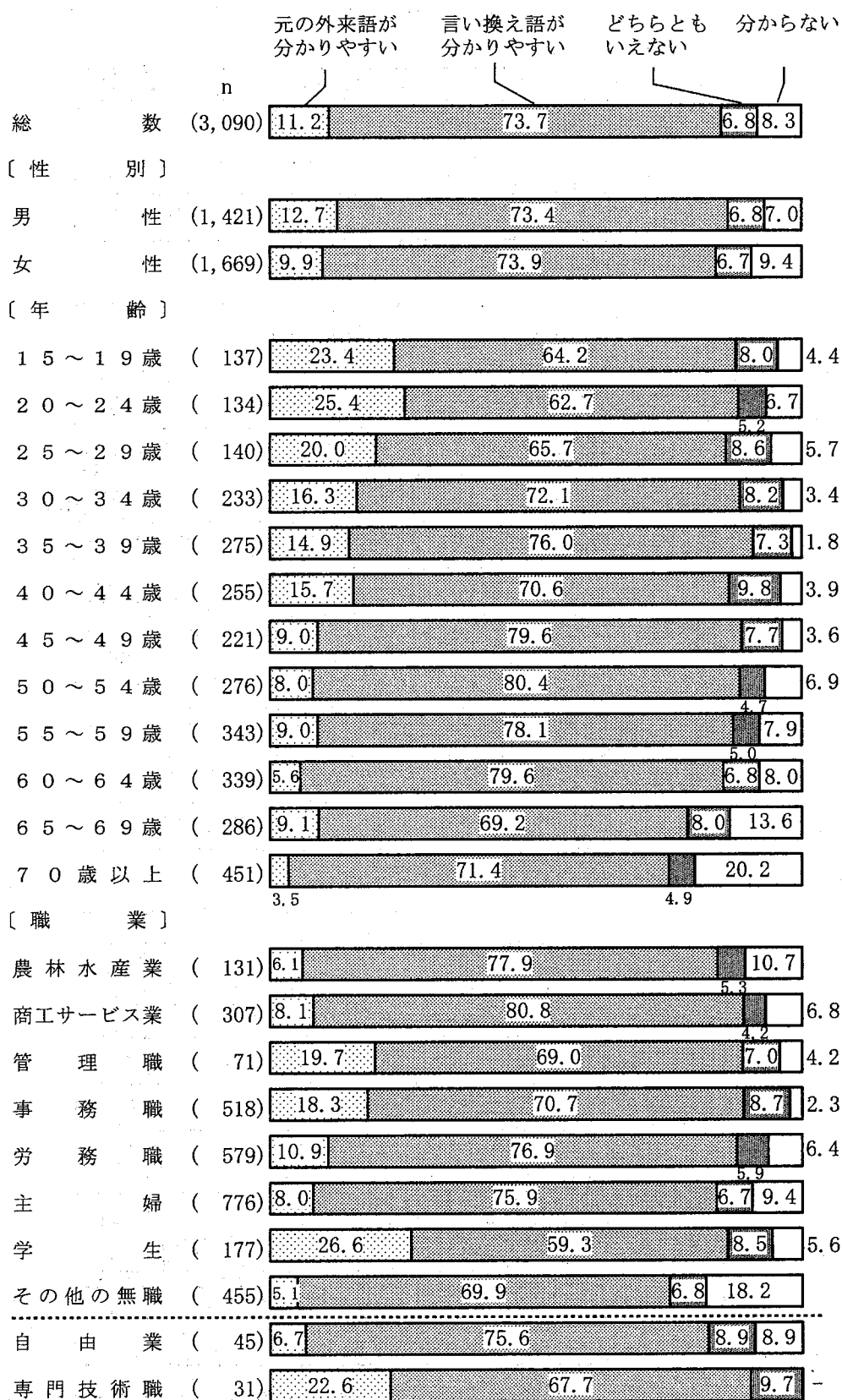
職業別にみると, 「言い換え語が分かりやすい」という人は農林水産業 (77.9%) で8割弱ともっとも多い。一方, 「元の外来語が分かりやすい」という人は学生 (61.0%) で6割ともっとも多い。

図 5-2-2 <アウトソーシング/外部委託>、どちらが分かりやすいか (性別, 年齢別, 職業別)



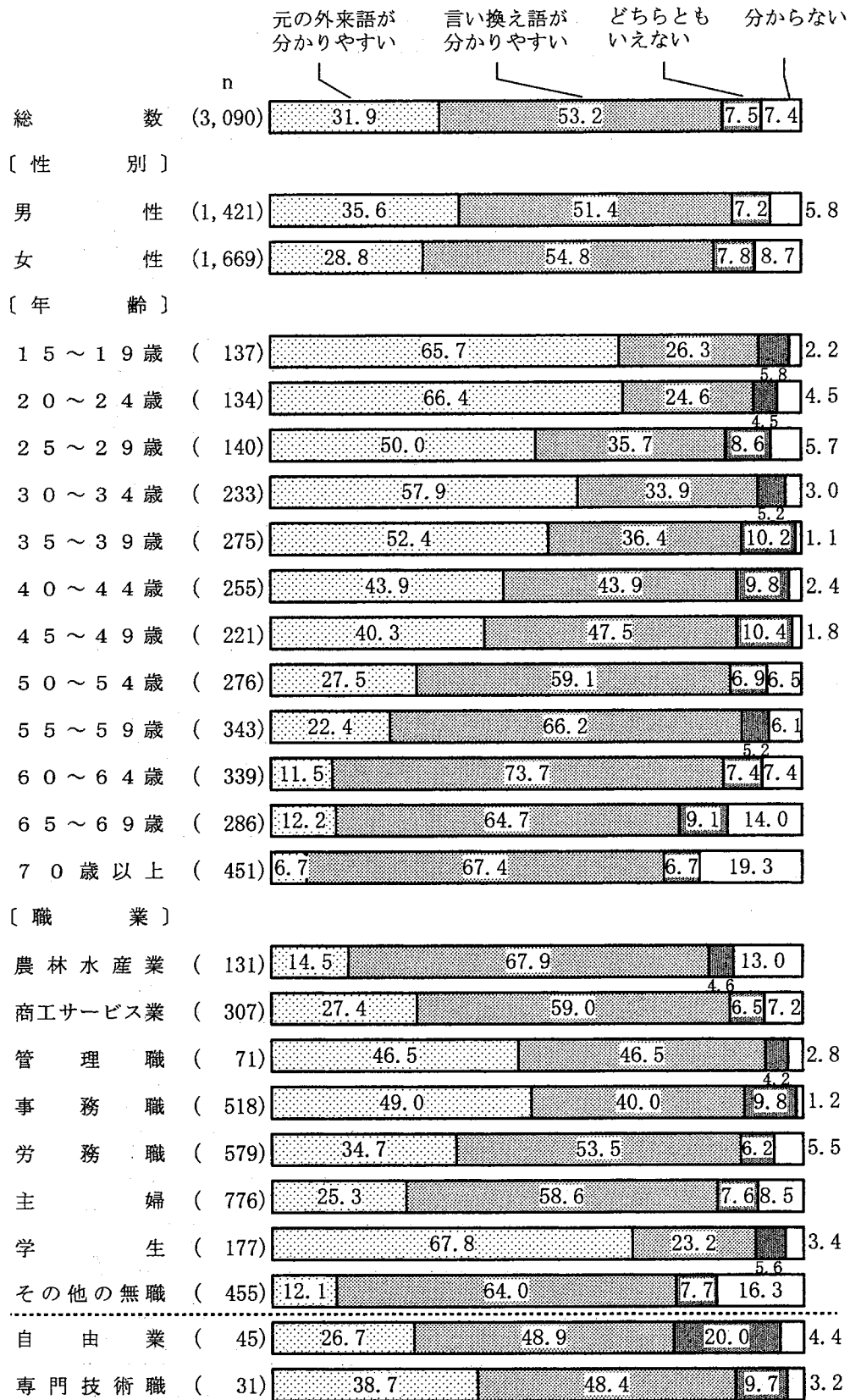
*「自由業」と「専門技術職」は、回答者数が50人より小さいので参照するにとどめ、分析の対象からは外してある。

図 5-2-3 <キャッチアップ/追い上げ>, どちらが分かりやすいか (性別, 年齢別, 職業別)



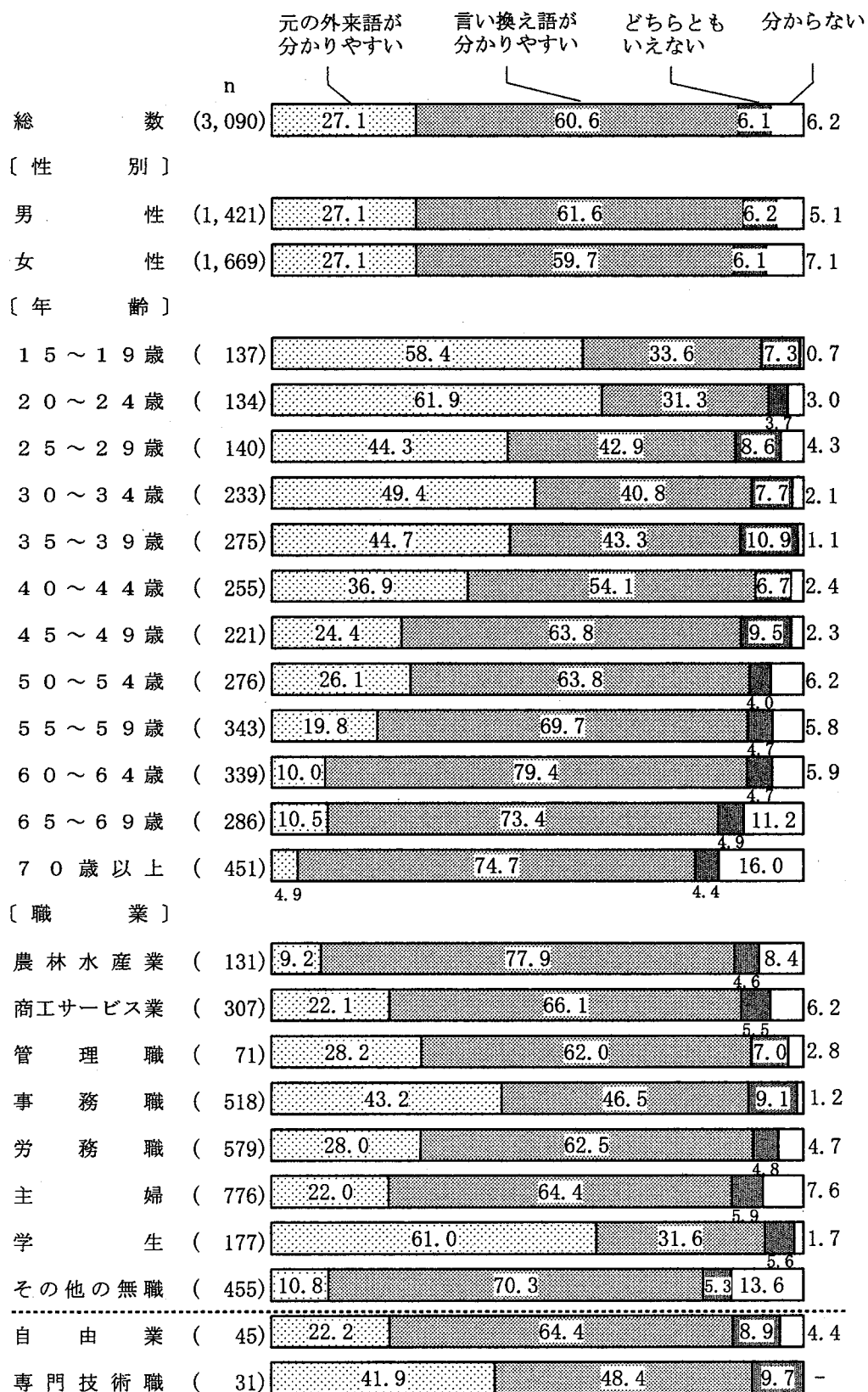
*「自由業」と「専門技術職」は、回答者数が50人より小さいので参照するにとどめ、分析の対象からは外してある。

図 5-2-4 <バーチャル/仮想>、どちらが分かりやすいか (性別、年齢別、職業別)



*「自由業」と「専門技術職」は、回答者数が50人より小さいので参照するにとどめ、分析の対象からは外してある。

図 5-2-5 <ポジティブ/積極的>、どちらが分かりやすいか (性別, 年齢別, 職業別)

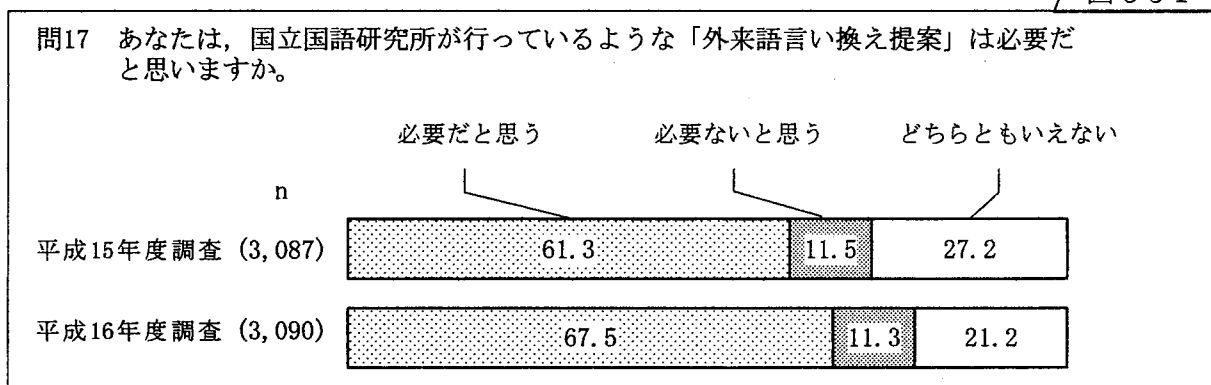


*「自由業」と「専門技術職」は、回答者数が50人より小さいので参照するにとどめ、分析の対象からは外してある。

3 「外来語言い換え提案」の必要性

(1) 国立国語研究所の「外来語言い換え提案」は必要だと思うか

図 5-3-1



国立国語研究所が行っている「外来語言い換え提案」は必要だと思うか聞いた (図 5-3-1)。

「必要だと思う」(67.5%)は7割弱で、平成15年度調査より6ポイント上回っている。

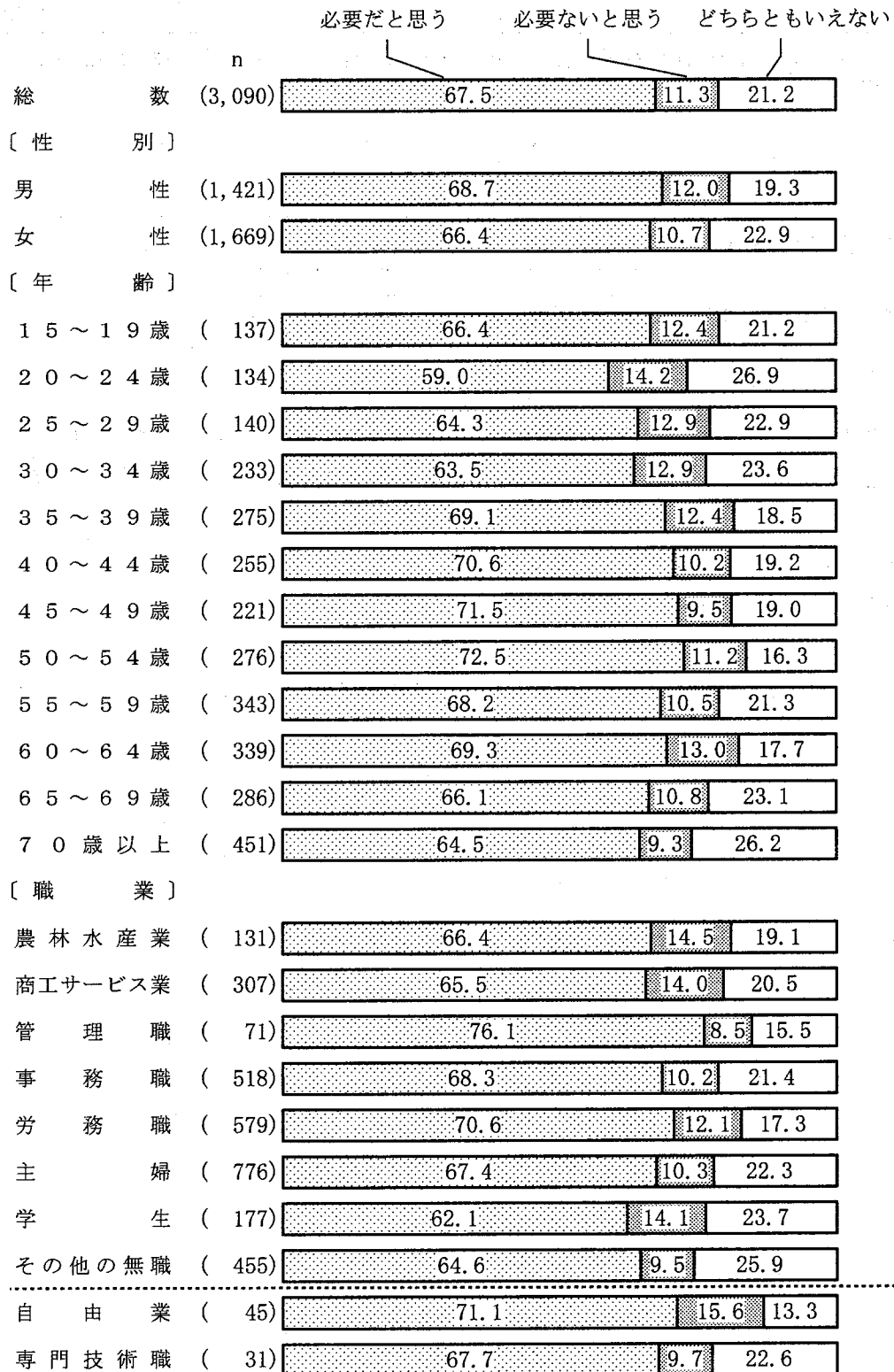
次に、性別、年齢別、職業別にみていく (図 5-3-2)。

性別にみると、差はみられない。

年齢別にみると、差はみられない。

職業別にみると、「必要だと思う」という人は、管理職(76.1%)で8割弱ともっとも多い。

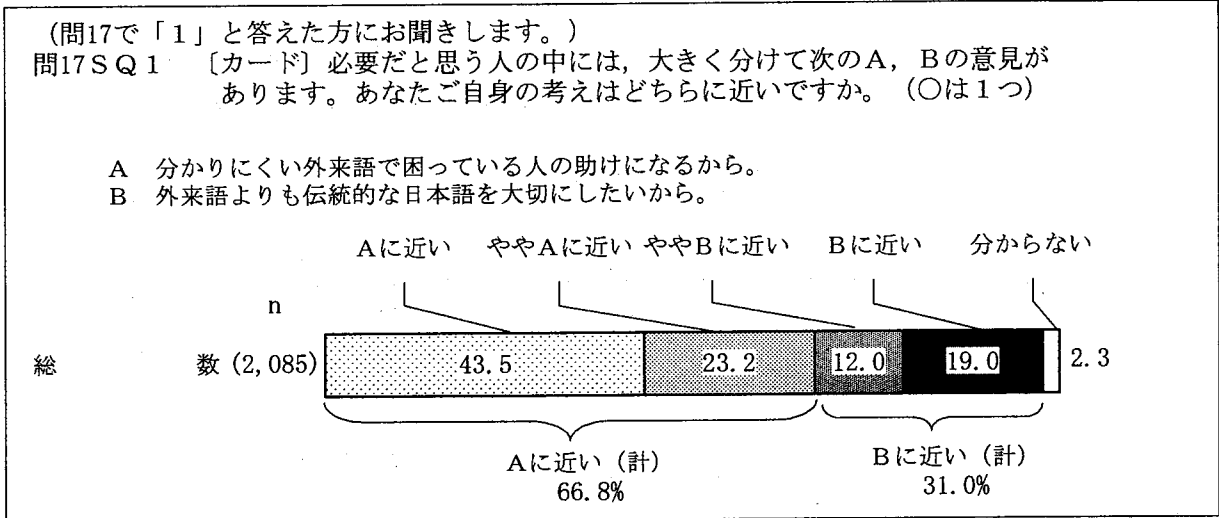
図 5-3-2 国立国語研究所の「外来語言い換え提案」は必要だと思うか（性別、年齢別、職業別）



*「自由業」と「専門技術職」は、回答者数が50人より小さいので参照することども、分析の対象からは外してある。

(2) 必要だと思う理由

図 5-3-3



国立国語研究所が行っている「外来語言い換え提案」を「必要だと思う」と回答した人(2,085人)に、必要だと思う理由を2つあげて、どちらに近いか聞いた(図5-3-3)。

「A 分かりにくい外来語で困っている人の助けになるから」に近いという人の合計(66.8% = 「Aに近い」43.5% + 「ややAに近い」23.2%)が7割弱を占める。

「B 外来語よりも伝統的な日本語を大切にしたいから」に近いという人の合計(31.0% = 「ややBに近い」12.0% + 「Bに近い」19.0%)は3割強である。

次に、性別、年齢別、職業別にみていく(図5-3-4)。

性別にみると、大きな差はみられない。

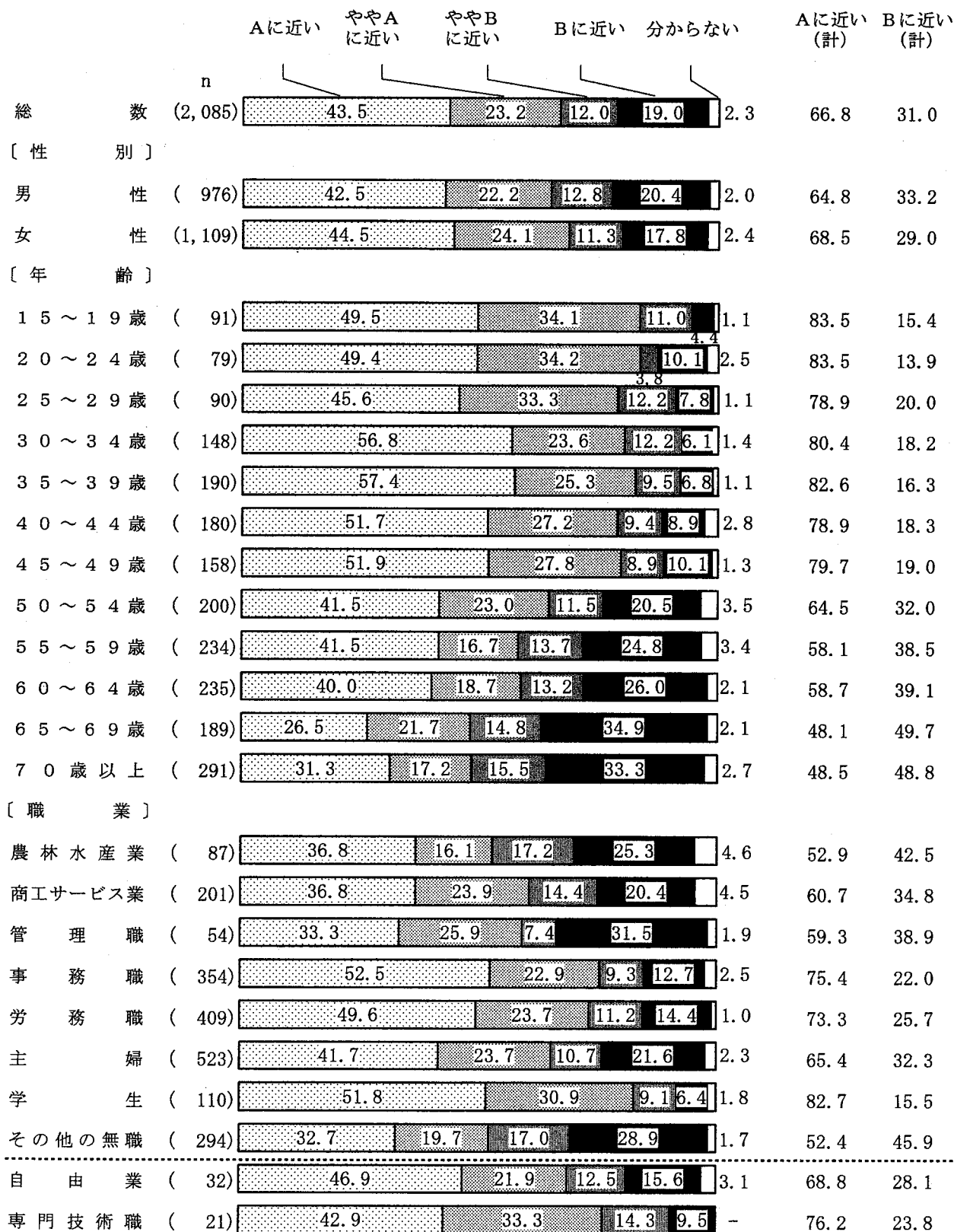
年齢別にみると、「A 分かりにくい外来語で困っている人の助けになるから」に近い人は若年層ほど、「B 外来語よりも伝統的な日本語を大切にしたいから」に近い人は高齢層ほど多くなる傾向がみられる。65歳以上ではAとBがほぼ半々で拮抗している。

職業別にみると、「A 分かりにくい外来語で困っている人の助けになるから」に近い人の合計は学生(82.7%)で8割強ともっとも多い。一方、「B 外来語よりも伝統的な日本語を大切にしたいから」に近い人の合計は、その他の無職(45.9%)、農林水産業(42.5%)、管理職(38.9%)で4割前後と他の職業層に比べて多い。

図 5-3-4 必要だと思う理由（男女別，年齢別，職業別）

A 分かりにくい外来語で困っている人の助けになるから

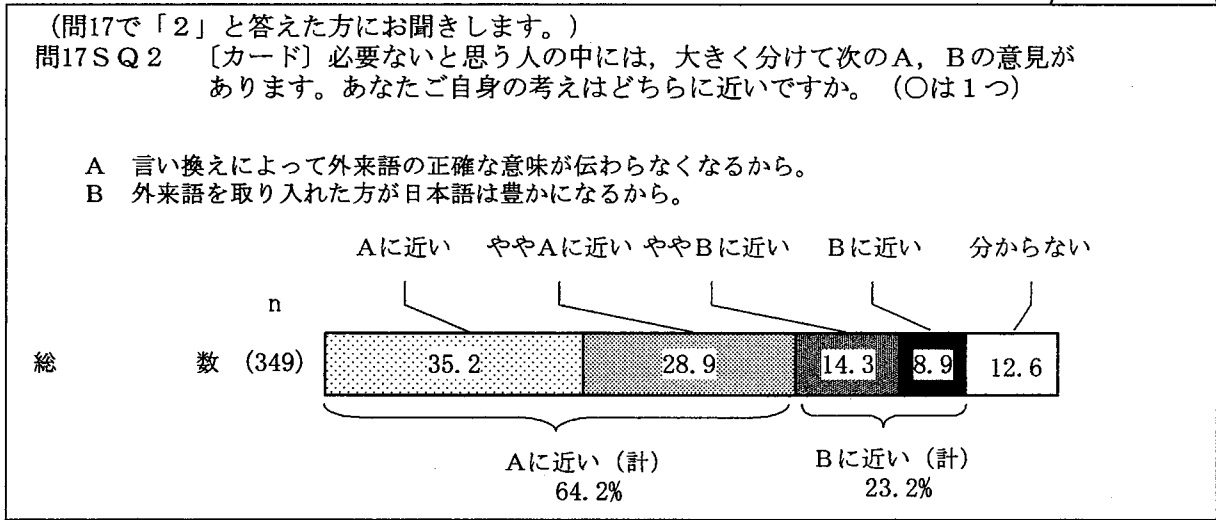
B 外来語よりも伝統的な日本語を大切にしたいから



*「自由業」と「専門技術職」は、回答者数が50人より小さいので参照するにとどめ、分析の対象からは外してある。

(3) 必要ないと思う理由

図 5-3-5



国立国語研究所が行っている「外来語言い換え提案」を「必要ないと思う」と回答した人 (349人) に、必要ないと思う理由を2つあげて、どちらに近いか聞いた (図 5-3-5)。

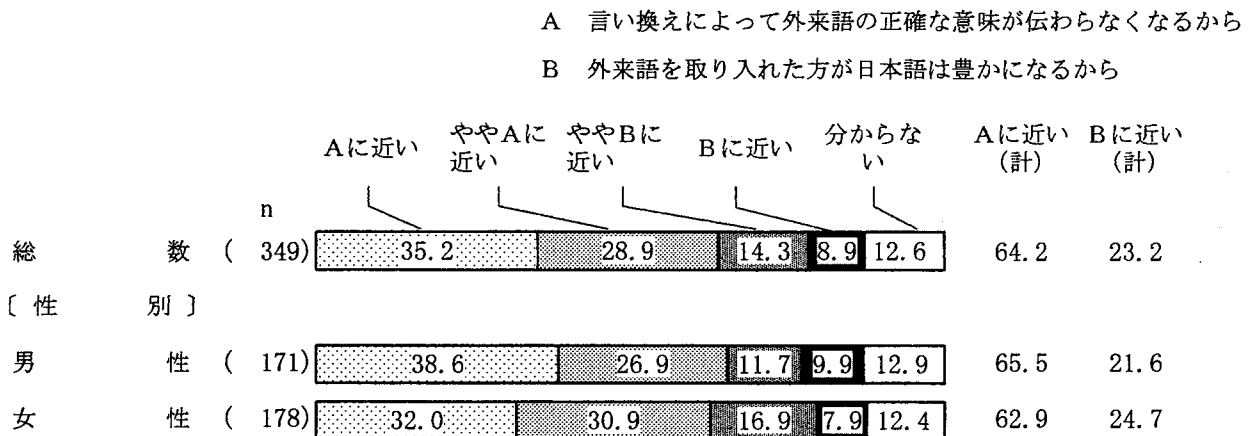
「A 言い換えによって外来語の正確な意味が伝わらなくなるから」に近いという人の合計 (64.2% = 「Aに近い」35.2% + 「ややAに近い」28.9%) が6割強を占める。

「B 外来語を取り入れた方が日本語は豊かになるから」に近いという人の合計 (23.2% = 「Bに近い」8.9% + 「ややBに近い」14.3%) は2割強である。

次に、分類別の回答者数が50人を超える性別にみていく (図 5-3-6)。

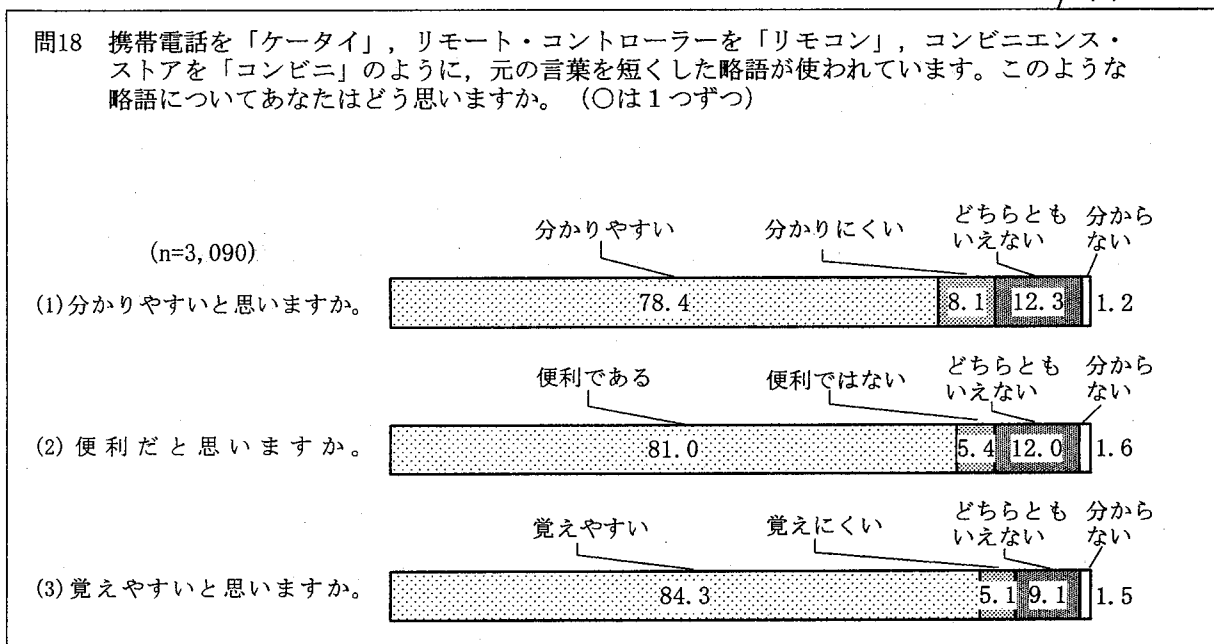
性別にみると、大きな差はみられない

図 5-3-6 必要ないと思う理由 (性別)



1 カタカナ略語<ケータイ/リモコン/コンビニ>をどう思うか

図 6-1-1



カタカナ略語<ケータイ/リモコン/コンビニ>をあげて、分かりやすいと思うか、便利だと思うか、覚えやすいと思うか聞いた (図 6-1-1)。

分かりやすいと思うかについては、「分かりやすい」(78.4%)という人が8割弱を占める。
便利だと思うかについては、「便利である」(81.0%)という人が8割強を占める。
覚えやすいと思うかについては、「覚えやすい」(84.3%)という人が8割強を占める。

(1) カタカナ略語を分かりやすいと思うか

カタカナ略語を分かりやすいと思うか、性別、年齢別、職業別にみていく (図 6-1-2)。
性別にみると、差はみられない。

年齢別にみると、「分かりやすい」という人は若年層ほど多く、もっとも少ない70歳以上(58.1%)でも6割弱である。「わかりにくい」という人は、70歳以上(17.7%)で他の年齢層に比べて多い。
職業別にみると、「分かりやすい」という人は学生(91.5%)で9割強ともっとも多い。

(2) カタカナ略語を便利だと思うか

カタカナ略語を便利だと思うか、性別、年齢別、職業別にみていく (図 6-1-3)。
性別にみると、差はみられない。

年齢別にみると、「便利である」という人は若年層ほど多く、もっとも少ない70歳以上(61.2%)でも6割強である。「便利ではない」という人は、70歳以上(12.9%)で他の年齢層に比べて多い。
職業別にみると、「便利である」という人は学生(96.0%)で10割弱ともっとも多い。

(3) カタカナ略語を覚えやすいと思うか

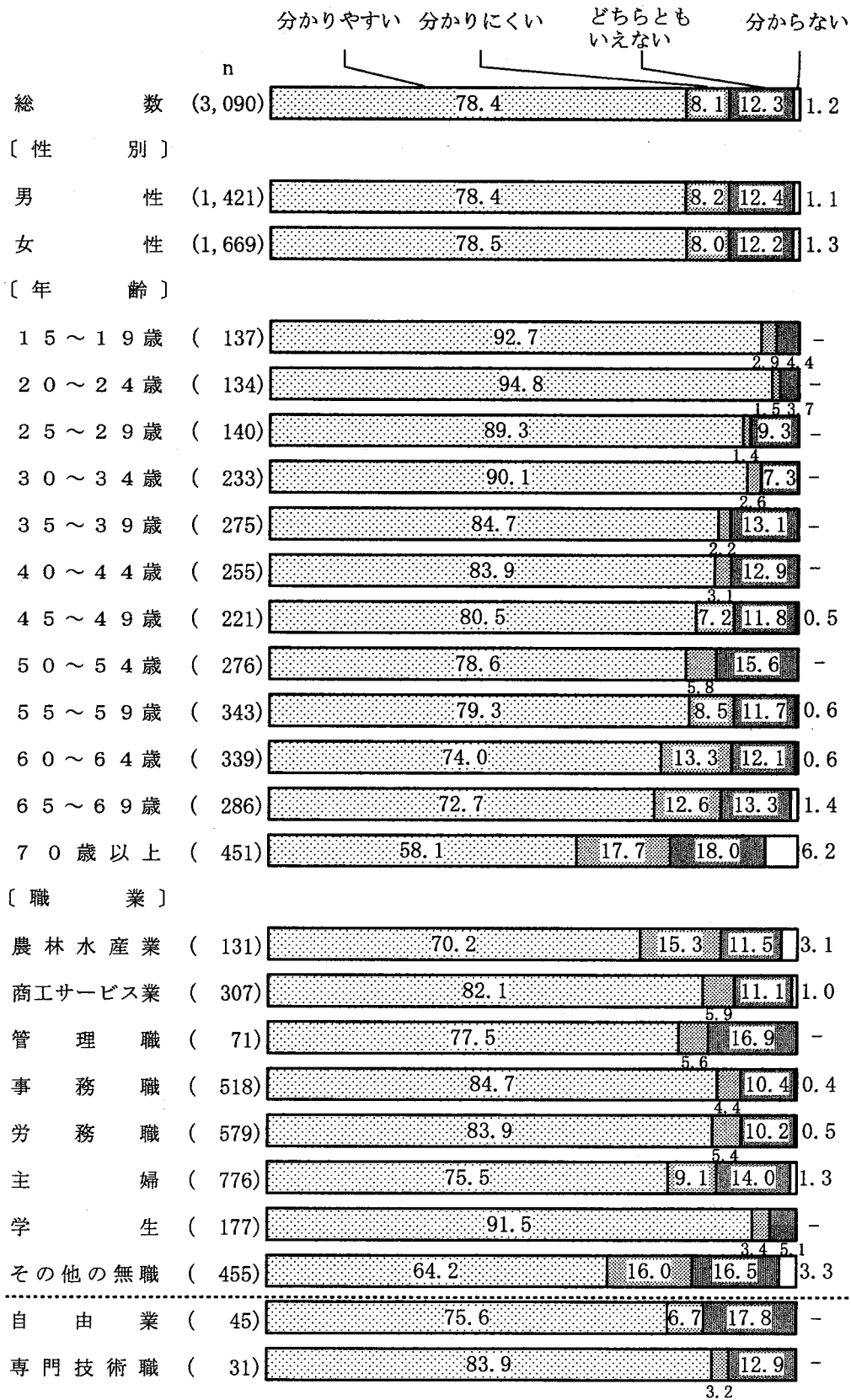
カタカナ略語を覚えやすいと思うか、性別、年齢別、職業別にみていく (図 6-1-4)。

性別にみると、差はみられない。

年齢別にみると、いずれの年齢層でも「覚えやすい」という人が大多数を占め、特に、44歳以下の年齢層（15～19歳 98.5%、20～24歳 97.0%、25～29歳 95.0%、30～34歳 95.3%、35～39歳 90.2%、40～44歳 91.0%）では9割以上である。もっとも少ない70歳以上（60.3%）でも6割である。「覚えにくい」という人は70歳以上（16.6%）で他の年齢層に比べて多い。

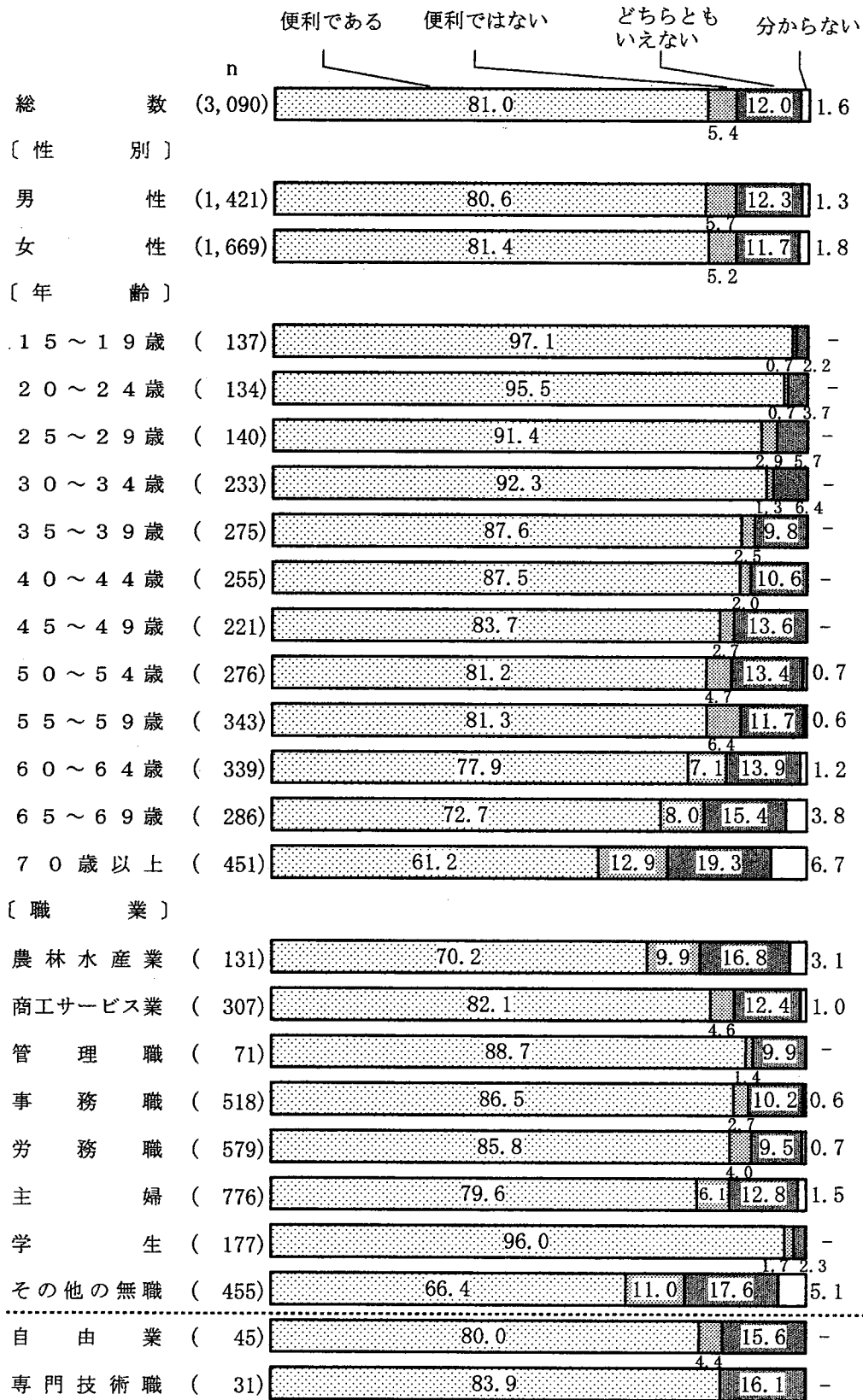
職業別にみると、「覚えやすい」という人は学生（97.7%）で10割弱ともっとも多い。

図 6-1-2 カタカナ略語を分かりやすいと思うか（性別，年齢別，職業別）



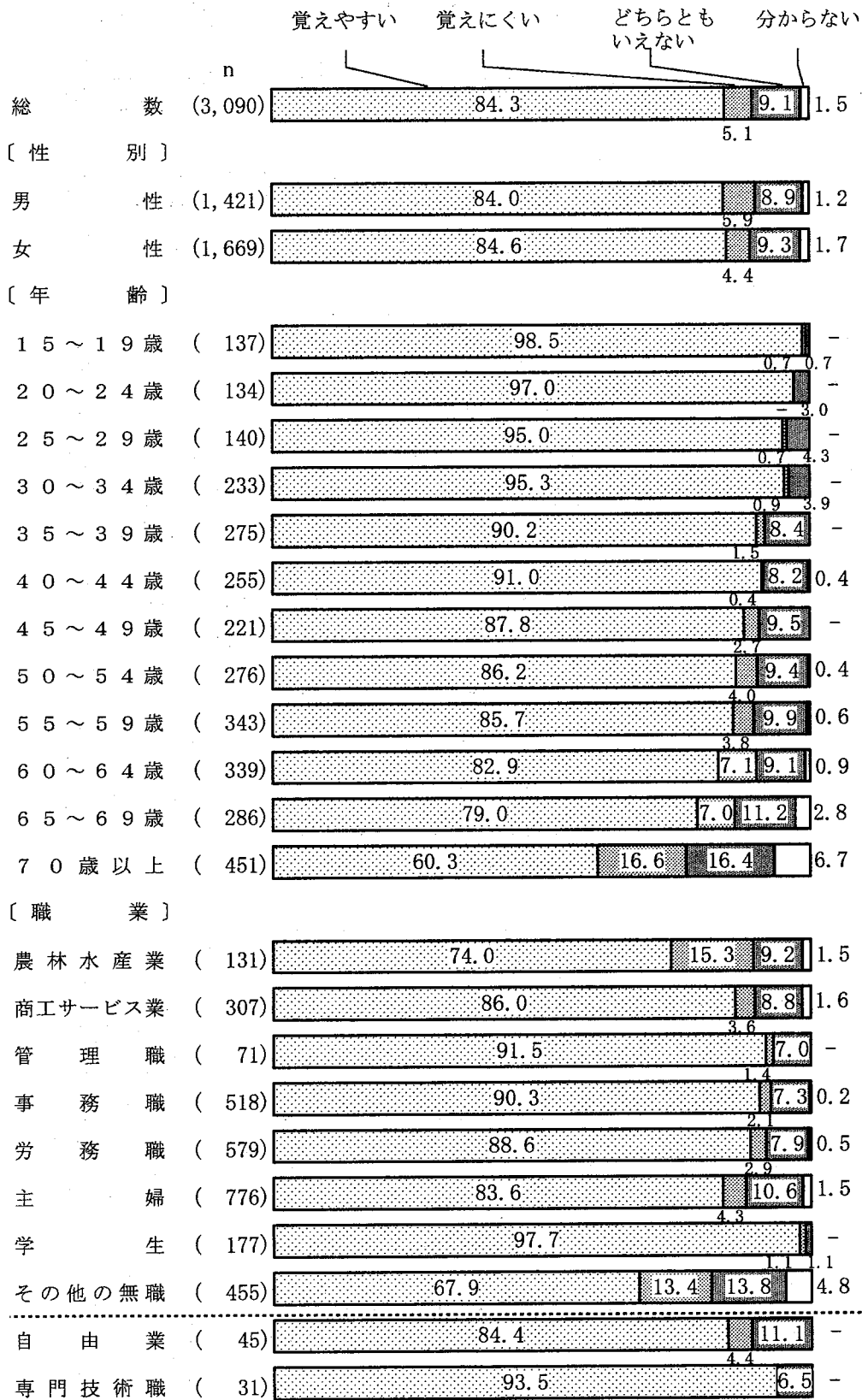
*「自由業」と「専門技術職」は、回答者数が50人より小さいので参照するにとどめ、分析の対象からは外してある。

図 6-1-3 カタカナ略語を便利だと思うか（性別，年齢別，職業別）



*「自由業」と「専門技術職」は、回答者数が50人より小さいので参照するにとどめ、分析の対象からは外してある。

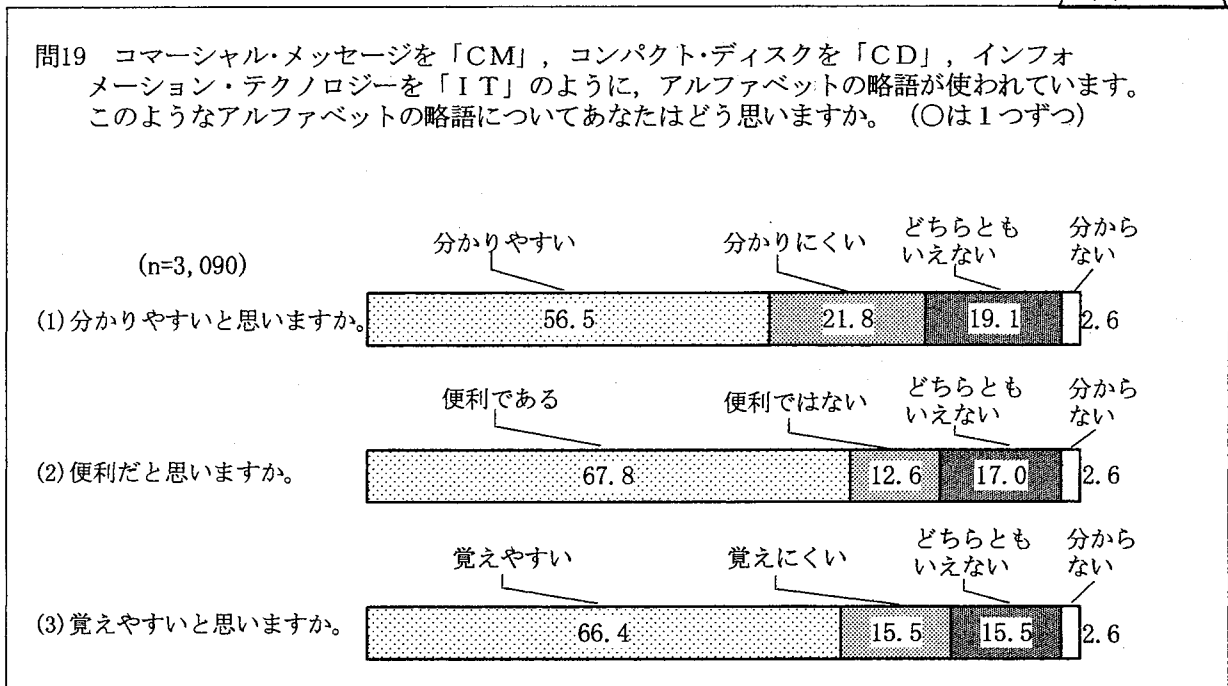
図 6-1-4 カタカナ略語を覚えやすいと思うか（性別，年齢別，職業別）



* 「自由業」と「専門技術職」は、回答者数が50人より小さいので参照するにとどめ、分析の対象からは外してある。

2 アルファベット略語<CM/CD/IT>をどう思うか

図 6-2-1



アルファベット略語<CM/CD/IT>をあげて、分かりやすいと思うか、便利だと思うか、覚えやすいと思うか聞いた(図 6-2-1)。

分かりやすいと思うかについては、「分かりやすい」(56.5%)という人が6割弱、「分かりにくい」(21.8%)という人が2割強である。

便利だと思うかについては、「便利である」(67.8%)という人が7割弱を占めている。

覚えやすいと思うかについては、「覚えやすい」(66.4%)という人が7割弱を占めている。

(1) アルファベット略語を分かりやすいと思うか

アルファベット略語を分かりやすいと思うか、性別、年齢別、職業別にみていく(図 6-2-2)。

性別にみると、大きな差はみられない。

年齢別にみると、「分かりやすい」という人は若年層ほど多く、「分かりにくい」という人は高齢層ほど多くなる傾向がみられる。特に、70歳以上では「分かりにくい」(40.8%)が「分かりやすい」(27.5%)を13ポイント上回っている。

職業別にみると、「分かりやすい」という人は、学生(78.0%)、事務職(67.8%)で多い。「分かりにくい」という人は、農林水産業(37.4%)、その他の無職(36.9%)で4割弱と他の職業層に比べて多い。

(2) アルファベット略語を便利だと思うか

アルファベット略語を便利だと思うか、性別、年齢別、職業別にみていく(図 6-2-3)。

性別にみると、大きな差はみられない。

年齢別にみると、「便利である」という人は若年層ほど多く、「便利ではない」という人は、高齢層ほど多くなる傾向がみられる。

職業別にみると、「便利である」という人は、学生(93.2%)で9割強を占める。「便利ではない」

という人は、農林水産業（27.5%）、その他の無職（23.3%）で他の職業層に比べて多い。

(3) アルファベット略語を覚えやすいと思うか

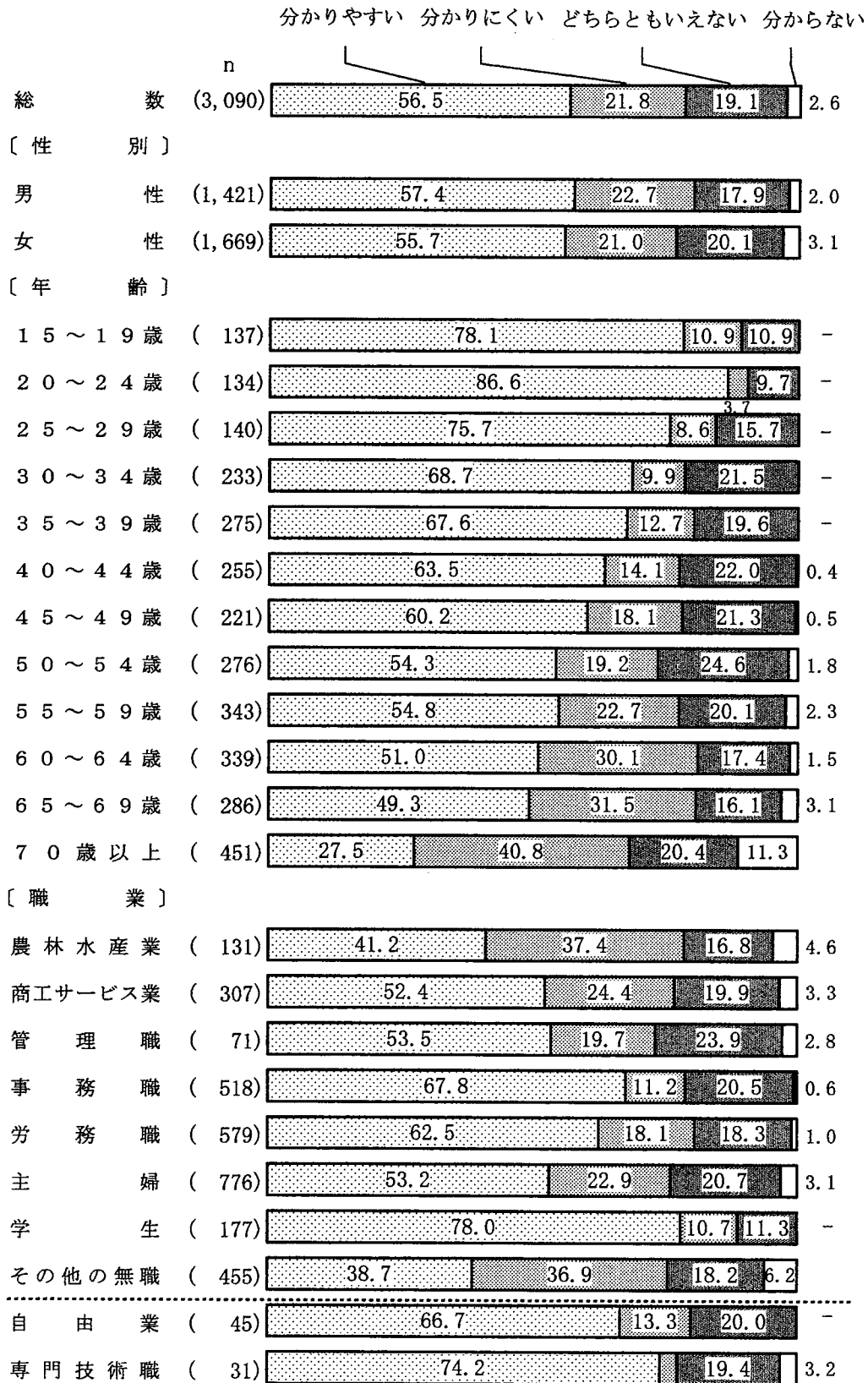
アルファベット略語を覚えやすいと思うか、性別、年齢別、職業別にみていく（図 6-2-4）。

性別にみると、大きな差はみられない。

年齢別にみると、「覚えやすい」という人は若年層ほど多く、「覚えにくい」という人は高齢層ほど多くなる傾向がみられる。70 歳以上では「覚えやすい」（33.5%）と「覚えにくい」（33.0%）はほぼ同率で拮抗している。

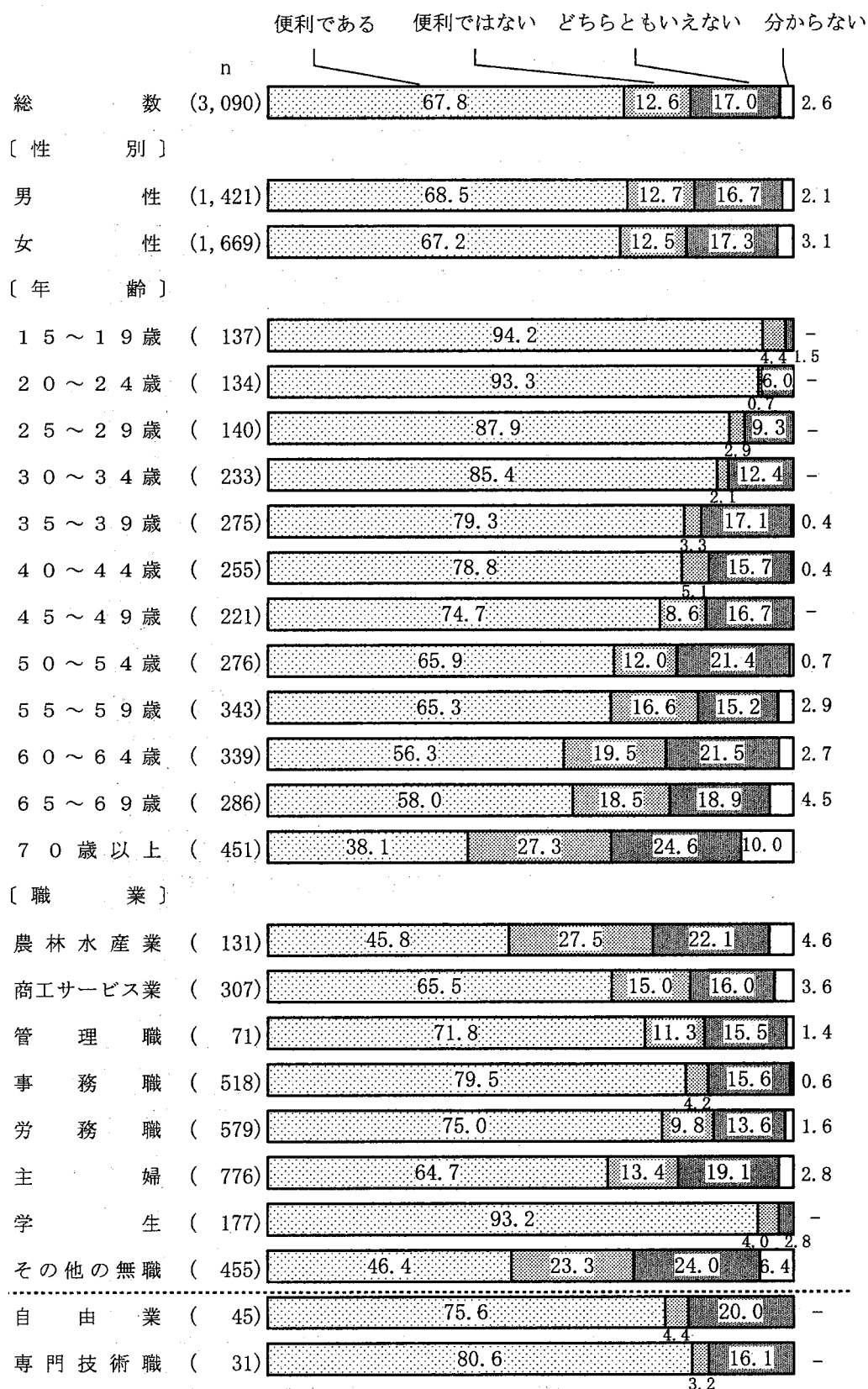
職業別にみると、「覚えやすい」という人は学生（90.4%）で9割ともっとも多い。「覚えにくい」という人は、農林水産業（29.0%）、その他の無職（27.3%）で他の職業層に比べて多い。

図 6-2-2 アルファベット略語を分かりやすいと思うか (性別, 年齢別, 職業別)



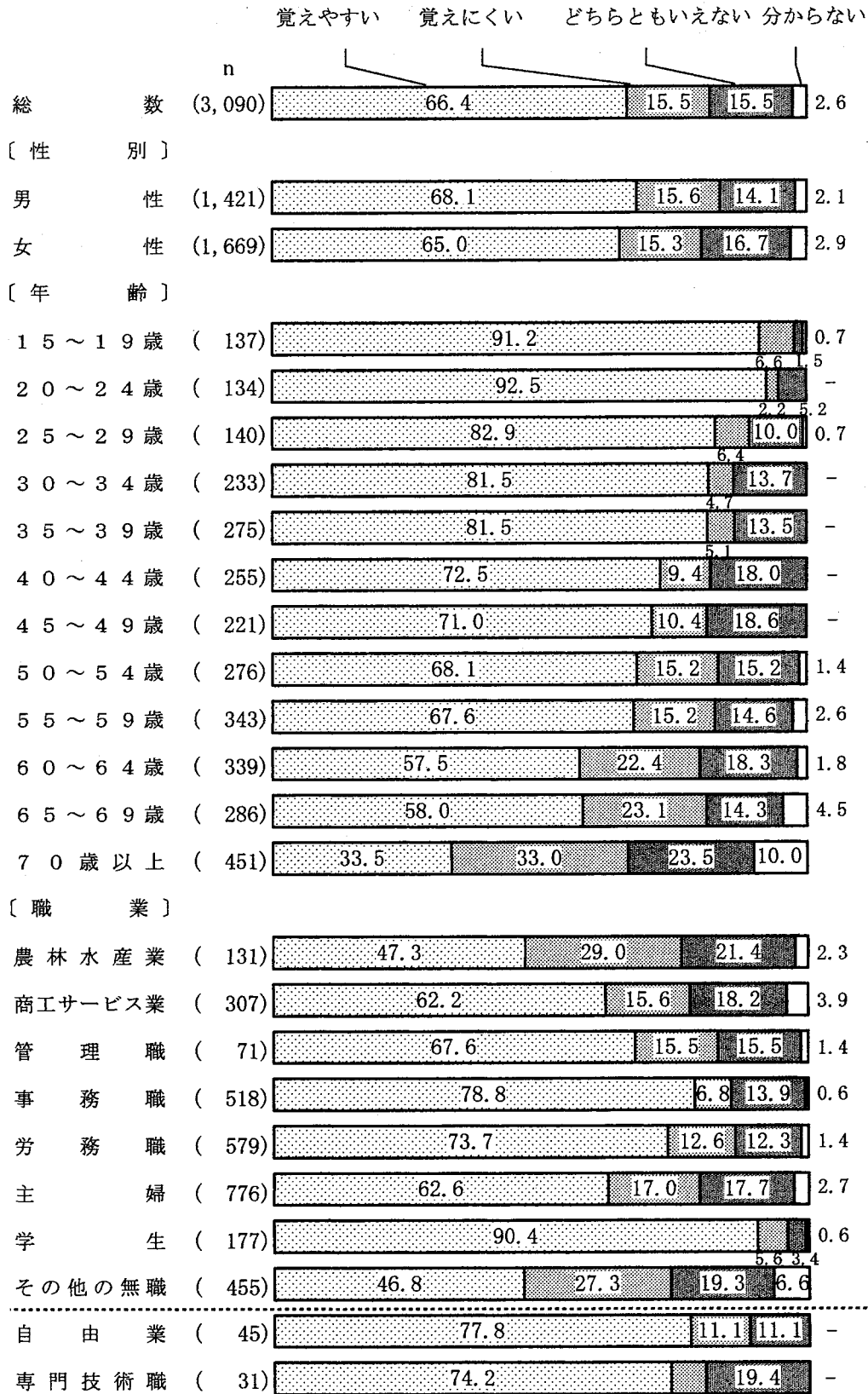
*「自由業」と「専門技術職」は、回答者数が50人より小さいので参照するにとどめ、分析の対象からは外してある。

図 6-2-3. アルファベット略語を便利だと思うか (性別, 年齢別, 職業別)



*「自由業」と「専門技術職」は、回答者数が50人より小さいので参照するにとどめ、分析の対象からは外してある。

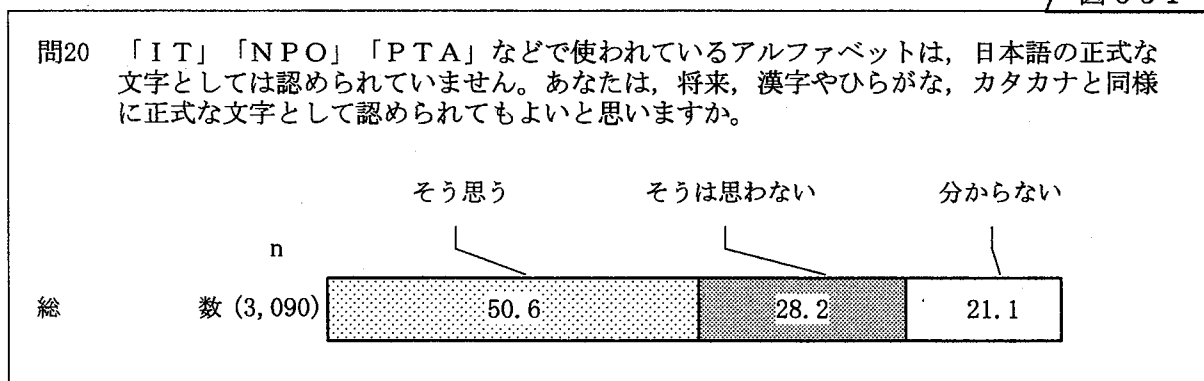
図 6-2-4 アルファベット略語を覚えやすいと思うか（性別、年齢別、職業別）



*「自由業」と「専門技術職」は、回答者数が50人より小さいので参照するにとどめ、分析の対象からは外してある。

3 アルファベットを日本語の正式な文字として認めてもよいか

図 6-3-1



アルファベットは、漢字やひらがな、カタカナと同様に日本語の正式な文字として認められてもよいと思うか聞いた (図 6-3-1)。

「そう思う」 (50.6%) という人が 5 割, 「そうは思わない」 (28.2%) という人が 3 割弱である。

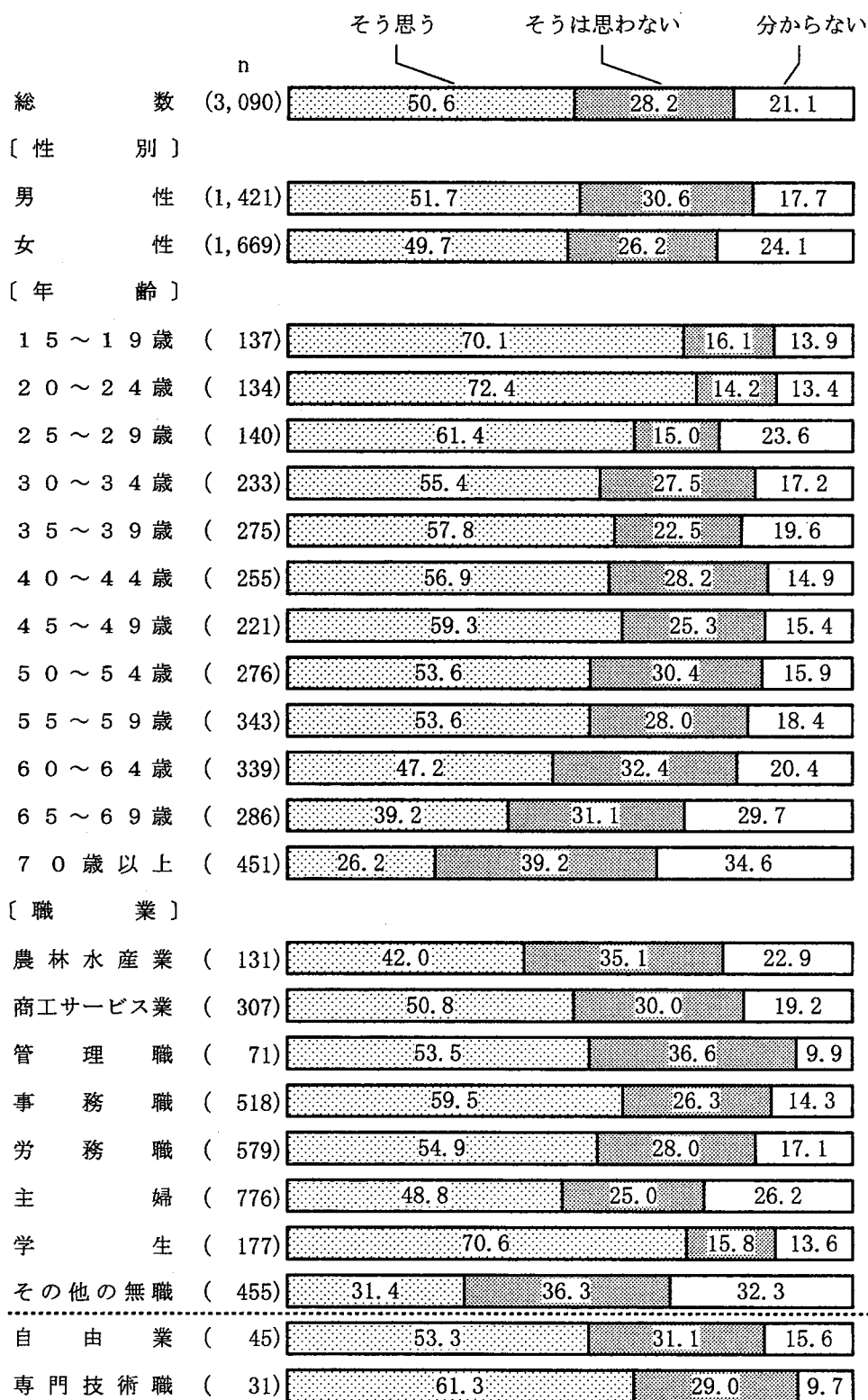
次に、性別、年齢別、職業別にみていく (図 6-3-2)。

性別にみると、「そうは思わない」 (男性 30.6%, 女性 26.2%) は、男性が女性よりやや多い。

年齢別にみると、「そう思う」という人は、若年層ほど多い。

職業別にみると、「そう思う」という人は、学生 (70.6%) で 7 割ともっとも多い。一方、「そうは思わない」という人は、その他の無職 (36.3%), 管理職 (36.6%) で 4 割弱と他の職業層に比べて多い。

図 6-3-2 アルファベットを日本語の正式な文字として認めてもよいか (性別, 年齢別, 職業別)



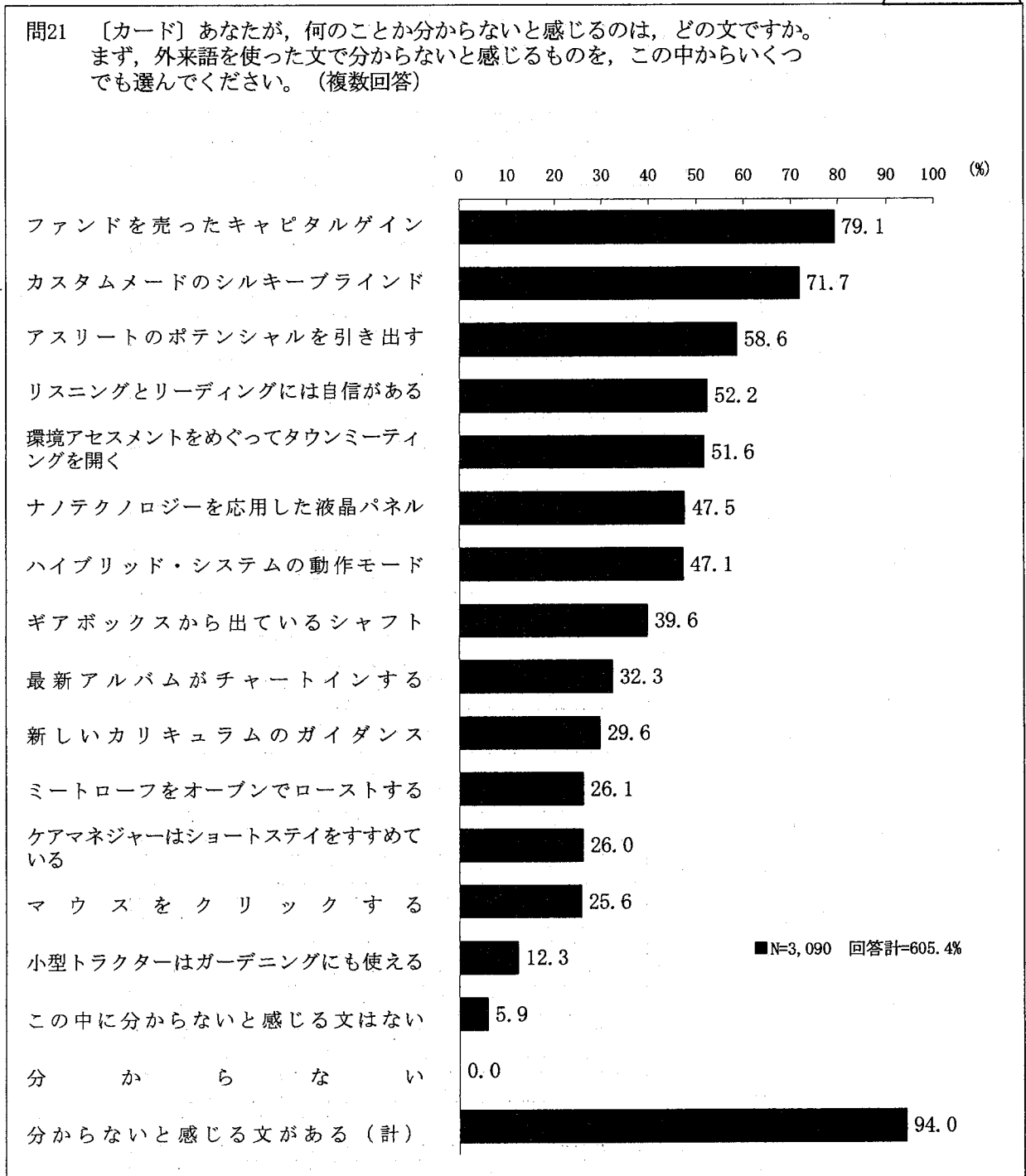
*「自由業」と「専門技術職」は、回答者数が50人より小さいので参照するにとどめ、分析の対象からは外してある。

第7章 苦手な分野の外来語・略語

1 外来語を使った文で何のことが分からないと感じるもの<14分野>

(1) 外来語を使った文で分からないと感じるもの

図 7-1-1



14分野の外来語を使った文を提示して、何のことが分からないと感じるものを聞いた(図7-1-1)。

「ファンドを売ったキャピタルゲイン」《経済・金融・ビジネス》(79.1%)が8割弱でもっとも多い。以下、「カスタムメイドのシルキーブラインド」《ファッション・インテリア》(71.7%)の7割強、「アスリートのポテンシャルを引き出す」《スポーツ・レジャー》(58.6%)の6割弱、「リスニングとリーディングには自信がある」《語学・文芸》(52.2%)の5割強、「環境アセスメントをめぐ

ってタウンミーティングを開く」《政治・行政》（51.6%）の5割強という順である。

次に、性別、年齢別、職業別にみていく（表 7-1-1）。

性別にみると、何のことが分からないと感じる人が、女性に多いのは、「ファンドを売ったキャピタルゲイン」《経済・金融・ビジネス》（男性 71.4%、女性 85.7%）、「カスタムメイドのシルキーブラインド」《ファッション・インテリア》（男性 68.3%、女性 74.6%）、「アスリートのポテンシャルを引き出す」《スポーツ・レジャー》（男性 47.4%、女性 68.2%）、「環境アセスメントをめぐってタウンミーティングを開く」《政治・行政》（男性 44.3%、女性 57.8%）、「ナノテクノロジーを応用した液晶パネル」《科学・技術》（男性 41.3%、女性 52.8%）、「ハイブリッド・システムの動作モード」《機械・電気》（男性 36.9%、女性 55.8%）、「ギアボックスから出ているシャフト」《交通（自動車・船・飛行機など）》（男性 23.5%、女性 53.3%）である。

一方、何のことが分からないと感じる人が、男性に多いのは、「ミートローフをオープンでローストする」《料理・グルメ》（男性 35.0%、女性 18.6%）、「ケアマネジャーはショートステイをすすめている」《医療・福祉》（男性 30.3%、女性 22.3%）である。

年齢別にみると、高年齢になるほど、何のことが分からないと感じる人が多くなる傾向が目立つ。その傾向は、「アスリートのポテンシャルを引き出す」《スポーツ・レジャー》、「リスニングとリーディングには自信がある」《語学・文芸》、「ナノテクノロジーを応用した液晶パネル」《科学・技術》、「ハイブリッド・システムの動作モード」《機械・電気》、「最新アルバムがチャートインする」《音楽・芸術》、「マウスをクリックする」《コンピュータ》、「小型トラクターはガーデニングにも使える」《農業・園芸》、「新しいカリキュラムのガイダンス」《教育》など多くの分野にみられる。

特に、何のことが分からないと感じる人が、44歳までの年齢層では1割に満たない、「最新アルバムがチャートインする」《音楽・芸術》（70歳以上 82.3%）、「マウスをクリックする」《コンピュータ》（70歳以上 73.8%）、「新しいカリキュラムのガイダンス」《教育》（70歳以上 68.3%）、「小型トラクターはガーデニングにも使える」《農業・園芸》（70歳以上 38.1%）は、70歳以上では多数を占め、大きな差がみられる。

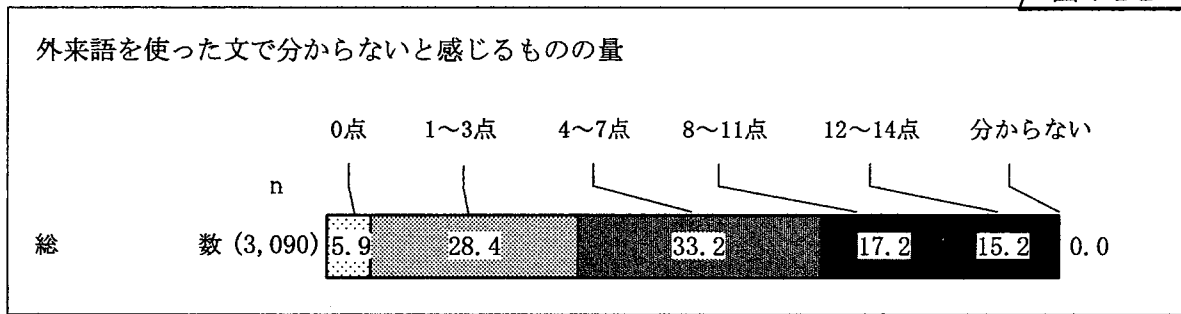
職業別にみると、何のことが分からないと感じる人は、ほとんどの分野について、農林水産業、その他の無職で、他の職業層より多い。一方、「この中に分からないと感じる文はない」という人は、管理職（23.9%）でもっとも多い。

表 7-1-1 外来語を使った文で分からないと感じるもの (性別, 年齢別, 職業別)

	総 数	外来語																	回答計	
		フ ア ン ド を 売 っ た キ ャ ピ タ ル ゲ イ ン	カ ス タ ム メ ー ド の シ ル キ ー ブ ラ イ ン ド	ア ス リ ー ト の ポ テ ン シ ヤ ル を 引 き 出 す	リ ス ニ ン グ と リ ー デ イ ン グ に は 自 信 が あ る	環 境 ア セ ス メ ン ト を め ぐ り タ ウ ン ミ ー テ イ ン グ を 開 く	ナ ノ テ ク ノ ロ ジ ー を 応 用 し た 液 晶 パ ネ ル	ハ イ ブ リ ッ ド ・ シ ス テ ム の 動 作 モ ー ド	ギ ア ボ ク ス か ら 出 て い る シ ヤ フ ト	最 新 ア ル バ ム が チャ ー ト イ ン す る	新 し い カ リ キ ュ ラ ム の ガ イ ダ ン ス	ミ ー ト ロ ー フ を オ ー ブ ン で ロ ー ス ト す る	ケ ア マ ネ ジ ャ ー は シ ョ ー ト ス テ イ を す す め て い る	マ ウ ス を ク リ ツ ク す る	小 型 ト ラ ク タ ー は ガ ー デ ニ ン グ に も 使 え る	こ の 中 に 分 か ら な い と 感 じ る 文 は な い	分 か ら な い	分 か ら な い と 感 じ る 文 が あ る (計)	回 答 計	
	n	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	
総 数	3,090	79.1	71.7	58.6	52.2	51.6	47.5	47.1	39.6	32.3	29.6	26.1	26.0	25.6	12.3	5.9	0.0	94.0	605.4	
[性 別]																				
男 性	1,421	71.4	68.3	47.4	50.4	44.3	41.3	36.9	23.5	32.7	29.8	35.0	30.3	25.5	11.6	8.8	0.1	91.1	557.2	
女 性	1,669	85.7	74.6	68.2	53.8	57.8	52.8	55.8	53.3	31.9	29.5	18.6	22.3	25.6	12.9	3.5	-	96.5	646.4	
[年 齢]																				
15~19歳	137	87.6	71.5	42.3	10.9	58.4	24.8	32.1	48.2	6.6	13.1	21.9	38.0	2.9	8.0	4.4	-	95.6	470.8	
20~24歳	134	84.3	64.9	32.8	15.7	44.8	25.4	23.1	35.8	6.0	11.9	11.2	21.6	2.2	3.7	7.5	-	92.5	391.0	
25~29歳	140	85.0	65.0	41.4	31.4	46.4	29.3	25.0	22.1	5.0	10.7	11.4	22.1	2.1	1.4	7.9	-	92.1	406.4	
30~34歳	233	78.1	63.5	36.9	31.8	43.8	32.6	24.5	30.0	4.7	10.3	8.6	18.5	4.3	3.4	6.9	-	93.1	397.9	
35~39歳	275	76.7	58.5	34.5	32.4	41.5	31.3	28.0	23.6	6.2	9.1	7.6	14.9	2.2	1.8	5.8	-	94.2	374.2	
40~44歳	255	73.7	56.1	41.6	34.1	39.6	33.3	28.2	23.9	7.8	9.8	9.8	13.7	5.9	2.4	11.0	-	89.0	391.0	
45~49歳	221	76.5	63.8	48.0	36.2	38.5	36.7	38.0	28.5	13.6	15.8	13.6	15.4	7.2	3.2	9.0	-	91.0	443.9	
50~54歳	276	73.6	67.8	54.3	48.6	40.6	42.8	40.6	30.4	21.4	18.1	14.9	15.2	14.5	3.6	8.3	-	91.7	494.6	
55~59歳	343	72.0	71.7	65.3	60.9	47.8	44.9	49.0	34.4	29.4	27.7	22.4	18.7	22.4	9.9	7.0	-	93.0	583.7	
60~64歳	339	79.1	78.8	74.6	74.0	55.5	57.8	61.1	44.2	51.3	46.0	33.6	26.5	40.7	17.7	3.2	-	96.8	744.2	
65~69歳	286	77.6	78.7	78.3	74.5	61.9	65.4	67.1	51.4	66.4	52.1	44.1	36.0	50.7	21.3	3.8	0.3	95.8	829.7	
70歳以上	451	89.4	93.3	90.5	88.0	76.7	83.4	83.4	71.2	82.3	68.3	64.7	53.2	73.8	38.1	1.6	-	98.4	1057.9	
[職 業]																				
農 林 水 産 業	131	84.0	89.3	82.4	83.2	68.7	71.0	69.5	48.1	70.2	60.3	61.1	44.3	63.4	20.6	2.3	-	97.7	918.3	
商 工 サ ー ビ ス 業	307	79.5	70.7	62.5	61.2	53.1	48.2	51.5	33.2	36.2	34.5	28.0	24.8	24.4	11.4	4.2	-	95.8	623.5	
管 理 職	71	36.6	62.0	29.6	32.4	21.1	19.7	22.5	8.5	15.5	4.2	15.5	8.5	7.0	2.8	23.9	-	76.1	309.9	
事 務 職	518	67.4	61.0	35.7	25.9	28.8	28.6	24.9	21.6	9.8	8.5	12.2	13.3	4.1	3.3	10.8	-	89.2	355.8	
労 務 職	579	81.3	69.3	56.0	54.7	52.8	45.1	38.3	28.8	21.2	25.7	22.3	25.7	19.5	8.5	5.7	-	94.3	555.1	
主 婦	776	86.1	74.9	69.8	59.0	61.1	55.7	59.7	55.9	36.3	31.8	18.4	21.8	29.6	13.4	2.8	-	97.2	676.4	
学 生	177	85.3	69.5	35.6	7.9	50.3	22.0	27.1	44.6	5.1	9.6	17.5	31.6	2.3	6.2	5.6	-	94.4	420.3	
その他の無職	455	81.8	82.0	75.4	75.6	62.4	67.5	65.9	53.2	67.0	56.5	54.7	45.9	54.5	28.6	4.4	0.2	95.4	875.6	
自 由 業	45	73.3	71.1	64.4	44.4	44.4	48.9	53.3	28.9	26.7	20.0	26.7	24.4	22.2	13.3	6.7	-	93.3	568.9	
専 門 技 術 職	31	67.7	35.5	16.1	22.6	12.9	12.9	12.9	19.4	3.2	16.1	9.7	3.2	3.2	-	19.4	-	80.6	254.8	

(2) 外来語を使った文で分からないと感じるものの量

図 7-1-2



外来語を使った文で、何のことか分からないと感じるものの量を、回答数を積算して求めた(図 7-1-2)。14分野の外来語を使った文を選択肢に示したので、すべてをあげた場合は14点になる。

「4~7点」(33.2%)が3割強でもっとも多く、以下、「1~3点」(28.4%)が3割弱、「8~11点」(17.2%)と「12~14点」(15.2%)がともに2割弱という順である。

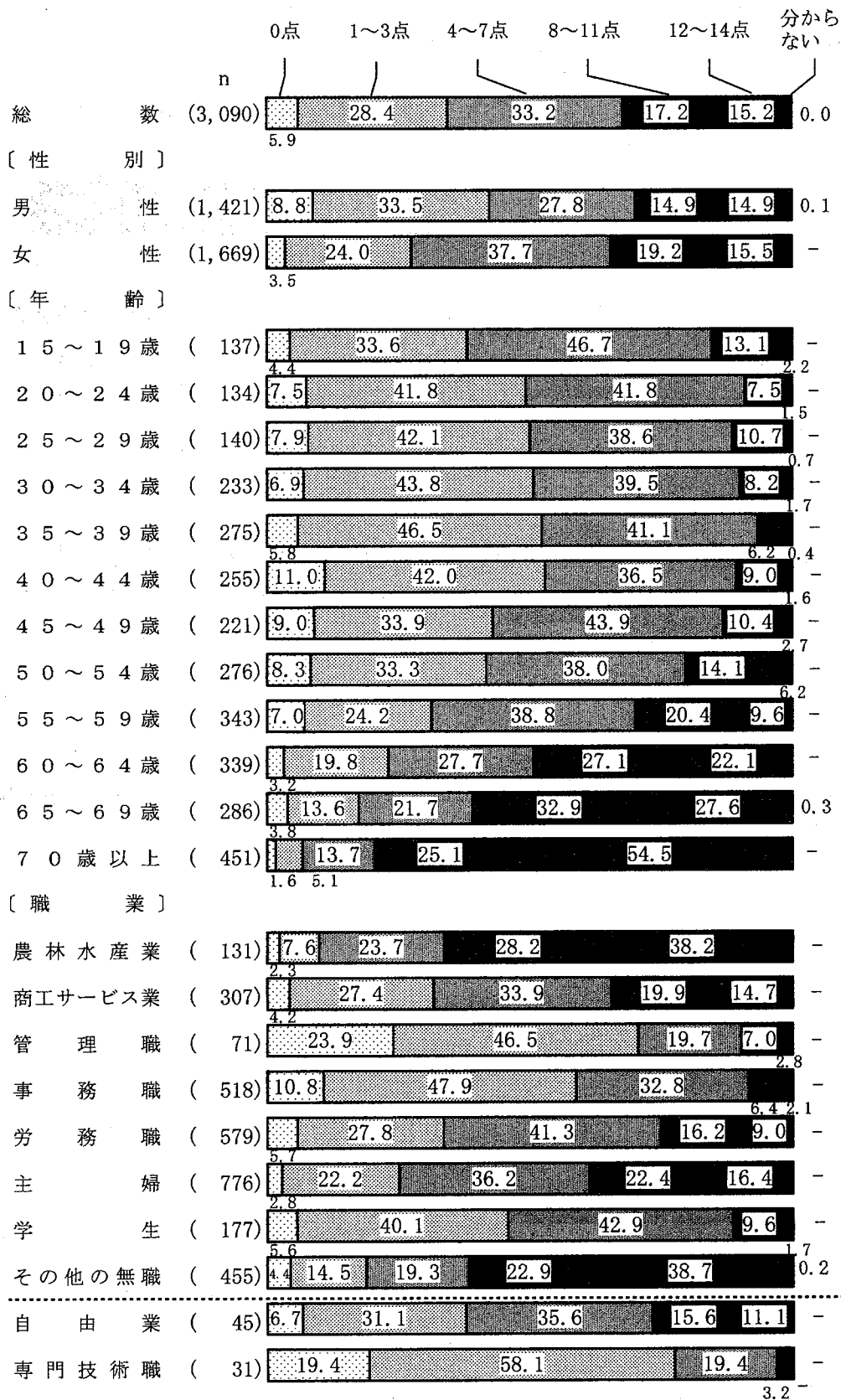
次に、性別、年齢別、職業別にみていく(図 7-1-3)。

性別にみると、女性が男性より多いのは「4~7点」(男性 27.8%, 女性 37.7%)、「8~11点」(男性 14.9%, 女性 19.2%)である。一方、男性が女性より多いのは「1~3点」(男性 33.5%, 女性 24.0%)、「0点」(男性 8.8%, 女性 3.5%)である。

年齢別にみると、高齢層ほど分からないと感じる文の数が増える傾向がみられる。特に、70歳以上では「12~14点」(54.5%)が5割を超えている。

職業別にみると、「12~14点」は、その他の無職(38.7%)、農林水産業(38.2%)で4割弱と他の職業層に比べて多い。一方、何のことか分からないと感じる文はないという「0点」は、管理職(23.9%)で2割強ともっとも多い。

図 7-1-3 外来語を使った文で分からないと感じるものの量 (性別, 年齢別, 職業別)

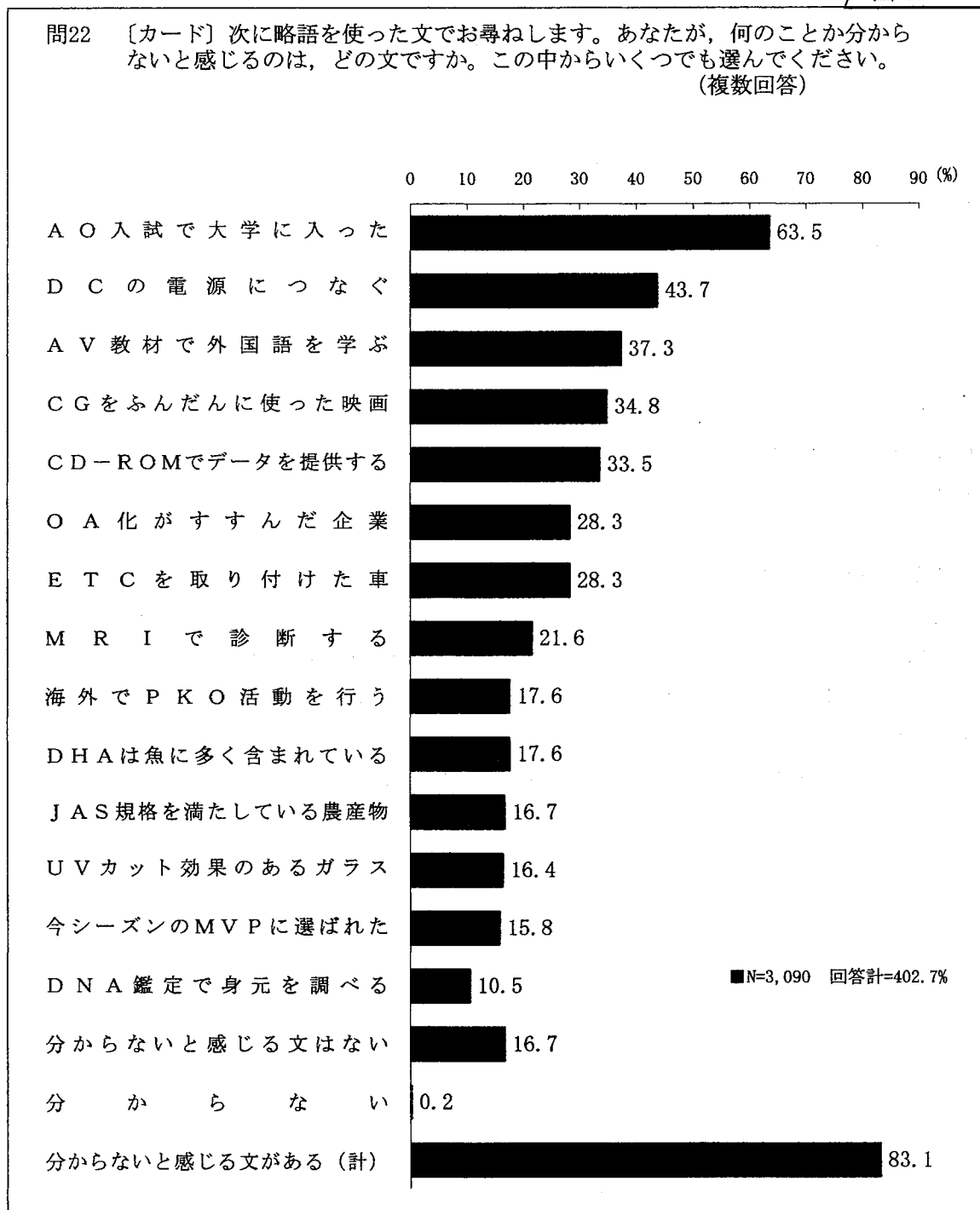


*「自由業」と「専門技術職」は、回答者数が50人より小さいので参照するにとどめ、分析の対象からは外してある。

2 アルファベット略語を使った文で何のことが分からないと感じるもの<14分野>

(1) アルファベット略語を使った文で分からないと感じるもの

図 7-2-1



14 分野のアルファベット略語を使った文を提示して、何のことが分からないと感じるものを聞いた (図 7-2-1)。

「A O 入試で大学に入った」《教育》 (63.5%) が 6 割強でもっとも多く、以下、「D C の電源につなぐ」《機械・電気》 (43.7%) が 4 割強、「A V 教材で外国語を学ぶ」《語学・文芸》 (37.3%) が 4 割弱、「C G をふんだんに使った映画」《音楽・芸術》 (34.8%) が 3 割強、「C D-R O M でデータを提供する」《コンピュータ》 (33.5%) が 3 割強という順である。

一方、「分からないと感じる文はない」 (16.7%) という人は 2 割弱である。

次に、性別、年齢別、職業別にみていく（表 7-2-1）。

性別にみると、何のことが分からないと感じる人が女性に多いのは、「DCの電源につなぐ」《機械・電気》（男性 32.2%、女性 53.4%）、「AV教材で外国語を学ぶ」《語学・文芸》（男性 33.5%、女性 40.6%）、「CGをふんだんに使った映画」《音楽・芸術》（男性 31.7%、女性 37.4%）、「CD-ROMでデータを提供する」《コンピュータ》（男性 28.2%、女性 38.0%）、「OA化がすすんだ企業」《経済・金融・ビジネス》（男性 24.8%、女性 31.3%）、「ETCを取り付けた車」《交通（自動車・船・飛行機など）》（男性 20.1%、女性 35.4%）、「海外でPKO活動を行う」《政治・行政》（男性 15.0%、女性 19.9%）、「今シーズンのMVPに選ばれた」《スポーツ・レジャー》（男性 10.7%、女性 20.1%）である。

一方、何のことが分からないと感じる人が男性に多いのは、「DHAは魚に多く含まれている」《料理・グルメ》（男性 20.4%、女性 15.3%）、「UVカット効果のあるガラス」《ファッション・インテリア》（男性 21.0%、女性 12.6%）である。

年齢別にみると、高年齢になるほど、何のことが分からないと感じる人が多くなる傾向があるが、「OA化がすすんだ企業」《経済・金融・ビジネス》、「ETCを取り付けた車」《交通（自動車・船・飛行機など）》、「MRIで診断する」《医療・福祉》、「海外でPKO活動を行う」《政治・行政》、「JAS規格を満たしている農産物」《農業・園芸》などは、15～19歳の若年層でも何のことが分からないと感じる人が多い。「この中に分からないと感じる文はない」という人は、25～29歳（27.9%）、40～44歳（27.8%）、45～49歳（33.0%）で3割前後と他の年齢層に比べて多い。

職業別にみると、何のことが分からないと感じる人は、ほとんどの分野について、農林水産業、その他の無職で、他の職業層に比べて多い。一方、「この中に分からないと感じる文はない」という人は、管理職（26.8%）、事務職（30.7%）で、他の職業層に比べて多い。

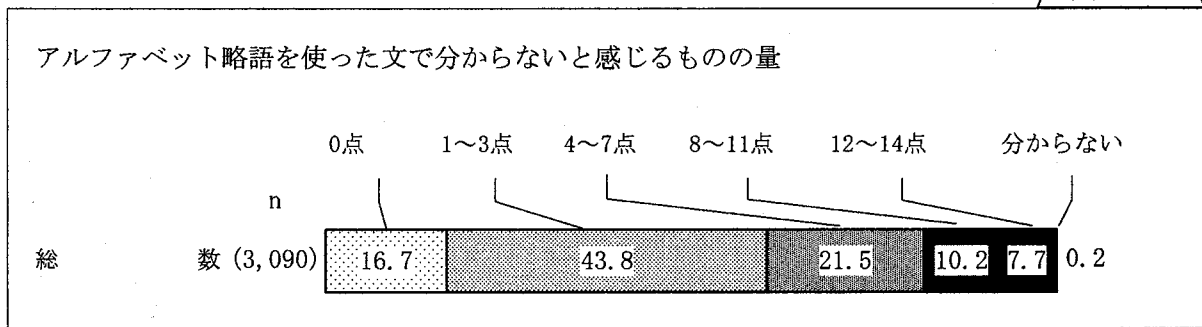
表 7-2-1 アルファベット略語を使った文で分からないと感じるもの（性別、年齢別、職業別）

(複数回答)

	総 数	AO	DC	AV	CG	CD-ROM	OA	ETC	MRI	海外	DHA	JAS	UV	今	DNA	分	分	分	回 答 計
		入試で 大学に 入った	の電 源につ なぐ	教材で 外国語 を学ぶ	をふん だんに 使った 映画	ROMで データ を提供 する	化が すすん だ企 業	を取 り付 けた 車	で診 断す る	でPKO 活動 を行 う	は魚に 多く 含ま れて いる	規格を 満たし ている 農産 物	カット 効果の ある ガラ ス	シーズ ンのM VPに 選ば れた	鑑定 で身元 を調 べる	から ない と感 じる 文は ない	か ら な い	から ない と感 じる 文が ある (計)	
	n	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	3,090	63.5	43.7	37.3	34.8	33.5	28.3	28.3	21.6	17.6	17.6	16.7	16.4	15.8	10.5	16.7	0.2	83.1	402.7
[性別]																			
男性	1,421	63.4	32.2	33.5	31.7	28.2	24.8	20.1	21.5	15.0	20.4	15.2	21.0	10.7	9.5	19.2	0.1	80.7	366.5
女性	1,669	63.6	53.4	40.6	37.4	38.0	31.3	35.4	21.7	19.9	15.3	18.0	12.6	20.1	11.4	14.5	0.3	85.2	433.5
[年齢]																			
15～19歳	137	34.3	48.9	18.2	8.0	6.6	51.8	27.7	46.7	24.1	13.9	29.9	4.4	3.6	5.8	10.9	0.7	88.3	335.8
20～24歳	134	35.8	36.6	9.7	4.5	4.5	25.4	6.7	21.6	20.9	6.0	12.7	3.7	2.2	3.0	24.6	-	75.4	217.9
25～29歳	140	55.0	29.3	15.0	9.3	7.1	16.4	9.3	15.7	10.0	5.7	10.7	1.4	4.3	1.4	27.9	0.7	71.4	219.3
30～34歳	233	63.9	31.8	12.0	6.4	4.3	9.4	9.9	14.2	11.6	3.0	7.7	1.7	4.7	0.9	18.5	-	81.5	200.0
35～39歳	275	64.0	26.9	11.3	8.0	8.7	5.5	12.0	12.0	8.7	4.4	6.2	1.1	2.2	1.1	18.9	0.4	80.7	191.3
40～44歳	255	57.6	31.0	16.9	13.3	11.0	6.3	9.4	10.6	9.4	3.5	5.5	2.7	2.7	1.6	27.8	-	72.2	209.4
45～49歳	221	48.0	29.4	22.6	14.9	14.9	8.1	12.7	9.5	7.7	6.8	5.9	5.0	6.8	3.6	33.0	-	67.0	229.0
50～54歳	276	50.0	29.3	29.3	25.7	26.4	17.8	22.1	11.2	9.1	6.9	5.8	6.2	6.9	2.5	25.7	-	74.3	275.0
55～59歳	343	63.0	43.1	37.9	39.4	38.5	20.4	22.2	13.1	12.0	12.5	8.5	9.3	14.0	5.0	16.6	0.3	83.1	355.7
60～64歳	339	70.8	51.3	53.1	57.5	52.2	35.7	34.8	21.5	20.1	23.3	19.8	23.3	22.1	14.5	8.3	-	91.7	508.3
65～69歳	286	76.2	51.7	61.2	60.5	57.3	47.6	47.9	28.7	19.6	33.2	24.1	32.5	26.6	17.1	7.7	0.3	92.0	592.3
70歳以上	451	88.9	77.4	83.6	81.4	81.8	66.5	70.1	46.1	41.7	51.2	44.6	55.2	47.9	38.1	2.4	0.2	97.3	877.2
[職業]																			
農林水産業	131	83.2	66.4	71.0	67.2	66.4	62.6	52.7	31.3	30.5	45.8	27.5	47.3	35.1	26.0	6.9	0.8	92.4	720.6
商工サービス業	307	71.3	37.1	36.5	33.9	34.5	25.1	21.5	19.2	14.0	17.9	15.3	18.6	13.0	11.7	15.6	-	84.4	385.3
管理職	71	49.3	16.9	15.5	26.8	12.7	8.5	5.6	9.9	2.8	12.7	4.2	11.3	2.8	1.4	26.8	-	73.2	207.0
事務職	518	50.8	24.1	10.8	10.6	7.7	5.2	7.1	8.9	5.8	4.2	3.3	1.5	2.9	0.8	30.7	-	69.3	174.5
労務職	579	64.2	37.1	32.0	27.6	26.4	20.4	19.3	19.7	15.4	11.9	12.8	10.4	9.7	5.5	18.3	0.2	81.5	330.9
主婦	776	65.9	54.9	45.7	42.1	42.8	32.3	38.1	19.6	18.9	15.1	16.9	11.3	21.5	11.1	12.5	0.3	87.2	449.1
学生	177	28.8	45.8	14.1	5.6	6.2	44.1	22.6	39.5	21.5	11.9	25.4	4.0	3.4	4.5	16.9	0.6	82.5	294.9
その他の無職	455	78.7	60.2	65.7	65.3	63.1	48.8	51.4	36.0	31.4	41.1	34.3	46.2	31.9	26.2	6.8	0.2	93.0	687.3
自由業	45	68.9	28.9	26.7	26.7	17.8	22.2	28.9	22.2	20.0	8.9	15.6	15.6	20.0	11.1	20.0	-	80.0	353.3
専門技術職	31	45.2	6.5	19.4	9.7	6.5	12.9	16.1	16.1	12.9	3.2	3.2	3.2	3.2	-	22.6	-	77.4	180.6

(2) アルファベット略語を使った文で分からないと感じるものの量

図 7-2-2



アルファベット略語を使った文で、何のことも分からないと感じるものの量を、回答数を積算して求めた(図 7-2-2)。14分野のアルファベット略語を使った文を選択肢に示したので、すべてをあげた場合は14点になる。

「1~3点」(43.8%)が4割強でもっとも多く、次いで、「4~7点」(21.5%)が2割強、「0点」(16.7%)が2割弱という順である。

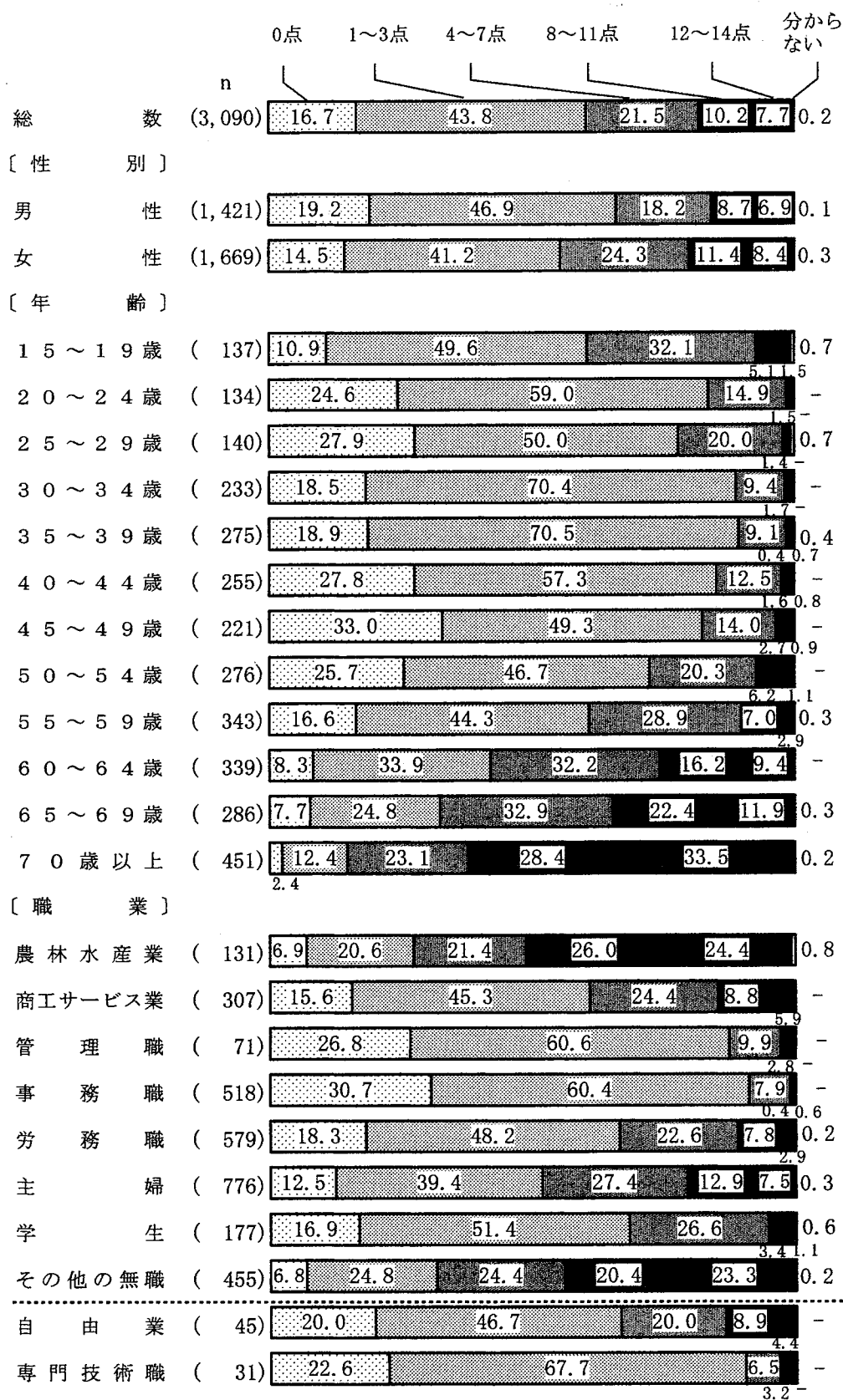
次に、性別、年齢別、職業別にみていく(図 7-2-3)。

性別にみると、男性が女性より多いのは「1~3点」(男性 46.9%、女性 41.2%)、「0点」(男性 19.2%、女性 14.5%)である。一方、女性が男性より多いのは「4~7点」(男性 18.2%、女性 24.3%)である。

年齢別にみると、高齢層ほど分からないと感じる文の数が増える傾向がみられる。特に、70歳以上では「12~14点」(33.5%)が3割強である。

職業別にみると、「12~14点」は、農林水産業(24.4%)、その他の無職(23.3%)で2割強と他の職業層に比べて多い。一方、「0点」は、事務職(30.7%)、管理職(26.8%)で他の職業層に比べて多い。

図 7-2-3 アルファベット略語を使った文で分からないと感じるものの量 (性別, 年齢別, 職業別)

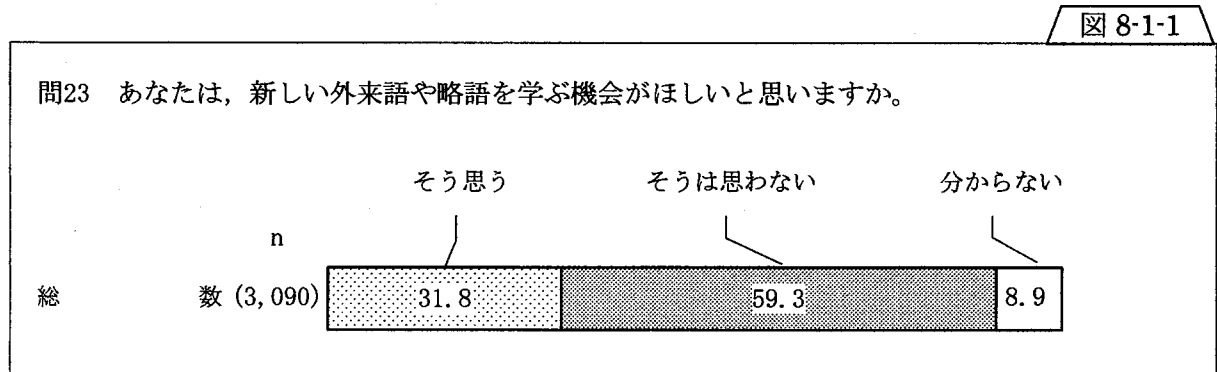


*「自由業」と「専門技術職」は、回答者数が50人より小さいので参照するにとどめ、分析の対象からは外してある。

第8章 外来語や略語についての学習意欲，教育への期待

1 新しい外来語や略語を学ぶ機会

(1) 新しい外来語や略語を学ぶ機会がほしいと思うか



新しい外来語や略語を学ぶ機会がほしいと思うか聞いた (図 8-1-1)。

「そう思う」(31.8%)という人は3割強である。一方、「そうは思わない」(59.3%)という人は6割弱である。

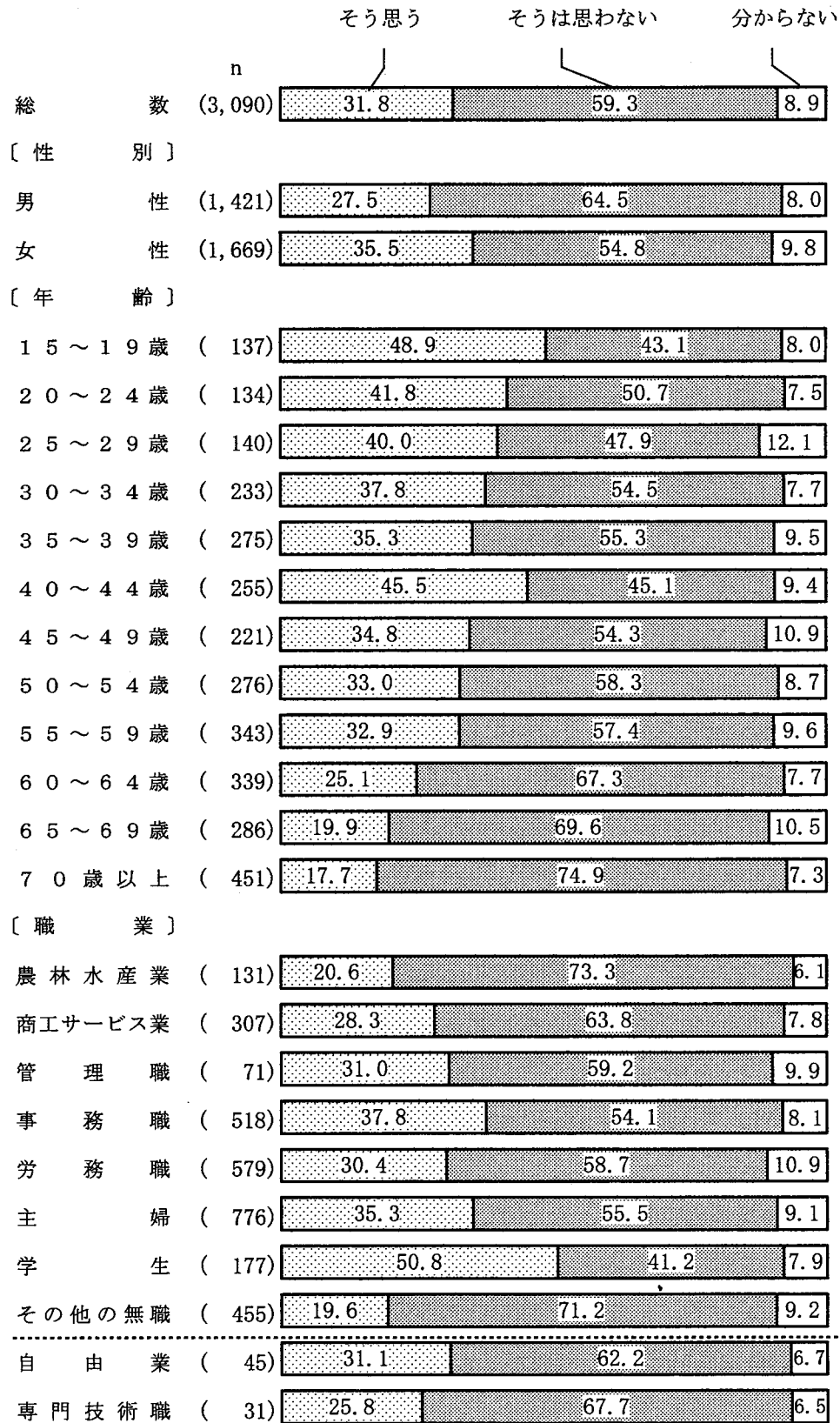
次に、性別、年齢別、職業別にみていく (図 8-1-2)。

性別にみると、「そう思う」(男性 27.5%，女性 35.5%)という人は、女性が男性より多い。

年齢別にみると、「そう思う」という人は若年層ほど多くなる傾向がみられる。特に、15～19歳(48.9%)と、40～44歳(45.5%)では5割弱である。一方、「そうは思わない」という人は高齢層ほど多くなる傾向がみられる。特に、60歳以上の年齢層(60～64歳 67.3%，65～69歳 69.6%，70歳以上 74.9%)では7割前後である。

職業別にみると、「そう思う」という人は、学生(50.8%)で5割ともっとも多い。一方、「そうは思わない」という人は、農林水産業(73.3%)，その他の無職(71.2%)で7割強と他の職業層に比べて多い。

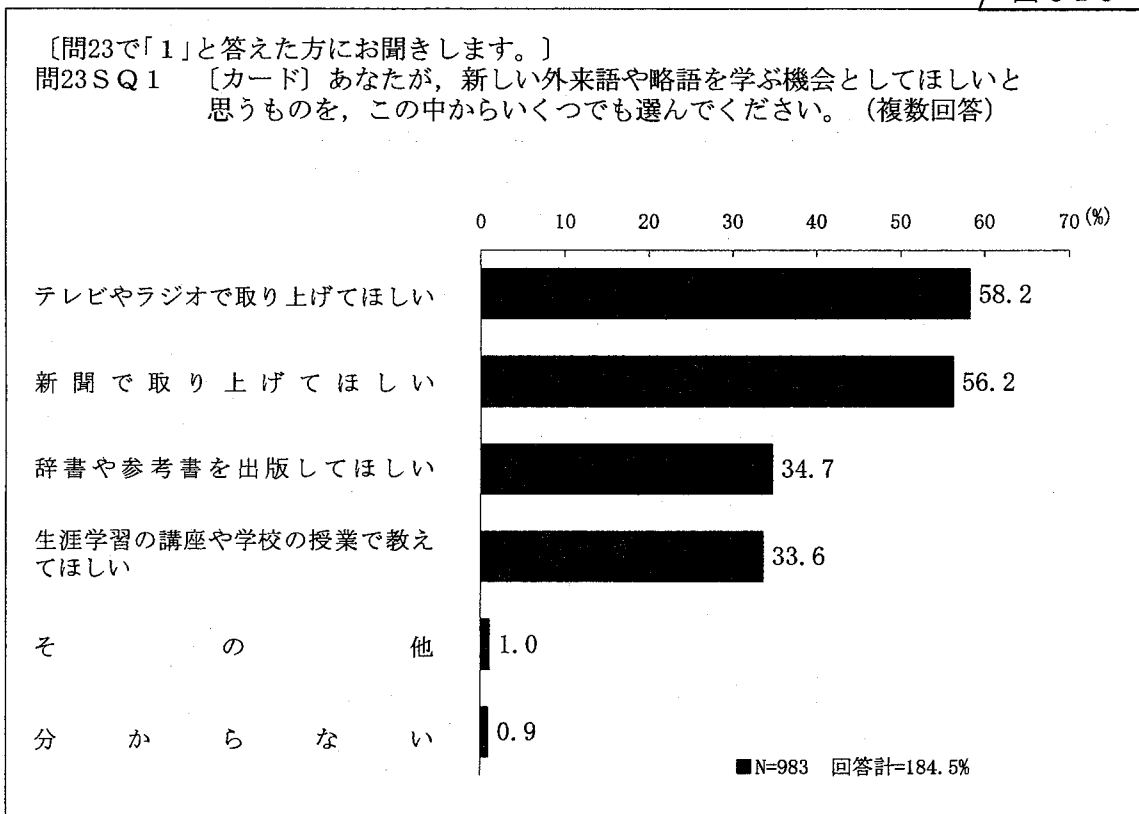
図 8-1-2 新しい外来語や略語を学ぶ機会がほしいと思うか（性別，年齢別，職業別）



* 「自由業」と「専門技術職」は、回答者数が50人より小さいので参照するにとどめ、分析の対象からは外してある。

(2) 新しい外来語や略語を学ぶ機会としてほしいと思うもの

図 8-1-3



新しい外来語や略語を学ぶ機会がほしいと思う人（983人）に、学ぶ機会としてほしいと思うものを聞いた（図 8-1-3）。

「テレビやラジオで取り上げてほしい」（58.2%）と思う人と、「新聞で取り上げてほしい」（56.2%）と思う人がともに6割弱で上位にある。「辞書や参考書を出版してほしい」（34.7%）と思う人と、「生涯学習の講座や学校の授業で教えてほしい」（33.6%）と思う人はともに3割強である。

次に、性別、年齢別、職業別にみていく（表 8-1-1）。

性別にみると、差はみられない。

年齢別にみると、「新聞で取り上げてほしい」と思う人は、35～39歳（63.9%）と50歳以上の年齢層（50～54歳 63.7%、55～59歳 61.9%、60～64歳 61.2%、65～69歳 59.6%、70歳以上 58.8%）でやや多い。

職業別にみると、「テレビやラジオで取り上げてほしい」と思う人は、商工サービス業（71.3%）が多い。「新聞で取り上げてほしい」と思う人は、その他の無職（66.3%）が多い。「辞書や参考書を出版してほしい」と思う人は、学生（45.6%）が多い。「生涯学習の講座や学校の授業で教えてほしい」と思う人も学生（45.6%）が多い。

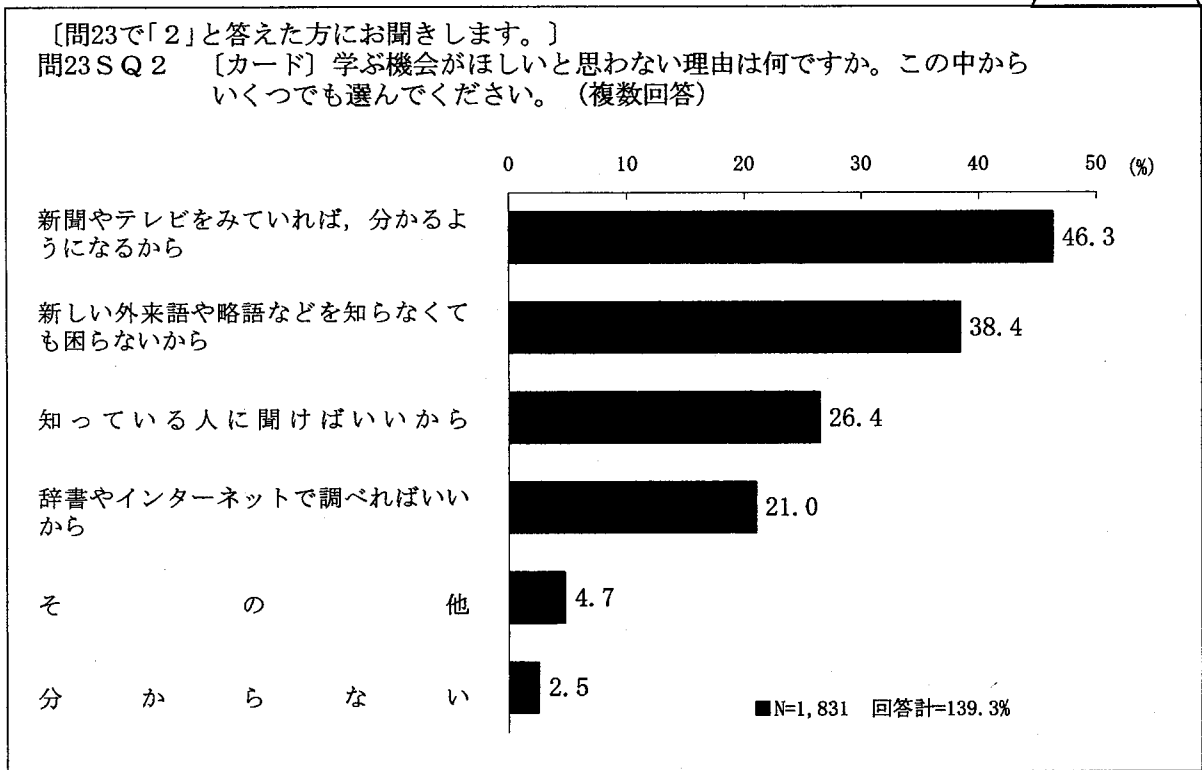
表 8-1-1 新しい外来語や略語を学ぶ機会としてほしいと思うもの

(複数回答)

	該 当 数	テ レ ビ や ラ ジ オ で 取 り 上 げ て ほ し い	新 聞 で 取 り 上 げ て ほ し い	ほ し い 辞 書 や 参 考 書 を 出 版 し て	生 涯 学 習 講 座 や 学 校 で 教 えて ほ し い	そ の 他	分 か ら な い	回 答 計
	n	%	%	%	%	%	%	%
総 数	983	58.2	56.2	34.7	33.6	1.0	0.9	184.5
[性 別]								
男 性	391	58.6	58.6	35.8	34.3	1.3	1.0	189.5
女 性	592	57.9	54.6	34.0	33.1	0.8	0.8	181.3
[年 齢]								
15～19歳	67	47.8	37.3	44.8	47.8	1.5	1.5	180.6
20～24歳	56	60.7	46.4	28.6	33.9	-	-	169.6
25～29歳	56	55.4	44.6	33.9	44.6	-	1.8	180.4
30～34歳	88	61.4	53.4	34.1	33.0	-	-	181.8
35～39歳	97	62.9	63.9	42.3	25.8	1.0	-	195.9
40～44歳	116	54.3	54.3	39.7	27.6	1.7	-	177.6
45～49歳	77	55.8	55.8	35.1	29.9	-	2.6	179.2
50～54歳	91	62.6	63.7	28.6	34.1	1.1	2.2	192.3
55～59歳	113	60.2	61.9	31.0	38.1	0.9	0.9	192.9
60～64歳	85	55.3	61.2	28.2	32.9	1.2	-	178.8
65～69歳	57	61.4	59.6	36.8	31.6	3.5	-	193.0
70歳以上	80	58.8	58.8	32.5	31.3	1.3	2.5	185.0
[職 業]								
農 林 水 産 業	27	37.0	33.3	11.1	29.6	3.7	3.7	118.5
商 工 サ ー ビ ス 業	87	71.3	56.3	23.0	26.4	-	-	177.0
管 理 職	22	54.5	81.8	27.3	45.5	-	-	209.1
事 務 職	196	57.1	60.7	36.7	32.7	1.5	2.6	191.3
労 務 職	176	59.1	51.1	38.1	35.8	-	-	184.1
主 婦	274	59.9	57.7	32.8	30.7	1.1	0.7	182.8
学 生	90	50.0	40.0	45.6	45.6	1.1	1.1	183.3
そ の 他 の 無 職	89	56.2	66.3	34.8	33.7	2.2	-	193.3
自 由 業	14	64.3	57.1	57.1	35.7	-	-	214.3
専 門 技 術 職	8	50.0	75.0	37.5	25.0	-	-	187.5

(3) 学ぶ機会がほしいと思わない理由

図 8-1-4



新しい外来語や略語を学ぶ機会がほしいと思わない人(1,831人)に、その理由を聞いた(図8-1-4)。

「新聞やテレビをみていれば、分かるようになるから」(46.3%)が5割弱でもっとも多い。以下、「新しい外来語や略語を知らなくても困らないから」(38.4%)が4割弱、「知っている人に聞けばいいから」(26.4%)が3割弱、「辞書やインターネットで調べればいいから」(21.0%)が2割強の順である。

次に、性別、年齢別、職業別にみていく(表8-1-2)。

性別にみると、女性が男性より多いのは、「知っている人に聞けばいいから」(男性21.7%、女性31.1%)である。一方、男性が女性より多いのは、「辞書やインターネットで調べればいいから」(男性24.6%、女性17.4%)である。

年齢別にみると、「新しい外来語や略語を知らなくても困らないから」は、65歳以上の年齢層(65~69歳53.3%、70歳以上55.3%)で5割強と他の年齢層に比べて多い。

職業別にみると、「新聞やテレビをみていれば、分かるようになるから」は、事務職(66.1%)が多い。「新しい外来語や略語を知らなくても困らないから」は、農林水産業(60.4%)が多い。「知っている人に聞けばいいから」は、学生(35.6%)、主婦(32.0%)、労務職(30.9%)が多い。「辞書やインターネットで調べればいいから」は、事務職(39.3%)、学生(35.6%)で他の職業層に比べて多い。

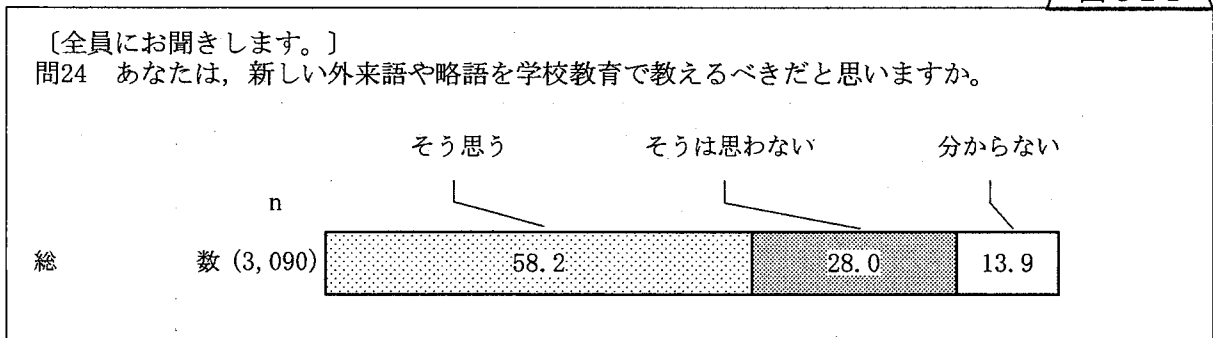
表 8-1-2 学ぶ機会がほしいと思わない理由 (性別, 年齢別, 職業別)

(複数回答)

	該 当 数	ば新聞やテレビをみてい れ、分かるようになるから	な新しい外来語や略語を知ら なくて困らないから	か知っている人に関ければいい	べ辞書やインターネットで調 べればいいから	そ の 他	分 か ら な い	回 答 計
	n	%	%	%	%	%	%	%
総 数	1,831	46.3	38.4	26.4	21.0	4.7	2.5	139.3
[性 別]								
男 性	917	49.4	37.0	21.7	24.6	4.3	2.0	138.9
女 性	914	43.1	39.9	31.1	17.4	5.1	3.1	139.7
[年 齢]								
15～19歳	59	54.2	15.3	37.3	27.1	-	1.7	135.6
20～24歳	68	57.4	23.5	35.3	36.8	2.9	1.5	157.4
25～29歳	67	64.2	28.4	25.4	23.9	3.0	-	144.8
30～34歳	127	61.4	20.5	31.5	33.1	1.6	-	148.0
35～39歳	152	60.5	24.3	29.6	37.5	3.9	-	155.9
40～44歳	115	62.6	26.1	25.2	32.2	0.9	1.7	148.7
45～49歳	120	56.7	27.5	28.3	30.8	1.7	2.5	147.5
50～54歳	161	50.3	42.2	31.7	21.1	-	2.5	147.8
55～59歳	197	50.8	42.6	25.4	21.3	4.6	1.5	146.2
60～64歳	228	43.0	39.0	25.0	11.8	6.1	3.9	128.9
65～69歳	199	34.7	53.3	21.6	14.6	6.0	3.0	133.2
70歳以上	338	22.2	55.3	21.0	6.8	10.7	5.0	121.0
[職 業]								
農 林 水 産 業	96	24.0	60.4	25.0	6.3	8.3	-	124.0
商 工 サ ー ビ ス 業	196	44.4	39.8	24.5	12.8	8.7	2.0	132.1
管 理 職	42	59.5	28.6	19.0	45.2	-	-	152.4
事 務 職	280	66.1	20.4	22.5	39.3	1.4	0.4	150.0
労 務 職	340	49.1	40.9	30.9	20.9	2.9	1.2	145.9
主 婦	431	42.2	39.2	32.0	17.2	3.9	3.9	138.5
学 生	73	57.5	15.1	35.6	35.6	1.4	1.4	146.6
そ の 他 の 無 職	324	32.1	51.9	20.4	12.3	8.6	5.2	130.6
自 由 業	28	57.1	28.6	7.1	32.1	3.6	-	128.6
専 門 技 術 職	21	76.2	19.0	14.3	23.8	-	9.5	142.9

2 新しい外来語や略語を学校教育で教えるべきか

図 8-2-1



新しい外来語や略語を学校教育で教えるべきだと思うか聞いた (図 8-2-1)。

「そう思う」 (58.2%) という人は6割弱である。一方、「そうは思わない」 (28.0%) という人は3割弱である。

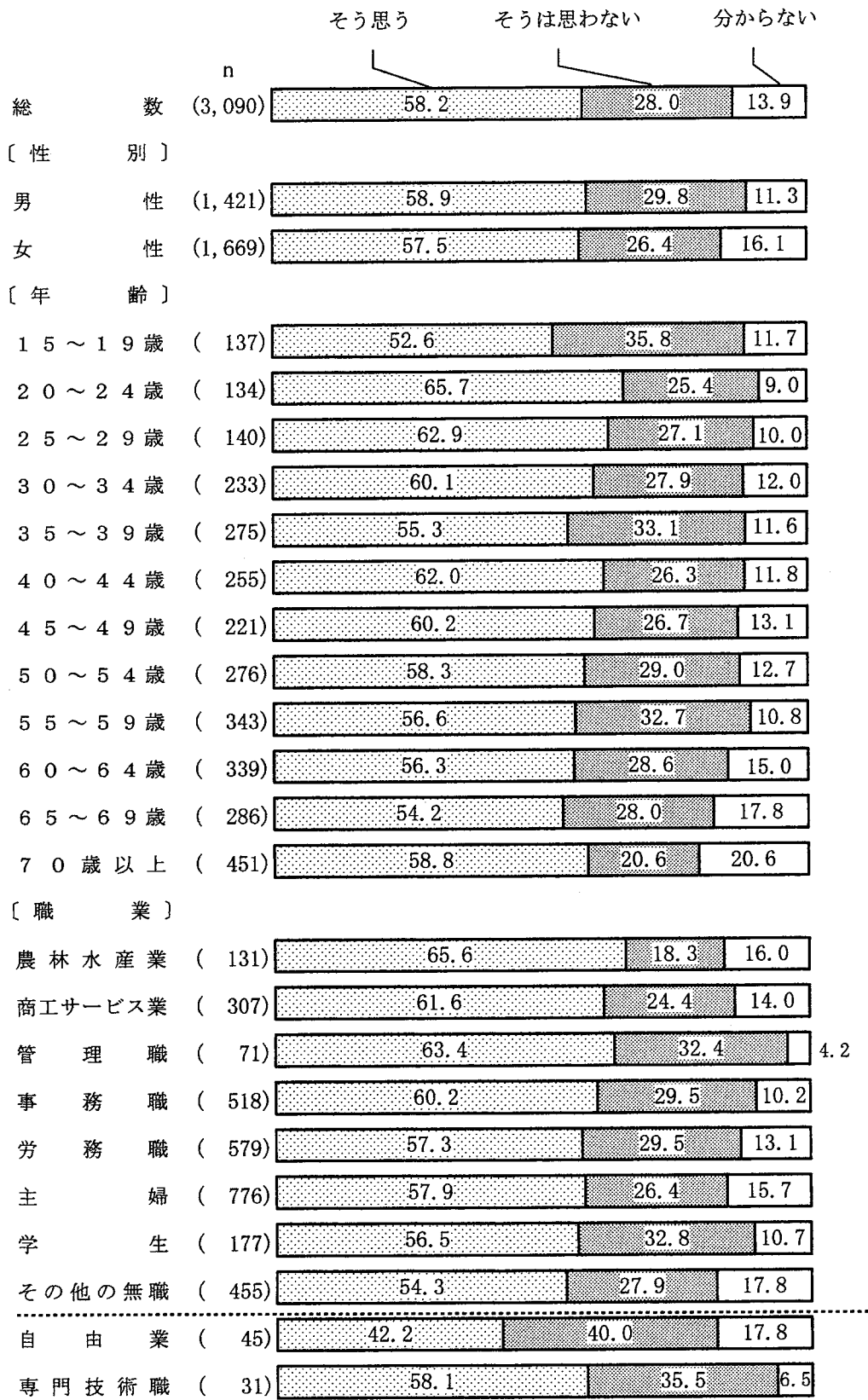
次に、性別、年齢別、職業別にみていく (図 8-2-2)。

性別にみると、差はみられない。

年齢別にみると、「そう思う」という人は、20～24歳 (65.7%) で7割弱ともっとも多く、次いで、25～29歳 (62.9%) と、40～44歳 (62.0%) がともに6割強である。

職業別にみると、「そう思う」という人は、農林水産業 (65.6%)、管理職 (63.4%)、商工サービス業 (61.6%)、事務職 (60.2%) で6割を超えている。

図 8-2-2 新しい外来語や略語を学校教育で教えるべきか (性別, 年齢別, 職業別)



* 「自由業」と「専門技術職」は、回答者数が50人より小さいので参照するにとどめ、分析の対象からは外してある。

Ⅲ 調 査 票

(付：単純集計結果)

平成 16 年度「外来語に関する意識調査（全国調査）」

平成 16 年 10 月

社団法人 新情報センター

(調査番号)				(対象番号)		調査員氏名	点検者氏名
4	3	6	4	□	□	□	□
①	②	③	④	⑤	⑥		

調査開始時刻 □ 時 □ 分

* n 表示のないものは 3,090 人を基数とする。数字は%。

問 1 【カード 1】あなたが、ふだん使うことがある外来語や略語はどれですか。この中からいくつでも選んでください。(M.A.)

46.0 コミュニティーセンター	33.7 コンバイン
73.3 住宅ローン	16.6 スパークプラグ
74.8 ヘルパー	18.4 GPS
41.6 バイオ (バイオテクノロジー)	49.7 アーチスト
81.1 インターネット	56.4 ノンフィクション
72.8 グルメ	49.0 カリキュラム
73.5 スニーカー	3.2 この中にふだん使う言葉はない
67.9 アウトドア	0.4 分からない
	(M.T. = 758.6)

まず、言葉の使い分けについてお聞きします。

話す相手によって、使う言葉も変わってくると思います。ここでは、友だちどうして話すとき、大勢の人の前で話すとき、初対面のお年寄りとお話するときの 3 つの場面で、あなたが使う言葉をお尋ねします。

問 2 【カード 2】まず、友だちどうして話すとき、次のどの言葉を使いますか。(○は 1 つ)

新しく農業を始めるには、地域の	<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> 33.4 サポート 25.6 支援 39.0 手助け </div>	が必要です。
	2.0 分からない (自発的回答)	

問 2 SQ 1 【カード 3】その言葉を使う理由は何ですか。A、B の枠からそれぞれ 1 つ選んでください。(○はそれぞれ 1 つずつ)

(サポート n=1,033, 支援 n=790, 手助け n=1,204)

A 枠			B 枠		
サポート	支援	手助け	サポート	支援	手助け
25.9	9.6	5.7	44.2	23.4	25.0
27.2	51.3	63.7	0.3	0.5	0.2
2.1	14.8	4.9	0.2	0.4	0.4
26.6	3.4	1.7	1.0	5.7	1.2
10.1	18.0	2.2	18.4	24.2	15.8
9.3	0.9	1.3	4.6	8.0	7.7
30.0	39.9	70.1			

問3 【カード2】では、大勢の人の前で話すときは、どの言葉を使いますか。(○は1つ)

新しく農業を始めるには、地域の

27.3	サポート
47.1	支援
22.9	手助け

が必要です。

2.7 分からない (自発的回答)

問3 SQ1 【カード3】その言葉を使う理由は何ですか。A, Bの枠からそれぞれ1つ選んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

(サポート n=843, 支援 n=1,455, 手助け n=708)

A枠.				B枠.			
サポート	支援	手助け		サポート	支援	手助け	
31.7	14.8	4.9	簡潔だから	27.2	9.6	17.8	使い慣れているから
32.0	48.3	71.9	分かりやすいから	0.5	0.4	0.1	この中にはない
7.9	26.7	4.5	正確だから	0.7	0.3	0.7	分からない

A枠.				B枠.			
サポート	支援	手助け		サポート	支援	手助け	
28.9	3.6	1.7	新しい感じだから	2.8	10.9	0.8	格調高い感じだから
18.1	26.2	2.4	知的な感じだから	12.1	19.3	17.8	この中にはない
8.9	2.2	0.7	しゃれた感じだから	3.8	5.1	8.2	分からない
25.3	32.7	68.4	やわらかい感じだから				

問4 【カード2】では、初めて会うお年寄りと話すときは、どの言葉を使いますか。(○は1つ)

新しく農業を始めるには、地域の

3.3	サポート
13.0	支援
81.6	手助け

が必要です。

2.1 分からない (自発的回答)

問4 SQ1 【カード3】その言葉を使う理由は何ですか。A, Bの枠からそれぞれ1つ選んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

(サポート n=102, 支援 n=402, 手助け n=2,520)

A枠.				B枠.			
サポート	支援	手助け		サポート	支援	手助け	
22.5	7.1	3.8	簡潔だから	28.4	11.7	7.6	使い慣れているから
37.3	70.4	85.3	分かりやすいから	1.0	0.2	0.2	この中にはない
10.8	9.7	2.7	正確だから	-	0.2	0.4	分からない

A枠.				B枠.			
サポート	支援	手助け		サポート	支援	手助け	
21.6	2.7	0.6	新しい感じだから	2.9	5.0	0.4	格調高い感じだから
8.8	10.2	1.2	知的な感じだから	13.7	22.6	12.6	この中にはない
8.8	1.7	0.7	しゃれた感じだから	6.9	5.5	4.6	分からない
37.3	52.2	79.8	やわらかい感じだから				

次に、放送や新聞などで使ってほしい言葉についてお聞きします。

問5 【カード4】 テレビやラジオのニュースでは、次のどの言葉を使ってほしいと思いますか。

(○は1つ)

人権を守る団体が	6.9 DV) をテーマにした 特別番組を制作しました。
	30.6 ドメスティック・バイオレンス	
	28.2 配偶者暴力	
	25.7 夫や恋人などからふるわれる暴力	
	8.6 分からない (自発的回答)	

問5 SQ1 【カード5】 その言葉を使ってほしい理由は何ですか。この中から1つ選んでください。

(DV n=213, ドメスティック・バイオレンス n= 947, 配偶者暴力 n=871, 夫や恋人などからふるわれる暴力 n=794)

DV	ドメスティック・バイオレンス	配偶者暴力	夫や恋人などからふるわれる暴力	
56.3	15.8	7.5	2.0	簡潔だから
15.5	30.6	79.9	87.5	分かりやすいから
9.4	21.2	8.8	7.4	正確だから
14.6	27.0	2.8	1.8	使い慣れているから
2.8	4.1	0.6	0.6	この中にはない
1.4	1.2	0.5	0.6	分からない

問6 【カード4】 新聞では、どの言葉を使ってほしいと思いますか。(○は1つ)

人権を守る団体が	7.7 DV) をテーマにした 特別番組を制作しました。
	26.9 ドメスティック・バイオレンス	
	38.7 配偶者暴力	
	18.7 夫や恋人などからふるわれる暴力	
	8.1 分からない (自発的回答)	

問6 SQ1 【カード5】 その言葉を使ってほしい理由は何ですか。この中から1つ選んでください。

(DV n=238, ドメスティック・バイオレンス n=830, 配偶者暴力 n=1,195, 夫や恋人などからふるわれる暴力 n=577)

DV	ドメスティック・バイオレンス	配偶者暴力	夫や恋人などからふるわれる暴力	
66.4	14.2	12.6	1.7	簡潔だから
17.2	33.9	68.5	84.4	分かりやすいから
5.0	26.0	15.1	11.4	正確だから
8.8	20.2	2.4	2.1	使い慣れているから
1.7	4.3	1.0	0.3	この中にはない
0.8	1.3	0.4	-	分からない

問7 【カード4】 役所・役場の窓口では、次のどの言葉を使ってほしいと思いますか。(〇は1つ)

人権を守る団体が

6.0 DV 19.5 ドメスティック・バイオレンス 39.4 配偶者暴力 26.1 夫や恋人などからふるわれる暴力 9.0 分からない(自発的回答)) をテーマにした特別番組を制作しました。
---	-----------------------

問7 SQ1 【カード5】 その言葉を使ってほしい理由は何ですか。この中から1つ選んでください。
 (DV n=186, ドメスティック・バイオレンス n=603, 配偶者暴力 n=1,218, 夫や恋人などからふるわれる暴力 n=805)

DV	ドメスティック・バイオレンス	配偶者暴力	夫や恋人などからふるわれる暴力	
55.9	14.4	9.7	2.9	簡潔だから
20.4	37.8	72.4	81.9	分かりやすいから
10.8	21.9	15.0	11.7	正確だから
9.1	20.7	1.5	2.6	使い慣れているから
3.2	4.3	0.9	0.6	この中にはない
0.5	0.8	0.5	0.4	分からない

問8 【カード6】 市区町村の広報紙では、次のどの言葉を使ってほしいと思いますか。(〇は1つ)

工事中の区間が

2.6 ボトルネック 3.5 ^{あいる} 隘路 88.1 支障 5.9 分からない(自発的回答)) になって、朝夕は交通渋滞が起きています。
--	------------------------

問8 SQ1 【カード7】 その言葉を使ってほしい理由は何ですか。この中から1つ選んでください。
 (ボトルネック n=79, ^{あいる}隘路 n=109, 支障 n=2721)

ボトルネック	^{あいる} 隘路	支障		ボトルネック	^{あいる} 隘路	支障	
38.0	12.8	4.3	簡潔だから	12.7	5.5	5.0	使い慣れているから
30.4	47.7	85.0	分かりやすいから	1.3	1.8	0.5	この中にはない
17.7	31.2	5.0	正確だから	-	0.9	0.2	分からない

問9 【カード8】 では、この中では、どの言葉を広報紙の中で使ってほしいと思いますか。(〇は1つ)

梅雨から台風の時期に備えて、洪水の

6.4 ハザードマップ 62.4 災害予測地図 28.7 災害にあう地域を予測した地図 2.6 分からない(自発的回答)) を配布します。
---	-----------

問9 SQ1 【カード9】 その言葉を使ってほしい理由は何ですか。この中から1つ選んでください。

(ハザードマップ n=198, 災害予測地図 n=1,927, 災害にあう地域を予測した地図 n=886)

ハザードマップ	災害予測地図	災害にあう地域を予測した地図	
32.3	16.3	2.6	簡潔だから
28.3	70.7	87.4	分かりやすいから
8.6	10.2	6.5	正確だから
29.3	2.5	3.0	使い慣れているから
1.5	0.2	-	この中にはない
-	0.1	0.5	分からない

問10 【カード10】 新聞や広報紙では、同じことを言うのに、いろいろな表現が使われています。あなたは、a～cのそれぞれについて、新聞や広報紙で表記する際に1～3のどの表現を使った方がよいと思いますか。 (○はそれぞれ1つずつ)		SQ1 【カード10】 その表現を使った方がよいと思う理由は何ですか。この中から1つ選んでください。										
n		簡潔だから	分かりやすいから	正確だから	使い慣れているから	外来語も知っておきたいから	両方の表現がある方が親切だから	外来語は増えてほしいから	外来語は積極的に取り入れるべきだから	この中にはない	分からない	
a	10.0 グローバル 308	22.7	24.4	4.2	39.0	6.5	0.3	-	1.6	1.0	0.3	
	42.3 グローバル(地球規模) 1,307	1.3	33.7	4.8	2.4	12.0	43.5	0.2	1.6	0.2	0.2	
	41.1 地球規模 1,269	3.3	78.8	7.9	4.9	0.1	0.8	3.8	-	-	0.5	
	6.7 分からない(自発的回答)											
b	1.2 インキュベーション 37	21.6	29.7	8.1	18.9	16.2	-	-	2.7	2.7	-	
	30.3 インキュベーション(起業支援) 935	0.7	31.7	4.5	1.1	16.5	42.8	0.3	2.0	0.2	0.2	
	58.2 起業支援 1,799	2.9	78.7	8.7	4.6	0.1	0.4	3.6	0.2	0.1	0.9	
	10.3 分からない(自発的回答)											
c	19.0 NPO 588	21.9	24.3	4.1	44.0	2.7	1.0	-	0.9	0.3	0.7	
	50.9 NPO(非営利団体) 1,573	1.3	36.2	5.8	5.3	11.4	37.9	0.3	1.2	0.1	0.4	
	22.6 非営利団体 697	1.9	81.8	6.7	3.3	-	1.0	4.0	-	-	1.3	
	7.5 分からない(自発的回答)											

では、専門家が使用する言葉についてお聞きします。

問 11 あなたはこれまで、医者から、症状や治療について、分かりにくい言葉で説明されたことがありますか。この中から1つ選んでください。

36.1	59.3	4.5
ある	ない	分からない

問 12 【カード 11】 医者が患者や家族に話すときは、分かりやすく言い換えたり、説明を加えたりしてほしいと思うのは、どんな種類の言葉ですか。この中からいくつでも選んでください。(M.A.)

- 27.3 「所見をとる」「処方する」などの、病院でよく使われる言葉
- 56.5 「セカンドオピニオン」「プライマリーケア」などの、外来語
- 47.3 「CT」「HIV」などの、アルファベットの略語
- 57.1 「かくたんさいぼうしん喀痰細胞診」「ひまつかんせん飛沫感染」などの、専門用語
- 0.6 その他(具体的に:)
- 11.9 特にない
- 3.8 分からない

(M.T.=204.4)

問 13 【カード 12】 あなたは、医者から家族のことで説明を受けるとき、次のどの言葉を使ってほしいと思いますか。(○は1つ)

穏やかな日々を過ご していただくには	8.0	ターミナルケア) が必要です。
	11.0	終末医療	
	76.6	痛みをやわらげ精神を楽にする医療	
	4.3	分からない(自発的回答)	

問 13 S Q 1 【カード 13】 その言葉を使ってほしい理由は何ですか。A、Bの枠からそれぞれ1つ選んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

(ターミナルケア n=248, 終末医療 n=341, 痛みをやわらげ精神を楽にする医療 n=2,368)

A枠.

ターミナルケア	終末医療	痛みをやわらげ精神を楽にする医療	
25.0	47.8	16.4	正確に伝わるから
60.9	19.1	43.5	やわらかく伝わるから
11.3	32.8	39.7	分かりやすいから
2.4	0.3	0.1	この中にはない
0.4	-	0.3	分からない

B枠.

ターミナルケア	終末医療	痛みをやわらげ精神を楽にする医療	
21.4	49.9	14.2	気持ちの整理ができるから
25.4	10.6	12.0	気持ちが前向きになるから
14.1	12.9	22.7	医者を信頼する気持ちになるから
28.2	14.1	46.1	不安や心配が軽くなるから
8.5	7.0	2.2	この中にはない
2.4	5.6	2.7	分からない

問 14 【カード 14】では、次のような説明の中ではどれを使ってほしいと思いますか。(○は1つ)

穏やかな日々を過ごし
 いただくためにも、

}	56.8	ホスピス	に移られることをお勧めします。
	16.6	終末医療施設	
	17.2	末期患者医療施設	
	9.4	分からない(自発的回答)	

問 14SQ1 【カード 15】その言葉を使ってほしい理由は何ですか。A、Bの枠からそれぞれ1つ選んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

(ホスピス n=1,755, 終末医療施設 n=512, 末期患者医療施設 n=533)

A枠

ホスピス	終末医療施設	末期患者医療施設		ホスピス	終末医療施設	末期患者医療施設	
13.7	26.2	34.0	正確に伝わるから	2.2	0.6	0.8	この中にはない
68.1	42.0	16.1	やわらかく伝わるから	0.4	0.2	0.8	分からない
15.6	31.1	48.4	分かりやすいから				

B枠

ホスピス	終末医療施設	末期患者医療施設	
25.5	40.8	35.3	気持ちの整理ができるから
16.6	14.1	7.5	気持ちが前向きになるから
11.6	13.5	19.7	医者を信頼する気持ちになるから
38.8	24.0	28.3	不安や心配が軽くなるから
5.2	3.7	4.1	この中にはない
2.3	3.9	5.1	分からない

外来語の言い換えについて、お聞きします。

問 15 あなたは、国立国語研究所が「外来語言い換え提案」をしていることを知っていますか。

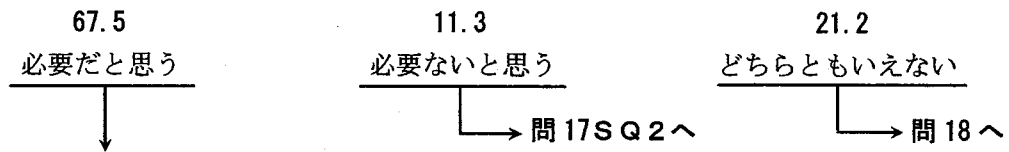
17.2	79.3	3.6
知っている	知らない	分からない

問 16 【カード 16】国立国語研究所の「外来語言い換え提案」では、次のような「言い換え語」を提案しています。あなたは、「言い換え語」と「元の外来語」とでは、どちらが分かりやすいと思いますか。

元の外来語が	言い換え語が	どちらも	分からない
分かりやすい	分かりやすい	いえない	(自発的回答)
		(自発的回答)	

	元の外来語	言い換え語					
(1)	アウトソーシング	外部委託	16.0	69.5	7.2	7.3	
(2)	キャッチアップ	追い上げ	11.2	73.7	6.8	8.3	
(3)	バーチャル	仮想	31.9	53.2	7.5	7.4	
(4)	ポジティブ	積極的	27.1	60.6	6.1	6.2	

問 17 あなたは、国立国語研究所が行っているような「外来語言い換え提案」は必要だと思いますか。

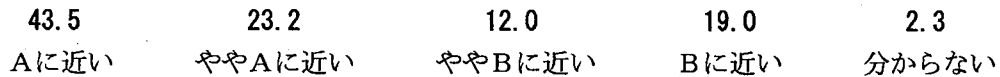


(問 17 で「1」と答えた方にお聞きします。)

問 17SQ1 【カード17】 必要だと思う人の中には、大きく分けて次のA、Bの意見があります。あなたご自身の考えはどちらに近いですか。(○は1つ)

(n=2,085)

- | |
|-----------------------------|
| A 分かりにくい外来語で困っている人の助けになるから。 |
| B 外来語よりも伝統的な日本語を大切にしたいから。 |

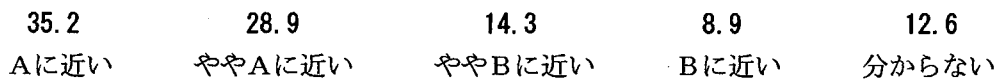


(問 17 で「2」と答えた方にお聞きします。)

問 17SQ2 【カード18】 必要ないと思う人の中には、大きく分けて次のA、Bの意見があります。あなたご自身の考えはどちらに近いですか。(○は1つ)

(n=349)

- | |
|--------------------------------|
| A 言い換えによって外来語の正確な意味が伝わらなくなるから。 |
| B 外来語を取り入れた方が日本語は豊かになるから。 |



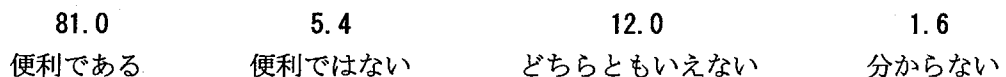
外来語や略語を使うことについてお聞きします。

問 18 携帯電話を「ケータイ」、リモート・コントローラーを「リモコン」、コンビニエンス・ストアを「コンビニ」のように、元の言葉を短くした略語が使われています。このような略語についてあなたはどのように思いますか。(○は1つずつ)

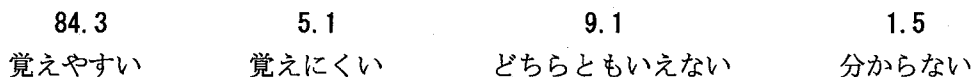
(1) 分かりやすいと思いますか。



(2) 便利だと思いますか。



(3) 覚えやすいと思いますか。



問 19 コマーシャル・メッセージを「CM」、コンパクト・ディスクを「CD」、インフォメーション・テクノロジーを「IT」のように、アルファベットの略語が使われています。このようなアルファベットの略語についてあなたはどのように思いますか。(○は1つずつ)

(1) 分かりやすいと思いますか。

56.5	21.8	19.1	2.6
分かりやすい	分かりにくい	どちらともいえない	分からない

(2) 便利だと思いますか。

67.8	12.6	17.0	2.6
便利である	便利ではない	どちらともいえない	分からない

(3) 覚えやすいと思いますか。

66.4	15.5	15.5	2.6
覚えやすい	覚えにくい	どちらともいえない	分からない

問 20 「IT」「NPO」「PTA」などで使われているアルファベットは、日本語の正式な文字としては認められていません。あなたは、将来、漢字やひらがな、カタカナと同様に正式な文字として認められてもよいと思いますか。

50.6	28.2	21.1
そう思う	そうは思わない	分からない

問 21 【カード 19】あなたが、何のことが分からないと感じるのは、どの文ですか。まず、外来語を使った文で分からないと感じるものを、この中からいくつでも選んでください。(M.A.)

(調査員注：1～14を1つずつ読み上げること)

- 51.6 環境アセスメントをめぐってタウンミーティングを開く
- 79.1 ファンドを売ったキャピタルゲイン
- 26.0 ケアマネジャーはショートステイをすすめている
- 47.5 ナノテクノロジーを応用した液晶パネル
- 25.6 マウスをクリックする
- 26.1 ミートローフをオープンでローストする
- 71.7 カスタムメイドのシルキーブラインド
- 58.6 アスリートのポテンシャルを引き出す
- 12.3 小型トラクターはガーデニングにも使える
- 47.1 ハイブリッド・システムの動作モード
- 39.6 ギアボックスから出ているシャフト
- 32.3 最新アルバムがチャートインする
- 52.2 リスニングとリーディングには自信がある
- 29.6 新しいカリキュラムのガイダンス
- 5.9 この中に分からないと感じる文はない
- 0.0 分からない

(M. T. =605. 4)

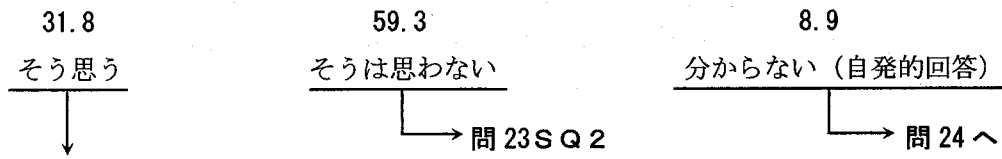
問 22 【カード 20】次に略語を使った文でお尋ねします。あなたが、何のことか分からないと感じるのは、どの文ですか。この中からいくつでも選んでください。(M. A.)

(調査員注：1～14 を 1 つずつ読み上げること)

- 17.6 海外でPKO活動を行う
- 28.3 OA化がすすんだ企業
- 21.6 MRIで診断する
- 10.5 DNA鑑定で身元を調べる
- 33.5 CD-ROMでデータを提供する
- 17.6 DHAは魚に多く含まれている
- 16.4 UVカット効果のあるガラス
- 15.8 今シーズンのMVPに選ばれた
- 16.7 JAS規格を満たしている農産物
- 43.7 DCの電源につなぐ
- 28.3 ETCを取り付けた車
- 34.8 CGをふんだんに使った映画
- 37.3 AV教材で外国語を学ぶ
- 63.5 AO入試で大学に入った
- 16.7 この中に分からないと感じる文はない
- 0.2 分からない

(M. T. =402. 7)

問 23 あなたは、新しい外来語や略語を学ぶ機会がほしいと思いますか。



〔問 23 で「1」と答えた方にお聞きします。〕

問 23 SQ 1 【カード 21】あなたが、新しい外来語や略語を学ぶ機会としてほしいと思うものを、この中からいくつでも選んでください。(M. A.)

(n=983)

- 33.6 生涯学習の講座や学校の授業で教えてほしい
- 58.2 テレビやラジオで取り上げてほしい
- 56.2 新聞で取り上げてほしい
- 34.7 辞書や参考書を出版してほしい
- 1.0 その他 (具体的に：)
- 0.9 分からない

(M. T. =184. 5)

〔問 23 で「2」と答えた方にお聞きします。〕

問 23 S Q 2 〔カード 22〕 学ぶ機会がほしいと思わない理由は何ですか。この中からいくつでも選んでください。(M. A.)

(n=1, 831)

- 21.0 辞書やインターネットで調べればいいから
- 46.3 新聞やテレビをみていれば、分かるようになるから
- 26.4 知っている人に聞けばいいから
- 38.4 新しい外来語や略語を知らなくても困らないから
- 4.7 その他(具体的に:)
- 2.5 分からない (M. T. =139.3)

〔全員にお聞きします。〕

問 24 あなたは、新しい外来語や略語を学校教育で教えるべきだと思いますか。

- | | | |
|------|---------|-------|
| 58.2 | 28.0 | 13.9 |
| そう思う | そうは思わない | 分からない |

【フェースシート】

お聞きすることは以上ですが、あなたご自身のことについて少しおうかがいします。

F 1 性別(調査員記入)

- | | |
|------|------|
| 46.0 | 54.0 |
| 男性 | 女性 |

F 2 あなたのお歳は、満でおいくつですか。

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 4.4 | 8.9 | 11.1 |
| 15~19 歳 | 35~39 歳 | 55~59 歳 |
| 4.3 | 8.3 | 11.0 |
| 20~24 歳 | 40~44 歳 | 60~64 歳 |
| 4.5 | 7.2 | 9.3 |
| 25~29 歳 | 45~49 歳 | 65~69 歳 |
| 7.5 | 8.9 | 14.6 |
| 30~34 歳 | 50~54 歳 | 70 歳以上 |

F 3 あなたの職業は何ですか(職業の内容を具体的に記入してから、下の該当する項目に○をつける)。

[]

- | | |
|---------|--------|
| 4.2 | 16.8 |
| 農林水産業 | 事務職 |
| 9.9 | 18.7 |
| 商工サービス業 | 労務職 |
| 1.5 | 25.1 |
| 自由業 | 主婦 |
| 2.3 | 5.7 |
| 管理職 | 学生 |
| 1.0 | 14.7 |
| 専門技術職 | その他の無職 |

F 4 【カード23】あなたが最後に卒業されたのはどれですか（中退在学中は卒業と見なす）。

2.1	16.9	50.3	29.4	1.3
小 卒	旧高小・新中卒	旧中・新高卒	旧高専・大卒	分からない

F 5 あなたがお生まれになったのはどこですか。

4.9	北海道	4.3	神奈川県	6.3	大阪府	3.8	福岡県
1.4	青森県	2.7	新潟県	3.8	兵庫県	1.1	佐賀県
1.5	秋田県	1.2	富山県	0.7	奈良県	1.5	長崎県
2.0	宮城県	0.8	石川県	1.2	和歌山県	1.9	熊本県
1.7	岩手県	0.6	福井県	0.6	鳥取県	1.2	大分県
1.3	山形県	0.7	山梨県	0.8	島根県	1.0	宮崎県
2.2	福島県	2.1	長野県	1.5	岡山県	2.1	鹿児島県
2.5	茨城県	2.2	岐阜県	1.7	広島県	1.1	沖縄県
1.7	栃木県	3.1	静岡県	1.4	山口県	0.8	外国
1.8	群馬県	4.6	愛知県	0.9	徳島県	0.4	無回答
3.2	埼玉県	2.3	三重県	1.1	香川県	-	分からない
3.2	千葉県	1.1	滋賀県	1.4	愛知県		
8.3	東京都	1.8	京都府	0.8	高知県		

F 6 小学校・中学校時代、一番長く住んだところ（都道府県・市区町村）はどこですか。

5.1	北海道	4.8	神奈川県	6.1	大阪府	3.9	福岡県
1.4	青森県	2.3	新潟県	4.2	兵庫県	0.9	佐賀県
1.5	秋田県	1.3	富山県	0.8	奈良県	1.3	長崎県
2.0	宮城県	0.7	石川県	1.2	和歌山県	2.1	熊本県
1.7	岩手県	0.6	福井県	0.6	鳥取県	1.4	大分県
1.3	山形県	0.7	山梨県	0.7	島根県	0.9	宮崎県
2.1	福島県	1.9	長野県	1.5	岡山県	2.0	鹿児島県
2.7	茨城県	2.2	岐阜県	1.8	広島県	1.1	沖縄県
1.7	栃木県	3.1	静岡県	1.5	山口県	0.3	外国
1.7	群馬県	4.7	愛知県	0.9	徳島県	0.2	分からない
3.9	埼玉県	2.2	三重県	1.0	香川県		
3.7	千葉県	1.1	滋賀県	1.4	愛知県		
7.4	東京都	1.8	京都府	0.8	高知県		

F 7 【カード 24】あなたは、次のどの分野に関心がありますか。この中からいくつでも選んでください。(M.A.)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 32.4 政治・行政 | 10.9 機械・電気 |
| 28.5 経済・金融・ビジネス | 19.3 交通（自動車・船・飛行機など） |
| 49.6 医療・福祉 | 41.7 音楽・芸術 |
| 15.0 科学・技術 | 17.9 語学・文芸 |
| 27.9 コンピュータ | 23.7 教育 |
| 42.2 料理・グルメ | 0.5 その他（具体的に：_____） |
| 28.8 ファッション・インテリア | 6.9 特にない |
| 43.5 スポーツ・レジャー | 0.2 分からない |
| 28.2 農業・園芸 | |
- (M.T. = 417.2)

F 8 【カード 25】あなたは、パソコンを平均してどれくらいお使いになりますか。この中からあてはまるものを1つ選んでください。

- | | |
|----------------|-------------|
| 26.4 毎日のように | 3.1 年に数日くらい |
| 12.7 週に1～3日くらい | 51.7 使っていない |
| 5.3 月に1～3日くらい | 0.9 分からない |

F 9 【カード 26】あなたは、電子メールを平均してどれくらいお使いになりますか。1通の送信または受信を1回と数えてください。パソコンと携帯電話の両方を合わせて数えてください。

- | | |
|------------------|-------------|
| 15.7 日に5回以上 | 1.7 年に数回くらい |
| 17.1 日に1～3回くらい | 49.3 使っていない |
| 11.5 1週間に1～3回くらい | 1.4 分からない |
| 3.4 月に1～3回くらい | |

F10 【カード 27】あなたは、ここ10年くらいの間に外国に行ったことがありますか。この中からあてはまるものを1つお答えください。

- | |
|--------------------------|
| 1.2 滞在（連続して3ヶ月以上）したことがある |
| 31.3 旅行（3ヶ月以下）したことがある |
| 6.8 滞在したこともあるし、旅行したこともある |
| 60.2 外国には行ったことがない |
| 0.4 分からない |

F11 【カード 28】では、お宅の収入は、ご家族全部合わせて、去年1年間で、およそどれくらいになりましたか。この中ではどうでしょうか。ボーナスなどを含め、税込みでお答えください。

- | | | |
|------------------|---------------------|---------------|
| 7.7 200万円未満 | 13.5 600～800万円未満 | 0.7 2,000万円以上 |
| 19.6 200～400万円未満 | 7.4 800～1,000万円未満 | 25.9 分からない |
| 19.7 400～600万円未満 | 5.5 1,000～2,000万円未満 | |

F12 【カード 29】 お宅の生活の程度は、世間一般からみて、どうですか。この中からあてはまるものを1つお答えください。

0.6	7.6	54.1	25.4	6.0	6.3
上	中の上	中の中	中の下	下	分からない

これですべて終わりです。長い間お付き合いいただき、ありがとうございました。

調査終了時刻 時 分 (24 時間表示) 調査時間 分

〔 謝 辞 〕

この調査の趣旨を御理解いただき、快く御協力いただいた国民の皆様に、心より御礼申し上げます。

〔 編 集 後 記 〕

外来語に関する意識調査Ⅱ（全国調査）の企画・設計、及び、調査報告書のまとめは、研究プロジェクト「日本語の現在」意識調査グループの次の者が担当した。（五十音順）

相澤 正夫	国立国語研究所研究開発部門
朝日 祥之	国立国語研究所情報資料部門
陣内 正敬	関西学院大学総合政策学部
杉戸 清樹	国立国語研究所日本語教育部門
田中 牧郎	国立国語研究所研究開発部門
田中 ゆかり	日本大学文理学部
半沢 康	福島大学人間発達文化学類
吉岡 泰夫	国立国語研究所研究開発部門（編集責任者）
吉野 諒三	統計数理研究所領域統計研究系
米田 正人	国立国語研究所情報資料部門

【全国調査報告書】

外来語に関する意識調査Ⅱ
（全国調査）

平成17年3月 編集・発行

© 国立国語研究所

〒190-8561 東京都立川市緑町3591-2

Tel 042-540-4300 Fax 042-540-4333

URL <http://www.kokken.go.jp>



(平16-22)